

RIKKYO

RIKKYO UNIVERSITY GUIDEBOOK 2019



【特集1】 LIBERALITY

——「自由の学府」立教が提供する「自由」

【特集2】 LEADERSHIP

——立教が育成する新しい「リーダーシップ」



REF

立ちあげよう。



OOT

なんども、なんども、やり直すことで 人は自分らしい答に近づける。

人生はREBOOT(再起動)の連続だ。

高い壁が立ちはだかるとき。未知のステージに挑むとき。

人は自らのカウを打ち破って前に進む。

もっと強いジブンを立ちあげる。それは、進化だ。

大学に何を期待する？

出会い。成長。やりたいコト。自由。何を求めたっていい。だけど、

君自身に期待を抱かせるのが本当にいい大学、だと思う。そのために進化し続ける。

もっと自由に、これからの世のなかに必要なRIKKYOへと。

さあ、立ちあげよう。なんどでも。

5 総長メッセージ

6 特集1 LIBERALITY 「自由の学府」立教が提供する「自由」

自分を変える「自由」を
手にいれる。

16 特集2 LEADERSHIP 立教が育成する新しい「リーダーシップ」

頂点だけがリーダーではない。

26 沿革・教育理念

28 カリキュラム

RIKKYO Learning Style

38 留学・海外研修制度

42 学部・学科紹介

▼池袋キャンパス

44 文学部

キリスト教学科

文学科

英米文学専修／ドイツ文学専修／フランス文学専修／
日本文学専修／文芸・思想専修

史学科

世界史学専修／日本史学専修／超域文化学専修

教育学科

66 異文化コミュニケーション学部

異文化コミュニケーション学科

70 経済学部

経済学科

経済政策学科

会計ファイナンス学科

78 経営学部

経営学科

国際経営学科

84 理学部

数学科

物理学科

化学科

生命理学科

94 社会学部

社会学科

現代文化学科

メディア社会学科

102 法学部

法学科

国際ビジネス法学科

政治学科

▼新座キャンパス

110 観光学部

観光学科

交流文化学科

116 コミュニティ福祉学部

コミュニティ政策学科

福祉学科

スポーツウェルネス学科

124 現代心理学部

心理学科

映像身体学科

▼池袋キャンパス

130 Global Liberal Arts Program (GLAP)

RIKKYO LIFE

133 キャンパスカレンダー

134 図書館

136 クラブ・サークル

138 チャレンジプログラム

139 チャペル

140 キャンパスライフ支援

142 奨学金・初年度納入金

キャリア・就職支援

145 大学院

146 資格取得支援

150 キャリア・就職支援

入試案内

158 立教大学入学受入れの方針

159 入学試験制度一覧／2019年度入試の主な変更点

160 2019年度入試日程

162 入試Q&A

163 一般入試

166 大学入試センター試験利用入試

172 自由選抜入試

181 国際コース選抜入試

184 アスリート選抜入試

185 帰国生入試／外国人留学生入試

186 指定校推薦入学

社会人入試

3年次編入学試験

187 2018年度入試結果

190 大学基本情報

192 池袋キャンパス

193 新座キャンパス

194 立教大学に行く

195 交通案内



Reboot your will,
Reboot new world.



立教大学の物語は、1874年聖書と英学を教える私塾「立教学校」から始まります。当時の日本は実利主義の傾向が強く、物質的な繁栄を目指す風潮にありました。このような時代の流れに危機意識を抱き、西洋の伝統的なリベラルアーツカレッジをモデルとして、心の豊かさやリーダーシップをあわせもち、世の中に自ら貢献できる人間を育むべく、立教は今日まで歩んできました。

現代のグローバリゼーションは、より便利に、ライフスタイルの多様化を促す一方、過剰な競争にさらされる面もあります。立教で学ぶ人は、そこでためらうことなく、他者に手を差し伸べられる人に育ってほしい。その時、新しい関係が生まれ、生かし合う社会への道が開けるでしょう。創立から140余年経って再び、立教のリーダーシップ教育が重要な時代を迎えている。そう感じています。

みなさんは今、長い人生の中で「行動力と想像力」がみなぎった季節にいます。新しいことにチャレンジする「行動力」はかつてない自分を、豊かな「想像力」はかつてない世界を立ち上げるものです。立教大学の環境を存分に活用し、充実した4年間を過ごしてくれることを願っています。

立教大学 総長 郭洋春

[特集1] LIBERALITY

「自由の学府」立教が提供する「自由」

自分を変える 「自由」を 手にいれる。

常識や枠組みにとらわれず、自らの意志で選び、可能性を広げていく——

140年以上にわたるリベラルアーツ教育の理念を礎に

立教大学が掲げる「自由の学府」の精神は、

学び・キャリア教育・正課外活動と、あらゆる場面において

その根底をなすもの。

立教にしかない「自由のプログラム」をその手に、あたらしい扉をひらいてみよう。

挑戦の先に「想像もしない自分」がいる。

さあ、立ちあげよう。かつてない自分を。

立教の「自由」を知る

4つのキーワード

LIBERALITY-01

自由な
学問体系

LIBERALITY-02

自由な
海外体験

LIBERALITY-03

自由な
キャリア

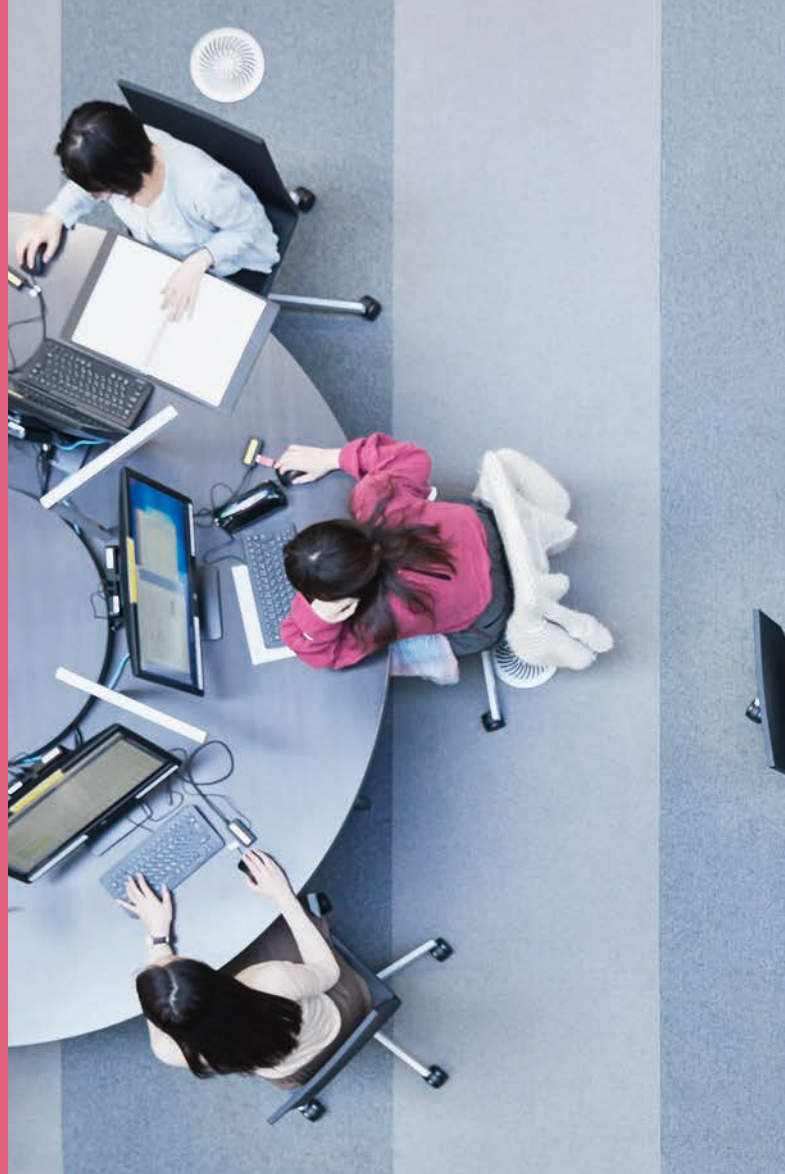
LIBERALITY-04

自由な
学修体験

LIBERALITY-01

自由な 学問体系

学部の垣根を越えた
幅広い学びで、
広い視野に立ち
問題解決できる力を
身につける



進化したリベラルアーツ・カリキュラム

高度な専門性と総合的な知識を培える

立教大学では創立以来140年以上にわたり、幅広い教養と専門性を養うリベラルアーツ教育に力を入れてきました。その理念の結実が、2016年に刷新された教育カリキュラム「RIKKYO Learning Style」です。教養科目、専門科目、正課外活動を有機的に結び付けて体系化し、学生一人ひとりが自分のビジョンに合わせて主体的に学びのスタイルを選択できます。自らの専門性を高めつつ多様な学問領域に触れることで、答えのない課題に挑むうえで必要不可欠な複眼的思考力を養います。

》 RIKKYO Learning Style P.28





他学部科目もフレキシブルに学べる

各々の関心や問題意識にあわせて学部の垣根を超えた学びの選択が可能です。専門分野の枠を超えた、幅広い知識と教養を身につける科目が全学部共通で多数開講されているほか、他学部の専門科目の履修も一部を除き認めています。さらに、全ての学生が登録可能なプログラム「グローバル教養副専攻」では、3つのコースの中から自分の興味・関心のあるテーマに基づいて科目を選択。加えて海外体験も行うことで、グローバルかつ多面的に物事を考える力を身につけます。

》 グローバル教養副専攻 P.34

協定5大学で広がる学び

他大学でも約1,200科目から履修できる

立教大学は、早稲田大学・学習院大学・学習院女子大学・日本女子大学と、単位互換制度(f-Campus)を実施しています。5大学はいずれも本部キャンパスが近接しており、他大学キャンパスに直接出向き、多様な科目を履修することができます。提供科目数は5大学でおよそ1,200科目。幅広い学修機会を得ることができます。さらに、修得した単位は、一定の範囲で所属学部の卒業要件単位に組み入れることも可能です。

》 f-Campus P.37

自分らしく学ぶ自由。



異なる価値観に触れ
多様な考え方を受け入れる
柔軟性を身につける

派遣留学・語学研修・インターンシップ 海外留学のスタイルが選べる

これからのグローバル社会では、一つの国や地域といった狭い世界ではなく、多様な知識・スキルをもって、異なる文化・背景をもつ人々と力を合わせて課題を解決することが求められます。立教大学では、多くの学生が留学の機会を得られるよう、さまざまなタイプの留学・海外研修制度を設置。海外の協定校で学ぶ派遣留学、夏季・春季休暇に行われる語学研修、海外インターンシップや学部独自のプログラムなど、全学生を対象に多彩に展開しています。



スーパーグローバル大学創成支援事業に採択 国際交流がスタンダードになる

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、国際化戦略「Rikkyo Global 24」を基盤に、大学の国際化を積極的に推進しています。2024年までに学生の海外経験率を100%にする目標を掲げ、すべての留学プログラムを対象にした奨学金を設けるなど、海外留学を支援するための環境整備を行っています。

》留学・海外研修制度 P.38



圧倒的な外国人教員・留学生数 日常から国際感覚が養える

常勤している外国人教員数は90名、東京の私立大学では第2位^{*1}にあたります。語学を習得する授業だけでなく、英語で専門分野や文化を学ぶ科目も数多く展開しています。外国人留学生数も年々増加しており、863名^{*2}が在籍。キャンパス内で共に学び、国際感覚を養う機会が随所にあります。



※1 大学ランキング2018年度版(朝日新聞出版)より ※2 2017年度秋学期に在籍した留学生の実人数



キャンパスから世界へ。



4年間で「ブレない軸」を身につけて
自らの力でキャリアを形成する

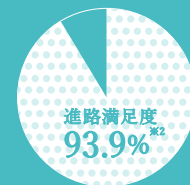
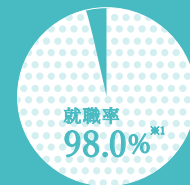


卓越した進路満足度

大手優良企業への就職も多数

2017年3月卒業生の就職希望者の就職率は98.0%^{※1}。多種多様な業種の手
大 手 優 良 企 業 へ の 就 職 を 実 現 し て い ま す 。 長 年 に わ た り 社 会 に 貢 献 す る 人 材
を 輩 出 し て き た 結 果 、 就 職 を 希 望 す る 3,810 名 の 学 生 に 対 し 、 14,637 件 の 求
人 が 寄 せ ら れ 、 学 内 で 開 催 さ れ る 企 業 説 明 会 に は 794 社 も の 企 業 が 参 加 し
ま し た 。 そ の 結 果 、 卒 業 後 の 進 路 満 足 度 は 93.9%^{※2}。 女 子 の 就 職 に つ い て は 、
毎 年 9 割 の 女 子 学 生 が 男 女 同 待 遇 の 総 合 職 に 就 職 結 果 と な っ て い ま す 。

※1 2017年3月卒業生対象実績 ※2 2016年度 卒業時アンケートで「非常に満足」または「満足」と回答



低学年次から充実した支援

キャリアセンターと学部のだブルサポート

キャリアセンター主催の支援プログラムは、年間409回に及びます。3・4年
次 生 を 対 象 と し た 手 厚 い 就 職 活 動 支 援 は も ち ろ ん 、 1・2 年 次 か ら 自 分 と
社 会 を 知 る た め の プ ロ グ ラ ム を 多 数 展 開 し て い ま す 。 ま た 、 10 学 部 そ れ ぞ
れ が 学 部 の 特 徴 を 生 か し 、 正 課 お よ び 正 課 外 に お い て 多 様 な キ ャ リ ア 支
援 を 行 っ て お り 、 各 学 部 に 学 部 と 学 生 の 特 性 を 熟 知 し た キ ャ リ ア サ ポ
ー ター を 配 置 し て い ま す 。

》 キャリア・就職支援 P.150

立教型・学部型・大学経由型など

多様なインターンシップの選択肢がある

キャリアセンターが独自に企業・行政・団体などと連携し実施する「立教型
イ ン ター ン シ ッ プ」 の ほ か 、 各 学 部 が 正 課 科 目 と し て 特 色 の あ る 実 習 先 を 開
拓 し て い る 「学 部 型 イ ン ター ン シ ッ プ」、 中 央 省 庁 や 地 方 自 治 体 が 実 施 す る



「大学経由型インターンシップ」、個
人 で 自 由 に 応 募 ・ 参 加 で き る 「直 接
応 募 型 イ ン ター ン シ ッ プ」 な ど 、 多 種
多 様 な イ ン ター ン シ ッ プ の 選 択 肢 が
あ り 、 毎 年 8 割 以 上 の 立 教 生 が イ ン
ター ン シ ッ プ に 応 募 し て い ま す 。



未来を拓くキャリア支援。



フィールドでの「学び」を通じて
人間力を養う

立教サービslラーニングで 社会の現場に赴き シティズンシップを磨く

立教サービslラーニング(RSL)は、さまざまな社会の現場も“教室”として捉える、新しい学修スタイルの正課科目群(授業)です。立教大学にある10学部専門分野の先には、誰もが向き合わなければならない社会の課題があります。そのため、その「場」で生きる人々と共に悩み、考え、取り組むといった、学部での専門的な学びを社会の多様な「現実」と深く結びつけ、困難な課題を解決する力を養う必要があります。授業では、事前学習後に一定の期間にわたって、受入機関の支援・指導のもと、社会で生起するさまざまな課題を題材とした学外活動を行います。これらの経験から社会の一員としての責任感や協働のスキルを養います。



正課外教育プログラムが充実

「未知」を体感し、ヒューマンスキルを培う

立教大学における学びの場は、正課教育(授業)にとどまりません。60を超える正課外教育プログラムを展開しており、毎年多くの学生が参加しています。人権やキャリアといった、多様なテーマについて講義やワークショップで学ぶプログラムや、ボランティア、学生同士で支援し合う(ピア・サポート)プログラムなど、目的にあわせてさまざまな活動を選択することができます。また、クラブ・サークル活動も盛んで、学内にはおよそ200の公認団体があり、主体性や協調性を向上する機会となります。》 **チャレンジプログラム P.138**



東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト始動

平和の祭典で社会貢献できる

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機に、在学生や教職員、卒業生など全学的な体制で社会貢献活動を推進するプロジェクトが始動しました。自治体や各種団体とも連携し、さまざまなプログラムを展開。多様性を尊重する共生社会の実現に向けて、私たちにできることを考える機会を提供しています。また、立教学院の体育施設がブラジルオリンピックチームの事前トレーニングキャンプ施設に決定。サポートを通じた一流アスリートとの交流の機会も期待されます。

現場という“教室”へ。

[特集2] LEADERSHIP

立教が育成する新しい「リーダーシップ」

頂点だけが リーダーではない。

新しい「リーダーシップ」が求められている。

言葉や文化、育った国、多様な背景をもつ人々が並び立ち、変化を生みだしていくために。

立教大学が育成するのは、権限やカリスマ性に頼らない「柔らかなリーダーシップ」。

一人ひとりが、自らの専門性を発揮しながら、仲間の力を引き出す能力だ。

競うより生かしあう方が、きっと、ひとは世界を良くできる。

協調の先に「想像もしない未来」がある。

さあ、立ちあげよう。かつてない世界を。

立教の「リーダーシップ」を知る

3つのキーワード

地球規模の困難な課題に
向き合い問題の本質を
理論的に解明する



異なる文化・習慣をもつ人々と
力をあわせて
課題を解決する



流動化する社会に
柔軟に対応し
新しい仕組みを生み出す



グローバル時代の
リーダーシップを考える
OB・在学生による特別対談

対談
「社会と
リーダーシップ」



グローバル・リーダーシップ・プログラム (立教GLP)

〔全学部対象〕 》 P.33

自分と異なる考え方や価値観をもつ人とも良好な関係を構築し、グローバルな環境で発揮できるリーダーシップを修得します。学部や学年の異なる少人数のグループに分かれ、各人がリーダーシップを発揮しながら、クライアント企業が出題するプロジェクト課題にチームとして取り組みます。

※経営学部対象のビジネス・リーダーシップ・プログラムも開講しています。

〈企業課題〉 2016年度春学期
GL101課題解決プロジェクト

「ダイバーシティを活かした
新たな働き方や人事の仕組みを
提案してください」

オリックス株式会社



2016年度春学期GL101優勝チーム

土谷 有佳里

文学部 史学科2年次
東京都 聖心女子学院高等科

リーダーシップの学修、 企業へのプレゼンテーション。 その体験から見えてきた、思考することの本質。

1. 課題を掘り下げて根っこから考える

課題が発表されると、まず私たちのチームでは、「ダイバーシティとは何か」を考えることから始めました。当初は、女性役員や外国人社員など、マイノリティが活躍していることが企業のダイバーシティなのではないかと考えていました。

しかし、議論を重ねていくなかで先生から「既婚か独身かの違いだけでも多様性では」とヒントをもらい、個人の中には多様な側面があり、誰もがマイノリティである部分を持っているということに気が付きました。これをきっかけに、社員同士がお互いの多様性を知り、それを生かしあうことができる仕組みを考えることにしました。

2. 学生らしいアプローチで企画を考案する

社員一人ひとりが自分の特性を知り、ダイバーシティの一員であるという意識を育むにはどうしたらよいか。私たちは、誰もが気軽に始められるツールとして、社内用のスマートフォンアプリを企画しました。

提案プランは「社内のダイバーシティの推進に貢献する活動を行うことでアプリ内にマイレージが貯まり、貯まったマイレージで海外研修などの特典が得られる」というものです。この提案で選考を勝ち上がり、最後はクライアントの人事副本部長に直接プレゼンテーションをする本選に出場し、優勝することができました。

3. 事案の先にいる誰かのために考える

私たちが優勝できたのは、授業で教わった「課題解決のために、問題を掘り下げて仮説を立てながら論理的に考えること」を心掛けたからだと思います。実は、オリックス様からの課題だけでなく、チームにも課題がありました。

チームの5人は個性がバラバラで、本選前には辞退したいという声が挙がるほど足並みが揃わない状態でした。そんな時に、何が問題なのかを考え、相手の立場に立って話し合いを繰り返すことで、なんとか全員でプレゼンテーションに臨むことができました。リーダーシップを発揮するうえでは、論理的に考えること、そして事案の先にいる人を思いやることが不可欠なのだと思います。

土谷さんたち優勝チームが提案したプラン



ORILEAGEアプリ

社内の環境をより良くするための意識アップを目的にしたアプリ。

(1) Eラーニングに参加し多様性を知る、(2) ワークショップに参加しディスカッションを通じて多様性を実感する、(3) アプリ内でコミュニティを作り多様性を生かした行動をするという、3ステップでアプリ内にマイレージを貯めていく。貯まったマイレージ数に応じて海外研修などを可能にし、社員が楽しみながらダイバーシティを実感できる。

※実在するアプリではありません。

思いやりで思考する。



「他者と歩む大切さは立教が 日本初の女性機長、チームの

人として、女性としての学びを立教から得た

立教での学びは、知識はもちろん、担当教員だった女性講師から大きな影響を受けました。先生はバリバリ働きながらも、他者と協調しながら、女性らしくエレガントに活躍されていました。その姿に憧れたのを覚えています。

卒業後は渡米し、パイロット養成学校に入りました。帰国後の97年、日本航空のグループ会社としてJALエクスプレス（現在は日本航空に統合）が創設され、ライセンス取得者なら誰でも応募できる採用制度がスタートしたのでこのチャンスに賭けました。そして99年、採用試験に通過し入社。1年間の訓練を経て副操縦士になり、2010年機長に昇格しました。

人と力を合わせることで、もっと高く翔べる

協働とは、同じ目的のために人が力を合わせること。航空の現場では、お客さまを安全かつ快適に目的地までお連れするというミッションのもと多くのスタッフが協働し、個人のパフォーマンス以上の成果をチームで実現しています。

こうした協働の重要性に社会が気づき始め、これから世に出る若い世代は、協働力やコミュニケーション能力を求められる傾向にあるでしょう。それを身につけるには、特別なことは必要なく、日常生活の中で意識することがいちばん有効かもしれません。教員やクラスメート、先輩・後輩、あるいは家族とのやり取りを、昨日までの自分よりちょっと丁寧に行ってみる。自分がしたいことを発信し、相手が望んでいることを受信できているか。これがきちんとできてくると、相手との理解や信頼も深まりま

すし、自分自身への気づき・成長にも繋がっていきます。

機長となるための昇格訓練中、同じ運航乗務員の先輩や後輩だけでなく、キャビンアテンダントや地上職の仲間まで、色々な形でのサポートや応援があり、自分一人の力では成し得なかったと実感しました。個人として意思の強さをもつことはもちろん大切ですが、周りにいる人々への感謝や謙虚な心も、常に忘れずにもってたいですね。



教えてくれた」
“協働”を語る。



日本航空株式会社
ボーイング737機長・運航訓練審査
企画部定期訓練室調査役機長



JAPAN AIRLINES

藤 明里

1992年、立教大学法学部法学科卒業。

1992年、アメリカ・カリフォルニア州リバーサイド市営空港のパイロット養成学校に入学、
自家用・事業用・計器飛行・グランドスクールインストラクターのライセンスを取得。

1993年、帰国。仕事をしながら国内のパイロット養成学校で日本のライセンスを取得。

1997年、地方空港を拠点とする航空会社に入社。

1999年、JALエクスプレス（現・日本航空）に入社。2000年に副操縦士となり、

2010年には日本初の女性機長に昇格。

協働力はチームの翼。



国連ユースボランティアプログラム

〔全学部対象〕 》 P.33

国連機関である国連ボランティア計画 (UN Volunteers) が大学と連携し、学生を開発途上国へ派遣するプログラムです。約5カ月間、国連事務所や政府機関、NGOなどに派遣され、Webサイト作成などの広報活動、プロジェクト運営の支援などを通して、異文化適応力、コミュニケーション能力、外国語運用能力、主体性、責任感、柔軟性等のグローバルリーダーとしての資質を養います。

国連の指導のもと、東ティモールで支援活動。 ユースの眼差しは、現地をどうとらえたか。



#世界をなんとかしたい気持ち

ボランティアに興味を抱いたきっかけは、ルワンダの大虐殺を描いた映画「ホテル・ルワンダ」を観たことです。当時高校生だった私は、自分の国では当たり前のことが、開発途上国では当たり前ではないことに衝撃を受け、少しでも現状を変えるには何ができるだろうと考えました。

この気持ちを原点に、大学入学後はアカデミックなアプローチを模索して1年次から「国際協力人材」育成プログラムを履修。座学で国際問題を解決するためのアプローチ方法を学んだのち、3年次には国連ユースボランティアの一員として東ティモールの国連開発計画 (UNDP) で活動を始めました。

》「国際協力人材」育成プログラム P.33

#体験から気づいた支援の本質

私の役割は、東ティモールの人々に国連の活動支援を知ってもらうために、国連のWebサイトやSNSに記事や写真を掲載する広報活動を行うことです。

日々の広報では、目線のあり方に気を配りました。いくら支援を行っても、現地の人々の意識が変わらなければ、いつまでも発展途上のままになってしまう。例えば水のインフラを整備する活動にしても、建設作業やメンテナンスをするのは現地の人々です。彼らのモチベーションを維持するためには、彼ら自身が変革に関われることを伝えなければ意味がない。国連が支援したという目線で活動報告をするのではなく、現地の人々が「自分事」として捉えられるように伝え方を工夫しました。



#他者と並び立って変えていく

赴任を終え、まだ変えたいことがあったというのが本音です。ですが、情熱ばかりでなく冷静さも大切です。文明・技術を持ち込むことは簡単ですが、「不便でもこのままの生活がいい」という声もあるでしょう。他者のためにと志して旅立ったものの、その意味の深さに自問を繰り返しました。

その中で、ボランティアの概念も変化しました。何かをしてあげる、ではなく、並び立って考える。答えを与えるのではなく、相手にとって何が最良かを対等な立場で一緒に考える支え方。その眼差しが、自分の中に宿ったように思います。将来、どの組織で、どのような社会問題に挑んでも、この眼差しを忘れずに取り組んでいきたいです。



Global Applause



久保 満衣子

経営学部 国際経営学科4年次
千葉県 稲毛高等学校

2016年度国連ユースボランティア参加
(2016年9月～2017年2月 東ティモール派遣)

眼差しが変革になる。

対談 「社会と リーダーシップ」

菅野 将貴

現代心理学部 映像身体学科 3年次
静岡県 静岡東高等学校

グローバル社会転換期の

グローバル企業に勤務する立教OBと、
グローバル社会の今とリーダー

〇 グローバルな環境への向き合い方とは

菅野 まず、菅野さんは“グローバル”というと、どのような状態をイメージしますか？

菅野 人種や文化がミックスされた状態でしょうか。海外研修でシリコンバレーの多国籍企業を訪問したとき、食堂に当たり前のように各国の食文化が並ぶ光景を見て、日本のグローバル化の遅れや自分の世界の狭さを思い知りました。

菅野 海外に行くと、地域によって文化や歴史、成熟度が大きく異なることに気づきますよね。タイムトラベルをした感覚になることすらあります。だから私は、海外で仕事をするときには必ずその土地の成り立ちやカルチャーを下調べしています。

菅野 確かに、異なる文化をもつ人と接するとき、相手の文化を理解しておくと、コミュニケーションがより円滑になるように思います。

菅野 そうですね。自分がいる組織や国は、1つの環境、1つの常識に過ぎないという認識をもつことが必要です。ビジネスの現場では、ミスコミュニケーションが生まれると信頼関係は簡単に崩れてしまう。さまざまな価値観をもつ人と協働するグローバル社会では、相手を深く理解するスキルを磨くことが、何よりも大切なことです。

〇 グローバル社会転換期の今

菅野 ところで、VUCA時代※とも称されるように、社会の潮流が変わり目に差し掛かっています。世界規模で、これまで安泰だった市場を揺るがすほど変化が起きた業界も出てきました。組織も個人も、どうこの変化を見極め、対処するかが重要になってきていますね。

菅野 「変化を見極め、対処する」とは、どういう行動をイメージしたら良いでしょうか？

菅野 会社の経営を道のりに例えれば、道の先に予期せぬ事態が起こることも多々あるでしょう。でも視野を広く、視点を柔軟に保つことで、変化をいち早く察知できます。そのうえでチームと危機感を共有し、乗り越えるためにすべきことを思考し、協働するのです。

菅野 私が立教で学んだリーダーシップを発揮する力「思考力・協働力・変革力」にも重なりますね。変化を正しく見極める力を養うために、学生のうちから社会と積極的にかかわって多様な経験を積むことが必要だと感じます。

※VUCA…Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取った、予測不能な状態を表す造語

〇 今を生きる知恵「思考力・協働力・変革力」

菅野 立教には、思考力・協働力・変革力の教えがありますが、これらの力は社会でどのように生かせるのでしょうか。

1年次にグローバル・リーダーシップ・プログラム(立教GLP)を履修。2年次はSA(スチューデント・アシスタント)として、教員と共に当プログラムの運営も経験した。将来はグローバルに働くことを目標に、現在は学業の他に外資系企業で長期のインターンシップを行っている。

今を生きる知恵とは？

リーダーシップを学んできた立教生が、
シップについて語り合った。

荒巻 私の経験からお話しします。中国赴任時代に、工場で働く約2万人の社員の人事労務管理をしていたのですが、当時の中国は高度経済成長期の日本のような様相で、私の居た広東省は世界の工場と呼ばれ、労働力不足が慢性的に発生。農村から多くの若者が出稼ぎにきていました。毎月千名規模の採用活動、社員の離職リスクへの対応、最低賃金の大幅な上昇による給与改定等、日々対応に追われました。そこでは自分が今まで培ったスキルや常識が全く通用しない。そこでいったん、自分をもつ常識は忘れてみようと考えたのです。「学びなおし(Unlearning)」ですね。置かれた環境を理解しようとすることで初めて、周囲の人と協働できる。そのうえで、ゼロベースで思考し、課題を見つけて対応する。

菅野 相手の立場で考えて自分の価値観を柔軟にシフトするという思考で、協働力を発揮されたのですね。

荒巻 そうです。協働する相手と共通認識をもって、現状の課題解決にあたる。社会に出てリーダーシップを発揮する場面で、思考力・協働力・変革力は必ず必要になる力だと感じます。

知恵を育む、自由の学府の「立教」

菅野 学生のうちに、何かを変革するのはなかなか難しいように感じますが、どのように身につけられるでしょうか。

荒巻 立教には、視野が広い学生が多いですね。「自由の学府」という理念があって、学生が自由に動ける風土がある。

菅野 そう思います。諸先輩方もさることながら、立教GLPの履修生は特に、学外にコミュニティをつくるなど積極的に動いている印象です。

荒巻 それに立教は留学生も多く、海外経験豊かな先生による授業等からも多様性を学べます。そこから世界を見る。学内の人を通じて世界を知り、そこをステップにするとグローバルの素養も養えます。そのうえで、自分が帰属しているものを変えてみようとして意識してみてください。たとえば最も身近な「家」で考えると、仮に母親だけが家事をやっていたとしたら、それをおかしいと考えて家族がそれぞれ家事を分担するとか。

菅野 小さいことでも、一人ひとりが当事者意識をもって周りに働きかける。人に頼らず、各々がリーダーシップを発揮することが、環境を変えるきっかけになるのですね。相手を尊重しつつ、自分自身のリーダーシップを積極的に実践していきたいと思います。

ソニー株式会社 人事センター
2003年 法学部法学科卒業
荒巻 快哉

2003年立教大学卒、ソニー株式会社に入社。北京語言大学へ留学を経て2009年から4年間、中国本土・香港で人事総務及び海外赴任者管理を担当。2013年からは本社改革及び人事制度/インフラ改革支援等の組織変革ミッションに従事しつつ、新規事業創出プログラム「Seed Acceleration Program」(SAP)発の社内スタートアップの人事労務、SAP米国拠点Takeoff Pointでの人材育成事業の企画/運営等を担当し、現在に至る。

違いを生かす社会へ。

The History and Philosophy

沿革・教育理念

立教大学の前身は、1874年、アメリカ聖公会から派遣された宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズが設立した「立教学校 St.Paul's School」です。

職業教育など実学中心のエリート教育が重視されていた時代において、英語で聖書を学ぶことを中心に、普遍的な価値観としてのキリスト教と英学に代表される実際の知識の両方を身につける立教学校は、日本における近代教育のさきがけとなりました。

西欧の伝統的リベラルアーツカレッジをモデルにした

立教の教育の中心は「キリスト教に基づく教育」です。

これは、全学部共通の教養科目や各学部の科目はもとより、礼拝、キャンプ、講演会、セミナーなど、全学生に提供されるさまざまなプログラムを通して実践されています。

立教大学の使命は、単に競争社会で自らの能力を誇るような人間ではなく、人間の一生において欠くことのできない大切なものとは何かを探求し、すべての生命が尊ばれる社会の実現のために奉仕する人材を育てること。それは「道を伝えて己を伝えず」と評された

創立者ウィリアムズの謙虚でひたむきな生涯を模範とした教育理念、キリスト教に基づいた人間観の具現化といえます。

創立者ウィリアムズ主教

(チャニング・ムーア・ウィリアムズ)

1829年7月18日、アメリカ合衆国ヴァージニア州リッチモンド市で生まれる。ヴァージニア聖公会神学校を卒業後中国派遣宣教師に任命され、1856年6月に上海に到着。1859年日本に派遣され、同年6月に長崎に到着。幕府のキリスト教弾圧の中、伝道に務める。1866年に一時帰国した後、中国および日本伝道主教となり中国と日本の新拠点として武昌と大阪を開拓。1874年2月に築地に立教大学の前身となる私塾を開く。1889年、後進に道をゆずるべく主教職を辞任。1895年京都に移り関西地方の伝道に生涯最後の力を注ぐ。1910年12月2日、故郷リッチモンド市で生涯を終える。享年81(歳)。

1874

明治7年

ウィリアムズ主教、築地に聖書と英学を教える私塾を数名の生徒で始める。間もなく立教学校と称する。

1883 明治16年 外国人居留地37番に完成したゴシック風煉瓦校舎に移転。立教大学と称した。

1907 明治40年 専門学校令により、「立教大学」と称する。文科、商科および予科を置いた。

1918 大正7年 池袋に移転。

1919

大正8年

レンガ校舎群(本館・チャペル・図書館・寄宿舍2棟・食堂)落成。

1922 大正11年 大学令による大学として認可される。文学部(英文学科、哲学科、宗教学科、史学科)、商学部および予科を置いた。

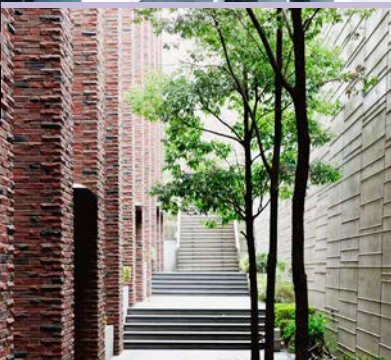
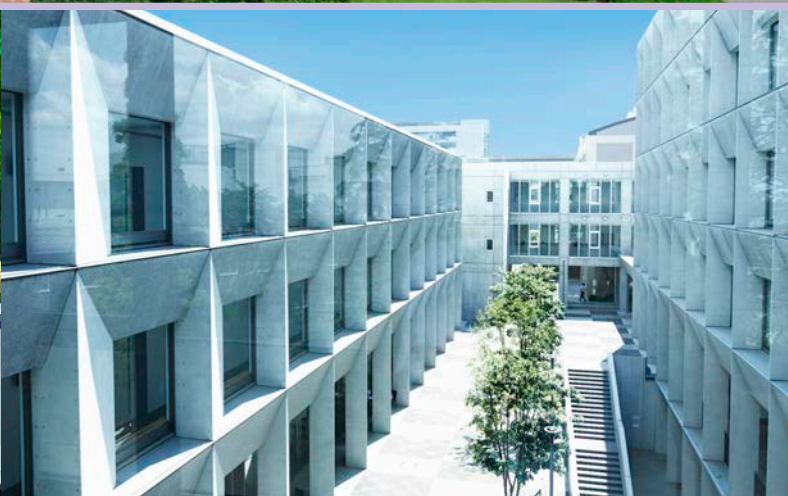
1949 昭和24年 新制大学として認可される。文学部(基督教学科、英米文学科、社会科、史学科、心理教育学科)、経済学部(経済学科、経営学科)、理学部(数学科、物理学科、化学科)を置いた。

1956 昭和31年 文学部に日本文学科を設置。

1958 昭和33年 社会学部(社会学科)を設置(文学部社会学科廃止)。

1959 昭和34年 法学部(法学科)を設置。





- 1962 昭和 37 年 文学部に心理学科、教育学科を設置（心理教育学科廃止）。
- 1963 昭和 38 年 文学部にフランス文学科、ドイツ文学科を設置。
- 1964 昭和 39 年 社会学部に産業関係学科を設置。
- 1967 昭和 42 年 社会学部に観光学科を設置。
- 1974 昭和 49 年 創立 100 周年記念式典。
- 1978 昭和 53 年 屋間部総合大学として初めての社会人入試を法学部で開始。
- 1988 昭和 63 年 法学部に国際・比較法学科を設置。

1990 新座キャンパス開校。

平成 2 年

- 1996 平成 8 年 法学部に政治学科を設置。
- 1997 平成 9 年 全学共通カリキュラムスタート。
- 1998 平成 10 年 新座キャンパスに観光学部（観光学科）、コミュニティ福祉学部（コミュニティ福祉学科）を開校。
- 2002 平成 14 年 経済学部会計ファイナンス学科、理学部に生命理学科、社会学部に現代文化学科を設置。ビジネスデザイン研究科、21 世紀社会デザイン研究科、異文化コミュニケーション研究科開設。江戸川乱歩の邸宅と書庫として使用していた土蔵が、立教大学に譲渡される。
- 2004 平成 16 年 創立 130 周年。法務研究科（法科大学院）開設。
- 2006 平成 18 年 池袋キャンパスに経営学部（経営学科、国際経営学科）、新座キャンパスに現代心理学部（心理学科、映像身体学科）を設置。文学部をキリスト教学科、文学科、教育学科、史学科に改組。経済学部経済政策学科、社会学部にメディア社会学科、観光学部文化交流学科、コミュニティ福祉学部福祉学科、コミュニティ政策学科を設置。
- 2007 平成 19 年 文学部、経済学部 開設 100 周年。法学部 国際・比較法学科を国際ビジネス法学科に名称変更。
- 2008 平成 20 年 池袋キャンパスに異文化コミュニケーション学部（異文化コミュニケーション学科）を設置。コミュニティ福祉部にスポーツウェルネス学科を設置。

2012 池袋キャンパスに池袋図書館を開館。

平成 24 年

- 2013 平成 25 年 池袋キャンパスにボール・ラッシュ・アスレティックセンター完成。
- 2014 平成 26 年 創立 140 周年。池袋キャンパスに立教学院展示館を開館。文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援（グローバル化率引型）」に採択。

2015 「RIKKYO VISION 2024」策定。

平成 27 年

- 2016 平成 28 年 RIKKYO Learning Style スタート（詳細は P. 28～）。
- 2017 平成 29 年 Global Liberal Arts Program (GLAP) 開設。



正面から見た大学建築群〔移転当時撮影〕：現存する本館（モリス館）、メーザライブラリー記念館、礼拝堂、第一食堂、2号館、3号館は、東京都選定歴史的建造物に選定されています。
写真提供：立教学院史資料センター



〔オフィシャル・シンボル〕

立教大学のオフィシャル・シンボル、楯のマークには、十字架と聖書が描かれています。中心に置かれた聖書の標語「PRO DEO ET PATRIA」は「神と国のために」というラテン語で、立教大学では、「普遍的なる真理を探究し、私たちの世界、社会、隣人のために」ととらえています。楯の下にある「MDCCCLXXIV」は創立年度の 1874 をローマ数字で記しています。



〔校旗〕

紫紺地に白色の十字架と左肩に金色の「立」が描かれています。紫色は、校歌の「紫くえる武蔵野原」の武蔵野の代表的植物「ムラサキ」にも由来するほか、王者の色でもあります。白は純潔・正義を象徴し、十字架はイエス・キリストとその愛を、「立」の金色は研究・教育を通じて追求すべき真の価値を象徴しています。

考える、汗をながす、支えあう。

君は、
ぜんぶで
育つから。



成長は、吸収だ。

「なりたい」に効く10の学び。

RIKKYO Learning Style

めざすジブンには、いろいろ大切。



「学びの精神」と「学びの技法」のアプローチから、アクティブ・ラーニングや少人数教育を取り入れ、4年間の学びに必要な基礎力を身につけます。



研究分野の第一線で活躍する講師による専門領域の授業です。学科ごとに構成した独自のカリキュラムで専門分野を深く追究します。



リベラルアーツ教育の軸となる科目で、幅広い知識と教養を養います。専門分野の枠を越えた科目を履修して、自身の可能性を広げます。



学部の専門的な学びに加え、興味・関心に応じてもう1つのテーマに沿って体系的に学びます。修了すると、大学から修了証が発行されます。



英語と初習言語を必修としています。異文化理解を深め、多様な人と交流できる言語運用能力を習得することを目指します。

3つの期間に分けて
段階的に学ぶ



基礎をつくる

導入期

1年次春学期

Visionを見つけ、学びの基礎を身につける



広げる

形成期

1年次秋学期～2年次秋学期

さまざまな経験を重ねて視野を広げる



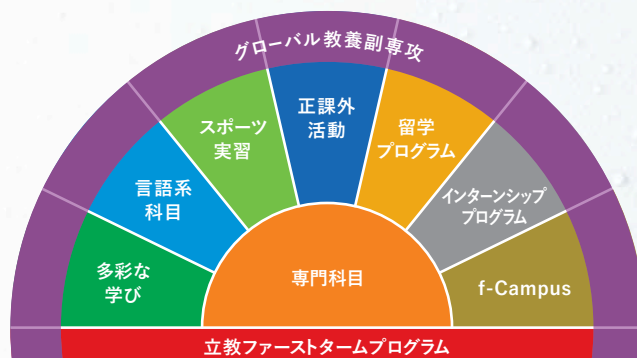
深める

完成期

3年次春学期～4年次秋学期

将来の目標を目指して専門分野を究める

将来なりたい自分を思い描き、その目標に向かって自律的に、着実に未来へ進んでいく。
その歩みには、授業だけではなくさまざまな活動・体験を通じた学びが必要です。
140年以上にわたって、リベラルアーツ教育を実践してきた立教大学は、一人ひとりが自由に組み立て、着実に成長できる「体系的な学び」を提供。
自らのビジョンを実現し、世界をけん引する次代の人材を育成します。



学びの体系



スポーツ実践や講義で心身の成長を促します。実技では文化的側面への理解や健康維持に関する知識も学んでいきます。



サークルやボランティアなどの課外活動のほか、海外体験、キャリア支援プログラムなどで、「自分づくり」をしていきます。



大学間または学部間協定による派遣留学や、短期語学研修など、目的や期間に合わせた多様なプログラムで見識を広げます。



企業や官公庁などで実習し、就業体験をします。参加することにより、自分自身で気づき、考える力がつきます。



協定他大学のキャンパスで、多様な科目を履修できます。習得した単位を卒業要件単位に組み入れることも可能です。

立教大学は、みなさん一人ひとりの成長に寄り添うために、学生生活を3つの期間〈導入期・形成期・完成期〉に分けてサポートします。
〈導入期〉は、立教で学ぶことの意義や楽しさを知り、大学4年間の学修の基礎を身につけます。授業は、「立教ファーストタムプログラム」を中心に展開されます。
〈形成期〉は、さまざまな経験を重ねて視野を広げ、他者や異文化への理解を深めます。
〈完成期〉は、4年間の学びと自身の成長を振り返りつつ、将来の目標を目指して専門分野を究めます。

学びを支える仕組み

立教時間

将来の目標に向かって学びが進んでいるかどうか、オンラインで確認できるシステムです。授業のレポートや教員からのフィードバックなど、4年間のあらゆる学びの記録が蓄積されます。いつでも自身の成長を振り返ることができるため、将来のキャリアを考えるときに役立ちます。

導入期に自分だけの Vision を見つけ、 大学生活のベースを作る



入学後の最初の半年間である〈導入期〉は、立教大学というフィールドで学びを実践しながら心と身体を慣らししていく、大切な期間だと考えます。〈導入期〉の授業では、すべての新生を対象とする「立教ファーストタームプログラム」が中心に展開され、高校とはまったく異なる学びに適応するための科目群が用意されています。

学びの精神

－なぜ学ぶのか－

立教大学での学びを理解する

大学での学びをはじめるにあたり、大学で学ぶ姿勢を身につけ、また立教大学で学ぶことの意味について理解していくための科目群です。「宗教」「人権」「大学」の3つのテーマに加え、立教大学ならではの専門性をキーワードとした多様な科目が設置されています。教員との対話や議論、学生同士の協働作業などを通して大学の講義の受け方を体得。自ら調べ考える、大学での学びの姿勢を身につけます。

科目例

- 世界史の中のキリスト教
- ライフマネジメントと学生生活
- 立教大学の歴史
- 人文学からの学び（文学）
- 自然科学の探究
- 法と政治の世界

学びの技法

－どのように学ぶのか－

4年間の学修の基礎を身につける

各学部による少人数教育の授業により、その後のさまざまな授業科目を学んでいくうえで必要となる知識、スキューデントスキル（マナー、人間関係づくり、自己分析、学習目標づくり、学生生活・習慣、タイムマネジメント）、スタディスキル（文献検索方法、レポートの書き方、プレゼンテーションスキル等）、情報リテラシーなどを身につけ、キャリアプランの形成についても学びます。

科目例

- 文学部
- 入門演習
- 異文化コミュニケーション学部
- 基礎演習
- 経済学部
- 基礎ゼミナール1 など
- 経営学部
- リーダーシップ入門

各分野の第一線で活躍する講師陣から 学べる専門的な授業



研究分野の第一線で活躍する講師による専門領域の授業。

10学部27学科8専修1コースごとに構成した独自のカリキュラムで、個別の専門的な分野を深く追究していきます。

知的好奇心を満たす

10学部1コース

文学部	P.44
異文化コミュニケーション学部	P.66
経済学部	P.70
経営学部	P.78
理学部	P.84
社会学部	P.94
法学部	P.102
観光学部	P.110
コミュニティ福祉学部	P.116
現代心理学部	P.124
Global Liberal Arts Program	P.130

他学部の授業も 選択できます

興味のある研究分野など、他学部の開講科目も学べます。選択科目や自由科目を豊富に展開。各自の関心や問題意識に幅広く応じて学べるよう、他学部開講科目の履修も一部を除き認めています。

専門分野の枠を越えた多様な科目群で視野を広げる

専門科目と並んで「多彩な学び」と呼ばれる全学部共通の科目群を履修することで、自分の専門性を深めるのと同時に、可能性の幅を広げます。

幅広い知識と教養、総合的な判断力を養う

専門分野の枠を越えた幅広い知識と教養、総合的な判断力を養うことを目的に、300以上の科目が開講されています。本学が目指すリベラルアーツ教育の主軸となる科目群で、多様な今日的なテーマを扱う6つのカテゴリに分類されています。

第1カテゴリ 人間の探究	●聖書と人間 ●教育と人間 ●哲学への扉 ●フランス語圏の文化 ●GL101
第2カテゴリ 社会への視点	●入門・経済教室 ●日本国憲法 ●現代のビジネスを学ぶ ●観光学への誘い ●メディアと人間
第3カテゴリ 芸術・文化への招待	●文学への扉 ●日本の美術 ●音楽と社会 ●映像と社会 ●舞踊論
第4カテゴリ 心身への着目	●心の科学 ●身体パフォーマンス ●対人関係の心理 ●ストレスマネジメント ●アウトドアの知恵に学ぶ
第5カテゴリ 自然の理解	●数学の世界 ●生物の多様性 ●宇宙の科学 ●行動の科学 ●自然と人間の共生
第6カテゴリ 知識の現場	●GL201 ●国連ユースボランティア ●陸前高田プロジェクト ●RSL-グローバル(フィリピン)

※上記以外の科目も展開しています。



特徴的な科目やプログラムを以下にご紹介します。

コラボレーション科目

多角的視点からテーマを深く掘り下げる

専門分野の異なる複数の担当者が時代に即応した問題やテーマを取り上げ、1つのテーマを多角的な視点で捉え、総合的にアプローチしていきます。

- 音楽の生まれる場
- テレビという媒体
- 翻訳・通訳と現代社会
- キャスターが教える"コミュニケーション力"
- 睡眠文化論
- <トランプ時代>の解剖学
- しょうがい者の視点から捉え直す現代社会
- 2020年東京パラリンピック支援を考える など

グローバルリーダーシップ・プログラム(立教GLP)

グローバル企業・組織・社会で発揮できるリーダーシップを養う

グループで課題・テーマに取り組むプロジェクト型学習を通じて、リーダーシップを修得する教育プログラムです。将来的にグローバル企業・組織・社会で発揮できるような、権限やカリスマ性のいらないリーダーシップを身につけることを目標とします。

- GL101 ●GL111 ●GL102 ●GL201 ●GL202 ●GL301

国連ユースボランティアプログラム

開発途上国で、約5カ月間、国連や政府機関、NGOスタッフ、現地の人々とともに活動する

国連ボランティア計画と大学が連携し、学生を開発途上国へボランティアとして派遣するプログラムです。学生は、情報通信技術(ICT)、教育、環境などの分野において、業務指示書の範囲で国連や政府機関、NGOスタッフ、現地の人々と業務に取り組みます。国連による派遣者選考があります。

立教ゼミナール

広い視野や論理的思考を身につける

第1から第5のカテゴリで展開される授業のうち、異なる学部・学年の学生が1つのテーマをめぐって議論します。広い視野をもち、他者を尊重しながら自らの意見を論理的に主張する能力を高める、実践的な科目です。

- 修道院からみたヨーロッパ
- レポート、プレゼンテーション、ディベート等を通じて、会社と現代社会が抱える諸問題を考える など
- 小説の読みどころを探る
- 生物を科学的に理解する

立教ゼミナール発展編

専門性を高め、視野をさらに広げる

専門知識を一定程度身につけた3・4年次生を主な対象とし、異なる学部の学生が高度で学際的なテーマをめぐって議論を行い、自らの専門分野も客観視できるような広い視野を身につけていきます。

- 戦争・メディア・大衆文化
- 「安楽死」問題を考える
- ポスト高度成長期の子育てネットワークとジェンダー など
- 囲碁で養う「考える力」
- スポーツとコーチングにおける諸問題を考える

「国際協力人材」育成プログラム

大学の枠を越えて学び、グローバルに活躍する力を身につける

立教大学、明治大学、国際大学(新潟県)の3大学で連携して取り組む教育プログラムです。体系的に学べる英語による授業が3つの大学で開講され、他の2大学のキャンパスで学修することもできます。座学とフィールドワークを効果的に配置したプログラムです。

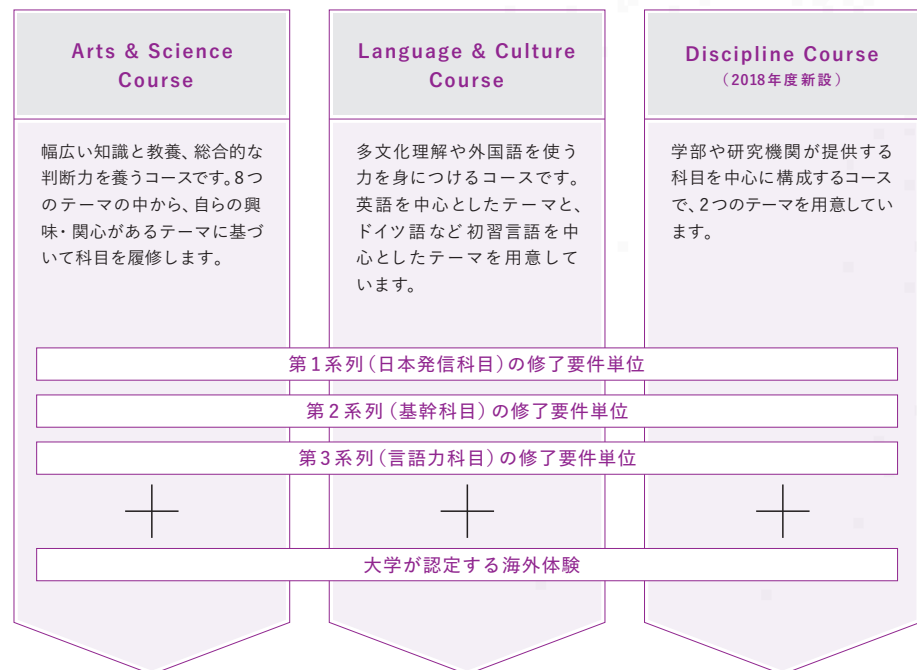
もうひとつの「専門性」を身につけて 国際的な視野を養う



所属学部専門性に加え、これからの社会でより必要とされる
グローバルかつ多面的に物事を考える力を身につけるため、
自らの興味・関心に沿って、科目を履修していく教育プログラムです。

グローバル教養副専攻のコース選択（2年次春学期以降）

コースは、「Arts & Science Course」「Language & Culture Course」「Discipline Course」の3つから構成。
2年次の春学期以降にコースを選択し、コース修了に向けて計画的に科目を履修します。



グローバル教養副専攻修了（卒業時に修了証を発行）

グローバル教養副専攻の修了要件

修了には大学が認定する海外体験を行い、テーマによって定められた系列ごとの単位数を履修して、
総計26単位（Discipline Courseは16単位）を修得することが必要です。副専攻で取得した単位は、
卒業要件に算入できます。修了すると、卒業時に大学から修了証が発行されます。

第1系列（日本発信科目）	日本について学ぶ科目群です。外国語で行われる科目もあります。理解を深め、「自己理解」「異文化との相互敬意」を養います。
第2系列（基幹科目）	全学共通科目「多彩な学び」や専門教育科目から選択できます。外国語を中心としたテーマでは、該当言語圏の科目が該当します。
第3系列（言語力科目）	実地で異文化との接触を経験するために、外国語での受・発信力を磨く科目群です。該当する外国語の自由科目が当てはまります。
海外体験	大学の正課科目や派遣留学が対象となります。正課外プログラムや自ら企画した課外活動も対象にできます。

例えばこんなテーマがあります

Arts & Science Course	Language & Culture Course / 言語A・言語B	Discipline Course
<p>テーマ3</p> <p>Global Art Experience 世界の芸術に触れてグローバルな感性を磨く。</p> <p>テーマ5</p> <p>Global Studies of Nature and Environment 地球の環境問題のグローバルなつながりと広がりを見て問題解決の糸口を求める。</p> <p>テーマ6</p> <p>Global Citizenship ボランティア体験などを通じて市民としての自覚を深め、行動できるようになる。</p>	<p>言語A 〔英語〕</p> <p>テーマ1</p> <p>Academic Studies in English 英語圏の大学へ留学するのに必要な英語力とアカデミックスキルを獲得する。</p> <p>テーマ2</p> <p>World Issues in English 世界中で起こっていることをリアルタイムで理解し、議論できるようにする。</p> <p>言語B 〔ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語〕 各選択言語の技能を磨くとともに、その語圏の文化や社会への理解を深める。</p>	<p>テーマ1</p> <p>Teaching Japanese as a Foreign Language 〔日本語教育学〕 外国語としての日本語教育の世界に触れる。</p> <p>テーマ2</p> <p>Data Science 〔データサイエンス〕 グローバル人材に求められるデータ活用力を身につける。</p>

複数言語の学習で多元的な視点を養い、異文化理解を深める

「異文化理解」を深め、異なる文化に属するさまざまな人々とコミュニケーションできる「言語運用能力」の習得を目指します。「聞く」「話す」「読む」「書く」をバランス良く配した授業構成でレベル別にクラス編成を行うため、自分の実力に合った学習ができます。また1年次には、英語以外に複数の言語から選択できる初習言語も学び、将来的に国際人としてグローバルに活躍できる力を身につけていきます。

1年次	2～4年次
<p>必修科目</p> <p>英語</p>	<p>必修科目</p> <p>初習言語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/ 中国語/朝鮮語/ロシア語*/ 日本語(外国人留学生のみ)</p> <p>自由科目</p> <p>さらに言語の力を磨きたい人のために</p>

英語を「学ぶ」だけでなく、英語を「使う」体験を繰り返す

英語は、徹底した少人数教育を取り入れ、全学生が学びます。1年次は4年間の英語学習の基礎となる英語力を身につけ、2年次以降はより高度な技術を養います。

異文化に対応できる知性とコミュニケーションスキルを身につける

英語に加えて、1言語を選択して学びます。1年次は基礎をしっかりと学んで表現力・運用能力を養い、2年次以降は自由科目で言語学習を進められます。



標準的なコミュニケーションから留学など海外で必要とされる高度な語学力まで、目的に合わせ大学4年間で継続的・系統的な言語科目を履修できます。また、必修科目開講言語に加えて、自由科目としてポルトガル語と日本語を開講していますので、自らの興味に従って履修することもできます。

※文学部のみ1年次必修科目として選択できます。文学部以外の学生は、自由科目として履修することができます。

オンラインで英語を学習 Rikkyo English Online (REO)

中学生英語の復習から、大学院留学レベルまでのアカデミックな英語の教材が、インターネットを経由して自由に学習できるWEBコンテンツです。



言語系科目

RIKKYO
Learning Style

実技に加え理論も学び、スポーツに広く携わる



健康維持、競技力向上のための
知識や文化的側面を理解する講義と
体力の向上を目指す実技で、
バランスの良い心身の成長を促します。



スポーツプログラム

心身に関する知識や技術を習得する

健康維持・増進のための科学的知識を学び、実践により基礎体力を向上させ、
心身に関する知性や判断力を養います。

種目	卓球 / テニス / トレーニング 初級 / はじめてのバレエ / バスケットボール / バレーボール / フットサル / フラッグフットボール / フロアボール / バドミントン / クライミング / ソフトボール
----	---

スポーツスタディ

実技に加え、講義で理論も学ぶ

スポーツ実践に加えて、全体の3分の1程度の講義が含まれる、実技・理論統合型の科目です。

種目	アダプテッドスポーツ / ゴルフ / ウォーター・エクササイズ / スキー / ダイエットフィットネス / サッカー / フットサル / セルフケア・エクササイズ / 太極拳 / 長拳 / 卓球 / テニス / 東洋的フィットネス / トレーニング / ネイチャーキャンプ / ボディシェイプ / 馬術 / レクリエーションスポーツ / ボディコンディショニング
----	---

学部や学年を越えて仲間と出会い、 他者とわかり合うすばらしさを知る



正課外活動には、学部や学年を越えたさまざまな仲間との出会いがあります。
貴重な体験から、目標を達成する喜びや他者とわかり合えることのすばらしさを知り、
人間的に成長する機会を得られます。

ボランティア	ボランティアセンターを設置し、ボランティアに関する相談、情報の収集・提供の ほか、ボランティアを考えるきっかけとなるセミナーを行っています。 ▶P.140
チャレンジ プログラム	日常の学生生活も“学びの場”とするために、フィールドワーク「清里環境ボランティ アキャンプ」「林業体験」「日韓キャンプ」などのさまざまな大学主催プログラムを 実施しています。 ▶P.138
クラブ・サークル	運動系や文化系、伝統のあるクラブから新しいことに取り組むサークルまで豊富に あり、池袋と新座、キャンパスの垣根を越えて交流が行われています。 ▶P.136
資格取得支援	在学中、あるいは卒業後のキャリアアップ支援として各種資格に対応したプロ グラムを設けています。 ▶P.146
キャリア・ 就職支援	スタディツアーや立教独自のインターンシップなど、広く将来や働くことについて 知り、自分自身の大学生活・人生について考えることを目的とするプログラムを提 供しています。 ▶P.150

専門性や語学、異なる文化を海外で学び、新しい価値観を得る

夏季・春季休暇中に行われる語学研修、半期・1年間を海外の大学で学ぶ派遣留学、海外インターンシップなど、多彩な留学・海外研修制度を展開しています。

年間
約1300名が
海外留学
プログラムに
参加

自分の目的にあった留学プログラムから選べる

長期留学	中・短期留学			
海外協定校への派遣留学 立教大学が国際交流協定を結ぶ約160の海外の大学へ、派遣留学ができます。	学部が主催する海外プログラム 海外の大学で、学部の専門分野の学びを深められます。	短期語学研修プログラム 語学力向上を目的に、夏季・春季休暇中に2～4週間程度実施します。	海外インターンシップ・サービスマーケティング 企業でのインターンシップなど、海外をフィールドに実践的に学べます。	その他の国際交流プログラム 海外の学生や現地の人と協働し、自らの視野を広げられます。



▶ P.38 にも関連情報があります。

国内だけでなく、海外でも。業界や企業に触れ、社会の仕組みを知る

企業や官公庁などで就業体験をするプログラムです。働くことをイメージできるだけでなく、社会の仕組みも学べるため、将来の進路を考えるために役立ちます。

立教型インターンシップ

企業・行政・団体と提携し、各実習先に立教大学の受け入れ枠を設けた就業体験型インターンシップです。キャリアセンターが選考し、実習先を決定。事前・事後研修も行います。

実習先企業例
三井住友銀行/巢鴨信用金庫/丸井/東レ経営研究所/ニトリ/日本アイ・ビー・エム/大正製薬/岡村製作所/豊島区役所 等

学部プログラム

各学部の学問分野に関連する企業や官公庁で就業体験を行う、正課科目の「学部型インターンシップ」です。自身の専攻分野の学びが社会でどのように生かせるかを学べます。

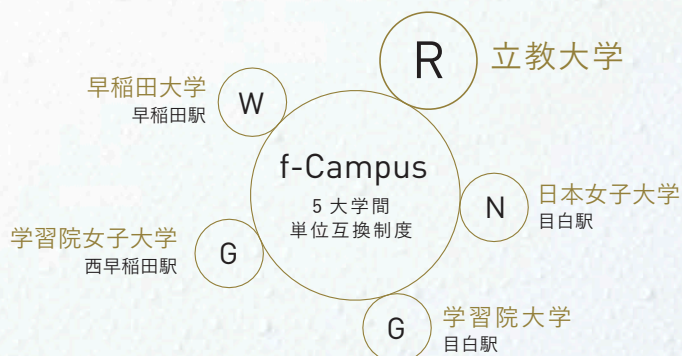
実習先企業例
朝日新聞社/富士屋ホテル/和光市役所/ジャパンタイムズ/ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート 等



▶ P.152 にも関連情報があります。

他大学のキャンパスで多様な科目を履修できる

協定他大学のキャンパスに直接出向き、多様な科目を履修することができます。科目数は5大学でおよそ1,200科目あり、それぞれの開講科目を提供しています。修得した単位を一定の範囲で所属学部の卒業要件単位に組み入れることも可能です。



留学・海外研修制度

立教大学は、建学当初から異なる文化を学び新しい価値観を身につけることを大切にしてきました。多くの学生が留学の機会を得られるよう、さまざまなタイプの留学・海外研修制度を用意しています。半期・1年間を海外の大学で学ぶ派遣留学、夏季・春季休暇に行われる語学研修、海外インターンシップなど、全ての学生が参加可能です。さらに、学部独自の留学・海外研修制度も多彩に展開しています。

※留学プログラムの詳細は、www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/international/abroad/ をご覧ください。

長期留学



海外の協定校への派遣留学

現地の学生と同じ授業を受けたい

学費免除で留学できる

立教大学が国際交流協定を結ぶ約160の海外の大学へ、派遣留学できるプログラムです。派遣先大学では、語学力や専門分野に応じた授業を履修し、現地の学生と一緒に大学生活を送ることができます。派遣期間は半期または1年間で、基本的に派遣先大学の学費は免除されます（一部、学費免除とならない協定校もあります）。留学までに約1年間の準備期間が必要です。

大学間協定による派遣留学

全学部の学生が応募可能です。世界26カ国・地域、87大学に年間約100名の学生を派遣しています。

学部間協定による派遣留学

学部が独自に協定を締結した協定校に留学できます。年間約90名の学生を派遣しています。所属学部の学生のみが応募可能です。

その他、長期留学が可能な制度もあります！

● 学費非免除留学プログラム（2017年度はアメリカ・セントクラウド州立大学及びセントクラウド州立大学で実施）

一部の協定校では、派遣留学制度とは別に、学費非免除による留学プログラム（半期・1年間）を実施しています。原則、応募条件を満たせば誰でも留学可能です。

● 認定校留学制度（私費留学）

学生が自らの目的に合わせて留学する大学を決定し、立教大学の公式な許可を受けて留学する制度です。認定校として許可を受けた場合、派遣留学制度に準じた学籍や単位認定等の措置が適用となります。

留学レポート

観光学の専門性をさらに深めながら、世界の人々と交流する

大学で専攻している観光学をより多くの視点から学びたいと考え、授業が充実しているセントクラウド州立大学の観光学科を選択。出発前は、英語で開講されている授業を多く履修して海外留学と同じような環境に身を置くことで、留学に備えました。現地では、多くの国立公園を擁する観光立国アメリカならではの、自然学や生物学の観点から学ぶ観光学がとても新鮮で、またさまざまな国籍や文化をもつ仲間たちとの交流も、貴重な経験となりました。卒業後は留学で得た国際的な視野を取り入れて、日本の観光地の発展に貢献していきたいです。

志波 有里枝 セントクラウド大学（アメリカ合衆国）へ派遣留学 観光学部 交流文化学科 千葉県 県立船橋高等学校



大学主催のカヤック体験イベント

〈留学検討の5つのポイント〉

point

1 動機・目標

「なぜ留学をしたいのか」、「留学して何をしたいのか」を明確にしましょう。留学生活で必ず直面する言葉や文化の壁を乗り越えるために、動機と目標は大切です。

point

2 情報収集

できる限り早く協定校の情報や応募資格、現地の情報等を収集し、出願の準備をしましょう。派遣留学では渡航の1年以上前に語学能力試験や学業成績を求めることがあります。

point

3 学業成績と語学力

立教大学の授業をしっかり受けて、現地での学習に必要な知識を一定レベル以上で身に付けましょう。派遣留学では、語学力だけではなく立教大学での成績も重要です。

point

4 資金計画

過去の留学経験者の留学報告書や各大学のWebサイトを読み、奨学金の受給を前提としない資金計画を立てましょう。奨学金受給を前提とした資金計画では不測の事態に対応できません。

point

5 臨機応変に

これまでに挙げたポイントを十分備えても、予想外の事態が発生してうまく進まないことはあります。一つの目標に固執せず、選択肢を複数用意して柔軟に対応できるように心がけましょう。

〈留学中の学籍と単位認定〉

海外の協定校への派遣留学プログラムでは、「在学留学」が「休学留学」を選択することができます（一部の大学間・学部間協定による派遣留学では「在学留学」のみ選択可能です）。「在学留学」では、留学先で修得した単位を本学の卒業要件単位として認定を申請することができ、4年間で卒業することも可能となります。一方、「休学留学」では、卒業に必要な標準在学年数である4年間で卒業することはできませんが、海外留学はもちろん就職活動にも十分な時間を確保できるメリットがあります。その他の留学・海外研修制度では、プログラムにより学籍と単位認定の扱いが異なります。

派遣留学協定校一覧(学生交換を伴う大学のみ)

色つき四角印は実施学部を区別しています。

■ 全学部対象 ■ 文学部 ■ 異文化コミュニケーション学部 ■ 経営学部 ■ 社会学部 ■ 法学部 ■ 観光学部 ■ Global Liberal Arts Program (GLAP)

ASIA



■ ブルネイ・ダルサラーム大学



■ 華東師範大学 ■ 山西大学
■ 吉林大学 ■ 南京大学
■ 中国人民大學 ■ 北京外国語大学
■ 南開大学 ■ 中山大学



■ 香港中文大学
■ 香港理工大学
■ 嶺南大学



■ バジャラン大学 ■ マラヤ大学
■ インドネシア大学



■ マラヤ大学



■ モンゴル国立大学



■ トリブバン大学



■ アジア・トリニティ大学
■ アテネオ・デ・マニラ大学



■ シンガポール国立大学
■ 南洋理工大学
■ シンガポール経営大学



■ 梨花女子大学 ■ 慶熙大学
■ 高麗大学 ■ ソウル市立大学
■ 西江大学 ■ 韓国外国語大学
■ 延世大学 ■ 漢陽大学
■ 聖公会大学



■ 国立政治大学 ■ 国立台湾師範大学
■ セントジョーンズ大学 ■ 長庚大学
(聖約翰科技大學)
■ 天主教輔仁大学
■ 国立成功大学



■ チュラロンコン大学
■ タマサート大学
■ チェンマイ大学



■ RMIT大学ベトナム校
■ ベトナム国家大学ハノイ・社会科学人文科学大学

EUROPE



■ インスブルック大学



■ ルーヴェン大学



■ マサリク大学



■ オーフス大学
■ コペンハーゲン経営大学



■ トゥルク大学



■ INALCO (フランス東洋言語文化研究所)
■ パリ・ディドロ大学 ■ FBS経営大学
■ パリ東大学マルヌ・ラ・ヴァレ校 ■ IESEG経営大学
■ リヨン第3大学 ■ NEOMA経営大学



■ ヴッパータール大学 ■ ケルン大学
■ フンボルト大学 ■ フランクフルト大学
■ ボン大学 ■ 第9学群
■ マールブルク大学 ■ フライブルグ大学
■ テュービンゲン大学 ■ EBS経営大学
■ エアランゲン・ニュルンベルグ大学 ■ ケルン経営大学



■ ダブリンシティ大学



■ ジョンカボット大学



■ ライデン大学
■ ロッテルダム・エラスムス大学
■ ゾイド応用科学大学
■ ラドバウド大学ナイメヘン校
■ ライデン・ユニバーシティ・カレッジ



■ BIノルウェー経営大学
■ NHHノルウェー経済大学
■ ヴォルダ大学



■ ワルシャワ大学



■ リュブリャナ大学



■ アリカンテ大学
■ サラマンカ大学
■ セビリア大学
■ レオン大学
■ バスク大学



■ ウプサラ大学
■ ルンド大学



■ サンクトガレン応用科学大学



■ サバンジュ大学



■ アペリストウイス大学 ■ ケンブリッジ大学
■ エセックス大学 ■ マンチェスター大学
■ シェフィールド大学 ■ ウィッテンバーグ大学
■ チェスター大学 ■ サウサンプトン大学
■ リンカーン大学 ■ スターリング大学
■ バース大学

LATIN AMERICA



■ サンパウロ大学



■ モンテレイ工科大学

NORTH AMERICA



■ シェルブルック大学
■ セントメリーズ大学
■ ダグラス大学
■ プレーザンバレー大学
■ ケベック大学モントリオール校
■ ウォーターloo大学レニソン校
■ ヴィクトリア大学
■ クイーンズ大学
■ モントリオール経営大学



■ アーカンソー州立大学 ■ セントラル・オクラホマ大学
■ ウェスト・アラバマ大学 ■ テキサス州立大学サンマルコス校
■ ウェスト・フロリダ大学 ■ トレド大学
■ ウェスタン・ミシガン大学 ■ ニューメキシコ大学
■ ヴァージニア大学 ■ ノースイースタンイリノイ大学
■ オレゴン大学 ■ ペロイト大学
■ ケント州立大学 ■ マーシー大学
■ コーネル大学 ■ モンタナ州立大学
■ シカゴ大学 ■ ルイジアナ州立大学
■ ストックトン大学 ■ ワシントン大学
■ セントクラウド州立大学 ■ サウス大学

■ リンフィールド大学 ■ セントラルフロリダ大学
■ ハワイ大学ヒロ校 ■ ハワイ大学マノア校
■ サンディエゴ州立大学 ■ ウィッテンバーグ大学
■ オハイオ州立大学 ■ ヴァージニア・ウェスレアン大学
■ イースタン・ケンタッキー大学 ■ オーガスタナ大学
■ オハイオ州立マイアミ大学 ■ ジャクソンビル大学
■ カリフォルニア州立大学 ■ トリニティカレッジ
■ サンマルコス校 ■ ニューヨーク州立大学ジェネセオ校
■ クイーンズカレッジ ■ バーモント大学
■ ノースイースタン大学 ■ ミリケン大学
■ ミズーリ大学セントルイス校 ■ モラヴィアン大学

OCEANIA



■ ニューサウスウェールズ大学 ■ 南オーストラリア大学 ■ クイーンズランド工科大学
■ マドック大学 ■ シドニー大学 ■ ディーキン大学
■ ラトロープ大学 ■ マッコリー大学 ■ モナシュ大学



■ ウェリントン・ヴィクトリア大学

中・短期留学



1. 学部が主催する海外プログラム

学部の専門分野に関わる勉強がしたい

語学力も高めたい

海外の大学で、学部の専門分野の学びを深めることを目的とするプログラムです。全ての学部が独自の海外プログラムを展開しています。プログラムによっては、同時に語学の授業も受けることができます。主に長期休暇中に実施され、期間は2～4週間程度の短期のものから、半年程度のものまでさまざまです。単位が認定されるプログラムもあります。

プログラム／一例

● 法学部 オックスフォード・サマープログラム(イギリス)

オックスフォード大学で、4週間にわたり法学と西洋古典学を学びます。前半は、オックスフォード大学の教員による講義を受け、後半は裁判所、法曹学院、法律事務所等を見学するとともに、個別研究を行い、最後に研究成果の口頭発表を行います。



● 現代心理学部 都市の記憶と表象文化(アメリカ)

ニューヨークに短期滞在し、劇場や美術館を巡ることを通じて、都市と文化がいかに相互に触発・形成しあい、その記憶がどのように蓄積されていっているのかを体感的に学びます。事前授業を踏まえ、知識と経験の両面からアプローチを行います。



● 社会学部 グローバル・スタディ・プログラム(オーストラリア)

オーストラリア・シドニーに4週間滞在し、ニューサウスウェールズ大学付属語学学校での英語研修やリサーチ、企業訪問などを通じて、国際的な視野を広げると同時に、国際舞台に必要な語学力、コミュニケーション・スキル、アカデミック・スキルを身につけます。



原則全員が留学する学部／学科もあります！

異文化コミュニケーション学部、経営学部国際経営学科では、原則全員が海外プログラムに参加します。▶ 詳しくは学部・学科紹介ページへ

● 異文化コミュニケーション学部……………P.66

2年次秋学期に、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語のいずれかの言語圏へ12～16週間*留学する「海外留学研修」を実施しています。

*期間は派遣先によって異なります。学部間協定校への派遣の場合は約1年の留学も可能です。



● 経営学部 国際経営学科……………P.82

1年次に、オーストラリア、カナダなどの大学で3週間、経営学を英語で学ぶ基礎固めと、英語でのビジネス・プレゼンテーション能力を磨く「Overseas EAP」を実施しています。研修では、現地のビジネスに関連した課題に対し、チームごとにビジネスプランを立案します。



2. 短期語学研修プログラム

長期休暇を利用して語学力をアップしたい

長期留学の前に短期留学を体験してみたい

夏季・春季休暇に実施する、語学力向上を目的とした2～4週間程度のプログラムです。英語圏では、アメリカ、カナダ、オーストラリア等多様な派遣先があります。また、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語の各言語圏でのプログラムも実施しています。海外の大学で各自のレベルに応じた授業を受け、集中的に語学力を伸ばすことができます。

留学レポート

語学だけではなく、異なる価値観を理解する大切さを学ぶ

第二外国語としてドイツ語を勉強するうちに他言語を学ぶ楽しさを知り、ドイツへの留学を決めました。ドイツ語は大学で初めて触れる言語だったので、すべてドイツ語で行われる現地での授業には苦労しましたが、4週間の日程の中で日常会話ができるくらいまで上達し、自分にとって大きな自信となりました。またチームごとにプレゼンを行う授業では、異なる価値観や歴史的背景をもつ他者を理解する大切さを学びました。語学研修はただ外国語を勉強するだけでなく、その国の文化や社会を身をもって体験できるのも大きな魅力だと思います。

小池 佳勢 ライプツィヒ大学(ドイツ)へ短期語学研修 法学部 法学科 東京都 東大和南高等学校



チームの仲間とライプツィヒ大学前で



3. 海外インターンシップ、サービスラーニング

実践的に学びたい

海外で働くイメージをもちたい

企業でのインターンシップや、サービスラーニング(事前事後学習を伴う、社会で起こるさまざまな課題を題材とした体験学習)など、海外をフィールドに実践的に学ぶプログラムです。期間は2週間～半年程度のものまでさまざま、単位が認定されるプログラムもあります。また、「国連ユースボランティア」にも毎年学生を派遣しています。

留学レポート

海外で働くことの難しさを実感。夢に向かってさらなる挑戦へ

将来は英語を生かして海外で働くという夢があり、マレーシアのトヨタ現地法人でのインターンシップに参加。期間中は、日系企業でありながら社員の約9割がマレーシア人という国際的な職場で、自社の認知度向上のためのマーケティング業務に携わりました。実際に体験したビジネスの現場では、学部の授業で学んだ経営の基礎知識が活用できるという実感とともに、その応用の難しさも肌で感じ、帰国後はより意欲的に授業に取り組むようになりました。今後も経営学とビジネス英語の学びを深め、グローバルに活躍できる人材を目指したいです。

竹内 美玖 UMWトヨタ自動車株式会社(マレーシア) 2017年8～9月実施 海外インターンシップ 大学直営プログラムに参加
経営学部 国際経営学科 東京都 錦城高等学校



インターンシップ先での業務風景



4. その他の国際交流プログラム

海外の学生と、協働でプロジェクトに取り組む

海外の大学生や現地の人との交流をととして、自らの視野を広げることを目的としたプログラムです。

陸前高田プロジェクト

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市でのフィールドワークを軸に、スタンフォード大学(アメリカ)の学生と協働で、被災地の現状を英語で学び、考え、発信する震災復興に関する課題基盤型学習プログラムです。



陸前高田プロジェクト

リーダーシップフォーラム

立教大学、慶應義塾大学、延世大学(韓国)、復旦大学(中国)の日中韓4大学の学生が集い、英語による講義、プレゼンテーション、ディスカッションをととして政治・経済・社会・文化などの理解を深めるプログラムです。2018年は延世大学の主催で開催されます。



リーダーシップフォーラム

〈キャンパスでできる異文化交流〉

立教大学では、池袋・新座両キャンパスに日本人学生と外国人留学生在が交流できる「グローバルラウンジ」というスペースを設置しています。グローバルラウンジでは、日常的な異文化交流の促進および海外留学に向けた支援を目的に、外国語で会話を楽しむ「World Café」、外国人留学生在が自国の文化を紹介する「Country Festa」、外国人留学生とともに日本文化を体験する異文化イベント、海外留学経験者による留学体験談、協定校の担当者による留学説明会などのイベントを定期的に開催しています。



「World Café」@グローバルラウンジ

外国人留学生と外国語での会話を楽しみながら、異文化や価値観の違いに触れることができるイベントです。指定されたトピックについて、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、朝鮮語で話することができます。



キャンパスでできる国際交流

実施されている企画(例)
※年度によって変更するプログラムもあります。

- 新入留学生歓迎会
- 東京六大学野球観戦
- 新座国際交流クリスマスパーティー
- 大相撲トーナメント観戦

〈安心して留学するためのサポート〉

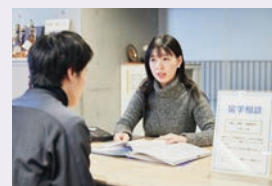
留学支援のための奨学金

立教大学では学生の海外留学を促すことを目的に、さまざまな留学プログラムに参加する学生を対象とする奨学金の充実に取り組んでいます。

- 立教大学グローバル奨学金など 詳細はP.142へ

相談窓口

グローバルラウンジ相談コーナーおよび国際センター窓口では、将来留学を希望する学生に対するアドバイスや留学プランの相談などを行っています。相談コーナー開設時間は国際センター掲示板やFacebook等でご確認ください。



学部・学科紹介

10学部27学科8専修1コースごとに独自のカリキュラムを構成し、個別の専門的な分野を深く追究していきます。

池袋キャンパス

文学部

異文化コミュニケーション学部

経済学部

経営学部

理学部

社会学部

法学部

Global Liberal Arts Program (GLAP)

新座キャンパス

観光学部

コミュニティ福祉学部

現代心理学部

文学部

時代を超え、空間を超え、 人間とその文化の本質を追求する人文学へ。

文学部で行われる教育・研究活動は、「人文学」あるいは「人文科学」という言葉で表されます。人文学は、人間およびそれとかかわる諸分野を多角的・総合的に考察し分析していく学問体系であり、得られた知見を活用して「文」すなわち言葉を読み解き、人間の真の姿を理解すること、時代を超え空間を超えて人間や社会のあるべき姿を創出していくことを目的としています。立教大学文学部は、次の4学科から成り立ちます。

キリスト教学科は、キリスト教とキリスト教にまつわる文化現象を広く学ぶことを通して、人間や世界に対する理解を深めます。

文学科は、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、日本文学、文芸・思想の全5専修から構成されています。言語や

文学作品はもとより、多彩な文化現象を読み解きながら、思索し発信する力を養います。

史学科は、世界史学、日本史学、超域文化学の3専修から成り、多様な時代・地域・文化に関する考察を深めながら、自らの文化を相対化し、自己をより良く理解することを目指します。

教育学科は、教育にかかわる多様な問題を扱い、教育心理学、教育社会学などの幅広い学問領域を総合的に学習します。3年次より、教育学専攻課程と初等教育専攻課程のいずれかを選択します。

文学部では、多層多元的で変化がはげしい現代社会に生きつつも、広い視野に立ったものの見方や考え方を身につけるために、学科や専修の枠を自由に超えられる独自のカリキュラムを用意しています。

〉キリスト教学科

〉文学科

英米文学専修
ドイツ文学専修
フランス文学専修
日本文学専修
文芸・思想専修

〉史学科

世界史学専修
日本史学専修
超域文化学専修

〉教育学科

自分を知り、人間を知り、世界を知る

「知ること」に文学部の研究・教育があり、これを教員と学生との協働営為で実現しようとする試みが、文学部の教育です。毎年、文学部集会で意見を交わし、柔軟性のあるカリキュラムを編成しています。

「当たり前」を崩す「知」の力

高校までの生活で知らず知らずの間に身についた「当たり前」というものの見方は、現状を無批判に肯定する鎖であり、公正と平等を欠いたご都合主義の壁です。文学部の「知」は、こうした鎖を断ち切り、壁を壊しながら、ものの本質を見抜く眼差しを鍛えます。

人生という謎、世界という華にアプローチ

「おのれ」とは何か、生きる意義とは何か、いかにすれば世界認識を獲得できるか。こうした課題に絶えず挑んできた先人たちの成果と遺産をまとめ直し、人生の謎、世界の華に迫るアプローチの方法を探ります。

越境する学問

生きた学問は、ひとつの枠に閉じこもらず、自ずと他に導かれます。変革が求められる現代において、思考、行動し、そして表現するのは自分です。現実に関わりかけることで新たな課題を見出し、研究していきます。

〉学部Webサイト: www.rikkyo.ac.jp/undergraduate/arts/

〉デジタルパンフレット: www.rikkyo.ac.jp/admissions/brochure/

PICK UP RESEARCH 研究紹介



過去を紐解き、人の“今”と“未来”を考える

私の専門は、建築文化論およびイスラーム地域研究です。13～20世紀に存在したオスマン帝国では、イスラーム教徒だけでなく、キリスト教徒やユダヤ教徒など、異なる宗教や文化をもつ人々が連携し、共生していました。この歴史はオスマン建築の様式にも現れています。たとえば、イスラームとキリスト教は異なる宗教ですが、モスクや教会堂には両者共通の様式が用いられた時代があり、キリスト教徒の建築家がモスクを建設したこともありました。歴史を考察すると、2つの宗教が平和に共存した時代が長くあったことがわかります。このことは、対立が取りざたされる現代社会を生きる私たちに、知恵と勇気を与えてくれます。

歴史的建造物をととして、その背景にある人間社会を読み解く。その上で現在と未来の人間社会について思いをめぐらす。それが私の研究の醍醐味だと考えています。

文学部 史学科 超域文化学専修 教授

山下 王世

PROFILE

1993年イスタンブール工科大学建築学部建築学科卒。
米国MITアガハーン・イスラーム建築プログラム研究員、東京外国語大学助教を経て、2009年に本学着任。
専門はイスラーム建築史・文化史、トルコ文化論。

担当講義

- 超域文化学講義11
(イスラーム複合社会史1)
- 専門基礎13
(アジア・アフリカ系言語3
トルコ語)
- フィールドワーク11 など



キリスト教学科

キリスト教が影響を与え、与えられた、 文化・思想・芸術を学ぶ。

人類の社会と文化は、宗教を抜きに考えることはできません。中でもヨーロッパに根づいたキリスト教は、その地に成立した近代社会と共に、ヨーロッパを超えてさまざまな形で現代世界の形成に深くかかわってきました。今日、キリスト教徒は世界人口の約3分の1に達するといわれます。キリスト教学科では、そうしたキリスト教を中心にすえ、宗教の歴史的展開を批判的に跡づけし、宗教思想や宗教に直接かかわる文化を多角的に学んでいきます。信仰やキリスト教経験の有無は問いません。4年間の学びを通して人類の社会と文化を深く洞察し、世界をより良く理解するための基本的教養と国際的感性を身につけます。

身につく力

キリスト教と
社会の関連性を
見通す洞察力

異文化理解から
得られる国際的・
歴史的感性

原典・外国語の
テキストを綿密に
読解する能力

カリキュラムの特徴

入門的科目群で複合的な学問を体験し、 応用につながる自らの関心を見出す

必修科目である1年次の「入門演習」と2年次の「キリスト教学基礎演習」では、キリスト教学で扱う聖書と歴史、神学と思想、アジアと日本、文化と芸術の各領域について概要を学びます。また、自らテーマを設定して、そのテーマを掘り下げるための資料収集、整理、分析、さらには論文作成についての基礎的な考え方や方法を学んでいきます。「キリスト教学入門講義」では、キリスト教学を学ぶための土台となる、聖書とキリスト教史についての基礎知識を習得します。

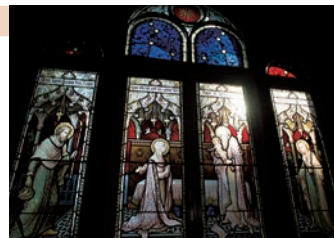
専門的科目群で宗教を分析・理解し、 自ら積極的に調査・研究する力を養う

2年次から始まる「キリスト教学講義」は、キリスト教という現象を領域ごとに広くかつ多角的に学ぶ基礎的講義群と、各領域についての知識をより専門的に深めていく専門的講義群から構成されています。さらに、特定のテーマに関して自ら積極的に調査・研究していく「演習」、机上の知識を批判的に見直していく「フィールドワーク」、外国語文献を精読していく「中級講読」「原典講読」により、講義で得た知識を応用的に展開させていきます。本学科では、中学校の「宗教」「社会」、高等学校の「宗教」「地理歴史」「公民」の教員免許が取得できます。

Q & A 「信仰を前提とせず文化・社会現象を対象とするキリスト教学」とは、どういうものですか。

2000年以上にわたって世界の歴史や文化に大きな影響を与え続け、また影響を受けてきたキリスト教と、文化・社会の相互関係について研究します。さらに、研究の対象となる場所を実際に訪れて、人々に聞き取り調査をしたり、街並みや建物などの観察・調査をして学びを深める「フィールドワーク」を学びの一環として取り入れてい

ます。「キリスト教と科学」「キリスト教と映画」「キリスト教と封建社会」など、あらゆる領域とキリスト教との関係がキリスト教学の対象です。キリスト教を学問研究の対象として学ぶことが目的ですので、学生に「信仰」の有無は一切問いません。



撮影協力：目白聖公会

専任教員と演習テーマ・研究分野

阿部善彦 中世キリスト教思想史
長谷川修一 ヘブライ語聖書、聖書考古学
廣石 望 新約聖書、原始キリスト教

加藤磨珠枝 西洋美術史、キリスト教美術
西原廉太 現代の神学、組織神学、現代社会とキリスト教
Shaw, Scott 西洋音楽史、キリスト教音楽

Sonntag, Mira 日本のキリスト教、アジアのキリスト教
梅澤弓子 キリスト教倫理学
☆市川 誠 キリスト教教育、比較教育学

1つの宗教から、多様な世界を理解する

すべての文化の土台にある「宗教」について深く学びたいと考え、入学しました。「聖書を勉強するの？」と聞かれることがありますが、それ以外にも、キリスト教の学びには多様な切り口があります。例えば、2年次から履修できる「キリスト教学講義」では、「キリスト教と〇〇」を副題とする授業が多く、幅広い事柄について宗教との関係性から理解を深めていくことができます。実際、私は演習で「アイドルの宗教性」というテーマで論じたこともあります。

キリスト教の影響下にある文化は欧米が中心と思われがちですが、実際の世界はもっと幅広く、そこには人々の多様な暮らしが存在します。授業の学びを通じて、歴史や社会問題を考える際にも、“さまざまな立場の視点”を考慮するようになりました。来年の卒論執筆では、たくさんの文献や論文に触れ、テーマに対する多角的な論述をすることが目標です。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語ライティング	入門演習A1a	超域文化概論	心理学1	
2		美術の歴史	英語ディスカッション1	英語プレゼンテーション1		
3			キリスト教学講義		フランス語基礎	
4		フランス語基礎			キリスト教と芸術	
5		キリスト教学入門講義			「宗教」とは何か	
6						



3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	フランス語スタンダード1					TOEIC1 L
2	TOEFL2 R				文学講義334	メディアとジェンダー
3	演習A2	基礎中国語入門	経営戦略論		立教ゼミナール	
4		キリスト教学講義37	超域文化講義1		基礎中国語入門	
5						
6						

授業紹介

1 導入期

- 入門演習A1
- キリスト教学入門講義1(聖書1)
- キリスト教学入門講義3(キリスト教史1)

2 形成期

- キリスト教学基礎演習A1・A2
- フィールドワークA1・A2
- キリスト教学中級講義1〜3
- ヘブライ語中級講義
- ギリシア語中級講義
- ラテン語中級講義
- キリスト教学講義7・8(比較宗教学1・2)

3 完成期

- 演習A1〜8
- 卒業論文(制作)指導演習
- キリスト教学原典講義1〜3
- キリスト教学講義9・10(神学思想)
- キリスト教学講義19・20(アジアの宗教)

PICK UP

福音書のイエス物語の多面的な読解

■キリスト教学入門講義2 新約聖書の冒頭に配置されている4冊の「福音書」には、キリストと信じられるに至ったナザレのイエスの生前の言行と、彼の死と復活の運命について多様な伝承が保存されています。本講義では、あらかじめ指定された聖書箇所翻訳上の問題、伝承の起源と発展、文化史的背景やその後の影響史、および現代的な意義について考察します。

授業テーマ／一例

- ・キリスト教の誕生／人の誕生
- ・悪霊信仰と奇跡行為
- ・誘惑と思い悩み
- ・上昇志向と奉仕

西洋キリスト教美術は他宗教と密接なかかわりがあった

■キリスト教学講義21 西洋中世美術とキリスト教信仰は表裏一体の関係で捉えられ、その中で他宗教はしばしば敵対者でした。その一方で、キリスト教美術は他の宗教美術と密接にかかわり発展したのも事実です。本講義では、西洋キリスト教美術とユダヤ教やイスラームなどの他宗教との相互関係について、理解を深めます。



イスタンブール・アヤソフィヤ博物館の
キリスト・モザイク(13世紀)

文学科

他者を知り、自己を知る。 「文」を読み解き、新たな意味を創造する。

文学科は、多様な「文」を読み解きながら学ぶ場です。ここでいう「文」とは、「人文科学」のことで、一人ひとりの人間が、それぞれの時代や文化・言語・地域などの環境の中で、いろいろなことを経験し、感じ、考えたことの結晶・痕跡を解き明かす領域です。文学科には5つの専修があり、それぞれ多様な科目を展開していますが、その理念や目的は共通です。それは、言語への関心を深め、文化をより良く理解し、他者を愛し、自己を知ることです。

文学科で学ぶのは、詩歌、小説、評論などの「文学」だけではありません。哲学、芸能、音楽、舞台芸術、サブカルチャーといった、古今東西のさまざまな文化に接します。「文」を読み解くことは、そこに表現された内容を正確に読みとることだけを意味しません。「文」には多様な可能性が秘められていて、筆者自身が意識していなかった意味を新たにそこから読

みとることもできます。その意味を発見するには、現代に生きる私たちが、その「文」と対話を重ねることが重要です。文学科には、学生各自が読み解き考えたことを発表し、議論するための演習授業が多数展開されています。そこでの学びを通して、互いの意見が異なることの面白さを味わいながら、自分の考えを自分の言葉で表現する能力や、他者と話し合いながら、新たな意味を「文」から発見していく能力を身につけることができます。

「文」を読み解き、考え、議論することは、新たな意味を創造する営みでもあります。5つの専修のうちから、みなさんの好きな言語や分野を選んでください。どの言語、分野でも、「文」を通して、言語や文化、そして人間に対する理解を深め、自ら表現し発信する力を磨くことは、きっとみなさん一人ひとりを大きく成長させてくれます。

5つの専修で専門的に深く学習する

文学科では、英米文学専修、ドイツ文学専修、フランス文学専修、日本文学専修、文芸・思想専修のいずれかに所属し、1年次から各専修の専門科目を履修します。それにより、1年次から4年次までの4年間の学習を計画的に進められます。

文学的素養を幅広く身につけられるカリキュラム

文学部の共通科目である基幹科目Cでは、文学科の科目以外にキリスト教学科、史学科、教育学科の科目も履修することができます。また、所属する専修以外の科目も自身の興味に応じて履修することができ、特に指定科目Cについては制限なく自由に学べます。

卒業後の進路を見据えた幅広い科目群を用意

文学部の共通科目である基幹科目AおよびBでは、卒業後の進路も見据え、「人文学とキャリア形成」「インターンシップ」「海外フィールドスタディ」など、“文学”の域にとらわれない、幅広い学びの機会を用意しています。

少人数による演習形式の授業でじっくりと学習

文学科では、他学科と同じく文学部がもっている従来からの伝統を引き継ぎ、少人数による演習形式の授業で、調査・研究の方法や、発表・討論のノウハウなどをじっくり学習します。

Q & A 文学科の専修を併願することはできますか。

文学科は、すべての入試種別において専修ごとに募集し、合否判定を行っているため、入試の際は5つの専修のうち1つを選択して志願することになります。ただ、立教大学には一般入試(全学部日程[3教科方式、グローバル方式]・個別学部日程)、大学入試センター試験利用入試、自由選抜入試、アスリート選抜入試など、さまざまな入試方法があり、試

験日が異なれば複数の専修を受験することも可能です。たとえば、全学部日程で英米文学専修を受験し、個別学部日程でフランス文学専修を受験することができます。また、第一希望の専修を複数回、受験することもできます。自分の進路をしっかりと見極め、選択してください。

文学部文学科は5つの専修から1つを選択 他専修の科目も興味に応じて履修可能

文学科は、英米文学専修、ドイツ文学専修、フランス文学専修、日本文学専修、文芸・思想専修から構成されており、入試や可否の判定は専修ごとに行います。
学生は各専修に属して各々の専門科目を履修しつつ、同時に他専修の科目を履修することができます。
また、他学科の単位も取得が可能です。

英米文学 専修

英語に熟達しつつ、地域を越えてグローバルに英語圏の文学・文化を探求します。

P.50

ドイツ文学 専修

高度なドイツ語能力を養い、オーストリア、スイスなどにも広がるドイツ語圏の文学・文化を研究します。

P.52

フランス文学 専修

フランス語を習熟し、世界中に分布するフランス語圏の文学と文化を研究します。

P.54

日本文学 専修

古代から現代までの日本文学・文化を研究し、日本語という言語の特質を考究します。

P.56

文芸・思想 専修

名著・名作を精読し、現代の文芸・思想に触れ、創作的・思想的な姿勢を身につけます。

P.58

演習科目＋講義科目の一部（所属する専修の科目を履修します）

入門講義[2]
入門演習[14]
基礎演習[14]
英語基礎演習[14]
英語表現演習[20]
演習[30]

ドイツ語入門[12]
入門演習[6]
ドイツ語基礎演習[17]
ドイツ語表現演習[14]
ドイツ文学・文化演習[15]
演習[12]

フランス語入門[12]
入門演習[6]
フランス語基礎演習[13]
フランス語表現演習[10]
フランス文学・文化演習[8]
演習[12]

入門演習[10]
日本文学研究法
演習[36]
研究小論文
卒業予備論文(制作)

入門演習[6]
演習[32]
卒業論文(制作)予備演習

講義科目（他専修の科目も履修可能です。150以上の科目から自由に選択できます）

文学講義[42]
■英語学概説
■イギリス文学概説
■アメリカ文学概説
■英米詩
■文学批評・理論
■英米演劇
■表象芸術
■イギリス文化
■アメリカ文化
■英語圏文化
■比較文化
その他

文学講義[23]
■ドイツの言語
■ドイツの思想論
■ドイツの文学論
■ドイツのメディア論
■日独比較文化
■ドイツの身体文化
■ドイツの都市文化
■ドイツの生活文化
■ドイツのユダヤ系文化
■ハプスブルク帝国の文化
■ドイツ中世の文学・文化
その他

文学講義[18]
■仏中世・ルネサンス文学
■仏古典主義文学
■仏近・現代小説
■フランス語圏文学
■フランス哲学
■フランス思想
■表象文化論
■日仏比較
■フランス文化史
■仏現代社会
■フランス語学概説
その他

文学講義[46]
■日本文学史
■日本語史
■古代日本文学
■中世日本文学
■和歌・俳諧
■近世日本文学
■近現代日本文学
■日本語学
その他
日本文学講読[8]
■古代、中世、近世、和歌・俳諧
漢文学講読[4]

文学講義[19]
■文芸評論
■マンガ/アニメ表現論
■小説創作論
■広告文芸論
その他
哲学講義[7]
■現代思想の諸問題
■芸術論
その他
哲学概論[2]
現代倫理
文芸・思想文献講読[4]

文学科 英米文学専修

英語に熟達し、地域を越えて グローバルに英語圏の文学・文化を探究。

英米文学の学びは世界に開かれています。英語を読み、書き、聞き、話す「英語力」を身につけることは英米文学専修の目的の1つですが、もっと大切なのは「身につけた英語で何をするか」。21世紀の世界がどうあるべきか、それに向かってどう努力すればよいかを真剣に探ります。最良の方法は他者に学ぶこと、先人の智慧に触れ、自分とは違う人たちの考えに接することです。アフリカ、アジアも含む世界中の英語圏を対象に、人間の生き方や考えが感動的に表される詩・小説・演劇・映画作品などから最新のニュースまで、多くの表現に触れ、未来が求める新しい自分を創造していきます。

身につく力

他者の知見に触れ
自らを伝える
自己表現力

社会で役立つ
実践的な
英語運用能力

文学作品を
分析しまとめる
文章作成能力

カリキュラムの特徴

英語を学び、そして英語で学ぶ

英米文学専修では、英語を読み、書き、聞き、話すという4つの基本技能を高めるために、まず全学部を対象とした「言語教育科目・英語」で英語を学びます。そして、そこで培った技能をさらに伸ばすため、英米文学専修の専門科目群として2年次から4年次まで、英語にまつわる多様な科目が展開されます。こうした専門科目では、「英語を学ぶ」ではありません。英語学・英米文学・英米文化などを「英語で学ぶ」ことになります。

幅広い分野の科目から、関心に沿って 自由に計画できるカリキュラム

1・2年次は、英語と英米文学に関する入門、および基礎の演習と講義を中心に展開し、2年次からは同時に選択の講義科目も学んでいきます。3・4年次は演習を軸に、自分の関心と目標に沿って、文学、文化、言語など、幅広い分野から自由に履修計画を立てていきます。卒業論文を執筆することは4年間の目標のひとつですが、それに相当する単位数の科目を受講し合格すれば、卒業論文の代わりになります。また、文学部他学科・他専修や他学部科目も履修できます。

Q & A 文学科英米文学専修では、文学を中心に学んでいくのですか。

英語で書かれた文学を中心としています。イギリスやアメリカだけでなく、世界各地の英語圏の社会と文化についても広く学び、豊かな英語力の獲得を目指しています。そのため、文学のほか映画、音楽、美術、雑誌、新聞

など、さまざまな素材を通して「英語で学ぶ」授業を実践し、英語運用能力や自己表現能力、文章作成能力を向上させる科目を展開しています。

専任教員と演習テーマ・研究分野

★Collins, Clive S. 英語教育、創作
藤巻 明 ルネサンス期から現代までのイギリス詩
古井義昭 アメリカ文学・文化史
岩田美喜 イギリス・アイルランド演劇
唐澤一友 中世英語英文学・英語史
小山太一 イギリス小説

新田啓子
澤入要仁
Yates, Michael D.H.
舌津智之

人種と性からみる
アメリカ文学と文化
アメリカ詩・比較文学・比較文化
ポストモダン文学、批評理論
アメリカのモダニズム文学
—小説・詩・演劇

小椋道晃 アメリカ文学・ジェンダー・
セクシュアリティ理論
中村麻美 ユートピア・ディストピア文学に
おけるノスタルジア



Student's Voice > 深澤 花香

3年次 山梨県 甲府南高校

文学が示してくれた、将来のビジョン

英米文学専修では、英文学や英語圏の音楽や映画、英語学など広範囲の研究領域があります。おすすめの授業は複数の教員によるリレー形式の講義「英米文学概論」です。英米文学とひとくくりにしても国や時代によって幅が広く、各専門分野の先生の講義を受けることで自分の興味関心をみつけることができます。

文学を学ぶ中で気づいたことは、科学技術や経済の成長だけが世の中の発展を保证することはないということです。物理的な繁栄が優先される時代に、あえて個人が紡ぎ出す言葉に耳を傾けてみる。時代や国を越えて多くの個人が描いた文学作品を読み解き、多様な文化や価値観に触れることは、自分の生き方さえも見つめなおすきっかけを与えてくれるでしょう。今後は大学院進学も視野に学びを深め、将来は自分の考えを文章で世界に発信し、より良い社会の実現に貢献したいと考えています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語 ディスカッション2	フランス文学・ 文化概論			
2	英語 プレゼンテーション2		英語ライティング			
3			入門演習 B2		フランス語基礎2	
4	Politics & Economy 1	フランス語基礎2	経営学入門	入門講義 1	ラテン語 1	
5		GL101		グローバル・ イシュー各論		
6	英米文学概論					

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2		英語科教育法1 (B)	社会学への招待1			
3	教育言論(D)		英語表現演習11		フランス語 スタンダード2	
4	教育心理学(C)	演習 B11		文学講義 5	文学講義 31	
5		文学講義 9		教育方法論(C)		
6						

授業紹介

1 導入期

■ 入門講義 ■ 入門演習

2 形成期

■ 基礎演習 ■ 英語学概説
■ 英語基礎演習 ■ イギリス文学概説
■ アメリカ文学概説 ■ 英米詩
■ シェイクスピア ■ 英語発達史
■ イギリス文化 ■ アメリカ文化
■ 英語圏文学

3 完成期

■ 演習B ■ 英語表現演習

PICK UP

詩や小説、映画など
興味のある作品を徹底的に読みこむ

■入門演習B1、B2 入門演習B1では、英語英米文学の短編小説や詩などを読み、発表やディスカッションを通して文学作品の読み方を身につけます。また、課題図書として中長編小説を読みます。入門演習B2では、文学作品の徹底した精読を行い、英語の読解力や文学テクニクを深く鑑賞する能力など、文学研究に必要な基礎能力の向上を目指します。

英語にじっくり浸かって自分のものに

■英語基礎演習1、2 2年次生のためのネイティブ教員による少人数クラスで、英語で英語学や英米文学を学びます。授業は全て英語で行われ、英語による発表や討議へ積極的に参加することを通して、英語を読み、聞き、話す能力を養うとともに、3・4年次に履修する英語表現演習への基礎を築くことになります。

オックスフォード大学でスキルアップ！

■海外フィールドスタディ〈1.海外EAP〉 事前指導のあと、夏季休暇中の約3週間を使って、オックスフォード大学ハートフォード・カレッジでの現地研修を行います。現地には各自研究テーマをもって臨み、帰国後、その成果を事後指導の授業で発表。言語表現・異文化対応などの基本能力を高めます。



文学科 ドイツ文学専修

文学、哲学、音楽、テクノロジーまで ドイツ語圏の文化を幅広く研究。

ドイツ文学専修では、ドイツ語という言語に親しむだけでなく、ドイツ語圏の文化のあらゆる事項を探究していきます。たとえばウィーンの音楽や、ドイツ語圏の偉大な詩人・作家であるゲーテもその対象です。またドイツの中世都市と建築、ナチスとその負の遺産、さらにはスポーツや身体文化、デザイン、環境問題への取り組みなど、研究する分野は多岐にわたり、これらの多様な領域から自分のテーマを見つけて論述できるようになるための演習も豊富です。そして、非西洋文化圏にある日本の視点からドイツ文化を考察するとともに、明治以来の日本の近代化に大きな影響を与えたドイツ文化と日本文化の関係も学んでいきます。

身につく力

日本・ドイツ
双方の視点と
考察力

ドイツ語検定を
視野に入れた
高度なドイツ語力

メディアの
ドイツ語を中心とした
情報収集能力

カリキュラムの特徴

ドイツ文化をさまざまな切り口でとらえる 多彩なカリキュラム

ドイツ文学専修は、ドイツ語、ドイツ文学はもちろん、ドイツ文化を国際関係と異文化比較の視点からとらえるところに特色があります。文学では、詩、戯曲、小説、メルヘン、児童文学、思想、文芸学、評論など、さまざまなジャンルの作品を体系的に学習できます。文化の領域では、ドイツ語の枠を越えた文化現象、国際関係や異文化における「ドイツ」を視野に入れ、美術、建築、映画、音楽、舞台芸術、マスカルチャー、テクノアートなどの表象文化、現代ドイツ論、中欧文化、日独比較文化などを学びます。また、ドイツ語学習では、ドイツ語圏で使われる教材と自主教材、ネイティブ・スピーカーが担当する演習など、ドイツ語の実践的運用能力の習得を目指す、一貫したプログラムを編成しています。さらに、論述的ドイツ語での文章作成、メディアのドイツ語を中心とした情報収集能力の訓練、ドイツ語の言語学的理解を深めるドイツ語研究など、演習や講義のテーマは非常に多彩です。

2年次までにドイツ語の基本を習得 充実した留学支援で、より深く学ぶ

多彩な専門科目を習得するためにも、2年次終わりまでにドイツ語の基本を集中的に学習します。「ドイツ語表現演習」とあわせて、ドイツの公的ドイツ語普及機関であるゲーテ・インスティトゥートのカリキュラムにも接続し、そのドイツ語検定資格の取得につながるよう配慮しています。さらに、チュービンゲン大学、ベルリンのフンボルト大学、ボン大学、フランクフルト大学、ケルン大学、インスブルック大学、エアランゲン・ニュルンベルク大学との学生交換協定によって、毎年ドイツ語圏へ留学生を派遣。文学部の「海外フィールドスタディ」として実施されるチュービンゲン大学夏季講習、ボーフム大学でのタンデム異文化交流講座をはじめ、春夏の休暇期間を利用した短期の研修留学や語学研修プログラムについても、助言や情報提供など、積極的にサポートしています。

TOPICS1 独自企画が多彩な、在校生によるサークル「ドイツ倶楽部」

「ドイツ文学会」の援助のもと、講演会や就職情報交換会、卒業記念パーティーの企画・運営を行っています。また、ドイツ文学専修に入学する学生のためにガイドブック『Zukunft!』を作成、配布し、相談も受け付けています。

さらには独自企画としてドイツ映画鑑賞会や食文化研究会のほか、2009年にベルリンの壁崩壊20周年記念展覧会、2010年には日独修好150周年記念イベントも手がけました。

専任教員と演習テーマ

- 前田良三 メディア文化、ユダヤ文化：ドイツ文化をメディアやアウトサイダーの視点から分析
★副島博彦 身体文化、表象文化：身体にかかわる文化現象をフィールド・ワークなどによって多面的に捉える
坂本貴志 比較文化：ドイツ文化をヨーロッパの地理的・歴史的広がりの中で位置づける
井出万秀 言語文化：アイデンティティ形成にとって必須のアイテムとされた文化遺産や政治社会体制に対する評価変遷を検証



Student's Voice > 根津 龍一

3年次 東京都 明星高等学校

ドイツ語を知ること、 “日本語力”も高められます

英語以外の言語をメインに勉強したいと考え、ドイツ文学専修を志望しました。1年次には必修の「入門演習」でレポート執筆や口頭発表の力を養い、2年次からは任意のゼミに所属し研究発表を行います。先生方が体裁についてもしっかり指導してくださるので、説得力ある発表ができるようになりました。留学制度も充実していて、短期のサマーコースから1年間の派遣留学までさまざまな選択肢があり、協定校が多いことも魅力です。

本専修での学びで最も成長したと感じているのは、実は日本語力でした。ドイツ語は文法が難しいため、和訳を繰り返しているだけで日本語力が同時に高まり、自身の日本語を客観視できるようになります。今後はより学びの選択肢が自由になるので、自身が興味関心のあるテーマについて、さらに学びを深めていきたいと考えています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			ドイツ語圏文化概論2			
2	英語プレゼンテーション2		英語ライティング	英語ディスカッション2	ドイツ語入門4	
3	ドイツ語基礎2	ドイツ語入門3			入門演習C2	
4	文学と人間		キリスト教と思想	コミュニティデザイン		
5						
6						

2年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2		職業と人文学		ドイツ語表現演習2B		
3	ドイツ語基礎演習2	ドイツ語表現演習2A				
4	日本語学概論	ドイツ語基礎演習4	ドイツ語基礎演習5	日本文学概論		
5	文化を生きたる				演習C8	
6						

授業紹介

1 導入期

- ドイツ語圏文化概論1・2(基幹科目)
- 入門演習 ■ ドイツ語入門
- ドイツ語基礎演習1・2

2 形成期

- ドイツ語基礎演習3・4・5
- ドイツ語表現演習1・2・3・4
- ドイツ文学・文化演習 ■ 演習C
- 文学講義
- 海外フィールドスタディ(2.海外ASD)(基幹科目)

3 完成期

- ドイツ語表現演習5・6
- ドイツ文学・文化演習 ■ 演習C
- 文学講義
- 卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習

PICK UP

白雪姫、赤ずきん。グリム童話を大人が読むと？

■ **文学講義110(ドイツのメルヘン)** 「児童」や「子ども」のための「文学」というのは、日本でもドイツ語圏でも19世紀(後半)の発明です。「子どものための文学」の名のもとに、どのような「子ども」と「文学」が求められ、どのように「大人の文学」と区別された(されなかった)のかなどを具体例をもとに考えます。

ドイツにとってユダヤ人は本当にアウトサイダー？

■ **文学講義116(ドイツのユダヤ系文化)** 最初に、ユダヤ人がどういう歴史をたどってきたか、また、ユダヤ教がどういう宗教であるのか、という問題について概観。19世紀になって「ユダヤ人解放」が行われ、ユダヤ人なしにはドイツ文化は考えられないという程度にまで進んだユダヤ人の社会進出について考察します。

ドイツの大学で、世界を広げよう！

■ **海外フィールドスタディ(2.海外ASD)** 事前指導のあと、夏季休暇中の約4週間、ドイツのテュービンゲン大学で現地研修を行います。現地には各自研究テーマをもって臨み、さまざまなリサーチを行いながら言語表現能力、異文化対応能力、現地調査能力の基本を習得します。帰国後、レポート提出と事後指導を行います。



TOPICS2 「ドイツ文学会」総会を毎年6月に開催

学生レポートや教員論文など、1年間の成果を立教大学ドイツ文学論集『ASPEKT』に掲載。学生投票で優れたレポートを選び、アспект賞、ゲーテ賞、シラー賞など、数々の賞と記念品を授与しています。授与式は毎年6月

末に在校生・卒業生を会員とする「ドイツ文学会」総会で行列、懇親会でドイツ料理を試食。総会は教員や保護者の方々も交えた交流の場となっています。

文学科 フランス文学専修

広く世界で使われるフランス語を身につけ、 フランス語圏の文学と文化を探究。

フランス語の世界は奥が深く、フランス語圏の文化・文学を研究するとヨーロッパだけに留まらず、遠く南アメリカやアフリカまでもが見えてきます。フランス文学専修は、多様な関心や必要に応じたフランス語の授業を独自に展開。フランス語を身につけ、フランス語圏の文化やフランス語で書かれた文学や哲学思想に親しむことにより、学生が自身の可能性を押し広げていくことを目的としています。英語もしっかりと学びながら、フランス語という新しい視点を通して世界を見ることで、英語や日本語で理解していたものとは全く異なる世界が開け、それが新しい自分を創出するきっかけとなります。

身につく力

フランス語による
時事やエッセー、
映像文化の読解力

効率的な教授法で
磨く、フランス語の
実践的運用能力

フランス語による
パフォーマンス、
作文などの表現力

カリキュラムの特徴

フランス学の入門から美術・芸術分野まで 専修科目を幅広く展開

1年次には、パリと各地方の文化、そしてフランスで活躍した文学者や芸術家の仕事を紹介する、フランス学ともいべき入門科目を設置しています。次に、「フランス語基礎演習」「フランス語表現演習」などの演習科目を履修し、フランス語の実践的運用能力を身につけます。また、フランス語の詩や小説、文化、思想、哲学がどんな特色をもっているか、原文と翻訳文を用いて探究する科目や、印象派などに代表される美術・芸術の分野を講義で積極的に取り上げています。

近年の卒業論文(制作)テーマ／一例

- ・『レ・ミゼラブル』における子供のイメージ
- ・物語と写真に見るアルジェリア移民の過去・現在・未来
- ・「職業画家」から「芸術家」への過渡期におけるアングル
- ・『19世紀のモード』——ロマン主義の女性ファッション
- ・ラクローの『危険な関係』——誘惑という名の労働
- ・グラン＝ギニョル演劇の民衆性と日本文化の共通性について
- ・フランス映画にみる教師像 ——「パリ20区、僕たちのクラス」より

現地ででの体験により言語運用能力を磨く 充実した留学支援制度

フランス文学専修では、パリ・ディドロ大学、パリ東大学、リヨン第3大学、フランス国立東洋言語文化研究所(INALCO)およびカナダのシェブルック大学、ケベック大学モントリオール校との学生交換協定によって、毎年長期留学生を派遣しています。また、フランス・オーヴェルニュ地方にあるカヴィラム校にて、夏に3週間の語学集中講座を開講しています。フランス語を集中的に習得するとともに、フランス文化を現地で体験することを通じて、言語運用能力を磨き、フランス文化についての理解を深めます。

TOPICS 全ての教員が幅広い分野と時代を網羅

フランス文学専修の教員の専門分野は、それぞれが専門とする時代が、中世、17・18世紀、19世紀、20世紀以降の文学、20世紀以降の思想といった形で、時代順にほぼ切れ目なくつながっています。リレー式授業で文学史を

講義する時など、非常にバランスがとれています。また、全ての教員が、副専攻あるいは副々専攻というような、自分の専門の周囲に配置される分野を幅広くカバーしています。

専任教員と演習テーマ・研究分野

桑瀬章二郎 18世紀文学と思想。ルソー、書簡文学など
菅谷憲興 19世紀文学と文化。フローベールを中心に
坂本浩也 20世紀文学と文化。ブルーストを中心に

澤田直 現代思想、地中海文学。サルトル、フランス語圏文学
横山安由美 中世文学と文化。アーサー王物語を中心に
Mangin, Alexandre フランス語教育、日仏比較文化



Student's Voice > 津高 理沙 2年次 千葉県 津田沼高等学校

背景や文化を知ること、
文学の世界が広がる

フランス文学専修では、作品についての考察はもちろん、芸術や文化など興味のある分野についても幅広く学ぶことができます。入学当初、「文学作品はストーリーそのものを楽しむだけでなく、作者の育った環境や時代など本の外にあるものを知ること、話の見え方が大きく変わる」という先生の教えに感銘を受け、作品に触れる際には、フランス文化と日本文化の歴史的な相違・類似点や、作品が作られた時代背景の把握を意識するようになりました。それにより文学をさまざまな切り口で見ることができ、また作品について仲間と議論することで、自身の考えを客観視する力や、多角的に物事をとらえる力、そして考えを言葉にして伝える力を成長させることができたと思っています。

今後はフランス語力をさらに高め、現在興味のある20世紀前半のフランス文学作品について学びを深めていきたいと思っています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語 ディスカッション2	ドイツ語圏 文化概論			
2	英語リーディング &ライティング	入門演習	英語 プレゼンテーション		フランス語入門	生徒進路指導の 理論と方法
3	論理的思考法			フランス語入門	心の科学	
4	フランス語基礎2	教育制度論・ 教育課程論	フランス語基礎2	日本文学概論	聖書と人間	
5		宗教思想				
6						

2年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				スポーツスタディ (ダイエットフィットネス)		
2	フランス語 基礎演習	人文学と キャリア形成	文学講義36	物質の科学		
3	フランス文学 文化演習8	文学講義408	文学講義214			
4		フランス文学 文化演習6		フランス語 基礎演習		
5						
6						

授業紹介

1 導入期

- フランス語入門 ■ 入門演習
- フランス文学・文化概論

2 形成期

- フランス語基礎演習
- 海外フィールドスタディ
- フランス語文献講読 ■ 文学講義

3 完成期

- 演習 ■ フランス語表現演習
- フランス文学・文化演習

PICK UP

ネイティブ教員から学ぶ、フランス語コミュニケーション

■フランス語入門2a～c、4a～c 2年次以降の専門科目の履修に必要なフランス語を聴く力、話す力、書く力の基礎を身につけます。授業はフランス語を母語とする教員が担当。教科書に『Moi, je... コミュニケーション』を用いて、フランス語会話の基礎的な訓練や発音練習を行い、語彙の習得を目指します。

本当のフランスってどんな社会？ どんな文化？

■入門演習D1a～c、D2a～c 文学作品などを用いて、フランス（語圏）の社会、政治、宗教、文化などに関する基礎知識を身につけます。また、要約や発表方法の基礎を習得し、専門の文学研究に向けた技法を学びます。

授業テーマ／一例

- ・小田中直樹『フランス7つの謎』
- ・新倉朗子訳『完訳ペロウ童話集』
- ・モーパッサン短編集
- ・サン＝テグジュペリ『星の王子さま』
- ・マルセル・エーメ『壁抜け男』
- ・コレット『青い麦』

フランスの大学で実践能力を養う

■海外フィールドスタディ（3.海外SLV） 事前指導のあと、夏季休暇中の約20日間を使って、フランス、ヴィシー市のカヴィラム校で現地研修を行います。各自が取り組むテーマをもってプログラムに参加し、帰国後、その成果を事後指導の授業で発表。言語表現能力、異文化対応能力、現地調査能力の基本を習得します。



文学科 日本文学専修

古代から現代までの日本文学を研究し、 日本語という言語の特質を考究。

日本文学専修は、平安時代の物語文学や江戸時代の浮世草子、近現代の小説などの「日本文学」を学ぶ一方で、さまざまな時代の言葉や文法など「日本語学」についても学んでいきます。それらの背景を成す歴史は密接にかかわっており、総体として学ぶことで各々が生きてくるからです。また、日本文学と深いかかわりをもつ、中国の文学・思想にも触れていきます。日本文学は日本だけで研究されているのではなく、世界各地で学ばれており、本専修には多くの留学生が在籍しています。各国の大学や留学生と連携しながら日本と世界の視点を知り、双方から見つめることで日本文学の本質を追究していきます。

身につく力

自分と異質な
ものを認め、
考える力

作家・作品に
対する
理解力と探究力

テーマを捉え、
追求し、まとめる
文章執筆力

カリキュラムの特徴

日本文学の全領域と 日本語学を対象とした科目を開設

日本文学専修の学生は、高校生活までの読書や国語という教科を通して日本の文学や言葉に対し興味・関心を抱き、それをさらに深く追究しようという希望をもって大学での研究に臨みます。本専修は、その希望に応えるため、古代から近現代に至る日本文学の全領域（芸能を含む）と日本語学を対象とした、多くの講義・演習を開設しています。

1年次の基礎科目群から専門科目まで多彩な 素材・テーマで日本文学と日本語を深く理解

日本文学専修では、1年次で入門演習・研究法と、概説・文学史など基礎的な知識や調査・研究法を学びます。2年次からは、それらに加えて専門的な講義・演習を履修していきます。また1～3年次に履修できる研究小論文や3・4年次の論文演習など卒業論文の執筆へと導く科目も設置しています。日本の文学や言葉の世界は大変な広さと奥行きをもっており、教員はその中から可能な限り多様な素材・テーマを取り上げて学生の興味・関心を触発し、日本文学・日本語に対する理解が深められるよう配慮しています。

TOPICS 毎年恒例「新入生歓迎散歩」

作家の生家跡や作品の舞台、歴史的イベントの現場を肌で感じること、文学や歴史の重要な勉強のひとつです。そこで日本文学専修では、専修単位やゼミ単位で文学・歴史散歩を実施しています。作家や作品、歴史的イベントを身近に感じるこ

とで、受け止め方や解釈が変わることもあります。毎年入学時には、恒例の「新入生歓迎散歩」を実施し、日本文学への興味と学生間の友好を深めます。

芥川龍之介文学碑（両国）



専任教員と演習テーマ・研究分野

平井 吾門 国語辞書の研究など。日本語学・日本語史
井野 葉子 源氏物語の研究など。古代文学・古代文化
加藤 睦 後撰和歌集の研究など。古代・中世和歌文学
鈴木 彰 軍記物語・説話・お伽草子研究など。中世文学
水谷 隆之 浮世草子研究など。近世文学

石川 巧 近代小説・出版文化研究など。近現代文学
川崎 賢子 近代小説・演劇・映画研究など。近現代文学
金子 明雄 近代小説・語り研究など。近現代文学
原 克昭 日本書紀研究など。古代・中世文学・文化



Student's Voice > 佐々木 尚之

3年次 東京都 清瀬高校

多角的な考察の大切さを、
文献から教わった

日本文学専修では、古代から現代までのさまざまなジャンルの文学を網羅的に学習し、興味・関心のある時代の文学を、自分のペースでじっくりと研究することができます。また、興味のあるジャンルだけでなく、これまで触れることのなかった、多種多様な文学の形に触れることもでき、日本文学への知的好奇心を満たせる環境があります。

授業をとおして、物事を多角的にとらえる力がついたと日々実感しています。とある1つの事柄についても文献により諸説あり、その中で自分の主張を構成することで、説得力が生まれてくることを学びました。また、普段の生活においても、正しい言葉遣いには人一倍敏感になったように思います。メールを送る際、正確な日本語が使えているかを細かくチェックする癖がついたのも、成長できたと感じるポイントの1つです。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語 ディスカッション2	行動の科学	人間と看護	心理学2	
2	英語 プレゼンテーション2	入門演習 E2	英語ライティング		教育制度・ 政策論	
3				ストレス マネジメント		
4		ロシア語基礎2				
5	図書館 情報資源概論		図書館 サービス概論			
6						

2年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		アンチエイジングの 科学			コミュニティと 福祉	
2	日本文学講読4	職業と人文学	文学講義312	文学講義304	演習E8	
3	文学講義306				市民活動の組織と マネジメント	
4		図書館施設論		日本文学概論		
5		文学講義324				
6						

授業紹介

1 導入期

- 入門演習 ■ 日本文学研究法
- 研究小論文

2 形成期

- 演習 ■ 日本文学講読 ■ 漢文学講読
- 文学講義 ■ 研究小論文
- 卒業論文(制作)予備研究

3 完成期

- 演習 ■ 日本文学講読
- 漢文学講読 ■ 文学講義
- 卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習

PICK UP

読み親しんできた作品の新たな一面を発見する

■入門演習E1a～e、E2a～e 古代から現代に至るさまざまな作品・資料を取り上げ、日本文学・日本語学の研究に必要な基礎的な知識や、文学作品を読み解く方法について、演習形式で学びます。各自が調査・分析を担当して、その結果を授業中に発表・討論しながら、発信・議論の能力を習得していきます。

演習テーマ／一例

- ・昔話を江戸時代の絵本で読む
- ・『古活字本伊曾保物語』を読む
- ・『今昔物語集』を読む
- ・近現代文学の基礎研究
- ・作品分析入門
- ・芥川賞受賞作品を読む
- ・児童文学研究入門
- ・『伊勢物語』を読む
- ・『源氏物語』を読む

古典作品をどのように読み解き、味わうか

■日本文学講読3(中世) 13世紀に成立した軍記物語である『平家物語』を、人物関係に注目しながらいねいに読み進めます。その際、関連作品や歴史的背景などに目を配りながら、歴史文学の魅力を発見していきます。

興味ある作品は深く読み解くとさらに面白い

■演習 日本古典文学、日本近代文学、日本語学、漢文(中国文学・思想)の各領域で構成される選択授業です。さまざまな作品・テーマについて研究発表と討論を行います。

演習E21(大正期の短編小説を読む)

大正期に発表された短編小説に焦点を当て、当時の小説がいったい何を問題とし、それをどのように表現しようとしたか考えます。

演習E3(源氏物語を読む)

平安時代に書かれた長編物語、紫式部の『源氏物語』を、古注釈から現代注まで見渡しながら、深く読み解いていきます。

文学科 文芸・思想専修

文芸と思想を横断的に学び、 創作的かつ思想的な姿勢を習熟。

創作や批評の実践を志す「文芸」と、生きることの意味や存在の根源について思索する「思想」は、一見別物のように感じられますが、文芸の実践には哲学的な思索の営為が必要であり、思想は神話や詩歌、小説などの素材により哲学的思索を深めています。文芸・思想専修は、この2つを連続する1つの学問領域と捉え、文芸と思想を横断しながら古典から現代に至るさまざまな思想を学び、同時に自分の言葉を伝える術を養っていきます。ゼミナール形式のディベートや課題を多く設け、膨大な作品に触れて感受性を磨きながら、学生同士の作品批評などを基本に、受信する心、発信する力を身につけます。

身につく力

多様な作品に触れ、
分析、批評する、
感受性と表現力

古今東西の文芸・
思想分野の作品を
正確に読む力

思索を深め
適切に発言する
プレゼン力

カリキュラムの特徴

演習を中心とした少人数教育で 多くの作品に触れ、思考力を養う

文芸・思想専修では、1年次の入門演習から3～4年次の専門演習まで、多彩な演習科目を設置しています。1年次の「入門演習」では、これまで触れたことのないような古典的文学作品や戯曲、現代小説など多様な作品を読みながら、演習メンバーで相互に批評し合います。2年次の「演習」では、厳選された文芸あるいは思想の基礎文献をじっくり分析し、本格的な「読む訓練」を行います。3～4年次の「専門演習」では、詩や小説の創作実践を行う演習や、文芸誌に掲載されたばかりの文芸作品を批評する演習、私たちの日常生活に生かされる哲学的な思考方法を身につける演習、東洋の思想世界がたたえている深さを柔軟に取り入れる学びをすすめる演習など、幅広い関心領域をカバーするカリキュラムを展開しています。卒業論文や卒業制作では、自分が読んで考えたことを論理的に表現する論文のほかに、小説などの自分の作品を制作します。

充実した講義科目で 考え方や関心の幅を大きく広げる

少人数の演習に対し、講義科目では、これまで触れたことのない考え方や思いがけない世界のヴィジョンを学ぶことによって、ものの見方や考え方、関心の幅を大きく広げていきます。サブカルチャーがもっているとても深い深さを探査する講義や、私たちの感性を根底から変えてきた広告の社会的役割を考える講義、視覚メディアと文学作品を比較検討する講義、詩を支えている「論理」をあぶりだしていく講義、生活の細部に宿るジェンダーを通じて人間の多様性を探る講義などさまざまな講義を展開しています。文芸・思想専修のカリキュラムは、多様で自由な考え方を学ぶ講義で横方向に思考の幅を広げ、少人数の演習で縦方向に思索や実践力を深めていきます。

Q & A 文学科文芸・思想専修と現代心理学部映像身体学科は、どのような違いがありますか。

文芸・思想専修では、詩、小説、哲学、戯曲、漫画などを中心に文学の理念を広げ、哲学や思想も対象にしながら、創作活動や表現活動、思索活動を目指します。一方、映像身体学科では、身体と映像に関する哲学的・社会的な考察を基礎とし、ダンス・演技などの身体表現や、機材による映像制作という応用を通して、創作的思考を追究します。

的な考察を基礎とし、ダンス・演技などの身体表現や、機材による映像制作という応用を通して、創作的思考を追究します。

担当教員の専門分野と演習テーマ

林 文孝 中国思想：中国古典をどう読むか
林 みどり 思想文化論・文化政治論：文学理論・批評演習
佐々木一也 哲学（西洋思想）、近現代ドイツ哲学、日本近代哲学：哲学・現代文明論演習
大熊 玄 哲学、現代思想

福岡亮大 文芸評論、東アジア文化論：文学とサブカルチャーの多面的分析
小野正嗣 文芸創作・批評：日本語表現実践演習
菅野聡美 日本思想・政治文化論：文学・芸術・思想を通して日本の近現代を考察する



Student's Voice > 浅岡 真千子

3年次 愛知県 千種高校

わからないことが、
わかるようになる楽しさ

小説を読むことが好きだったことから、専門の先生方の下で文学研究ができる点や、実際に自分で創作活動ができる点に魅力を感じ入学しました。思想や哲学、サブカルチャーに至るまでさまざまな授業がある中で、雑誌編集を学ぶ3年次演習が私の中で一番身になる授業でした。1つの作品を研究し、討議する。そして、自分で文章を書き、編集する。そのような主体的な作業をとおして、聞く力・読む力・書く力がより洗練されたと実感しています。

文芸・思想専修の授業をとおして、ただ読むだけだった受け身な読書の姿勢が、積極的なものになりました。わからないことが楽しいと思うようになり、苦手なジャンルにも挑戦するようになりました。今では、新しく小説を読むたびに視野が広がっていくのを感じています。文芸・思想専修での学びは、私の人生の糧となる、大切なものばかりです。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語 ディスカッション1	文芸思想概論1		心理学1	
2	英語 プレゼンテーション1	人権思想の根源	英語ライティング1			情報処理1
3	文学と歴史				中国語基礎1	
4	入門演習F1	中国語基礎1				
5	日本語学概論1		ジェンダーの現在			
6						

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2		文学講義311	文学講義407	経営学入門		
3			演習F19	文学講義313	文学講義331	
4		環境教育論			文学講義412	
5		文学講義320		実作・実践研究1		
6						

授業紹介

1 導入期

■ 入門演習

2 形成期

■ 演習F1～F12 ■ 文芸・思想文献講読
■ 文学講義 ■ 哲学講義

3 完成期

■ 演習F17～F32
■ 卒業論文(制作)予備演習
■ 卒業論文(制作)指導演習

PICK UP

柔軟な思考と読解力、文章表現力を養う

■入門演習F1a～d、F2a～d 夏目漱石『三四郎』、ヘルマン・ヘッセ『車輪の下』などの課題図書や、今まで触れたことがないと思われるジャンルの作品、非西洋圏の小説をテキストに、自他の感想や意見から「読み」を追究。作者の思考を推理してそれを文章にまとめる練習や、活発な議論を行い、学問的コミュニケーション能力を身につけます。



マンガやアニメなど
サブカルチャーの表現を支えるものとは

■文学講義407(マンガ／アニメ表現論1) マンガやアニメ、特撮、ゲームなどにおける表現は、それに馴染んでいる人間からすると当たり前のものと思われるかもしれませんが。しかし実体は、極めて独特の形でリアリティーが構築されたものです。本授業では、歴史的に構築された独特の技法に着目しながら、それがどのように展開されてきたかを考察します。

私たちは死で終わるのか。
生と死について意見を交わす

■哲学講義7(死生論) 日本では生と死、あるいは生者と死者がはっきりと分けられることなく、さまざまな形で結びつき、交流すると考えられてきました。本授業では、最初に神道や国学の文献から生と死がどのように捉えられているかを把握し、次に「擬死再生」、「祖先祭祀」について考察することにより、生と死の位相を明らかにしていきます。

史 学 科

過去を学び、理解することで 未来を歩んでいく力を身につける。

歴史学は、私たち自身の歴史的・文化的背景を理解することによって、現代社会やその中にある自らの位置づけをより深く認識しようとする学問です。伝統や文化が、今暮らししている社会をどのように規定しているのか。私たちと異なる価値体系をもった多様な社会が、歴史上どのように形成されてきたのか。歴史を生きた人々の多様な文化に照らして、自らの文化を相対化していきます。史学科は1年次に基礎を習得し、2年次より専門分野へと進みます。文献的な方法に加え、文化人類学や地域研究論、さらには文化環境学という新しい学問分野も展開し、複数の専門言語やプログラムで、それらの方法論を習熟していきます。

身につく力

異なる歴史を
理解するための
複数の視点

多様な文化を知り
自らと相対化する
柔軟な思考力

古文書や史料、
地図、統計類の
読解・分析力

カリキュラムの特徴

1年次の入門演習で基礎を学び、 2・3年次の演習で所属する 専修の学習を深める

専門研究は1年次から始まります。少人数で行われる1年次の「入門演習」では、史学科3専修の学問的手法の基礎を学び、2年次から始まる「演習」で所属する専修の学習を深めます。学生は教員の指導のもと、各自の興味に従って研究計画を立て、特殊なテーマや現代的諸課題にアプローチする専門科目群を履修します。原則としてすべての学生が希望する専修に進むことができ、所属する専修以外の科目を履修することも可能です。

さまざまな学習プログラムで 実践的な知識・技能を習得

史学科では、1年間に2つ以上のフィールドワークのプログラムのほかに、インドネシア語・トルコ語・スワヒリ語・イタリア語などの学習プログラムを用意しています。特に、人文地理学、民俗学、文化人類学分野を含んだフィールドワーク（野外調査）を重視し、調査を企画・実施・報告する力を養います。また、文学部基幹科目には海外フィールドスタディもあり、これらの科目群の履修によって、将来の進路に生かせる実践的な知識・技能を身につけることができます。



高崎市倉賀野の九品寺(浄土宗)にて、「飯盛女」の墓石を調査

過去のフィールドワークプログラム

古代ギリシア・ローマ遺跡

遺構や建築資材の再利用形態などに注目しながら、古代における都市生活の発展の様相を跡づける。

サンフランシスコ(アメリカ)

多人種・多文化のせめぎあいと共生の歴史が、現代の都市空間でいかに記憶・表現されているのか。現地調査であきらかにする。

長野県上田市

調査地と周辺の民俗(年中行事、人生儀礼、言い伝えなど)、産業(農業、観光など)、交通などを文献から学び、現地を訪問・調査する。

沖縄

沖縄戦、米軍基地、琉球文化などにかかわる沖縄の人々の暮らしについて、史料調査、聞きとり調査、現地の学生との交流などを通じて理解を深める。

京都・飛鳥

日本・唐の2国間だけが強調されがちな古代日本の東アジア交流を、京都と飛鳥地方の遺跡・発掘現場を訪ねることによって見直す。

専任教員と演習テーマ・研究分野

◎世界史学専修

浦野 聡 古代地中海世界史
小澤 実 中近世ヨーロッパ史
高林陽展 近現代ヨーロッパ史
上田 信 中国社会学
四日市康博 海域アジア・東西交渉史
井出 匠 中東欧ヨーロッパ史

◎日本史学専修

深津行徳 日本・東アジア古代史
佐藤雄基 日本中世史
後藤雅知 日本近世史
小野沢あかね 日本近代史
沼尻晃伸 日本現代史
木村直也 日本近世近代移行期の歴史

◎超域文化学専修

山下王世 イスラーム複合文化史
★栗田和明 文化人類学
野中健一 文化環境学
丸山浩明 地域研究論
松原宏之 アメリカ社会学

実践的な学びが、 さらに世界を広げる

高校の世界史の授業で学んだ、日本の常識とは異なるさまざまな地域の文化や伝統を面白く感じ、「超域文化学」というコースを専修できる立教の史学科を選びました。本学科ではインドネシア語やスワヒリ語、トルコ語など、他学科では学ぶことのできない専門言語を勉強することができるほか、1年間に2回以上のフィールドワークに参加できるプログラムもあり、実践的な技能や知識を習得することができます。授業では、多数の論文や書籍を扱う過程で、筆者の考えに対し反対の立場で考えたり、調べた内容から新たな疑問を見出したりして、自分なりに分析し、研究を広げていくことができるようになりました。

現在は、イスラム文化のゼミで「ハラル」について研究しています。今後はハラルにかかわるお店や施設を実際に訪問するといった実践的な研究をとおして、学びを広げていきたいと考えています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語 プレゼンテーション	哲学概論2			
2	数学の世界		英語 ディスカッション2	英語リーディング・ ライティング2		生徒指導の理論D
3	地理学概説2	日本史概論2	スペイン語圏の 社会	世界史概論2	フランス語基礎2	
4	教育制度・課程論	フランス語基礎2				
5		地誌学2		入門演習G2		
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	哲学概論1	学校教育相談の 理論B		日本史概論1	比較政治史2	
2	自然地理学1	史学講義9	スポーツと社会	教職概論D	演習I5	
3	地理学概説1	経済学		史学講義33	史学講義36	
4	文化を生きる	日本国憲法				
5			教育方法論A	史学講義6		
6						

授業紹介

1 導入期

- 入門演習 ■ 世界史概論 ■ 日本史概論
- 超域文化学概論 ■ 情報処理

2 形成期

- 演習 ■ 専門基礎1～16
- 宗教の多様性と社会
- 人文学とキャリア形成 ■ 地理学概説
- 地誌学 ■ 自然地理学 ■ 比較政治史

3 完成期

- 演習 ■ フィールドワーク
- 史学講義1～54
- 超域文化学講義1～24
- 卒業論文(制作)予備演習
- 卒業論文(制作)指導演習

PICK UP

自分は何の国に興味があるか考える。4年間の学びの第一歩

■ 専門基礎2、4、6、7、9、11、13、15、16(英語、中国語、トルコ語、フィールドワーク方法論など)
日本、中国、アメリカ、フランス、ロシア、トルコなど、興味がある国を選択し、その言語で書かれた文献や史料を読み解き、理解を深めます。また、パソコン上での地理情報分析支援システム「MANDARA」などを使用して、さまざまな主題図や地図ファイルを作成する授業も展開しています。

日本と韓国の考え方の違いを歴史的背景から検証

■ 史学講義41(近代日本と世界) 近代日本の歩みを植民地、特に朝鮮統治とのかかわりの中で考察します。「韓国併合」から日本敗戦・朝鮮解放に至るまでの日朝関係史の知識とともに、日本による朝鮮統治の時代について、さまざまな側面をふまえながら理解していきます。

ロシア帝国を事例に、近代の法と社会を考察

■ 史学講義19(近現代における法と社会) 18～20世紀初頭までのロシア社会の変容を、法制度や国制の変化から考察していきます。加えて、ロシア帝国の支配下にはいった中央ユーラシアのイスラーム諸地域において、イスラーム法とロシアの法律が同時に施行される様子をたどることにより、帝国支配における法の問題についてもとりあげます。

Q & A 超域文化学専修の「超域」とは、どういう意味ですか。

「超」は地域・社会のさまざまな様相を相対的で柔軟な視点から理解しようとする姿勢や研究方法を表し、「域」は地域・社会や方法論のまとまりを意

味します。具体的には、文化人類学、地域研究論、文化環境学、多文化複合社会研究などの視点を自由に取り入れて、各地の文化を探究していきます。

史学科

過去をとおして 未来を歩む 史学科の3専修

1年次は「入門演習」で基礎を学び、2年次から世界史学専修、日本史学専修、超域文化学専修のいずれかに進みます。各専修への所属は、2年次に学生が希望する「演習」によって決定し、各学生が自発的に研究計画を立てられるよう、専門教員がきめ細かく指導します。各専修に進んだあとも、所属専修以外の科目を履修することができます。

1年次

入門演習

2年次～4年次

世界史学専修

- 現代世界のルーツとしての世界史を学ぶ
- 語学力を培い、世界の先端的歴史研究に挑む
- 「海域」と「大陸」を軸に新しい世界史像を構築する

日本史学専修

- 人類史の一環としての日本史を学ぶ
- 古代から現代までの各時代、専門分野まで、充実の教授陣
- 史料や演習から歴史を作る営みを体験

超域文化学専修

- 新たな視点で世界を見ながら、人類文化誌を学ぶ
- 時の流れ、地域の拡がり、心の傾向を見渡す力を鍛える
- 専門知識を深め、相互に議論し、複眼的思考を養う

古くからさまざまな海外の文化・社会政治制度を受容してきた我々にとってかわりのある過去は、当然日本の範囲に留まらず、その意義や重要性は広く世界に及んでいます。そこに我々が、世界のいろいろな歴史を学び、研究する意味があります。世界史学専修では、多彩な講師陣が世界の海域と大陸の歴史を講じるとともに、特にギリシア・ローマを中心とした古代地中海世界、西洋中世・ルネサンス史、東欧やイギリスを中心とした西洋近現代史、古代から現代までの海域アジアや中国などの専門家を揃え、学生とともに学び、研究しています。学生はまず1年次に世界の諸地域の歴史の基礎を勉強し、2年次から各自が選択した専門分野に分かれて、研究に必要な外国語、研究方法を習得し、研究史などを学習しつつ、個別テーマの研究を進めます。そして4年次に成果をまとめた卒業論文を提出することを目指します。

古代ギリシア・ローマ世界を掘り下げて、論文を発表

■演習G1、G2(古代地中海世界史)

地中海世界とは、狭くは古代ギリシア・ローマ世界を指します。本授業では、受講者の関心に合わせて地中海世界に関する優れた英語・邦語の文献を精読し、古代地中海世界史を学ぶ基礎的技術・素養を身につけます。また随時、術語や歴史用語の調査を行い、その報告を通じてプレゼンテーション能力を養います。

グローバルで史的なものの見方を身につける

■演習G7、G8(東ユーラシア史)

混沌とした世界情勢のなかに、いま私たちは投げ出されています。選択を迫られたときに、地球を俯瞰して人類の歩みを通観する思考力を持っていれば、よりよい一歩を踏み出せるでしょう。こうした力を鍛えていきます。

日本列島の文化は、東アジアはもちろん地球の世界との交流の中で、時代とともに形づくられてきました。日本史は地球史の一環でありながら、一方で日本列島上の風土・習俗・知識は、文化として我々の心身に染み込んでいます。この世界の中で生きる私たちは、日本列島上に集積された時間、歴史を読み解き、新たな事実を発見し、謎を解き、知恵に変えていくことで、まず自らのアイデンティティを確認し、相対化しなければなりません。日本史学専修では、東アジア古代・中世・近世・近世近代移行期(幕末・維新时期)・近代・現代という日本の各時代を網羅するスタッフを揃え、国際関係・天皇と身分・都市と村・女性史とジェンダーなど、歴史上の重要な諸テーマについて、時代を越えて考えます。歴史研究の本体である史料の読解を通じて分析力・構想力を養うとともに、歴史の舞台・現場に直接出向くフィールドワークに参加することもできます。歴史研究の楽しさに触れつつ学生の好奇心と探求力を刺激し、真の国際人を養成します。

近世日本の人々の暮らしをくまなく調査する

■演習H5、H6(日本近世史)

近世の身分や地域社会に関する基礎的文献や、近世の村落や都市に関する史料を精読します。史料読解にあたっては、事前に用語や語句の意味を調べ、丁寧に現代語に訳した上で、その内容を検討します。こうして近世社会の特質に触れるとともに、卒業研究に向けた基礎的な能力を養います。

現代日本が育んできた都市社会のこれからの課題とは？

■演習H9、H10(日本現代史)

戦後日本社会経済史・都市史を研究対象とし、日本現代史に関する基礎的文献や、高度成長期～1970年代に関する史料を順次読み進めます。秋学期には関連する研究書・論文などを読み、小レポートを提出。最後に研究成果を小論文にまとめ、ゼミ論集を作成します。

超域文化学専修では、広い意味での人類文化誌を学びます。人の移動や情報の交換、文化の変動もめまぐるしい現代社会。この時代にひとつの視点で社会や人間の全体像を見ることはできません。そこで、歴史学以外の方法も自在に取り入れて、新たな複数の観点から人間社会を理解することを目指します。複数の観点とは、「文化の基層部分に注目し、相対的な視点で、現代社会との関連を解明する」ものです。文化の基層部分とは、民族、慣習、社会制度、言語、技術などで、これらは、国家や社会組織ができる以前から存在し、現在でも人々の生活の多くの部分を特徴づけています。この基層部分への注目と相対的な視点の獲得こそ、私たちが生きている社会でさらに必要になっていく力です。さまざまな研究分野、研究対象との比較を心がけつつ、時代性と汎時代性、地域文化と汎地域、周囲を見渡せる知恵を獲得し、アクティブかつフレキシブルな人材を育成します。

自然と人間のかかわりを 実地調査で発見！

■演習I1、I2(文化環境学)

世界のさまざまな自然と人間とのかかわり合いを、人間を主体とした文化・生態・環境を軸として捉え、地理学、生態人類学などのテキストとフィールドワークから理解します。秋学期には自らの調査によるデータを用いて分析を行い、考察して成果をまとめて発表し、学生同士で議論を行うことで研究方法の理解を深めます。

新旧の地図を見比べる町歩きから、驚きの事実が明らかになる

■演習I9、I10(地域研究論)

風土に根ざした人々の生活や文化の変化を、新旧地形図や統計、文献、住民への聞きとり調査などから分析する理論とスキルを学びます。春学期には日本各地の都市や農村の約100年間の変貌を考察したテキストを丁寧に読み解きます。秋学期には古地図を片手に東京を歩き、江戸期からの都市の変化を体感します。

教育学科

日々成長する人間を多角的に分析し、 総合人間学としての教育学を学ぶ。

家庭教育、学校教育、社会教育など、私たちの一生は教育と常にかかわりをもっています。教育学科では、多様な教育現象を考えるため、幅広い学問領域を総合的に学びます。哲学・社会学・心理学・歴史学などの理論を基礎として、家庭教育・学校教育・生涯学習・国際教育・比較教育・環境教育・芸術教育など、さまざまな領域における教育現象を探究します。学力やいじめなど、現代的な教育問題を考える講義も展開しながら、生きた教育の場に目を向け、理論と実践の両面でアプローチしていきます。総合人間学として人間について深く洞察することで学び得た知識は、社会の幅広い分野で役立ちます。

身につく力

多様なテーマに
対し、徹底的に
討議し追究する力

深い人間理解に
基づく鋭い見識

教育について
広い視野に立つ
しなやかな感性

カリキュラムの特徴

1年次から専門教育で 主体的な学びを培う

専門教育は初年度からはじまります。1年次に教育学の基礎に触れ、「入門演習」で文献講読やディベートなどの学問的方法を身につけます。2年次には「教育心理学」「教育社会学」「教育史」「教育哲学」など、教育諸科学分野を学習していきます。教育学科では、学生それぞれの関心に応じた、多彩な専門科目を用意しています。

3年次から2つの専攻に分かれ 専門領域の学習をさらに深める

3年次になると、各自の希望をもとに教育学専攻課程と初等教育専攻課程に分かれ、それぞれの専門学習を深めていきます。

教育学専攻課程

中学・高校の教員、地方公共団体などの教育・福祉部門、教育産業や、マスコミをはじめとする一般企業などで活躍できる人物の育成を目指します。人間という存在、人間の営みを見つめ、総合人間学の観点から教育に関する思考を深めます。

初等教育専攻課程

小学校教員免許取得が卒業要件です。教育について広い視野に立つしなやかな感性と、深い人間理解に基づく鋭い見識を兼ね備えた、小学校教員の養成を目標としています。教材研究、教育実習などの実践的な教職専門科目を学んでいきます。

演習と卒業論文で 学びを追究する

3年次の「演習」は、両専攻課程に共通する必修科目です。希望する指導教授のもとで、文献を読んだり、議論や調査を行って、個別の研究領域・テーマについて深く追究します。4年次には、学習成果の集大成として、卒業論文(制作)の完成を目指します。

Q & A 3年次から所属するそれぞれの専攻では、どのような資格が取得できますか。

教育学専攻課程では、中学校1種「社会」・高等学校1種「公民」の教員免許が取得でき、初等教育専攻課程では小学校全科1種の教員免許が取得でき

ます。また、両課程とも指定の単位を修得することにより、図書館司書、芸芸、社会教育主事などの資格も取得することができます。

専任教員と研究分野

有本真紀 音楽科教育・歴史社会学
石黒広昭 教育心理学・発達心理学
市川 誠 比較教育学・宗教と教育
伊藤実歩子 教育方法学・教育評価論

★北澤 毅 教育社会学
黒澤俊二 算数科教育
大嶋 彰 図画工作科教育
河野哲也 教育哲学・特別支援教育・道徳教育

前田一男 教育史・教師教育論
和田 悠 社会教育・社会科教育
渡辺哲男 国語科教育・教育思想史
秋葉まり子 経済学・政治学



教育と向き合い、 自分自身も大きく成長できた

教育者を志していた私は、母校の恩師から「立教の教育学科に進むべき」という助言を受け、進学を決めました。授業では、2年次までは哲学や社会学などの面から教育についての基礎知識や関心を身につけ、3年次より各専攻課程に分かれて専門性を深めていきます。特に、社会科教育の課題について多角的に学ぶ「社会科教育論」では、今までに受けてきた授業とは異なる授業方法があることを知り、授業の作り方など、私がまだ知らない学びが非常に多くあるのだと痛感しました。

教育学科は少人数なこともあって学生間での交流も盛んです。仲間同士で勉強や私生活のことなどを話し合う中で、多様な価値観に触れることができ、自分という人間の成長も実感できました。今後は「尊敬される教員」を目指し、そのために何が必要なのかを模索しながら、大学生活を送っていきたくと考えています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語ライティング	入門演習J2		心理学2	
2			英語ディスカッション2	英語プレゼンテーション2	太極拳	
3			法への招待	歴史と社会	ドイツ語基礎2	
4		ドイツ語基礎2				
5		地誌学1	宗教思想2			
6						

3年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				図画工作科教育法a		
2	家庭科教育法a	体育科教育法		教育方法学	理科教育法a	
3		情報教育論		演習J4	教職研究	
4		音楽科教育法a	造形表現2a	比較教育学	特別活動の理論と方法	
5				音楽実技2c		
6						

(初等教育専攻)

授業紹介

1 導入期

- 教育心理学 ■ 教育社会学 ■ 教育史
- 教育哲学

2 形成期

- 教育調査実習 ■ 社会教育・生涯学習論
- 教育臨床論 ■ キリスト教と教育
- 各教科教育法

3 完成期

- 教育実践研究 ■ 教職実践演習
- 卒業論文

PICK UP

学校は必要か？ 一步離れた視点で考えよう

■ **教育社会学1、2** 「当為(べき)論」に支配されている教育の思考法から距離をとり、教育現象を社会的に分析していきます。まず教育社会学の基礎を学び、近代学校や、義務教育制度の成立、学歴社会論を理解します。そして社会問題に関する社会学理論の論点をふまえ、いじめ、少年犯罪、他者(児童)理解などのテーマについて学びます。

教育現象を読み解く視点と方法を磨き鍛える

■ **現代教育の諸問題** 今日の教育が直面する問題について論点を整理し、批判的検討ができる視点を身につけます。講義のテーマは学校教育のみならず、社会への関与や参画などそのときのホットな問題が選ばれ、トピックを掘り下げながら新たな考え方に触れ、教育に対する認識を問い直します。

3年次は、ゼミに所属し興味をもった分野を深く掘り下げる

■ **演習** 各教員の専門分野を生かしたゼミナールで、特定の領域についての理論と方法を学びます。学生は興味のある分野を選択して、受講します。

演習J5(比較教育学)

異なる国・地域の教育を比較・検討することで、教育について理解を深めるとともに、日本への示唆を求めます。

演習J9(戦後教育実践史に学ぶ)

戦後の教育実践史から、教師や学校は時代の何に挑戦してきたかを検討し、教育実践の意義や課題などを考察します。

私たちが無自覚に行っている「学習」を、観察と分析で明らかに

■ **教育調査実習** エスノグラフィー、相互行為分析、ライフヒストリーなど、質的調査法、心理実験、行動観察の学習を通して、教育現象を捉えるための技法を学びます。学生は興味のある分野を選択し、実習を通じて理解を深めます。

異文化コミュニケーション

世界規模で広がる多民族、 多文化社会を理解する新しい知の体系。

グローバル化・ボーダレス化の進展によって、人や文化の移動や交流は日常的かつ地球規模のものとなり、人と人、組織と組織、地域と地域、さらには人と自然環境との関係のあり方に大きな変化が起こりつつあります。この激しく変化を続ける世界で、多様で「異なる」他者の考えや立場を理解し、豊かな社会を築いていくためには、何を学び、どう行動すべきなのか。21世紀に生きる私たちが将来に向けて取り組み、考えていくべき大きなテーマです。

まず、「ことば」から考えてみましょう。他者を理解するために、ことばとその背景にある文化の理解は欠かせません。日本人の母語である「日本語」、リンガ・フランカとして異なる文化間の基本的コミュニケーションに用いられる「英語」、そしてさらにもう1つの外国語。異文化コミュニケーション学部では、すべてが必要だと考えます。母語+英語+もう1つ

の外国語の運用能力を身につけ、その背景にある文化に対する理解を深めることで、二項対立的ではない考え方や視点をもつことができるからです。

次に、「行動」から考えてみましょう。国際連携、国際協力的分野や国内の多文化コミュニティにおいて力を発揮するには、ことばの知識やスキルを身につけているだけでは不十分。自らが社会的課題に積極的に取り組み、社会やコミュニティをより良いものにしていくため、自分の中に蓄積されている知識やスキルを現場で生かしていく知恵やノウハウが必要です。異文化コミュニケーション学部では、多様な学びを通して他者を理解し、持続可能な社会を構築するために行動できる人材を育成していきます。そして教育を通し、新しい時代の要請に応えていきます。

〉異文化コミュニケーション学科



Dual Language Pathway



5年一貫プログラム

英語+1：多文化理解のための複数の外国語能力

異なった文化をもつ人々との交流には、英語だけでなく複数の言語やその文化を知り、複眼的な視点をもつことが重要です。本学部は英語に加え、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語のいずれかを学ぶことで、グローバル化する世界の中で必要とされる「複言語・複文化能力」を養います。

自己表現や継承語、生活言語としての日本語

さまざまな言語を母語とする学生がともに学び合う中で、日本語で批判的に考えて論理的に相手に伝え、建設的に話し合うための技法を身につけていきます。また、継承語や生活言語としての日本語に焦点をあて、共生、国際協力の視点から社会貢献につながる日本語コミュニケーションを学びます。

言語、コミュニケーション、文化の視点から世界を見る

持続可能な未来の実現のために、言語やコミュニケーションがかかわる領域について専門的に学びます。体験や実践などの現場感を重視し、留学やインターシップを通して、知識を生かし国際協力などに貢献できる力を養います。

5年間で学士と修士、2つの学位が取得できるプログラムです。入学後、3年次にこのプログラムに申請することも可能ですが、2019年度から、明確なキャリアビジョンを持ち、学部入学時から大学院進学を目指す学生を対象とした新しい入試もスタートします。詳細はP.162、学部Webサイトをご覧ください。

PICK UP RESEARCH 研究紹介



2013年にフィリピンを襲った巨大台風の被害を受けたココヤシと子どもたち(レイテ島、2014年3月、石井教授撮影)

理論と実体験をもって、世界の課題に切り込む

武力紛争を平和に導くためには、どうしたらよいのか。著しい格差と貧困はどのようにして生まれるのか。破壊された地域が復興し、開発され、貧困問題を克服するために、国際社会はどのような貢献ができるのか。このような課題に応えることを目指して、国際協力と紛争の研究を行っています。

研究を行う上で私が大事にしていることは、紛争や災害、貧困などを生きる人々の視点です。彼らとの出会いを通じて、「問題を解決するためには、まずは自分自身が変わらなければならない」ということに気づかされます。本を読んで理論を理解することももちろん重要ですが、五感を使って世界と繋がることも大切です。世界情勢は刻々と変化し、今新しい国際社会を創造する担い手が求められています。自分とは異なる背景をもつ人々とのような関係を作っていくたらよいのか、理論と実体験の両面から一緒に考えていきましょう。

異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科 教授

石井正子

PROFILE

国立民族学博物館、大阪大学を経て2015年度より現職。フィリピン南部イスラム教徒の社会でフィールドワークを行う。人道支援団体と連携し、南スーダン、スリランカ、ミャンマーなどで評価事業を行ってきた。

担当講義

- 国際協力・開発学概論
- 多文化共生論
- 専門演習
(国際協力・紛争研究) など



異文化コミュニケーション学科

文化の多様性を理解する知識と感性をもち、 社会の諸問題に取り組む行動力を養う。

異文化コミュニケーション学科は、グローバル化が進む世界において何をすべきか考え、自ら行動できる人材の育成を目指します。そのためには、自分の母語だけを尊重する狭いナショナリズムや、実質的な共通語である英語以外の言語の学習は必要ないという単純なグローバリズムを超えた「複言語・複文化」能力が必要です。21世紀の複雑化する世界で着実に役割を果たすため、知識と実践の往還を常に意識し、言語能力を磨きながら現場の理解を深めることによって、多文化共生社会の諸問題に積極的に取り組む力を身につけます。卒業後の進路に役立つ通訳・翻訳者、日本語教員などの独自の養成プログラムも豊富です。

身につく力

日本語+英語+1
の3言語を
使いこなす

実社会の
現場に必要な
実践力と対応力

専門的な知識と
柔軟な思考力で
基づく行動力

カリキュラムの特徴

「異なる」他者と共生し、持続可能な未来を創る 知識と実践を結びつけていくための4つの柱

異文化コミュニケーション学科は、複数の視点からものごとを考え、柔軟な思考力をもって実践的に問題に向かい合うことのできる知識、知恵、行動力を身につけるため、次の4つの柱を立ててカリキュラムを編成しています。

1 日本語を磨く・英語を磨く

日本で学ぶ以上、日本語は重要。1年次の「基礎演習」で、日本語力を訓練し、論理的思考力と自己表現力を磨きます。また、「Dual Language Pathway」では、英語で学び、議論し、レポートを書くことで、高い英語の運用力を磨きます。

2 英語+1

言語は世界へ飛び出し活躍するための道具です。国際共通語である英語に加え、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語のいずれかを選択し学ぶことで、複眼的思考力を養います。

3 知識と実践の往還

「通訳翻訳実習」、「日本語教育実習」、「フィールドワーク」などの実習型の科目を設置し、教室で学んだ知識を現場での実践に結びつけていく力を身につけていきます。

4 Dual Language Pathway(DLP)、 海外留学研修

英語で展開されている科目を中心に履修して卒業する「Dual Language Pathway(DLP)」の設置や、原則全員が参加する2年次秋学期の「海外留学研修」など、教室での学びだけに終わらない多様な仕組みをカリキュラムに組み込んでいます。

異文化コミュニケーションを多角的に学ぶ 専門科目群

異文化コミュニケーション学科では、異文化コミュニケーション研究の基本的な知識や技能を学ぶ基礎科目の上に相互に関連し合った専門科目群を設置しています。科目の設置は、「理解する」と「介入する」という2つの柱に基づいて行われ、両者が有機的に結びつくことで、学生が自ら選んだテーマに即して科目を選択し、自ら行動する力を身につけていくことができます。

言語研究関連科目群

コミュニケーションについて考えることは、ことばそのものを考察すると同時に、ことばによって表現される人間の諸活動を分析していくことを意味しています。ことばを介して行われる情報伝達システム、ことばの世代間伝承、言語習得のメカニズムなどを考察していきます。

コミュニケーション研究関連科目群

地域と国家の境界が急速に希薄化する現代社会において、融和ばかりでなく衝突、反発といった現象が頻発する現実を見据え、そこに生じるさまざまな課題にコミュニケーションの視点からアプローチし、分析します。また、課題を解決する際に必要な通訳・翻訳についても本学科ならではの視点から学んでいきます。

通訳翻訳研究関連科目群

異文化・異言語コミュニケーションにおける課題や可能性への気づき、通訳翻訳実践の諸相への理解を促します。体験型実習や共同プロジェクト志向の通訳翻訳演習を通して、企業や組織内でエントリレベルの通訳翻訳実務ができるレベルへの到達を目指します。

グローバル・スタディーズ 研究関連科目群

人、メディア、言語、文化等のグローバル化によって移動するさまざまな対象を主題として専門的な知識を獲得していきます。さらに、国際協力・開発について、紛争研究や開発教育など本学科ならではの視点で理解を深めていきます。

Q & A これまでの語学系・国際系の学部学科と、どのように違うのですか。

多くの語学系・国際系の学部では、中心になる言語や地域を1つに絞って学びますが、当学部では「英語+1」の2つの外国語を学ぶことで複眼的思考力を養うとともに、世界中どこへ行っても自らの目的を遂行できるコミュニケーション力や人間力を習得します。また、専門科目をすべて英語で修

得する「Dual Language Pathway」を設置し、グローバル社会に貢献できる人材を育成します(当学部国際コース選抜入試の合格者が主対象ですが、他の入学試験制度で入学した学生も1年次に申請でき、選考により履修できます)。



Student's Voice > 野村 春香 3年次 神奈川県 県立相模原高校

他文化を知り、自国の文化を見つめ直す

幼少期を海外で過ごしていた私にとって、「異文化」という分野はとても興味深く、また留学が必修であることにも魅力を感じて入学を決めました。学科にはさまざまなバックグラウンドをもつ学生が多く、日々刺激を受けながら切磋琢磨しています。また、語学留学をしたスペインでは、語学力を日常会話レベルまで養えただけでなく、現地の人々の人柄や文化に触れることで、日本人としてのアイデンティティを再認識することができました。

特に印象に残っている授業は池田伸子先生の「日本語学概論A」です。自身の母語を分析することで、今まで自然に使っていた日本語を違う観点で見ることができるようになり、この授業をきっかけに「日本語教育」という新たな分野への興味が芽生えました。異文化や多文化への理解が求められるこれからの社会の中で、本学科で学んだことを生かしていきたいです。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		アフリカへの扉	英語ライティング		英語プレゼンテーション1	
2	日本語学概論A		コミュニケーション入門	コミュニケーションセミナー1B		
3	英語ディスカッション1	スペイン語基礎	基礎演習	CLP A	地域文化研究入門	
4	コミュニケーションセミナー1A				スペイン語基礎	
5				グローバル・イシュー各論		
6						

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2		美術の歴史	カルチュラルスタディーズ特論		読得コミュニケーション論	
3	法への招待	日本語教授法A	Transcultural Cinema		心理言語学	
4			日本語教授法B			
5	対人関係の心理	スペイン語Lecture A	スペイン語スタンダード2			
6						

授業紹介

1 導入期

- 基礎演習A
- 言語・コミュニケーション研究入門
- 言語学概論
- グローバル・スタディーズ研究入門
- College Life Planning A

2 形成期

- Cultural Exchange ■ 日本語教授法A
- 国際協力・開発学概論
- コミュニケーション研究概論
- 通訳翻訳学概論

3 完成期

- 第2言語習得理論
- グローバル社会とコミュニケーション
- 多文化共生特論 ■ 専門演習1~3 ■ 卒業研究

PICK UP

医療や行政の現場で必要とされる言語とは

■ **通訳翻訳と多文化社会** 行政、福祉、医療、司法など、幅広い場で通訳や翻訳は必要とされています。さまざまな場所や状況で行われている音声および手話通訳の現状を多くの事例を通して学ぶことにより、多文化多言語社会におけるコミュニケーションの課題について考えていきます。

自分の「ことば」は、相手にどう受け取られている？

■ **対人コミュニケーション論** 対人コミュニケーションにかかわる概念や理論を通して、関係性の発展、維持、摩擦、解消にどのような要素が絡んでいるかを考察します。日常生活における体験だけでなく社会的現象も射程に入れ、自己と他者との相互作用をミクロとマクロの視点からみることで、人間関係にコミュニケーション行為がどのように関与しているかを考えていきます。

専任教員と演習テーマ・研究分野

Caprio, Mark E. 朝鮮の歴史
Cousins, Steven D. Culture and Selfhood
Glasgow, Gregory P. English education policy
濱崎桂子 ドイツ語圏文化研究
Hartley, Anthony F. Machine Translation
星野宏美 音楽学
細井尚子 演劇学・中国表演学・比較演劇研究
飯島みどり ラテンアメリカ近現代史・地域研究
池田伸子 日本語教育・教育学
石井正子 紛争研究・国際協力・地域研究
石川文也 ディスクール(会話)分析

石坂浩一
★Johnson, Stephan C.
★神戸直樹
河合優子
★川崎晶子
小峯茂嗣
小山 亘
黒岩三恵
Lee, Hyangjin
Martin, Ron

韓国社会論
International Relations
コミュニケーション学
異文化コミュニケーション論・多文化社会論
社会言語学
平和構築・国際協力・NGO
言語人類学・コミュニケーション論
西洋美術史
映画研究
Language learning motivation, English language education

丸山千歌 日本語教育・社会言語学
松下佳世 通訳翻訳学・メディア研究
森 聡美 バイリンガリズム・言語習得
師岡淳也 コミュニケーション学・レトリック研究
灘光洋子 異文化コミュニケーション論
中川 理 文化人類学・グローバル化・研究
新野守広 現代ドイツ演劇・都市文化論
★王 紅艶 国際関係論・日中関係史・中国語学
小倉和子 フランス語圏文学・社会
奥野克巳 文化人類学
佐竹晶子 アイルランド演劇
佐藤邦彦 言語学・スペイン語学

高橋里美 第二言語習得理論
高山一郎 言語政策
武田珂代子 翻訳通訳学
★鳥飼慎一郎 英語教育学・コーパス言語学・司法英語研究
Velasco, Daniel Intercultural communication
山口まり子 分析哲学・倫理・祭祀と信仰

★印は2019年3月退職予定

経済学部

経済という身近だが複雑な現象、これを理解し、これに働きかける。

経済が私たちの日々の生活を支えていることは誰もが知っています。しかし、経済は無数の人々や企業の活動によって成り立っているため、複雑で日々変化しています。この複雑な経済現象を分析して、理解することが経済学を学ぶ第1の目的です。また、私たちは仕事や消費を通じて経済活動に参加している経済の主人公でもあります。自分の考えをもって経済社会で行動することができるようになることが経済学を学ぶ第2の目的です。

経済学は世界中で学ばれている学問です。経済学を学ぶことは、世界共通のコミュニケーションツールを習得することを意味します。虫眼鏡で見るような身の回りの生活や企業の経済活動から、国民経済全体、さらに人工衛星で地球を眺めるような全世界的な経済活動まで、研究対象としてい

るのが経済学です。

経済学部は1907年創立の伝統を有し、優秀な教授陣が最先端の学問を教授しています。経済学科は、経済理論、歴史を中心に経済を分析する能力を身につけます。経済政策学科は、政策を分析する能力、望ましい政策を構想する能力を身につけます。会計ファイナンス学科は、企業の会計と財務・金融市場を分析し、実行する能力を身につけます。

グローバル競争の激化、地球環境問題の深刻化、人口構造の高齢化と出生率の低迷、社会的格差の拡大など、日本経済と世界経済が直面する課題が山積みです。経済学はこれらの課題を正面から扱う学問です。経済学部で広い視野と自立した思考力を身につけ、現実の課題に取り組めるようになります。

〉経済学科

〉経済政策学科

〉会計ファイナンス学科

基礎理論から実践的な応用へ

カリキュラムは基礎科目を土台として、理論、歴史、企業、各国経済の実態、経済・産業政策、労働・社会政策、会計、財務、金融の諸問題を専門的に学んでいきます。

これからの社会が求める人材育成

企業・組織・地域で、創造的に率先して活動する人材、自ら課題を設定し、その解決の道筋を示すことのできる人材を育てます。そのために、キャリア教育科目も設置しています。

教養を備え、課題意識をもった人間に

経済学部は、経済社会の現実を的確に分析する素養をもち、語学・情報処理の能力を備えた、教養豊かな人間育成を目指します。

学部教育の要「ゼミナール」

経済学部は学科間の垣根が低く、ゼミナールについても他学科のものが履修可能です。ゼミナールでは講義から得た知識を生かし、討論を通じて批判的な探究心、問題発見の力を養います。また、論文・レポートを作成し成果を報告するスキルも磨きます。

〉学部Webサイト: www.rikkyo.ac.jp/undergraduate/economics/

〉デジタルパンフレット: www.rikkyo.ac.jp/admissions/brochure/

PICK UP RESEARCH 研究紹介



環境を守りながら経済を発展させるには？

経済活動は、有益な製品やサービスの提供などを通じて私たちの生活を支える一方で、環境に対してさまざまな負荷をかけています。しかし、環境保全のために経済発展を完全に抑制することは現実的ではありません。では、経済発展と環境保全はどうすれば両立させることができるのでしょうか。この問いに答えようとするのが、私の専門である環境経済学です。

環境経済学では、環境問題の原因が人々の経済活動にあると考え、経済学の視点から環境問題が発生する仕組みや解決のための対策、そして環境保全と経済発展を両立させる方法について考えます。問題の根幹を探るためのフィールド調査やデータ分析も不可欠です。また、研究で得た知見を現実の社会にどのように生かせるのかを検討することも求められます。いずれも容易なことではありませんが、その難しさ以上に、取り組みがいのある研究分野です。

経済学部 経済政策学科 准教授

一ノ瀬 大輔

PROFILE

慶應義塾大学助教(研究)、東北公益文科大学専任講師を経て2013年より現職。専門は環境経済学。主にリサイクルなどの効率的な資源循環のあり方や環境法についての経済学的な分析をテーマとして研究を行っている。

担当講義

- 環境経済学1・2
- 統計学1・2
- ゼミナールA・B など



経済学科

的確な歴史認識と、先端的手法で 国際的視野から問題分析できる人材に。

日々の暮らしは「モノやサービスをつくり出し、分配して、消費する」、つまり経済活動にあふれています。経済学科では「人々がいかにして豊かに、しかも人間らしく暮らせるか」を課題に、経済の実態を知り、それを動かす論理を解明します。まず、問題点を洗い出して解決策を探るためには、経済の理論と歴史的展開を理解することが必要です。そのうえでテーマや未来像に応じて、より進んだ経済理論や数量的手法、現代経済の政策的課題、各国経済とその歴史などを深く学んでいきます。卒業後の進路選択に役立つよう、専門選択科目や実習、インターンシップなどの実践的科目を充実させ、きめ細かな教育体系で取り組んでいます。

身につく力

経済の実態を知り、
問題点と解決策を
探る問題解決力

経済の本質を捉え、
変化の時代を
生き抜く力

資料分析や文献
研究を駆使した
統計分析能力

カリキュラムの特徴

学びたいテーマから将来の道を見つける 経済学科の科目履修案内

経済学科では、「経済学」、「経済学史」、「経済史」、「統計学」などの基礎科目を学んだうえで、2年次より学問的関心に応じた専門科目を習得します。

経済理論を深く学ぶ

社会経済学やマクロ経済学、ミクロ経済学などを用いて、現実の経済現象を分析する能力を高めます。

数量分析を中心に学ぶ

計量経済学や数理経済学等に必要で、経済を数量的に分析する能力を高めます。

各地域や世界経済を学ぶ

世界経済論や各国経済の歴史を学びながら、世界の「今」を分析する能力を養います。

経済学の奥深さを実感する ユニークで実用性の高い講義

経済学部では、授業で学んだ内容をより現実に近い形で実践したり、第一線で働く経済人による講義を聴いたりする「企画講座」と「特別講義」を設けています。

企画講座・特別講義のテーマ／一例

- ・ 会社を引き継ぐ（事業継承）
- ・ 仕事を体感する課題解決型授業
- ・ 国際都市の社会政策
- ・ 租税と税理士制度（税理士会）
- ・ ベンチャー創出特別講座
- ・ 産業の多様性や関係性を理解する
- ・ 税金の無駄遣いをチェックする（会計検査院）
- ・ 現代社会とアカウンタビリティ

TOPICS 経済の専門的英語力が身につく海外プログラム

経済学部では、経済・経営について英語で議論する力、各国の経済・経営に関する知識、異文化コミュニケーションの実践能力を身につけることを目的として、夏季・春季休暇に、アメリカやイギリス、

オーストラリア、カナダ、フィリピンの大学での海外プログラムを設けています（自由参加）。ビジネスプレゼンテーション演習や、経済・経営に関する授業を英語で受講します。



専任教員とゼミナールテーマ

荒川章義 現代社会を経済学で考える
安藤道人 社会問題と社会保障の
計量経済分析
藤原 新 現代経済学の基礎
蓮見 雄 EUと持続可能な社会
池田 毅 現代経済研究

郭 洋春 アジアをめぐる諸問題の研究/
実践型共同研究
菊池雄太 ヨーロッパ社会経済史
林 采成 日本経済の展開と構造
岡部桂史 近現代日本の経済史・経営史
★大友敏明 信用理論の研究

櫻本 健 日本経済に関する実証分析に
必要な知識を身につける
佐々木隆治 社会経済学からみる
現代の社会問題
佐藤有史 経済学史
須永徳武 日本企業の経営史的研究

山縣宏之 グローバル化する世界経済
—アメリカを中心に理解する—
湊 宏昭 アジア経済史



Student's Voice > 田崎 秀征 3年次 長崎県 長崎西高等学校

「経済」を知ると、 日常の見え方が変わる

今日の日本を動かす、「経済」の実態とはどのようなものだろうか——高校の頃抱いていた疑問に踏み込むために、経済学科への入学を決めました。本学科では、段階を踏みながら体系的に学びを深めていくことができます。1年次で経済学の知識基盤を築き、2年次で関心に応じた科目の専門性を高め、3年次でその知識をアウトプットし、考察を展開していく。これらの学びによって、日常生活にも変化が起きたことを実感しました。普段何気なく見ていたニュースも、「なぜこのような金融問題が起きているのか」「日本の経済が今どのように動いており、実際に私たちの生活にどんな影響を与えているのか」など、さまざまな視点から今日の経済をみることができるようになりました。

今後も学科で得た知識を活用してより一層学びを深め、残りの大学生活を実りのあるものにしていきたいと考えています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		世界経済論	中国語基礎2	英語ライティング	英語ディスカッション2	英語プレゼンテーション2
2	簿記	経済学2				
3	中国語基礎2	情報処理入門2		美術の歴史	スポーツの科学	
4		基礎ゼミナール2				
5				観光学への招待		
6						

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			財政学1			
2		農業経済論	産業経済論1		近代日本社会と人権	
3	環境経済学1		文学講義325	初級マクロ2	ニュースの社会学3	
4	租税法1	ゼミナールA	キリスト教講義32			
5						
6						

授業紹介

1 導入期

- 経済学1・2 ■ 統計学1・2
- 日本経済論1・2 ■ 経済学史1・2
- 基礎ゼミナール1・2 ■ 情報処理入門1・2

2 形成期

- 社会経済学1・2 ■ 初級ミクロ経済学1・2
- 金融論1・2 ■ 初級マクロ経済学1・2
- 経営学1・2 ■ 財政学1・2

3 完成期

- 応用社会経済学1・2 ■ 中級ミクロ経済学
- 中級マクロ経済学 ■ 景気変動論1・2
- 現代資本主義論 ■ 数理経済学
- 開発経済学 ■ 公共経済学1・2

PICK UP

先進国と発展途上国の経済格差を埋める方法を探る

■ **開発経済学** 現在の世界経済が解決すべき大きな課題のひとつは南北問題（豊かな先進国と貧しい途上国との格差）です。そのために、第二次世界大戦以降、多くの開発政策が誕生し、試みられてきました。しかし、いまだにこの問題は解決していません。それを理解し、いかなる開発政策を立案すれば、南北問題が解決するののかをともに考えていきます。

授業テーマ／一例

・循環型社会 ・持続可能性 ・地域自立

企業活動の現場を体感！

■ **インターンシップ** 春学期はビジネスマナー講習など事前準備学習を行い、原則的に夏季休暇中に2～3週間のインターンシップを実施します。秋学期はインターンシップを通じて得た知見や経験を体験報告にまとめ、受講者全員で共有化します。



企業が抱える課題の解決策を提案する

■ **課題解決演習B** 産学連携を通じた協力企業から提示される具体的な課題に対し、その解決策の検討や提案に取り組む課題解決型学習の授業です。受講生は、少人数のグループを構成し、互いに密にコミュニケーションをとりながら、最終発表に向けて各課題に取り組みます。

経済政策学科

政策分野の専門的な知識を身につけ、 政策を分析し立案する人材を育成。

経済政策の主人公は、政策の決定者であり受益者であり、さらに納税者でもある国民です。経済活動と地球環境との調和をどのように図ったらよいのか、快適でエネルギー効率のよい都市をどのように作ったらよいのか、望ましい税制度はどのようなものか、少子高齢社会に対応した社会保障をどのように作ったらよいのか。それら21世紀が直面する問題について「どのように」対処するのかを学ぶのが、経済政策学科です。経済学の知識を応用して問題解決に向けた政策を追求し、さまざまな領域を深く学んでいきます。政策の中心が国民である原則を忘れずに、経済システムが変容する時代に対応した政策立案ができる人材を育てます。

身につく力

公共機関の政策を
経済学的に分析
する公的な視点

社会が直面する
課題に応じた
政策立案力

経済問題と政策を
多角的に分析する
複眼的考察力

カリキュラムの特徴

政策立案・遂行能力を身につける

3つの学びの分野

経済政策学科では、「政策分析概論」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「社会経済学」などの授業を通じて、経済と政策の土台となる理論や分析方法を学び、経済や社会をめぐる政策を3つのカテゴリーで掘り下げます。

公共サービスと生活

国や自治体の役割、税負担のあり方、都市政策、社会保障制度、環境、NPOの役割などを学び、政府部門を中心とする政策について理解します。

グローバル化と地域

国際経済政策、途上国開発、国際機関の役割などを学び、他の国や地域との関係をふまえた政策の役割を考えます。

競争と規制

産業構造や産業政策、中小企業問題、労働と生活などを学び、民間の企業活動と政策のかかわりを考えます。

充実の1年次教育で基礎を習得し、 少人数ゼミナールで専門分野を深く学ぶ

1年次は、全員が少人数クラスの基礎ゼミナールで大学での学問の仕方を学び、2年次以降に専門分野で各自興味のある研究に取り組みます。

1年次

文献の調べ方や討論の方法など、研究の基礎を学びます。また、コンピューターを使って分析法を学ぶ「情報処理入門」や、経営学の入門講義などもあります。

2年次以降

専門ゼミナールを多数開設。政策に関するシミュレーション実習を行う「政策情報処理」、現実の社会政策課題を議論する「政策分析演習」などがあります。

市民生活からグローバルな課題まで 実践的で多彩な専門科目群

年金・医療・福祉など市民の生活にかかわる政策から、国・地域の政策、通商政策・地球環境問題などグローバルな政策まで、豊富に揃っています。また、さまざまな現場の経験者や研究者を招いた課題解決演習などの実践的な科目も設置。インターンシップ、Short-term Study Abroad Program in Economicsなども履修できます。

専任教員とゼミナールテーマ

DeWit, Andrew 気候変動と環境エネルギー政策の政治経済学
 厳 成男 現代アジアの経済発展と制度変化
 一ノ瀬大輔 環境保全と経済発展の両立に向けた研究
 池上岳彦 現代財政の諸問題
 菊池 航 現代日本の産業研究

大山利男 農・食に関する経済・政策研究
 櫻井公人 グローバル経済・国際経営、国際関係と経済政策
 関口 智 現代財政・租税論の国際比較研究
 首藤若菜 雇用形態の多様化に関する研究
 菅沼 隆 国際社会保障

田島夏与 都市環境と地域コミュニティ
 遠山恭司 中小企業と地域経済

地域の問題を、 経済の視点を通して研究する

日々報道される経済に関するニュースを聞く中で、経済状況を良くするための金融政策について深く知りたいと思い、本学科を志望しました。授業ではいわゆる経済学を学ぶだけでなく、環境・農業・地域の特色など、さまざまな分野に関して経済の視点から考察します。経済学部では、1年次に基礎ゼミという少人数授業でレポート作成や発表、議論の方法を学び、2年次から専門性の高いゼミに所属します。また1年次の「政策分析概論」では、2週ごとに担当教授が代わり異なる専門の話聞くことができるので、自分が興味のある分野を見つけて2年次以降の履修やゼミ選びの参考にできます。

現在私は所属するゼミで地場産業について研究していますが、データや文献の分析だけでなく、実際に企業を訪問してヒアリングを行い、根拠のある研究になるよう心がけています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		国際経済論	中国語基礎1	英語ライティング		英語 プレゼンテーション1
2		英語 ディスカッション1	社会学への招待1	経済学	スポーツ プログラムE	
3	中国語基礎1			基礎ゼミナール1	政策分析概論	
4	経営学1	簿記		情報処理入門		
5			映像学への招待			
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		経済原論B	日本経済史1	社会政策論1	労働経済論1	
2	開発経済学	健康の科学	租税論1	ストレス マネジメント	産業経済論1	
3				マクロ経済学1		
4	公共経済学1			ゼミナールA		
5	流通経済論					
6						

授業紹介

1 導入期

- 経済学1・2 ■ 統計学1・2
- 政策分析概論 ■ 基礎ゼミナール1・2
- 情報処理入門1・2

2 形成期

- 経済政策論1・2 ■ 財政学1・2
- 社会政策論1・2 ■ 租税論1・2
- 国際経済政策論

3 完成期

- 中級ミクロ経済学 ■ 中級マクロ経済学
- 政策分析演習 ■ 都市政策論1・2
- 公共経済学1・2 ■ 地方財政論1・2
- 環境経済学1・2 ■ 農業経済論

PICK UP

知ることによって興味が増す世界と日本が直面する課題

■ **政策分析概論** 経済政策学科の導入科目として、学科の専任教員が交代でそれぞれの専門とする政策分野について主要講義科目で学ぶべき内容を概説します。経済政策の体系や世界と日本が直面する現代の政策課題を学ぶとともに、経済政策学科における学び方やカリキュラムを深く理解することにより、各自の研究テーマに沿った専門科目の履修へとつなげます。

都市のしくみがわかると課題が見えてくる

■ **都市政策論** 私たちが生活し消費を行い、仕事を通じて生産活動にかかわる場としての都市がいかにして成り立っているのか、都市経済学の理論をベースに考察します。土地利用や住宅、交通・環境問題、地域間格差などの現実の都市における課題がなぜ起こっているのかを経済学を通じて考えるとともに、日本や世界の都市社会でこれらの課題にどのように取り組むのか、過去・現在・未来の都市計画・政策事例を分析しながら学びます。

農業政策はなぜ必要？ 歴史をふまえて未来を考える

■ **農業政策論** 農業政策は農業分野の政策ですが、資源・環境保全や地域振興などの分野にまたがる政策領域であり、政治的論点のひとつでもあります。本授業では、農政改革の柱である農業政策、資源・環境保全にかかわる政策、条件不利地域などにおける農村振興政策、さらに食料安全保障や、食品安全・規格基準などの制度について学びます。

Q & A 経済政策学科と経済学科とは、どのような違いがありますか。

どちらも経済学を基盤にしていますが、経済学科では経済現象を分析することを目的とし、理論・歴史・現状分析を中心に学びます。経済政策学科では、経済学を通じて社会の変化とその要因を学ぶとともに、政策分析の手

法と実際についてそれぞれ深く勉強していきます。また、実践的なポリシー・マインドを身につけるため、具体的な問題・制度を取り上げ、経済学を応用して解決するための政策対応を考察します。

会計ファイナンス学科

会計と金融・財務を有機的に結びつけ、 現実の経済を分析する能力を養う。

多くの利害関係者が誤った判断をしないように、企業が提供する情報は一定のルールに従って記録・伝達されなければなりません。会計は、企業が行う経済活動の成績を表したものです。その企業は、銀行借入や証券発行によってお金を集め、機械設備や製品開発などに投資しています。このお金の流れがファイナンスです。会計とファイナンス両面の知識を身につけることで経済・社会を分析する力を手に入れることができます。会社の経営状態はどうか、いつ・どのように資金を集めることが最適なのか。会計ファイナンス学科では、実践的な知識を習得しながら、このような問題を具体的に考え、自分の言葉で説明できる力を磨きます。

身につく力

企業の経営状況を
把握し改善に導く
経営財務分析力

会計・ファイナンス
両面から考察する
企業分析力

国際金融取引の
背景と問題点を
考察する視座

カリキュラムの特徴

基礎科目から応用科目へ

インタラクティブで積み上げ方式の学習

会計ファイナンス学科では、まず「簿記」や「会計学」、「金融論」などで基礎を学び、会計やファイナンス、マネジメントの各分野からなる専門科目で理解を深めて実践へと導きます。

アカウンティング(会計)

企業活動を記録・測定する会計実務と分析能力を養います。

ファイナンス

金融の仕組みやお金の流れ、資金の運用方法を学び、修得します。

マネジメント

企業が行うさまざまな活動を、経営という立場から分析する力を身につけます。

社会の高度化・複雑化に伴い、

必要性が高まる各種資格の取得を支援

会計ファイナンス学科では、公認会計士、税理士、証券アナリスト、ファイナンシャル・プランナーなどの資格取得を支援するカリキュラムを豊富に組み込んでいます。これらの資格試験は早めに基礎を習得して受験勉強を始めておけば、卒業までに合格することが可能です。

「会計」と「ファイナンス」を

有機的に結びつけた学習を展開

会計ファイナンス学科では、「財務会計論」や「管理会計論」など“事業の言語”である会計分野の科目と、「コーポレート・ファイナンス」や「証券経済論」など時間とリスクの中での資本配分を扱うファイナンス分野の科目を、事業活動とマーケットという観点から有機的に結びつけて学習していきます。これにより、ダイナミックな現実の経済を分析できる能力を養います。

Q & A 「会計」と「ファイナンス」は、どのような関係にあるのですか。

会計は、企業の財務状況・企業価値を明らかにします。一方、ファイナンスは、企業価値を高めるための経済活動のうち、株式や社債の発行、金融機関からの借入れといった資金調達面と、金融投資、金融資産や不動産の保有といった資金運用面の活動を指し、この財務的活動の結果が会計に表れ

ます。したがって、会計と財務・金融市場が密接に結びついていることを総合的に理解することが重要となります。会計ファイナンス学科では、企業会計の理論と実習、資金調達・資産運用と金融市場、そして企業の経営とファイナンスについて、総合的に学べるようカリキュラムを組み立てています。

専任教員とゼミナールテーマ

飯島寛之 国際金融問題の研究
★黒木龍三 金融とマクロ経済
三谷 進 金融市場と証券投資に関する研究

諸藤裕美 管理会計論
小澤康裕 財務会計と監査
坂本雅士 租税法の研究

関 智一 多国籍企業の研究
内野一樹 原価計算論の研究
山田康裕 財務諸表から企業をみる目を養う

「会計」「金融」の基礎から 能動的に学びを深める

会計ファイナンス学科は会計や金融、企業戦略などについて、基礎から専門的に学ぶことができる場所です。私は高校生の頃から、企業の戦略と資金の動きに関して興味をもっていたので、「会計」と「金融」について基礎からじっくりと、そして専門的に学びを深めていける本学科は、知的探究心を満たしてくれる最適な環境だと感じています。また、自分の興味・関心にあわせて学べる場が整っているので、与えられた授業をただ受けるのではなく、能動的に学ぶ姿勢が身につきました。

おすすめの授業は、「マーケティング論」です。企業がどのような商品や、誰に、どのように売っていくという市場の仕組みを、身近な例をふまえて学ぶことができます。今後は、企業のマネジメントについてより深く学び、経営という立場から物事を洞察する力を身につけて、将来に生かしていきたいと考えています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		簿記1	スペイン語基礎1	英語 eラーニング	英語 ディスカッション1	英語リーディング &ライティング1
2				情報処理入門1	ライフマネジメントと 学生生活	
3	スペイン語基礎1			経済学1	経済数学入門	
4	経営学1	統計学1		基礎ゼミナール1		
5						
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	原価計算論1	マーケティング論1	証券経済論		世界経済と日本	
2	財務会計論1	宇宙の科学	コーポレート・ ファイナンス1		2020年東京パラリン ピック支援を考える	
3		初級マクロ1			会計学1	
4					ゼミナールA	
5	流通経済論					
6						

授業紹介

1 導入期

- 簿記1・2 ■ 統計学1・2
- 基礎ゼミナール1・2
- 情報処理入門1・2

2 形成期

- 会計学1・2 ■ 金融論1・2
- コーポレート・ファイナンス1・2
- 経営学1・2 ■ 中級簿記1・2
- 会計監査論1・2

3 完成期

- 財務会計論1・2
- コーポレート・ガバナンス論1・2
- 管理会計論1・2 ■ 現代企業論1・2
- 租税法1・2

PICK UP

「ドル」の価値はどうなる？「ユーロ」はどうやって生まれた？

■国際金融論 戦後の国際通貨体制の変遷とその特徴を、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの3つの地域から多角的に理解します。まず戦後のドル体制とその変遷について学び、サブプライム危機やヨーロッパの統一通貨ユーロが抱える構造的な問題等を金融面と実体経済面の双方から読み解いていきます。

授業テーマ／一例

- ・金本位制とブレトンウッズ体制
- ・アジアの発展と金融危機
- ・ユーロの誕生と金融財政危機
- ・金融のグローバル化

企業の株価はどう決まる？ ビジネスパーソン必須の知識

■コーポレート・ファイナンス 「株や国債の値段がどう決まるか」「新工場建設の可否を判断する方法」など、企業の経営財務の問題を扱い、企業価値の評価方法と企業財務のマネジメントを学びます。

授業テーマ／一例

- ・キャッシュフローの価値
- ・投資の意思決定
- ・企業の資本コスト
- ・企業財務のマネジメント(コーポレート・ガバナンス、企業再生など)

会社の利益とは？ 財務会計のしくみから考える

■財務会計論 財務会計理論の歴史的変遷を理解することで、経済的環境変化とともに会計理論が展開されてきたことを明らかにしていきます。また、会社法による会計の制度的側面の変化についても学びます。

授業テーマ／一例

- ・財務会計とは
- ・基礎的会計理論(動態論と静態論、会計情報の有用性など)
- ・日本の会計制度(会計の制度的枠組み、会社法による新たな展開など)
- ・収益・費用(収益・費用の概念と測定、包括利益についてなど)

経営学部

グローバルなビジネス環境の中でリーダーシップを発揮する人材を育成する「まれにみる経営学部」。

今日の企業活動は、世界中の国や地域をリアルタイムで結び、情報や資源、製品、労働力を有機的に結びつけながら行われています。多くの日本企業が海外に進出している一方で、日本国内にも多くの外資系企業が進出し、日本企業が海外企業と積極的に提携しながら事業を進めています。その結果、さまざまなバックグラウンドをもった従業員が日本企業に雇用され、職場環境が激変しています。

経営学部では、このように価値観が多様化している国際化社会において、企業の経済的および社会的な機能を理解し、明確なビジョンと高潔さをもったうえでリーダーシップを発揮して、自らの目標を実現させ、社会に貢献することのできる人材を育成します。また、異文化理解や企業の倫理性・社会性も重要な側面であると考え、経営戦略論、マーケティング、会計、ファイナンス、組織の心理学、組織論、企業倫理、

コミュニケーションなどのさまざまな分野を理論的かつ実践的に学んでいきます。

本学部では、「ビジネス・リーダーシップ・プログラム(BLP)」「バイリンガル・ビジネスリーダー・プログラム(BBL)」「グッド・ビジネス・イニシアティブ(GBI)」を核とした独自のプログラムを展開。1年次春学期の「リーダーシップ入門」では、企業から与えられた課題に少人数グループで取り組み、2年次からは少人数制の演習が始まります。さらに、学部間交換留学プログラムが充実しており、国際経営学科は卒業までにほぼ100%の学生が留学をしています(経営学科も同じ条件で留学が可能)。このような取り組みは、全国的にみても先端のかつ模範的だとして「まれにみる経営学部」と認知されています。

› 経営学科

› 国際経営学科

最先端の専門知識がしっかり身につく

各分野のプロフェッショナルが、国際社会の動向を織り交ぜながらわかりやすく講義。今とこれからの社会に不可欠な最先端の専門知識を段階的に身につけます。

少人数のグループワークが中心

独自のカリキュラム「BLP」や「BBL」をはじめ、少人数のグループワークを中心に授業を展開。課題解決に向けて自律的かつ主体的に取り組むことで、チームで達成する苦労や喜びを学んでいきます。

ビジネスのプロから実践力を学べる

実在の企業にプロジェクトを提案し評価を受ける演習プログラムをはじめ、インターンシップや企業人セミナーなど、実践力を重視したカリキュラムを編成しています。

英語力が向上する環境とプログラム

海外からの留学生も多く、英語で専門科目の講義が受けられるなど、日本にしながらグローバルな環境で学習できます。また、世界中の提携大学への留学や海外企業でのインターンシップも可能です。

PICK UP RESEARCH 研究紹介



ファンの熱狂が経営に与えるインパクトとは

みなさん、スポーツは好きですか？

何故スポーツファンは熱狂的にスポーツチームを応援し、たとえ負けが込んでいるようなチームに対しても長年声援を送り続けるのでしょうか。また、スポーツ選手のユニフォームの企業名や、試合を観戦中によく見かける企業の広告看板が気になることはありませんか。どのような目的で企業はそれらを掲載しているのでしょうか。

私の研究室では、その謎を解くとともに、スポーツファンや企業がチームの経営に与えるインパクト等を理解することを目的に、研究活動をしています。具体的には、スポーツの試合を実際に観戦し雰囲気を感じるとともに、ファンを対象としたアンケート調査・分析などを行っています。また、スポーツが社会に与える価値にも焦点を置いて研究しています。「スポーツ好き」にはたまらない、好きなことをトコトン追求する研究領域です。

経営学部 国際経営学科 准教授

辻 洋右

PROFILE

マイアミ大学(フロリダ)、ワシントン州立大学、琉球大学を経て2014年より現職。主な研究テーマはスポーツ・スポンサーシップ効果に関するもの。また、スポーツ・ツーリズム等にも関心がある。

担当講義

■ Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market

■ リーダーシップ入門 など



経営学科

少人数での実践的な学びをととして、 未来のビジネスリーダーを育成。

将来を担うビジネスリーダーには、企業＝組織を機能させながら事業を管理していく知識と能力が必要です。経営学科では、演習と講義の両輪で実践力を身につけていきます。まず、少人数で行う体験・実践的カリキュラム「ビジネス・リーダーシップ・プログラム（BLP）」で、一人ひとりのリーダーシップやコミュニケーション力を段階的に高めるとともに、チームワークを育みます。その上で、専門知識を「マーケティング領域」「マネジメント領域」「アカウンティング&ファイナンス領域」「コミュニケーション領域」の4つのコンセントレーションから、幅広く修得していきます。

身につく力

チームをまとめ
結論を導き出す
リーダーシップ力

事業に対する
問題発見力と
論理的思考力

社会から
求められる価値を
創造する力

カリキュラムの特徴

経営学の専門分野を4つの領域で深く学ぶ

経営学部の専門選択科目は、4つの領域（コンセントレーション科目）から構成されます。1年次の「経営学入門」で経営学の概要を学んだのち、さまざまな講義と演習により経営学の理論を深く学んでいきます。どの分野も、豊富な研究実績と教育実績をもった教授陣を揃えています。

マーケティング領域

企業はどのように売れる仕組みを構築するのか。マーケティングの基本理念から製品開発、広告、管理など、企業が行うさまざまな対市場活動を学びます。

アカウンティング&ファイナンス領域

企業はどのようにリスク管理しながら資金調達・運用を行うべきか。実例を交え、データ収集力や分析力を身につけながら、総合的に学びます。

マネジメント領域

経営者は組織をどのようにつくり、運営すればよいのか。事例やデータを交え、さまざまな視点から組織と人材のマネジメントの仕方を学びます。

コミュニケーション領域

人間関係はどのように創造、保持、ときに崩壊するのか。理論を活用して分析力をつけるとともに、コミュニケーション能力を伸ばしていきます。

日本初の学部レベルでの全員履修科目

「ビジネス・リーダーシップ・プログラム（BLP）」

権限がなくても成果目標を共有し周囲を巻き込めるリーダーシップを発揮できる人材の涵養を目的につくられた、経営学部のコア・カリキュラムです。春学期の「プロジェクト」を通じたリーダーシップの体験と秋学期の「スキル強化」を交互に行い、一人ひとりのリーダーシップを高めていきます。プロジェクトでは企業が実際に抱えている課題の解決を少人数のグループに分かれて取り組み、ビジネスで求められる考え方を身につけます。スキル強化ではリーダーシップを高めるための論理的思考能力・コミュニケーション力およびリーダーシップ理論などを学び、一人ひとりの強みを磨いていきます。

過去のBLPクライアント企業

2017年度 ビームス／アビームコンサルティング／吉野家
2016年度 吉野家／Glossom／アビームコンサルティング
2015年度 エイチ・アイ・エス／武蔵野銀行／アビームコンサルティング
2014年度 日本ヒューレット・パッカド／武蔵野銀行／ヤフー

Q & A 立教大学の経営学部は、他大学の経営学部とどのように違いますか。

少人数授業があること、リーダーシップ体験から自分のリーダーシップ持論を展開できることが大きな違いです。たとえばBLPは1年次春学期から2年半にわたって履修することができ、どの科目も20名から30名程度の少人数クラスです。そのため一人ひとりが主体的に参加することが求められます。

また企業とのプロジェクト経験を振り返り、一人ひとりの強みを生かしたリーダーシップをみつけていきます。これにより経営学の知識だけでなく社会で求められるリーダーシップを身につけることができます。

専任教員と担当科目・研究テーマ

秋野晶二	企業戦略の理論と実態の研究	亀川雅人	現代企業の行動分析	鈴木秀一	経営戦略と組織	館野泰一	リーダーシップ入門(BL0)
青淵正幸	企業価値の研究	佐々木 宏	マーケティング・リサーチ、	高岡美佳	小売経営とブランドマネジメント	鄭 秀娟	実践によるコーチング型の
有馬賢治	マーケティング・リーダーシップ		経営情報論	山口和範	統計学・データサイエンス		リーダーシップ
倍 和博	会計学入門	松井泰則	財務会計論基礎	山中伸彦	経営組織論	宮錦三樹	経済学
石川 淳	リーダーシップ論、組織行動論	中原 淳	人材開発論、組織開発論	稲垣憲治	BL3-A		



Student's Voice > 橋詰 綾香 2年次 群馬県 新島学園高等学校

仲間とともに、 挑戦の機会に恵まれた環境で学ぶ

大学生活を充実したものにするためには、「いかに挑戦し、いかに努力するか」が大切だと思います。私は経営学科に入学後、「ビジネス・リーダーシップ・プログラム(BLP)」を受講し、その大切さを学びました。

BLPのカリキュラムは約2年半にわたりますが、どの授業も常に能動的に学ぶ姿勢が求められます。その中で、自分の強みや弱みと向き合い、失敗を振り返り成功につなげる大切さを学んだことで、自ら挑戦し試行錯誤を繰り返す意欲が身につきました。

また、私は2年次に新入生が受講する「BL0」の授業運営アシスタントに志願しました。教員をサポートし、受講生のリーダーシップの成長を支援する活動には、自分が受講していた時とは違った挑戦が多くありました。社会で活躍できる人間を目指して、今後多くの経験を積み、仲間達と切磋琢磨しながらリーダーシップを身につけていきたいと思っています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語リーディング&ライティング1	グローバル経済社会を学ぶ	経済学入門		
2	経営学入門	文学を生み出すキリスト教	中国語基礎1	会計学入門	ライフマネジメントを学ぶ	英語eラーニング
3		リーダーシップ入門(BL0)	グッド・ビジネス	英語ディスカッション1		
4	中国語基礎1				ICTリテラシー	
5						
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1					心の科学	
2		BL2			国際経営論	
3			経営戦略論	2年次演習	財務会計	
4			ビジネスロー	2年次演習	経営と技術	
5			スペイン語圏の文化			
6						

授業紹介

1 導入期

- 経営学入門 ■ 経済学入門
- 会計学入門 ■ リーダーシップ入門(BL0)
- グッド・ビジネス

2 形成期

- BL2 ■ 経営と社会
- マーケティング・マネジメント
- 流通システム論 ■ 経営と心理
- 組織と戦略 ■ コーポレート・ファイナンス
- 異文化コミュニケーション論

3 完成期

- 生産管理論 ■ 会計監査
- コミュニケーション・リサーチ
- マーケティング・セオリー
- ビジネス・ケーススタディ

PICK UP

企業に新たなビジネスプランを提案！

■ **リーダーシップ入門(BL0)** 実際の企業に対して、少人数のグループ単位で企画提案を行う、経営学部1年次生が全員履修する科目です。チームで議論しながら結論を導くプロセスを体験し、企業からの課題を解決する提案をグループで考えていきます。専門科目やBLP・BBLへの円滑な導入の基礎となる重要な科目です。

チーム全員でアイデア会議

4～5名のグループをつくり、教員からの課題について自分の意見をカードに記入。全員でカードを見ながら意見をまとめていきます。

提案資料を作成し、フィードバックを受ける

提案準備を進め、教員、SA、クラスメイトや先輩などさまざまな立場から意見やアドバイスをもらい、提案内容をさらに改善していきます。

校内コンテストから企業へプレゼンテーション

グループごとに、学生と教員の前でプレゼンします。優秀と認められたチームは企業を訪問し、自分たちの企画を直接プレゼンします。

メンバー同士で振り返り

自分の活動やチームの状態を振り返り、メンバー間でフィードバック。自分の強み、弱みなどを見つけた次の学期につなげます。



アイデア会議



プレゼンテーション

国際経営学科

グローバルなビジネス環境で リーダーシップを発揮できる人材に。

価値観が多様化し急変する現代社会で求められるのは、持続可能な社会の構築に向け、リーダーシップを発揮できるグローバルな人材です。国際経営学科では、まず「バイリンガル・ビジネスリーダー・プログラム (BBL)」で段階的に英語コミュニケーション能力を養います。その上で、専門知識を「マーケティング領域」「マネジメント領域」「アカウンティング&ファイナンス領域」「コミュニケーション領域」の4つのコンセントレーションから、幅広くかつ深く身につけていきます。専門科目の約70%は英語で開講されており、海外留学や海外インターンシップなどのプログラムも充実。英語力が向上する環境が整っています。

身につく力

国際社会で
発揮できる
リーダーシップ力

英語による
専門分野の理解と
プレゼン力

異文化への
理解と他者との
コミュニケーション力

カリキュラムの特徴

段階的に英語力と専門知識を身につける 「バイリンガル・ビジネスリーダー・プログラム (BBL)」

英語で経営学を学習できるレベルを目指す国際経営学科のコア・カリキュラムです。短期留学や少人数のグループ演習、専門教育科目など、1年次から2年半にわたり段階的に修得し、国際社会で活躍する力を身につけます。



正課の科目として単位を取得できる 海外提携大学への留学プログラム

海外留学は、国際社会で活躍するリーダーシップを養う上で、有意義な経験となります。さまざまな海外プログラムを用意しており、学生の留学をサポート。学費相互免除協定を結んでいる提携大学へ留学する場合は、追加の学費もかかりません。提携先は大学間協定校のうち学生派遣を行っている87校に加え、経営学部独自に提携している大学が38校。国際的にも評価が高い世界各地の大学で学ぶことができます。

BBLのプロセス

準備段階	短期海外留学を体験 (Overseas EAP) ※EAP…English for Academic Purposes
第1段階	英語で経営学を学ぶ上で必要な基礎力を身につける (EAP1)
第2段階	英語で調査・発表・議論し、専門教育に備える (EAP2)
第3段階	英語で専門科目を受講 (International Business, ESP) ※ESP…English for Specific Purposes
第4段階	実践力を磨く (Business Project, Overseas Internship, 専門科目)

国際スタディ・プログラム ※経営学科の学生も参加可能です。

Overseas EAP	期 間 3週間 留学先 オーストラリア、カナダなどの大学へ派遣 国際経営学科生は原則全員参加 集中的に英語を学び、ビジネス・プロジェクトを体験
中期海外スタディ・プログラム (学部間交換留学)	期 間 1学期間以上 留学先 提携先の大学から選定 一定の条件を満たした2年次以降の希望者が参加可能
Global Internship	期 間 内容により異なる 留学先 国内・海外の民間企業・政府機関・NGO 一定の条件を満たした希望者が参加可能

専任教員と担当科目・研究テーマ

Davis, Scott T. Donovan, Herbert A. 松本 茂 並木伸晃 尾崎俊哉 竹澤伸哉 辻 洋右	企業と人材 BBL コミュニケーション戦略、BBL 経営戦略 International Business Finance and Sports Business Sports Marketing	岡本紀明 Schules, Douglas Thompson, Gene 秋田隆裕 高橋俊之 Syrbe, Mona	Financial Accounting Business Communication、 Business Project、BBL BBL 意思決定数量分析 BLP BBL	Rees, Nerys Fowler, Randy 西原文乃 片岡光彦 山田恭平	BBL 国際経営 経営戦略論 開発経済学 Local Government
--	--	---	--	--	---



Student's Voice > 山縣 恭平

4年次 アメリカ
Rancho Bernardo High School

培った知識と経験を生かし、
世界で挑戦したい

「知識のインプットとアウトプットの双方を行える環境で体系的に学び、経営者になるための知識と経験を養成したい」と考え、本学科への進学を決めました。インプットでは、1年次は「経営学」「会計学」といった幅広い分野の必修科目の受講により、2年次以降への応用や、3・4年次の研究テーマを考える契機となり、アウトプットでは、BLPやEAP、ESPで新規事業計画立案などを企画発表する機会をとおして、実践経験を積むことができました。英語のみで開講される講義も多く、留学生や外国籍の教授と協働できる環境も整っています。さらに、それらの講義と密接に関係した内容の講義が日本語でも開講されていて、双方を受講することで理解をより深めることができました。

就職先である大手総合商社では、培った知識と経験を活用して、「世界における日本人への評価を確立する」という夢を実現させたいと考えています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		英語 プレゼンテーション1	スペイン語基礎1	会計学入門		
2	経営学入門			経済学入門	スポーツの科学	英語ライティング
3	政治とマスコミ	リーダーシップ 入門(BL0)	グッドビジネス	英語 ディスカッション1		
4	スペイン語基礎1			企業と社会		
5			Overseas EAP			
6						

2年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2				ESP-B		
3			ESP-A	2年次演習(ゼミ)	International Business-B	
4		International Business-A	キリスト教と思想	コミュニティデザイン	Marketing Positioning Strategy	
5			サービス マーケティング			
6						

授業紹介

1 導入期

- 経営学入門 ■ 経済学入門
- 会計学入門 ■ Overseas EAP
- リーダーシップ入門(BL0)
- グッド・ビジネス ■ EAP1

2 形成期

- 国際経営論 ■ EAP2
- International Business ■ ESP
- Business and Society in Asia

3 完成期

- Global Strategic Management
- Modern Consumer Culture and Society
- Financial Statement Analysis
- Leadership in Global Organization

PICK UP

グラミン銀行はなぜ生まれたのか。
さまざまなケースから考える経営手法

■ **Business and Society in Asia** 日本で企業が直面する社会問題への意識について考え、その経営戦略に必要な分析スキルを学んでいきます。授業は、バングラデシュのグラミン銀行などのケーススタディをもとに、短い講義と、チームでのプレゼンテーションとディスカッション、クラスでの分析とレポートを実施します(授業は英語で展開)。

多国籍な現場で従業員のやる気を出させるには？

■ **Leadership in Global Organization** グローバルな組織とその環境の間の一致を達成するための戦略の基礎に焦点を当て、多国籍なビジネス活動のための戦略と、経営の意思決定の国際的な側面を学びます。また、複雑な状況での仕事、人、構造、およびシステムを管理するために必要なスキルについても学んでいきます(授業は英語で展開)。

NEWS TOEIC® Listening & Reading Test 高得点取得者を表彰「CLUB 900」

経営学部では、学内で実施したTOEIC®IP試験や学外で個人的にTOEIC®試験を受験し、900点以上を取得した学生に、「CLUB 900」と題した表彰式を行っています。2009年に表彰を開始して以来、これまでに約270名が「CLUB 900」のメンバーとして表彰

されました。また、過去の最低点と比較してスコアが最も伸びた学生を表彰する「Most Improved Award」という制度も設けており、学生たちのさらなるモチベーション向上につながっています。



理学部

「知識基盤社会」を生きるための 論理的思考能力と課題解決能力を育てる。

現代の社会は、新しい知識、情報、技術が社会活動の基盤となる「知識基盤社会」といわれています。それは単に知識を求める社会ではなく、論理的思考から新しい知識や考え方を生み出し、激しく変動する現代社会で生じる新しい課題に対峙し解決していくことが求められる社会です。そして学術、文化の創造により、新しい価値、真の幸福に向かう、努力が求められる社会でもあります。そのためには、しっかりとした基礎の上に立った論理的思考能力と問題解決能力をもつことが大切です。

現代の産業・技術は、数学、物理学、化学、生命理学などの基礎科学に支えられています。基礎科学は、単なる知識ではなく、論理的な思考のもと、新しい産業・技術、学術、文化を生み出します。

基礎科学に基盤を置く理学部では、豊富な演習・実験科目で自然や数理の法則性・体系性を理解するための基礎力が養えます。さらに、密度の濃い少人数教育で論理的思考力を鍛えていきます。学士課程の仕上げとなる卒業研究では、1年間かけて自然界の未知のテーマに挑戦し、自らの力で新しい課題を解決していく能力を磨きます。

自然科学の学びの特徴は、数理や自然のもつワクワクするような素晴らしさや美しさを体感して楽しみながら、新しい文化を生み出すのと同時に、現代社会の抱えるさまざまな課題を解決するための力を養い、より豊かな未来を築き上げるための礎を創ることにあります。立教大学理学部は、学部生、大学院生と、教職員とが一体となったアットホームな雰囲気、このような学びをともに深めることができます。

〉数学科

〉物理学科

〉化学科

〉生命理学科

基礎から研究の最前線へ

理学部での学びは、基礎の確実な習得から始まります。授業での疑問はオフィスアワーや学習支援室で解決することができます。4年次には少人数の卒業研究で教員・大学院生とともに未知の課題へ挑戦します。大学院科目早期履修など、大学院教育へとスムーズに接続できる制度もあります。

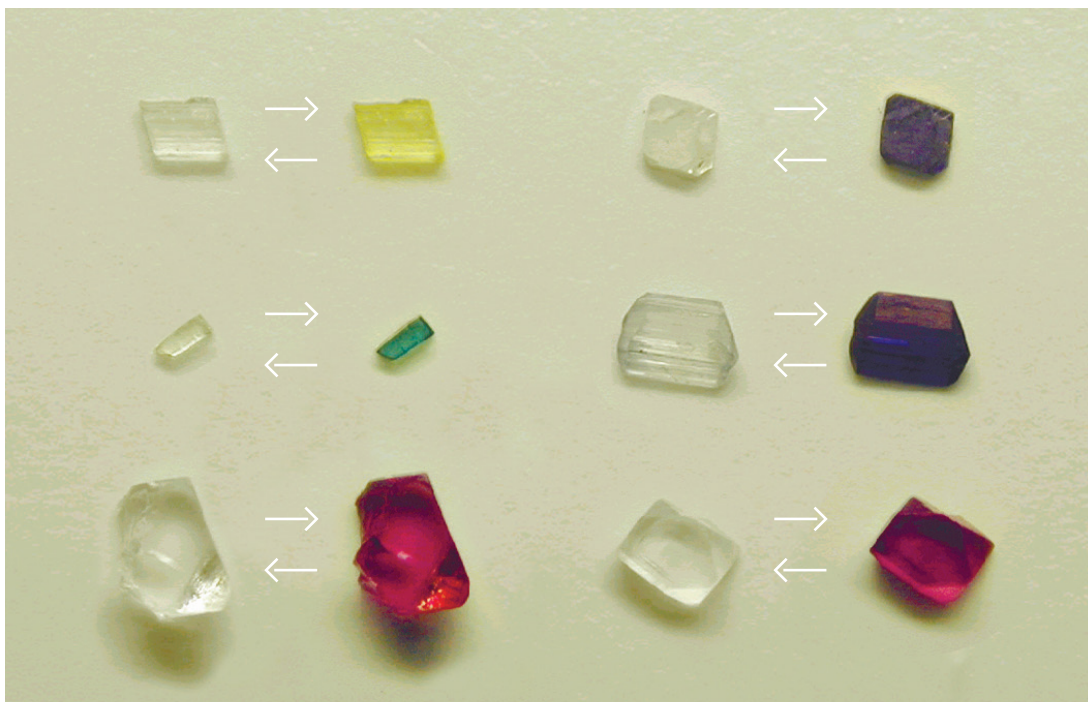
「科学」と「社会」を共に考える

現代社会では科学が大きな影響力をもっています。理学部では、科学を学ぶ者に求められる広い社会的視野を養う「理学とキャリア」「科学の倫理」、社会での連携・実践力を育てる「理数教育企画」「サイエンスコミュニケーション入門」など、学部で共通に学べる科目を開講しています。

世界最先端レベルの教育や研究を展開

理学研究科付属の「先端科学計測研究センター」「未来分子研究センター」「生命理学研究センター」「数理物理学研究センター」における研究をはじめ、連携大学院制度による理化学研究所、産業技術総合研究所等での研究、宇宙航空研究開発機構(JAXA)との共同研究、ブルックヘブン国立研究所等海外研究所との共同研究等を活発に展開しています。また、理学研究科では、医学物理学副専攻を設け、主としてがん放射線治療に関連する講義や演習を展開しており、要件を満たせば順天堂大学大学院医学研究科放射線治療学(放射線腫瘍学・医学物理学)へ推薦する制度もあります。

PICK UP RESEARCH 研究紹介



分子の“声”に耳を傾け、新しい扉をひらく

動物の視覚や植物の中には、光を感じて化学変化を起こす分子が存在しており、生命活動において重要な役割を担っています。一方、人類は合成化学の発展とともに、光に応答する人工分子を生み出してきました。立教大学で研究を進めているフォトクロミック分子「ジアリールエテン」は、光の照射によって化学反応を起こして色を変化させます。最近の研究により、色だけでなく電気物性や磁気物性なども変化させることがわかってきました。このような光応答性分子は、光で情報を書き込むメモリデバイスなど、さまざまな応用が可能になると考えられます。

自らが作り出した分子たちと実験をととして丁寧に「対話」すると、分子たちはこちらが想像もしなかった面白い「表情」や「動き」を見せてくれることがあります。そこから科学と社会における、新しい原理・機能・価値を見いだしたいと考えています。

理学部 化学科 教授

森本 正和

PROFILE

東北大学理学研究科博士研究員、立教大学理学部化学科助教・准教授を経て、2017年より現職。研究テーマは、フォトクロミック分子をはじめとする光応答性分子の合成と機能評価。

担当講義

■有機化学入門
■有機構造決定法
■基礎化学実験 など



数 学 科

数学の先端の知識を深め、 粘り強く考える力を養う。

数学は古代ギリシア時代以来の長い歴史をもち、自然科学の諸分野とも密接に関係しながら発展してきた、最も基本的な学問です。数学科では、代数学・幾何学・解析学から数理解物理学・計算機科学にわたる幅広い研究を土台とし、1～2年次で基礎をしっかりとかため、3年次で興味のある分野を研究していきます。また、演習や少人数ゼミナールで、数学を学ぶ上で大切な粘り強く考える力を身につけていきます。本学科の学生数に対する教員数の比率は全国の私立大学数学科の中で最高水準を誇っており、重点科目には講義だけでなく演習をつけるなど内容がしっかりと身につく体制を整えています。

身につく力

数学の
基礎、専門、
先端に至る見識

自然や社会の
現象を論理的に
考察する力

科学の本質に迫る
豊かな創造性

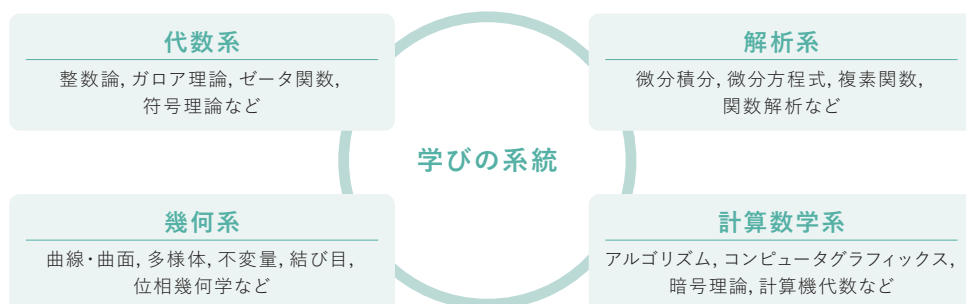
カリキュラムの特徴

基礎をかためて専門へ 確実にステップアップするカリキュラム

1年次春学期に「数学入門」「微分と積分入門」「計算機入門1」を学ぶことにより、高校数学から大学で学ぶ数学へと移行していきます。1年次から3年次までのカリキュラムは、代数・幾何・解析という数学を支える3本柱に沿い、講義とともに演習を行うことで確実な修得を目指します。また近年、社会での要望が強い計算機・情報数理などの講義・演習カリキュラムも充実しており、教員志望の学生はこれらの科目を履修することで中学・高校の「数学」と「情報」の教員免許を取得することができます。

1年次から少人数教育を実施 充実の設備と指導体制でじっくり学ぶ

数学科は、教員のきめ細かな指導のもと、1年次から少人数クラスで学んでいます。学内には計算機室が整備されており、計算機・情報数理の演習の際には1人1台ずつの計算機を用いて授業が行われ、授業以外の時間も自由に使うことができます。3年次までの基礎的な学習を終えたあと、4年次には自分の志望する分野の教員のもとで数名での卒業研究（「数学講究」・「応用数学講究」）を行い、専門的知識を深く掘り下げ、学問のおもしろさに触れています。さらに研究を続けたい人や、数学の先端の見識を深めたい人には、大学院という道も開けています。



専任教員と研究分野

青木 昇	整数論	神保道夫	数理解物理学(量子可積分系)	佐藤信哉	関数解析学(作用素環論)
トーマス ガイサ	数論幾何学	杉山健一	数論のトポロジー	山田裕二	数理解物理学(可解格子模型)
筑 三郎	数理解物理学(可積分系)	横山和弘	計算機代数・代数的組合せ論	斉藤義久	代数学解析学・表現論
長島 忍	幾何情報処理	小森 靖	数理解物理学・解析の数論	柴田和樹	可換環論・組合せ論
野呂正行	計算機代数	西納武男	幾何学(ミラー対称性)		

筋道を立てて、伝える力が身についた

中学生の頃から好きだった数学を、より深く学びたいと思い数学科に入学しました。大学の数学は中学・高校とは違って、定義や定理を中心に授業が展開されます。そのため最初は戸惑うこともありましたが、学年があがるにつれ慣れていき、定義や定理がいかに数学において大切かがわかってきました。立教の数学科では座学の授業と演習がセットになっているので、得た知識をすぐに活用でき理解を深めることができます。

学科の学びで培うことができたのは、論理的思考力です。解く問題の多くは、定義や定理を使い証明していきますが、それには筋道を着実に立て、授業で習ったことをうまく活用していかなければいけません。また、しっかり相手に伝える文章を書く必要があり、数学的な力だけでなく文章力も試されます。そのような環境で鍛えられた「伝える力」で、実社会に出て活躍できる人物になりたいと考えています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		スポーツプログラムB	ドイツ語基礎1	英語ディスカッション1	英語ライティング	
2	理学とキャリア	微分と積分入門	法への招待		数学入門	英語プレゼンテーション1
3	ドイツ語基礎1	微分と積分入門演習			数学入門演習	
4	初等整数論			計算機入門1		
5	行動の科学	教育原論		計算機入門1演習		
6						

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		情報科学3			心の科学	
2		情報科学1		経営学入門	心の健康	
3	幾何学1	解析学1	情報数理解1		代数学1	
4	幾何学1演習	解析学1演習	情報数理解1演習		代数学1演習	
5				数学科教育法1		
6						

授業紹介

PICK UP

1 導入期

- 数学入門 ■ 数学入門演習
- 微分と積分入門 ■ 微分と積分入門演習
- 計算機入門1 ■ 計算機入門1演習
- 初等整数論

2 形成期

- 線形代数学1 ■ 線形代数学2
- 群論入門 ■ 微分と積分1
- 微分と積分2 ■ 微分と積分3
- 計算機入門2 ■ 位相空間論A

3 完成期

- 代数学1・2・3 ■ 幾何学1・2・3
- 解析学1・2・3 ■ 情報数理解1・2・3
- 現代数学概論 ■ 数学講究
- 応用数学講究

証明の基本を学びつつ、数列や関数に親しむ

■ **微分と積分入門** 微分積分で定理を証明するために必須の事柄である基本的な命題の扱い方を習得し、2項係数と2項定理などを例にとりながら基本的な証明の方法を学びます。次に、数列の収束の定義と収束列の性質、連続関数の定義と有界閉区間上での性質、微分の定義、いろいろな関数の微分などについて学んでいきます。

4年次に向け、ガロア理論の基本を学ぶ

■ **代数学2** 代数学の基本的な言語である「群・環・体」のうち「群論」と「環論」の基礎は修得済みであると仮定して、本授業では「体論」の基礎を学習していきます。4年次の「代数学3」において展開される予定の「ガロア理論」に円滑につながるように、そこで必要とされる基本的な事柄を中心に解説していきます。

仲間と高度な専門書を読み込み、解説する、数学科学習の集大成

■ **数学講究、応用数学講究** 4年次では少人数グループに分かれ、ひとつのテーマに集中し、深く掘り下げて研究します。「数学講究」では数学の理論的な研究、「応用数学講究」では数学の計算機などへの応用に重点を置き、問題に取り組み、解決し、それを他人に解説する能力を身につけていきます。これが数学科での学習の集大成となります。



横山研究室

TOPICS 理学部の地域教育連携活動

「地域教育連携の活動」では、豊島区との理数教育連携協定に基づき、双方における教育の質的向上を目指し、さまざまな活動を行っています。

科学実験イベントの企画・実施

『おもしろサイエンスワールド』
2017年度テーマ
「植物の解剖—花ひみつ・葉のひみつ—」

小学校での科学クラブ実施

「チョウの翅のヒミツ—鱗粉の仕組みを知ろう—」
「水中の小さな生きもののヒミツ—体のつくりを知ろう—」
「花粉のヒミツ—種ができるまでの仕組みを知ろう—」ほか



科学実験は学生が進行をする場合もあります

物 理 学 科

宇宙誕生の謎から原子の世界まで。 自然科学の真の実力を身につける。

物理学科の研究対象は「極小の素粒子から極大の宇宙まで」。つまり、より基本的なものに焦点を定め、実験的・理論的側面から新しい研究を展開しています。具体的には、素粒子論・宇宙論などの理論的研究、理論・観測両面から迫る宇宙物理、物質の基礎を探索する原子核物理・原子分子物理の実験的研究、宇宙と地球のかかわりを解明する惑星間空間物理・地球大気物理などを学んでいきます。物理学科では、これらの研究の最先端に触れられるよう、最新の実験施設や測定・解析装置・計算機を導入し、学生の取り組む意欲をバックアップする魅力的な教育・研究環境を整えています。

身につく力

現代の
物理学研究に
必要な実験技術

自然や社会の
現象を論理的に
考察する力

新しい技術
開発に取り組む
豊かな創造性

カリキュラムの特徴

物理的な感覚を身につけ、理解する 段階的・体系的に組み立てられた4年間の学び

物理学科では、基本的な物理現象に取り組む基礎物理実験、コンピュータの原理やプログラミングを学ぶコンピュータ実験1・2、基礎的計測技術の修得から発展的な実験の経験まで行う物理学実験1・2など、物理的な感覚を身につけるための実験授業を重視しています。2年次は、隣接する分野の基礎的な実験として、化学実験と生物学実験を行います。2年次・3年次では約20名のグループに分かれ、各グループに教員とティーチングアシスタントがついてきめ細かく物理学の実験指導をしながら、2年次にはひとつの基本的実験を、3年次春学期には時間をかけ少し踏み込んだ実験を行います。3年次秋学期には、学生が自ら提案・工夫した物理学実験を半年間かけて行います。4年次の卒業研究は、実験または理論の選択必修で、5名程度の学生が1名の教員の指導を受けながら年間を通して研究を行います。

高校の物理から大学、大学院の研究へ 少人数教育をいかした、きめ細かなカリキュラム

物理学科では3～4割の学生が大学院へ進学するため、必修科目数を極力抑え、大学院進学者の要望にも対応したカリキュラムを組んでいます。物理学科の学生として必要な基礎教育は実質3年次までで終了します。4年次は博士課程前期課程(修士課程)0年次と考え、先端的な研究を体験します。また、大学院生と共通して履修できる講究科目を設置し、4年次から大学院レベルの内容が学べるよう配慮しています。

Q & A 立教大学の物理学科の特徴はなんですか。

力学や電磁気学などの物理学の基礎と、統計力学・量子力学・相対性理論のような現代物理学の基礎を段階的に学び、最先端の研究に進みます。なかでも、地球・太陽系から銀河や宇宙の果てまでを対象にする「宇宙物理学」を深く学べることが特徴的です。自ら製作した観測装置を人工衛星にのせて宇宙を

探ったり、相対性理論などを駆使して宇宙そのものやブラックホールなどを研究できます。また、素粒子・原子核から原子・分子に至るミクロな世界の現象も、加速器やいろいろな装置を使った実験や量子力学などを駆使した理論的研究を行います。がん放射線治療などの医療系の道に進むこともできます。

専任教員と専門分野

◎理論物理学

田中秀和 素粒子論
原田知広 宇宙物理学
小林 努 宇宙物理学・宇宙論
中山 優 場の量子論・
量子重力理論

横山修一郎 宇宙論
初田泰之 超弦理論・
超対称ゲージ理論

◎原子核・放射線物理学

平山孝人 表面物理学
家城和夫 原子核物理学
栗田和好 原子核物理学
村田次郎 原子核・
素粒子物理学

中野祐司 原子分子物理学
桐野泰宏 原子核物理学
植田寛和 表面物理学

◎宇宙地球系物理学

北本俊二 宇宙物理学
田口 真 惑星大気物理学
亀田真吾 惑星物理学
一戸悠人 宇宙物理学
内山泰伸 宇宙物理学
中川直子 環境工学
福原哲哉 惑星物理学



Student's Voice > 間仁田 侑典 3年次 群馬県 県立前橋高等学校

物理学の奥深さを知り、さらなる探究へ

高校生のときに欧州原子核研究機構の「ヒッグス粒子検出」のニュースを聞き、物理学の世界へ興味をもちました。ヒッグス粒子を捉えるのに使われた実験装置は人類史上最大のものであり、そのスケール感に圧倒されたことを覚えています。おすすめの授業は1年次から履修できる「物理入門ゼミナール」です。希望の教員のもとで、普段の授業では習わないような奥深い物理学を学ぶことができます。またグループごとに決めたテーマについて発表や議論を行い、理解を深めます。私はランダウ・リフシッツ著の『力学』を読み解き発表しました。内容が難しく読み進めるのに大変苦労しましたが、半年間もがきながら読み続けていった結果、さらに物理学の虜になりました。

物理学科では4年次に研究室配属になります。私は以前より興味があった宇宙物理を研究するために、理論物理の研究室に入り学びを深めたいと考えています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		力学1		英語ディスカッション1	英語ライティング	
2	理学とキャリア	基礎物理学演習1	微積分1	物理入門ゼミナール	コンピュータ実験1	英語プレゼンテーション1
3	ドイツ語基礎1	生物学				
4	初等整数論(数学科の選択)					物理の学び方
5	線形代数1					
6						

3年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	宇宙物理概論	原子核概論	物理学特別講義1		量子光学	
2	数学の世界	TOEFL2reading			物理学特別講義2	
3			統計力学2		オーダーメイド医療最前線	
4	量子力学2	物理学実験2	物理学演習2	物理学実験2		
5	素粒子概論		電気力学			
6						

授業紹介

- 1 導入期
- 力学1 ■ 物理学概論 ■ 微積分1
 - 線形代数1 ■ 基礎物理学演習1
 - コンピュータ実験1 ■ 物理入門ゼミナール
- 2 形成期
- 力学2 ■ 電磁気学1・2 ■ 熱力学
 - 解析力学 ■ 波動と量子
 - 物理数学1・2 ■ 物理学演習1・2
 - 基礎物理実験 ■ 宇宙物理学序論1・2
- 3 完成期
- 量子力学1・2 ■ 統計力学1・2
 - 物理学演習3・4 ■ 物理学実験1・2
 - 卒業研究1・2 ■ 宇宙物理概論
 - 原子核概論 ■ 宇宙地球系物理概論
 - 素粒子概論

PICK UP

数学・物理の基礎を徹底学習し、大学での主体的な学びをスタート

■物理入門ゼミナール 学科別テストで問題演習グループと課題研究グループに分かれます。問題演習グループは高校数学・基礎物理の問題演習を行い、大学の物理の履修に支障がないレベルの基礎を身につけます。課題研究グループは各自テーマを設定し、自主的に最終目標およびそれに至るまでの計画を立て、課題研究をし、発表や議論を行います。

放射線や半導体など物理学実験のスキルをアップ

■物理学実験1・2 「物理学実験1」では、2年次の「基礎物理実験」に引き続き、より高度な実験を行い、半導体や真空技術、計算機など、実験物理学で使うひと通りの技術や方法を理解し習得します。「物理学実験2」では、「物理学実験1」で学んだ基本的な実験技術・方法を用いて、自主的に課題を設定した実験を行い、4年次の卒業研究に向けて必要な能力を養います。

銀河系の外はどうなっている？ 宇宙の構造を考えよう

■宇宙物理学序論1・2 高学年次で宇宙を学ぶために必要な基礎的な概念を、天文学の歴史や壮大な宇宙の成り立ちを概観することを通して身につけます。銀河、恒星、中性子星、ブラックホール、太陽系の惑星や小天体、系外惑星などの天体について、それらの構造や観測方法、そこで起こる物理現象、未解明の問題について知識を得ます。

化 学 科

「なぜ？」を常にかけて自ら考え、 化学的原因を解明する力を養う。

「化学」をさまざまな領域で役立たせるためには、物質を変換する反応や新しい化学現象の原理を理解することが不可欠です。化学科では、「なぜ？」を大切に、なぜこの反応が起きるのか？なぜその物質は特別な機能をもっているのか？といった疑問の化学的原因を探究する姿勢を、研究・教育の理念としています。授業では、これらの疑問を解明するための化学を基礎から学んでいきます。そこには、暗記や詰め込みの化学はありません。卒業後は、約40%の学生が大学院に進学し、その他の学生の多くは化学工業などの製造業や情報産業に就職しています。

身につく力

化学的原因を
探るための
専門的な実験技術

自然や社会の
現象を論理的に
考察する力

柔軟な発想を
生み出す
多角的な知識

カリキュラムの特徴

教育の中心は学生実験 自らの体験によって、 事実を把握し理解を深める

化学を学ぶには、物質に直接触れることが大切です。化学科では、少人数制という利点を生かして実験科目を1年次から配置しています。有機化学、無機化学、分析化学および物理化学の基本的な実験を行います。学生実験は、技術や操作法を学ぶためだけのものではなく、自らの体験によって事実を把握し、それを論理的に理解する能力を開発する場です。この経験が4年次の卒業研究や大学院での研究へとつながります。

確実にステップアップする カリキュラム

1年次の講義科目では、高校と大学での化学をつなぐ複数の入門科目を開講しており、基礎の習得から専門科目へと移行していきます。2年次以降は専門科目とともに演習科目により確実な習得ができます。また、実験科目では、1年次に各分野の基本的な実験を行いながら、実験器具・装置の取り扱い、データの処理方法、安全について学び、2年次では、1年次で学んだことを基盤として、より専門的な実験を行います。3年次からは、各研究室にて行う専門実験も用意され、4年次における卒業研究にスムーズに移行できるように配慮されています。さらに最近の化学の領域の広がりに対応して多彩な選択科目も用意されています。

成長を確かめ、成果を見出す 4年間の学びの集大成「卒業研究」

4年次は各研究室に所属し、卒業研究を行います。ここでは、指導教員のきめ細かな指導のもと自分の希望するテーマを研究し、1年間の成果を報告会で発表します。卒業論文のテーマは、たとえ小さくとも世界で初めての研究であり、指導教員、大学院生、同級生らと一体になって取り組みます。これまでの講義や実験科目で得た知識を生かして探究し課題を解決する、社会に出たときにこの経験が大いに役立ちます。多くの卒業生が「卒業研究で学んだ経験が社会に出て大きな自信となっている。研究室での苦労と楽しさは一生忘れられない」と語っています。

専任教員と専門分野

◎反応解析化学グループ

箕浦真生 有機元素化学・物理有機化学
常盤広明 理論創薬学・分子設計
望月祐志 計算分子科学・プログラム開発
山中正浩 有機化学・計算化学
堤 亮祐 有機化学

◎構造解析化学グループ

黒田智明 天然物有機化学
松下信之 錯体化学・固体物性化学
和田 亨 錯体触媒化学
田淵眞理 ナノテクノロジー・ナノバイオ分析
森本正和 有機光化学
中園孝志 錯体化学・光化学

◎物性解析化学グループ

枝元一之 表面物理化学・電子分光化学
宮部寛志 解析分離化学・分離機能化学
大山秀子 高分子物理化学・材料科学
三井正明 光物理化学・分子分光化学
鈴木 望 分光分析化学・キラル化学
新堀佳紀 クラスタ化学・ナノ物質化学



Student's Voice > 妹尾 史織

2年次 東京都
富士見中学高等学校

実験を繰り返し、 考え抜く力をつける

化学科の最大の魅力は、「学生実験」だと思います。実験では、さまざまな器具や装置を自分の手で動かし、化学反応を目の前で観察。そして実験レポートをまとめた後は、先生と1対1の面談をとって、さらに化学現象への理解を深めていくのです。また、「どうしてこうなるのか?」に重点を置いた講義も充実しています。ただ知識を詰め込むだけではなく、化学現象の過程を1つ1つ学ぶことで、メカニズムの根本を考えることができるようになりました。

新しい疑問が出た際には、先生が親身になってディスカッションしてください、より深い理解に繋がります。こうして「なぜ?」を繰り返していくうちに、あきらめずに自主的に深く考え抜く力が身につく、成長を実感することができました。今後も、化学現象を1つでも多く解明することを目標に、積極的に研究実験に取り組んでいきたいです。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	英語 ディスカッション1		ドイツ語基礎1		英語 プレゼンテーション	
2	理学とキャリア	物理化学入門		有機化学入門	分析化学入門	英語リーディング &ライティング1
3	ドイツ語基礎1			美と生命について	ライフマネジメントと 学生生活	
4	無機化学入門		基礎化学実験			
5	数学(化)					
6						

2年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	有機化学演習	有機化学3		化学の最前線		
2	物理化学3			錯体化学1		
3	分析化学3			ヒトといきものたち	物理化学演習	
4		化学実験C	化学実験C		物質の科学	
5	科学英語(化)					
6						

授業紹介

PICK UP

1 導入期

- 物理化学入門
- 分析化学入門
- 有機化学入門
- 無機化学入門
- 基礎化学実験
- 数学(化)
- 基礎物理学

2 形成期

- 物理学1・2
- 物理化学1・2
- 分析化学1・2
- 有機化学1・2
- 無機化学1・2
- 化学実験A・B・C
- 情報科学(化)
- 科学英語(化)
- 化学ゼミナール
- 化学の最前線

3 完成期

- 光物理化学
- 高分子化学
- 有機合成化学
- 分子軌道論
- 創薬化学
- 研究実験1・2
- 卒業研究
- 輪講

教科書はなし! 仲間とテーマを決めて調査に挑む

■ **化学ゼミナール** 少人数制ゼミで、深く知りたいテーマを自ら設定し、主体的に調査を進め、担当教員と相談しながら調査内容を深めていきます。最終的には化学科の教員および大学院生や卒業研究生に対して、口頭発表を行います。これにより、化学に関する興味を掘り起こし、自ら考える力、発表の能力などを養います。

なぜこの器具を使うのか? 実験操作の意味を理解する

■ **基礎化学実験、化学実験A・B・C** 化学全般の基礎的な実験技術を習得し、無機・分析化学や物理化学、有機化学、計算化学など、化学の諸分野を実践的に学んでいきます。レポートの作成と、それをもとにしての教員との議論により、化学に関するより深い理解を得るとともに、化学現象を記述する表現力を養います。

私たちの生活を豊かにする化学の最先端を学ぶ

■ **化学の最前線** 化学科の各教員の専門分野における最新の研究内容および研究の「生の現場」を、各回の担当となる教員が、その背景や関連研究も含めてわかりやすく講義します。最新の研究内容を聞くことによって、研究とはどのようなものか、どのように進展していくかを理解します。

Q & A > 実験や理論のほかに、広く化学について学ぶことができますか。

化学科では、近年の化学領域の広がりに対応した多彩な選択科目を配置しており、環境問題、材料開発、知的財産権など、化学を取り巻く最新の話題を学ぶことができます。また、理学部では、科学の専門性をもった教養人として広い視野をもち、活躍するために必要な応用力・実践力を養う教育を推進する

「理学部共通教育推進室」を設置し、学科の枠組みを超えた学部共通科目や、理系社会人のためのスキルアップ科目を展開しています。学生が自分の興味やテーマに応じて科目を選択し、学びの幅を広げていくことができます。

生命理学科

さまざまな生命現象に迫り、 未知の課題に応える力を身につける。

ヒトをはじめとしてさまざまな生物のゲノム配列が解読されている今日において、生命理学科では基礎をより大切にした生命へのアプローチを目指します。それは目先の応用を追いかけるのではなく、DNAやRNA、タンパク質といった分子科学に基づく理学として、「分子生物学」「生物化学」「分子細胞生物学」の3つの立場から多面的に捉え、生命現象を理解していくというものです。この理念を土台とし、入学から卒業まで同じ教授陣が親身に指導しながら、先端的な生命科学を理解するために不可欠な基礎的知識の修得と、さまざまな実験技法の体得を、バランスよく行えるカリキュラムを展開しています。

身につく力

能動的に考え
物事に取り組む
姿勢と行動力

自然や社会の
現象を論理的に
考察する力

実験結果を考察し
レポートにまとめる
文章構成力

カリキュラムの特徴

実験を重視し、行き届いた指導のもと 最先端の課題に取り組む

生命理学科では、1年次に「生命理学基礎実験」「化学実験(生)」「物理学実験(生)」を行い、実験をとおして幅広く理学全般を学びます。2・3年次の「生命理学実験1・2A・2B」では生命理学に関するさまざまな実験テーマに自分の手でじっくり取り組むことで、講義で学んだことをより確かなものにし、実験の技術と組み立て方を修得します。学生実験のほとんどは2名1組または1名で行うので、スキルを確実に身につけることができます。4年次は希望する研究室に入り、1年かけて卒業研究に取り組みます。1研究室につき、5〜6名程度という行き届いた指導体制のもと、学ぶことができます。さらに生命理学の最先端を学びたい人は、大学院へ進んで研究を進展させ、研究成果の学会発表や学術論文作成を目指します。

生命理学への動機づけから最先端の知識まで ステップアップする専門科目

生命理学科のカリキュラムは、基礎をしっかりと学ぶ過程を経て専門知識の理解を深め、より高度な実験へと導きます。

ステップ 1 生命理学への動機づけ、前提となる基礎知識の修得

1年次は、春学期に生命理学を学ぶための基礎を確認するとともに、「生命理学概論」で細胞の構造と機能を学び、「生命理学基礎実験」でいろいろな実験を行います。秋学期には「分子細胞学1」「生物化学1」などで、生命科学の詳しい学習を始めます。

ステップ 2 生命理学に関する幅広い知識、研究手法の修得

2年次以降は、分子科学に立脚した現代の生命像を理解するため、「分子生物学」「生物化学」「分子細胞生物学」の3分野を集中的に学びます。また、実験方法やコンピュータ処理などの手法も身につけます。

ステップ 3 先端知識の修得、高度なスキルと問題解決能力の養成

3年次からは、日々進歩する生命科学の現状や応用技術の可能性など、生命理学の最先端を学んでいきます。4年次には研究室に所属して卒業研究に取り組み、就職や大学院進学にも対応できる高い能力を身につけます。

専任教員と研究テーマ

◎分子生物学系

関根靖彦 バクテリア・植物の分子生物学
後藤 聡 細胞機能の分子生物学
榊原恵子 植物の発生進化学
塩見大輔 バクテリアの分子生物学
笠井大司 バクテリアの分子生物学・生物物理学

◎生物化学系

松山伸一 生体膜の生物化学
花井 亮 分子生物物理学
山田康之 タンパク質の生物化学
末次正幸 DNA複製の生物化学
赤沼元氣 タンパク質の生物化学
向井崇人 DNA複製の生物化学

◎分子細胞生物学系

木下 勉 動物発生生物学
眞島恵介 シグナル伝達の細胞生物化学
岡 敏彦 オルガネラの細胞生物学
堀口吾朗 植物発生生物学
赤羽しおり オルガネラの細胞生物学
前川修吾 植物発生生物学



Student's Voice > 若菜 碧

3年次 茨城県 水戸第一高等学校

結果までの道のりを組み立てる力がついた

高校生のときに教科書や授業で学んだ「小さな分子同士の働きが体内で起こることで生命が維持されている」という事実には驚き、生命理学という分野をより専門的に学びたいと考え、本学科での学びをスタートさせました。3年次からは特別演習という科目を選択し、研究活動を進めています。

研究は、一人ひとりが異なったテーマで行います。他の人と異なる研究に挑むことは、自分しか知りえない結果が得られることであり、とても面白いと感じられました。結果がある程度わかっている授業での実験とは異なり、研究室での実験は、ほしい結果が出ないかもしれないという状況下での実験です。今までの結果を見ながら、どの実験でどのような操作が必要なのか、順々に考えることが必要になります。そのように、実験において大切な考え方を意識していくことで、自身の思考力が少しずつ鍛えられていくことを実感します。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			フランス語基礎2	英語ディスカッション2	英語eラーニング	
2	物質の化学2	基礎化学1	会計学の基礎		教育学への招待	英語プレゼンテーション2
3	フランス語基礎2	理科実験			物理学1	
4	生物化学1					
5	分子細胞学1					
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	仏教の世界			教育原論(B)	教育心理学(D)	
2	学校教育相談の理論と方法(C)	生物化学2		植物科学	生命理学ゼミナール2	
3	道徳教育の理論と方法(A)	科学英語1	分子生物学1		物理学2	地学概説
4	分子細胞学2	日本国憲法				
5	教育方法論	GL101	基礎化学2			
6						立教ゼミナール(春他)

授業紹介

1 導入期

- 化学序論 ■ 生物学序論
- 生命理学概論 ■ 生命理学基礎実験
- 基礎情報科学 ■ 生命理学ゼミナール1

2 形成期

- 生物化学1・2 ■ 分子生物学1・2
- 分子細胞学1・2 ■ 生物物理学1
- 生命理学実験1 ■ 科学英語1
- 植物科学 ■ 動物科学 ■ 微生物科学

3 完成期

- 生命理学実験2A・2B ■ 分子生物学3
- 分子細胞学3 ■ 分子免疫学
- 分子発生生物学 ■ 分子神経学
- 生物統計学 ■ 卒業研究 ■ 輪講

PICK UP

4年間をともに過ごす仲間と生命理学の基礎を理解

■生命理学ゼミナール1 同学期に行われる「生命理学基礎実験」の中からいくつかのテーマを選び、それぞれについて実験前に原理、手法、注意すべき点を学び、演習を行います。生命理学の基本的事項を15～20名の少人数クラスで詳しく学んで大学での学び方を身に付け、ともに学ぶ仲間をつくります。

生命科学を自分の手で学ぶ

■生命理学実験1、2A、2B 生命科学の研究に広く利用されている基礎技術を習得します。実験結果の見方やレポートの書き方などを学ぶことで、生命現象の分子的な仕組みについて考察を深める思考力、文章構成力もつめられます。また、授業で学んできた生命理学を実地に理解します。



私たちの命の基本となる遺伝子の謎に迫る

■分子生物学1・2・3 DNAが複製され、DNAからRNAが作られ、RNAからタンパク質が作られる、いわゆるセントラルドグマの仕組みを詳しく学びます。そして、必要な遺伝子が必要な時だけに使われる調節の仕組みや、バクテリアと真核生物での遺伝子発現の違いを学びます。現代の生命科学やバイオテクノロジーすべての基盤をしっかり身に付けます。

TOPICS 健やかさと多様性についての研究が文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に選定

立教大学の「インクルーシブ・アカデミクスー生き物とこころの『健やかさと多様性』に関する包摂的研究」が、文部科学省の平成28年度「私立大学研究ブランディング事業」に選定されました。加速するグローバル社会の中で人々のストレスは増大しています。本事業では、ストレスに対する分子・細胞レベルの解明を行うとともに、メンタル

ヘルス問題が発現するメカニズムを心理学的に探究しています。生命理学科と現代心理学部心理学科が中心となり、生命科学的研究と心理学的研究を学際融合することで、生き物とこころの「健やかさと多様性」を包摂する新たな知見を得ることを目指しています。

社会学部

グローバルな視点から社会と文化を理解し、 地球社会で活躍できる人材を育てる。

社会学は、人と人との関係、集団や組織、コミュニティなど、私たちが普段経験しているさまざまな人との出会いの場面を扱う学問です。特に家族、地域、職業労働、社会階層などは社会学独自の蓄積がある領域です。しかし、その他にも多様な切り口で多様な社会現象にアプローチすることができ、それが社会学の魅力になっています。社会は常に変化し、新しい姿を見せているので、社会学の研究テーマは尽きることがありません。

近年の社会の大変化のひとつとしてグローバル化が挙げられます。「社会」は日本、米国といった国家単位で閉じられているのではなく、地球全体をおおう複雑な関係の中に置かれています。そのような関係がますます緊密になり、地球の裏側での出来事が瞬時に私たちの生活に影響を及ぼし、私たち自

身の意識もグローバルな広がりをもたざるをえない時代になっています。グローバル化の影響は、社会のあらゆる場面に浸透しており、もはや国内社会と国際社会を分けて考えることはできなくなっています。そして世界中の人々がグローバル化にどのように対応すればよいのかを考えはじめています。

社会学部では、これまでの社会学の蓄積をふまえ、グローバルな視点から社会と文化を理解し、地球社会で活躍できる人材を育成します。目標は、みなさんが21世紀の地球社会を生きる市民としての素養を身につけること。私たちは就職しても結婚しても退職してもひとりになっても、どこで暮らそうと地球社会で暮らす市民であることに変わりはありません。だとすれば、社会と人生の変化に対応できる素養を身につけることが何よりも大切なのです。

社会学科

現代文化学科

メディア社会学科



国際社会コース

社会学の基礎を習得する学部共通科目

社会に生起するさまざまな問題を調査し分析するためには、社会に対するものの見方・考え方、そして調査方法を身につける必要があります。本学部では、「社会学原論」「社会調査法」などの基礎科目を各学科共通で学べます。

3学科の特色あるカリキュラム

本学部は、社会学の根本から多様な社会現象に迫る社会学科、環境・都市・消費・文化などの現代的な問題を扱う現代文化学科、ジャーナリズムや情報メディアなどメディアを切り口として社会現象をとらえるメディア社会学科の3つの学科から構成されています。

充実したフィールド・リサーチ科目群

1年次の「基礎演習」で、調査研究を学生が自主的に企画するPBL(課題解決型学習)を経験し、大学での学び方を学びます。2年次以降も「フィールド実習」「社会調査演習」など多彩なフィールド・リサーチ科目があります。

グローバルな視点を追求する国際社会コース

グローバルな視点からの学びを意識的に追求する学生のために、3学科を横断する国際社会コースを開設。海外留学も視野に入れ、学部英語科目を中心に英語力を磨きつつ、関心のあるテーマを自由に追求できるコースです。

〉学部Webサイト: www.rikkyo.ac.jp/undergraduate/sociology/

〉デジタルパンフレット: www.rikkyo.ac.jp/admissions/brochure/

PICK UP RESEARCH 研究紹介



他者の視点をとおして世界を見つめ直す

社会学は、私たち自身の常識を疑い「他者」に正面から向き合うことで、これまでとは全く違う視点から世界を捉え直す方法を学ぶ学問です。なかでも文化人類学は、異文化の世界に身を置き、他者がもつ「文化のめがね」を拝借して世界を見つめ直すことで、私たちの世界観が無数にある世界観の1つにすぎないことを知り、私たちと社会とのより良い関係を再構築するための学問です。

私は中国や台湾、東南アジアをフィールドに、中国系のイスラーム教徒や華僑華人と呼ばれる人々を研究しています。彼らは日常の生活空間の中で、文化的・宗教的に異なる人々と対立や協力をしながら共存しています。そこで生きる人々の文化のめがねをとおして世界を見ることで、国や文化の境界を越えて生きるための、ローカルな知恵を学ぶことができます。多様性が必要とされる今日の世界において、文化人類学は不可欠の学問なのです。

社会学部 現代文化学科 准教授

木村 自

PROFILE

大阪大学人間科学研究科助教、人間文化研究機構特任助教を経て、2017年度より現職。中国、台湾、東南アジアをフィールドとして、華僑華人やエスニック・マイノリティの移動と文化変容に関する研究を進めている。

担当講義

■文化人類学
■文化の社会理論
■専門演習2 など



社会学科

現代社会が抱える諸問題に 実践的にかかわる人材を育成。

1958年の学科創設から60年、社会学科は常に社会の変化に敏感にアンテナを張り、新しいものにチャレンジしてきました。「社会学」が捉える社会の変化は、きわめて多様な層からなります。私と他者とがつくる関係は現在どうなっているのか。家族はどう変化し、ジェンダー関係や世代間の関係はどう変わろうとしているのか。世界の変動の中で日本はどうな問題を抱えるのか。そして今、自由で平等な社会はどうしたら実現できるのか。社会学科は、こうした問いを自分で考え解決することができる「社会学的思考」を養います。この能力は、これから社会に出るにあたって幅広い分野で役立つことでしょう。

身につく力

社会調査によって
得たデータを収集・
分析する能力

社会の問題を
見出し、整理・
把握できる能力

政策科学的思考で
実践的な解決法を
導き出す能力

カリキュラムの特徴

5つの分野による学びの体系化

5つに分けられた社会学の幅広い領域を、自由に横断して学ぶことができます。小さな社会から大きな社会まで、どこからでも研究を始められ、自由に視野を広げられる教育体系です。

理論と方法

社会学という道具を用いて研究を進めていくには、これまで社会学が作ってきた考え方(理論)や調査の仕方(方法)を正しく身につける必要があります。理論と方法を体系的に学び、自分のテーマを研究するための基礎を習得します。

生活と人生

私たちの「Life(生活・人生・生命)」は、社会の変化と深くかわっています。家族関係、ジェンダー、高齢化・少子化・晩婚化、世代間関係はどのように変化しているか。生活の現場から現代社会のゆくえを見つめます。

構造と変動

社会の大きな変動を理解するためには、構造を捉える視点が不可欠です。産業のあり方、階層や格差、人口構成などの社会構造とその変動を、日本社会だけでなく他の社会との比較をとおして研究し、世界の中で考えていくことを学びます。

自己と関係

社会の中で自分とはつくり、人との関係の中で私たちは生きています。この小さな「社会」がさまざまな問題を生み出し、私たちの悩みとなっているかもしれません。現代社会で自己と他者との関係がどのように変化しているのか、社会学的に考えます。

公共性と政策

現代社会のさまざまな問題をどう解決し、自由で平等な望ましい社会をどのようにつくっていくべきかを探求します。これは、社会が直面する課題に対する、国家や自治体、NPO、私たち一人ひとりの役割を実践的に考えていくことにつながります。

社会学科が目指すのは

4つの能力をバランスよく備える人材

社会学科では、専門科目の5つの領域を体系的に学ぶことで、次の4つの能力を養成することを目標としています。

- 1 現在の自己・生活・社会の状況から問いを発見し、自分の問題として捉える能力
- 2 1の問いを思考するための道具として、特に社会学的な発想を身につけて、自分自身で考え抜く能力
- 3 事実を根拠に基づいて思考するために、調査によってデータを収集・分析する能力
- 4 自分の見出した問いに対して、政策科学的な思考に基づいて、実践的な解決法を導き出す能力

専任教員の研究領域

萩原なつ子	環境社会学、ジェンダー研究、市民活動論	片上平二郎	理論社会学(批判理論、コミュニケーション論)、現代文化論	村瀬洋一	計量政治社会学、社会階層研究	吉澤夏子	ジェンダーの社会学、現代社会理論、他者論
李 珍	産業・労働社会学、日韓比較研究	前田泰樹	医療社会学、質的研究方法論、理論社会学	西山志保	都市社会学、まちづくり論、NPO/NGO/社会的企業研究	脇田 彩	社会階層論、ジェンダー論、社会調査法
岩間暁子	家族社会学、社会階層論、マイノリティ論	松本 康	都市社会学、社会変動論	野呂芳明	都市社会学、地域社会と政策の関係	矢吹康夫	障害学、ライフストーリー研究
				小倉康嗣	ライフストーリー研究、生の社会学		
				長 有紀枝	人間の安全保障、平和構築、ジェノサイド研究		



Student's Voice > 返町 雄太 3年次 長野県 県立長野高等学校

得た知識を総動員して、
あらゆる角度から問題にアプローチする

社会学は、ある問題に対して数学のように決まった方法でアプローチするのではなく、持てる知識を総動員して、自己と他者、個人と社会など、ありとあらゆる領域から考え答えを導くことができるのが魅力だと感じています。異なる講義ではあるものの、1つの授業で培った知識が別の授業で生きてくるといことも多々あるため、ある問題について考える時に、1つの角度からだけでなく、他の角度からも考察することができるようになりました。社会学部の他学科の授業もとりのやすいので、さまざまな授業を受けることができ、見識を広げることができます。そのため、はじめは興味の薄かった分野についても、自然と興味をもち積極的に取り組むようになりました。

それぞれの授業で得た知識を組み合わせ活用していきながら、今後のゼミでの研究に力を注ぎたいと考えています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				英語 ディスカッション1	流行論	英語 リーディング
2	自己と他者の 社会学	英語 プレゼンテーション1	フランス語基礎1	情報社会論		
3	宗教と実践	マス・コミュニ ケーション論			社会学原論1	
4	フランス語基礎1			社会調査法1		
5						
6						

2年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2	社会人口学	ライフコース論				
3	公共性の社会学	コミュニケーション 政策論	webスタディーズ	アイデンティティ論	スポーツの科学	
4			若者とメディア	ヨーロッパの 文化とことば	自然環境の保全	
5						
6						

授業紹介

1 導入期

- 基礎演習 ■現代社会論
- 自己と他者の社会学 ■成熟社会論
- 公共性の社会学 ■現代社会変動論

2 形成期

- 専門演習1※ ■専門演習2
 - 社会学理論 ■社会学史
 - アイデンティティ論 ■相互行為論
 - 家族社会学 ■ライフコース論
 - 福祉の社会学 ■地域社会学
 - 労働社会学 ■社会階層論 ■社会運動論
- ※国際社会コースは「Reading Sociology in English」

3 完成期

- 卒業論文演習1・2 ■卒業論文
- データ対話型分析 ■計量社会学
- 差別と偏見の社会学
- セクシュアリティの社会学
- 保健・医療の社会学
- 公共政策とガバナンス ■歴史社会学
- 社会人口学

PICK UP

日本の「家族」のあゆみ、未来像を考える

■家族社会学 現代日本では晩婚化や未婚化、離婚の増加、少子高齢化など、「家族」のあり方が多様化していると同時に、「家族」を取り巻く社会的状況も大きく変化しています。この授業では、「家族」をめぐるさまざまな現象について、社会学的観点から理解することを目指します。

「私とはなにか」を社会学的に理解する

■自己と他者の社会学 「私」は、他者とのコミュニケーションの中で生まれ、維持され、変容していきます。家族、友人、恋人、見知らぬ他人など、さまざまな他者と私がつくる小さな社会の姿を、具体的な事例と社会学的な理論を通して理解し、現代の「私」がいかなる問題を抱え、どのような方向に変化しようとしているかを考察します。

地域に欠かすことのできないコミュニティの実態を徹底解剖

■地域社会学 地域コミュニティで発生しているさまざまな社会問題を取り上げ、その背景にある社会構造や社会関係を分析し、問題を多角的に捉える視野を身につけます。具体的には、映像や資料などを利用してコミュニティの実態を深く理解し、問題に対してどのような動きが生み出されているか、その役割は何かを分析していきます。

Q & A 社会学科は、他の2学科とどのような違いがありますか。

社会学科は、社会学本来の学問特性を基礎から発展系まで総合的に学べる学科で、文化やメディアという現代の状況を対象とする他の2学科では対象としない、社会の根底にある問題群を取り上げることができます。たと

えば、私はなぜ私なのか、家族はなぜ必要なのか、働くことの意味とは何か。社会学科では、これらの根源的かつ現実的な問いに、理論的・実証的に迫り、主体的に思考する能力を育てることを目的としています。

社会学部
社会学科

現代文化学科

現代社会と文化の関係を学ぶことで 多文化共生社会の構想力を養う。

現代の社会は科学技術の発展やグローバル化の進展のもとで大きな変容を遂げており、それにつれて文化現象もまた大きく変化しています。価値観やライフスタイルは刻々と変容し、人間社会と自然環境との関係が厳しく問い直される今、グローバル化の進展によってエスニック集団間の文化摩擦が起こることもあります。新たな文化資本も蓄積されています。また、文化交流の場としての都市も姿を変えてきました。現代文化学科は、こうした現代社会の文化現象を社会学の視点を中心により深く捉え、多種多様な文化が共生していく社会の構想を目指しています。この学びは、未来を生きる人々のための羅針盤となることでしょう。

身につく力

問題を掘り下げて
データを収集し
分析する力

社会と文化との
かかわりを探る
複眼的な思考力

研究結果を
実践的な提言へと
導く力・アプローチ

カリキュラムの特徴

個人のライフスタイルからグローバル化まで—— 相互に関連する現代社会と文化を捉える4領域

1年次の必修科目「社会学原論」「社会調査法」「基礎演習」に加え、現代文化学科では文化研究の基礎になる「文化の社会理論」を履修することができます。また、多様化する現代社会と文化の問題群に対応した4つの研究

領域を設けています。この4領域は、それぞれ独自の問題群を構成していますが、相互に深く関連しているのが現代社会の特徴です。したがって、領域を横断した視野の広い学習も可能なカリキュラムとなっています。

価値とライフスタイル領域

価値観が多様化し、それに応じて人それぞれのライフスタイルを形成しているのが現代社会の特徴です。消費生活、ポピュラーカルチャー、宗教などから、現代社会の実像に迫ります。

環境とエコロジー領域

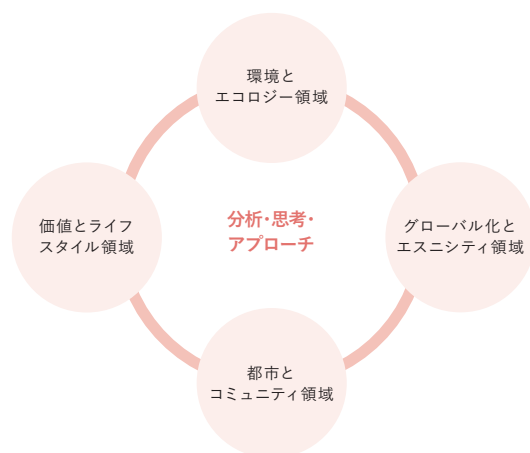
個人の生活から地球規模まで、環境問題はいろいろなレベルで捉えなければなりません。私たちの社会の持続可能性を環境社会学、環境教育などの観点から考えていきます。

グローバル化とエスニシティ領域

地球規模で人の交流や経済活動が広がり、グローバル化は地域社会のあり方も変えています。グローバル化の文脈の中で多様な文化のあり方を社会学や人類学の視点から考えます。

都市とコミュニティ領域

新しい文化を生み出し、多様な文化が接触し合い、さらに新しい文化を生み出す都市やコミュニティのダイナミズムを、都市社会学や都市地理学などの観点から探っていきます。



専任教員の研究領域

阿部 治 持続可能な開発のための教育 (ESD)、環境教育
石井香世子 国際社会学、エスニシティ論
木村 自 文化人類学、ディアスポラ研究、地域研究(中華圏)

小池 靖 宗教社会学、心理主義論
小泉元宏 文化社会学、文化政策研究、現代芸術論
貞包英之 消費社会論、歴史社会学、現代社会論

関 礼子 環境社会学、地域環境論
高木恒一 都市社会学、住宅社会学
水上徹男 グローバル社会論、マイグレーション論
太田麻希子 グローバル都市とジェンダー

田原裕祐 社会意識論、労働社会学
須永将史 ジェンダー論、ケア論、会話分析、エスノメソドロジー



「社会学」は、あらゆる学問の交差点

舞台芸術やポピュラー文化に興味があり、それらをあらゆる領域から学べるところに魅力を感じて入学しました。現在は、所属ゼミにおいてアートや創造性と社会のかかわりについて学んでいますが、1年次の「基礎演習」、2年次の「専門演習1」が役に立っています。文献の探し方や基本的な論文の書き方を学ぶ「基礎演習」では、仲間と議論を交わしながら1つの報告書を仕上げたことで貴重な経験となり、「専門演習1」では英語の文献講読に挑戦。グローバルな視点で社会学に触れることができました。

この3年間をとおして、社会学とはあらゆる学問の交差点だ、と感じています。当たり前だと思われる社会の事象に疑問を抱き、学問的に考察することで、物事を多角的にとらえる力が身についたと思います。将来は社会学的な視野を生かしながら、文化と社会の接点を創出する仕事に携わりたいと考えています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				英語 ディスカッション2		英語eラーニング
2		英語 プレゼンテーション2	フランス語基礎1	基礎演習		
3		高等教育の 歴史的展開		公共性の社会学	社会学原論2	
4	フランス語基礎2	現代社会変動論		社会調査法2	文化の社会学	
5						
6						

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2	文学講義162	健康の科学			近代日本社会と 人権	
3	現代文化論	ポピュラー カルチャー論			文学講義331	
4	フランス語圏の 社会			専門演習2	教育社会学	
5		アートの社会学				
6						

授業紹介

1 導入期

- 基礎演習 ■ 文化の社会理論
- 都市社会学 ■ グローバル社会学
- 環境社会学 ■ 現代文化論

2 形成期

- 専門演習1※ ■ 都市社会構造論
- グローバル都市論 ■ 都市マイノリティ論
- 都市コミュニティ論 ■ 文化変容論
- エスニシティ論 ■ マイグレーション論
- 多文化の社会理論 ■ 環境と文化
- 暮らしの環境史 ■ 環境の思想
- 消費文化論 ■ アートの社会学
- パフォーマンス文化論
- ポピュラーカルチャー論 ■ 専門演習2

※国際社会コースは「Reading Sociology in English」

3 完成期

- 卒業論文演習1・2 および卒業論文
- 卒業研究1・2

PICK UP

多彩なフィールドワークで現代社会に切り込んでみよう

■専門演習2 3年次の演習科目である専門演習2は、毎年10ゼミほどが開講されます。学生は自らの関心によってゼミを選択し、さらに自分でテーマを定め、1年間をかけて文献講読とフィールドワークを進めます。その成果は1冊のゼミ報告書としてまとめられます。これは卒業論文に向けての一里塚のような位置づけになります。



太田ゼミナール

日本人とはだれのこと？ 多文化化が進む日本を社会学的に探る

■多文化の社会理論 社会集団がどう境界づけられるかを民族境界論から検討し、世界の「移民」や「民族対立」などの事例について考えます。また、異なる文化や民族の間でいかなるコミュニケーションが可能なのか、「自文化／異文化」「自己／他者」という問題を含めて、社会学や人類学の複数の理論を理解しながら考察していきます。

「持続可能な社会」とは？

■環境教育論 まず、現代社会の課題としての持続可能性について考え、次に学校、地域、企業、行政、NPO／NGO、国際協力など環境教育の現場の取り組みを考えます。そして、こうした現場の取り組みを統合・総合化した「持続可能な開発のための教育(ESD)」の役割と可能性について考察を進めます。

Q & A 現代文化学科では、具体的にどのようなことを学ぶのですか。

たとえば、1つの都市の中にたくさんのエスニック・コミュニティが存在し、それぞれ独自の文化様式をもっていること。マクドナルドに代表されるようなファストフードは世界中どこでも見られる一方で、それぞれの地域固有の食文化があること。速さや便利さを追い求める一方で、スローな生き方が共感を集めていること。これらの例が象徴するように、現代の文化の特

徴は多様性にあるといえます。一方、さまざまな文化間における関係は良好なものだけではありません。異なる民族間の文化摩擦や、あるいは宗教衝突のような深刻な問題も発生しています。現代文化学科では、今日の多種多様な文化の特徴とこれらが生み出される状況を、現代社会の特質とのかかわりの中で捉えています。

メディア社会学科

未来をひらくメディアの光と影を知り、 時代を分析・表現する力を培う。

テクノロジーの変化が社会や文化の変容に直結する現代。特にデジタルメディアの発達は人々のコミュニケーションに影響を与え、写真・映像・音楽の技術基盤と表現を変化させて、新聞、テレビなど旧来のマス・メディア産業にも新たな挑戦を求めています。しかし古いものは一方的に古びてゆくだけでしょうか。そうではありません。暮らしを支える制度や慣習、情緒や価値観は、集散的な記憶や歴史と切り離せないからです。メディア社会学科は、メディアの歴史やテクノロジーを受容する人々の意識と暮らし、言論・出版の自由と公共圏の思想などを広く含み、柔軟な知性とたくましい行動力をもった人材を育てます。

身につく力

企業や諸組織で
広く活動できる
高度な対応能力

調査や取材に
必要な討論力と
文章表現力

社会学的な視点で
批判・分析する
ための知識や手法

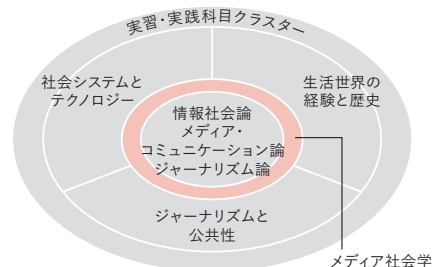
カリキュラムの特徴

3つの専門科目領域と実習・実践科目クラスターで メディア社会を生きる柔軟かつ強靱な知性を育てる

社会学部生としての基礎をつくる「社会学原論」と「社会調査法」、メディア社会学科生としての基礎をつくる「メディア社会学」。これらを基盤として「情報社会論」「メディア・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」へ進みます。学科のカリキュラムは「社会システムとテクノロジー」「生活世界の経験と歴史」「ジャーナリズムと公共性」という3つの軸(領域)に沿って体系化され、学科固有の対象分野となるメディア、コミュニケーション、ジャーナリズムに関する深い知識と思考、分析、表現の力を養います。またこれら3領域を側面から支える形で、学科独自の柱である「実習・実践科目クラスター」が配置されています。

さまざまなフィールドで活躍する 実践的行動力に向けたカリキュラム

卒業後の進路は新聞、放送、出版、映画、広告、通信などのほかITビジネスも目立って増えています。就職は人生のゴールではありません。学科の教育はその後の人生でさらに重要な視野と思考力を育てるため、メディアや報道の現場からも協力を得て多様な科目を展開しています。



社会システムとテクノロジー

テクノロジーの発達にともなう人々のコミュニケーションの変容、社会システムや制度の問題点と未来像などを考察します。

生活世界の経験と歴史

メディアと不可分な社会生活とその歴史的・同時代的な経験の諸相について学習・考察します。

ジャーナリズムと公共性

近代における公共圏の生成・創出とその展開に深く関与してきたジャーナリズムについて学術的、実践的に追究します。

実習・実践科目クラスター

調査と取材、討論、文章表現の力を磨く一方、企業や諸組織での実践体験(インターンシップなど)で応用力を養います。

専任教員の研究領域

橋本 晃
ファン・ソ・ビン
黄 盛彬
井手口彰典
井川充雄
生井英考

ジャーナリズム論、
メディア・ジャーナリズム思想
メディア・文化研究、
国際コミュニケーション論
ポピュラー音楽、メディア文化論
メディア社会学、メディア史
映像人類学、アメリカ研究

木村忠正
是永 諭
林 佑蔵

ネットワーク社会論、ネット
コミュニケーション論、
ソーシャルメディア論
情報行動論、言説分析
オルタナティブ・メディア論、
エスニック・メディア論

長坂俊成
砂川浩慶
和田伸一郎
池上 賢

リスクコミュニケーション論、
災害情報論
メディア制度・政策論、
放送ジャーナリズム
デジタルメディア論、情報社会論
ポピュラーカルチャー、
メディア・オーディエンス論

横山智哉

社会心理学、
対人コミュニケーション、
社会調査法

奥深い問いにこそ、自分なりの答えを

中学・高校で放送部に所属しており、将来は放送関連の仕事に就きたいと考えていた頃、立教のメディア社会学科の存在を知りました。その後オープンキャンパスでメディア文化論の井手口先生の模擬授業を受けて非常に刺激を受け、メディア社会学科への入学を決めました。

本学科では、実際にメディアの現場で活躍している方々から授業を受けられるため、実践的で有意義な学びを得られます。「今日のメディアとジャーナリズム」という授業では、毎週新聞記者や報道番組のディレクターなどのゲストに講義をしていただき、「実名報道は是か非か」、「新聞がこれから生き残るにはどうすればいいか」など、与えられたテーマで学生がディベート。高校以前の勉強とは異なり明確な答えが存在せず、多角的かつ論理的に物事を考える力が求められます。自分なりの答えを出すために知恵を絞り出していく学びは、今後にも生きる貴重な経験だと思います。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						英語ライティング
2	基礎演習	英語 プレゼンテーション2	スペイン語基礎2		英語 ディスカッション2	情報処理2
3	社長の履歴書				社会学原論2	
4	スペイン語基礎2			社会調査法2	現代文化論	
5				メディア・コミュニケーション論	現代社会論	
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	仏教の世界			出版産業論		
2			メディア・ジャーナリズム実習基礎	メディア素養論		
3	スペイン語圏の文学		専門演習1	文化表象論		
4	文学講義37		職業選択・キャリア形成論			
5	社会調査法3		メディア社会 特殊講義	広告・PR論		
6						

授業紹介

1 導入期

- 基礎演習 ■ メディア社会学
- 情報社会学
- メディア・コミュニケーション論
- ジャーナリズム論

2 形成期

- 専門演習1※ ■ 専門演習2
 - メディア・テクノロジー・社会
 - メディア史 ■ 情報法
 - メディア・ジャーナリズム実習基礎・応用
- ※国際社会コースは「Reading Sociology in English」

3 完成期

- 卒業論文演習1・2 ■ 卒業論文
- 卒業研究1・2 ■ 視覚文化論
- ニュースの社会学1～6

PICK UP

本来、メディアとはどういうものなのか

■ **メディア社会学** 社会の中でのメディアとコミュニケーションにかかわるさまざまな現象についての理論を取り上げ、その内容や背景、意義と限界を学びます。現代のメディア状況に対する〈批判的知性〉を養います。

ジャーナリズムとマス・メディアの違いを考えてみよう

■ **ジャーナリズム論** ソーシャルメディア全盛の時代にあって、公共コミュニケーションの担い手としてジャーナリズム諸活動の重要性が高まっています。その起源やデモクラシーとの関係、今後の問題点を検討していきます。

現役の報道人が講師！ 刺激的な討論でテーマを掘り下げる

■ **今日のメディアとジャーナリズム** 毎回、現役で活躍するジャーナリストをゲストに迎え、メディアの現場に即したさまざまな問題をめぐって履修生たちが高い密度で討論する、創意と緊張感にあふれたアクティブ・ラーニング型クラスです。

Q & A メディア関連の現場で活躍している方と、かかわる機会がありますか。

メディア社会学科では新聞社や放送業界など現場経験のある教授陣が指導にあたるほか、メディアの現場で活躍するさまざまな方々を講師として招いてい

ます。メディア関連企業でのインターンシップでは、実体験をとおして情報を発信する立場がいかなる視野で社会とかわっているかを知ることができます。

法学部

現代社会の隅々にまで及ぶ「法」と「政治」を理解し、適切に活用できる能力を養う。

現代社会はさまざまな制度、組織が複雑に入り組んでいきあがっています。他方で、グローバルな規模で展開する急速な変化が、既存の価値観を根本から揺るがしています。今、私たちに求められているのは、この激動する現実をしっかりと把握し、問題の所在を突き止め、その解決策を提案していく能力にほかなりません。

制度や組織の成り立ち、仕組み、さらにはその実際の動き方を知ること。秘められた可能性を現実化するために新たな道を作り出すこと。そしてそれを自分自身との関係の中で考えていくこと。法学と政治学は、現実を理解し、将来を展望する知識と思考方法を身につけるための学問です。

立教大学法学部はその創設以来、法と政治を学ぶ上で、「平和と秩序の叡智」を教育の理念・目標にしてきました。私

たちは未来に向け、現在を生きていく知恵と意志を鍛える場を提供し、法学と政治学の専門教育を通じて自分自身の生き方、社会のあり方を考えることができる人間を育てたいと願っています。

法と政治は人と人とのかわりの中から自分の、そして社会のあるべき姿を模索する学問です。そこでは自分自身の問題としてそれらを考え探求する姿勢、特に「主体的に学び問う」姿勢が不可欠です。この姿勢を身につけることによって、時勢や流行に押し流されることなく、法的・政治的事象の本質を見極め、地に足のついた将来を切り拓いていくことができると信じています。教員と学生が社会の絶えざる動きの中で、自分の生き方や社会のあり方を真摯に、そして主体的に模索するところにこそ、新たな「平和と秩序の叡智」が創造されるはずです。

法学科

国際ビジネス法学科

政治学科

3つの学科が相互に、有機的に結合

広い視野を獲得できるよう、法学部全体でカリキュラムが組み立てられています。どの学科の所属であっても、本学部3学科の開講科目を履修できます。卒業後の進路としては法曹界だけではなく、民間企業や国家公務員・地方公務員などさまざまな分野に就職しています。

少人数のゼミナールを多彩に展開

法学部では専門分野ごとに展開される「演習」など、知識と能力を真に身につけるためのゼミナール形式の自己鍛錬の場を豊富に用意しています。

基礎から応用へ。段階的な科目編成

3学科とも、「法学入門」「政治学入門」「基礎文献講読」「法学基礎演習」「政治学基礎演習」などで基礎的素養を修得しつつ、徐々に専門的な知識が身につくよう、カリキュラムを設計しています。

履修の自由度が高い専門科目

各学科で提供する専門科目には、必修の科目はありません。履修モデルを参考にしながら、自分の関心に沿って自主的に履修計画を組み立てることができます。そのためのガイダンスや履修相談も各種行っています。

〉学部Webサイト: www.rikkyo.ac.jp/undergraduate/lp/

〉デジタルパンフレット: www.rikkyo.ac.jp/admissions/brochure/

PICK UP RESEARCH 研究紹介



反イスラーム暴動後の避難民キャンプにて(2013年3月、インド・グジャラート州アフマダーバード)

正解のない問題に、勇気をもって挑む

インド・南アジアの研究と、国際政治や比較政治、さらにジェンダー研究の3つの学問領域を、学際的に研究してきました。インドとの出会いは、大学3年冬の国際政治の授業で恩師が呟いた、「暴力は政治の必要悪かもしれない。しかし、非暴力を説き、母国を独立へと導いた、ガンディーという現代の英雄もいる」という一言から。私の中で、戦後日本、平和憲法、ガンディー、インドが結びついた瞬間でした。

21世紀の世界には、恐ろしいニュースが溢れていますーテロ・内戦・戦争の勃発、排外主義的な政治の広がり、膨大な数の難民や避難民の人々。けれども、未来には無限の可能性があります! 勇気を出して国境を越え、さまざまな垣根を越えて、現実の世界に踏み込んでみましょう。「私たちは互いに思いやりのある平和な社会を実現できるか」という問いへの答えを、学生のみなさんとともに、元気に探索していきたいと考えています。

法学部 政治学科 教授

竹中 千春

PROFILE

東京大学法学部・東洋文化研究所助手、立教大学法学部助手、明治学院大学国際学部教授などを経て現職。公益財団法人日印協会理事。公益財団法人国際文化会館評議員。近著に『ガンディー 平和を紡ぐ人』(岩波新書)

担当講義

- 国際政治
- 演習
- 国際政治研究(大学院) など



法 学 科

法の視点から問題を解決する力や、 より良い秩序を創造する能力を育む。

国と社会の秩序を形作っているのは、さまざまな法律です。法学科では国内法から国際法、公法から私法まで多岐にわたる分野の法律を学修し、問題を発見・解決する能力と制度構築能力を身につけます。入学後はまず法学の基本的な素養を身につけます。これは大学院に進む学生はもちろん、公務員やビジネスパーソン、司法書士、法律事務所、NGO関係など、あらゆる職業と市民生活にとって必要不可欠なものです。2年次以降はそれぞれの関心に応じて、応用・発展的な法分野を演習や少人数講義で学修。4年間の充実した学びにより、複雑化し激しく変化する現代社会の問題を問い直し、解決していく能力を育成していきます。

身につく力

法的ルールの
解釈・運用能力と
制度の設計・構想力

現代社会に
必要不可欠な
法的思考能力

効率的に
解決に導くための
リサーチ能力

カリキュラムの特徴

自由度が高いカリキュラムで 幅広く学び法的素養豊かな社会人に

法学科は、具体的な実定法だけでなく、法社会学、法哲学、比較法、政治学の諸分野など、法学およびその周辺学問を、自分の関心に応じて自由に幅広く学ぶことができます。それらの知識を修得することで、将来どの分野で活躍するにしても求められる法的思考能力（リーガル・マインド）を養い、法的素養豊かな社会人へと導きます。

法学入門から専門教育科目まで 多彩な法分野の講義を展開

法律学は幅広く、また堅いイメージも伴って、どこから知識を得ればよいのか難しい側面もあります。そこで法学部では1年次を法学の入門期と捉え、導入的な授業と基本的な法律科目を設置しています。そして、2年次から専門的・発展的な科目を組み込み、各自が関心をもつテーマをしっかりと見つけて、段階的に学べるカリキュラムを編成しています。

入門期（1年次）

法学／政治学入門、法政ゲートウェイ講義、基礎文献講読、法学／政治学基礎演習などの導入的な授業で、法学の基礎的素養を修得します。それらとあわせて憲法・民法・刑法という今後の基礎となる科目を学修します。

展開期（2年次）

基礎的な科目の学修をさらに進めるとともに、法社会学や法哲学、政治学の諸科目を履修することで、法や政治をさまざまな側面から見る目を養います。また法政外国語演習で専門分野の外国語を学ぶとともに、行政法・労働法・国際法などの専門的な科目にも取り組み始めます。

応用・発展期（3・4年次）

専門科目に加え、租税法や環境法などの発展科目を学修し、法と制度の運用方法についての理解をさらに深めます。また専門科目毎の演習では、社会的な問題を法を用いてどのように解決していくべきかを教員の指導の下で学生同士が議論し切磋琢磨することで、法的思考能力を高めます。

TOPICS 定期刊行物『立教法学』と『法学周辺』を発行

法学部では、定期刊行物として『立教法学』と『法学周辺』を発行しています。『立教法学』には、法学部教員の研究論文が収録されています。『法学周辺』には、折々の話題を取り上げたエッセイ、学生へのメッセージ、座談会、新任教員からのメッセージなどが収録されています。

専任教員と担当科目・研究テーマ

演野 亮 法社会学、弁護士論、司法アクセス論
原田一明 憲法、統治機構論
原田昌和 民法、消費者法、ドイツ私法
許 淑娟 国際法
岩月直樹 国際法、経済制裁、戦争と平和

神橋一彦 行政法、行政救済法
小林憲太郎 刑法
松井秀征 新株発行、商法、企業再編、商取引法、会社法
中村陽一 社会デザイン、ソーシャルビジネス、NGO/NPO、市民活動
瀧川裕英 法哲学

内海博俊 民事手続法
山口敬介 民法
小川和茂 国際ビジネス法総合
薬師丸正二郎 キャリア意識の形成

人に納得してもらう、論理的思考を鍛える

法学は堅苦しく難しい印象をもたれがちですが、本学科の授業では法学の基礎を段階的に学ぶことができ、また先生方も言葉1つ1つをわかりやすく丁寧に教えてくださるので、着実に知識を積み重ねることができます。法学ではある事柄に対して、通説・有力説・少数説といったように多くの考え方が乱立することがありますが、先生の解説などを参考に、どの立場の説に立つかを自分なりに考え、説得力をもたせて論じていくことが、理解を深めるためには大切です。授業の中で弁護士時代のエピソードなど貴重な経験談を話してくださる先生もいて、難しい中でも楽しく学ぶことができます。

試験は論述式のものが多く、結論を導くためには要点を整理し順序立てて説明していくことが重要になります。その過程において、文章を書くのに必要な構成力や論理的思考力が、日々鍛錬されていくのを実感します。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	英語eラーニング		英語ディスカッション2	民法1		生命の歩み
2			多文化の世界		憲法1	英語プレゼンテーション
3		スペイン語基礎	民法1	刑法各論	スポーツの科学	
4		生徒・進路指導	現代企業法		スペイン語基礎	
5		教育制度論				
6						

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		西洋法制史	商法1	商法1	日本政治思想史	
2	社会公民教育法1	日本法制史	スポーツプログラム	超経済原論		
3			社会地歴教育法1	金融取引法1		
4	アメリカ政治論		民法5		ヨーロッパ政治論	
5	ヨーロッパ政治論		演習			
6						

授業紹介

1 導入期

- 法学入門 ■ 政治学入門
- 基礎文献講読 ■ 法学基礎演習
- 法政ゲートウェイ講義
- 憲法 ■ 民法 ■ 刑法

2 形成期

- 行政法 ■ 商法 ■ 労働法 ■ 経済法
- 民事訴訟法 ■ 刑事訴訟法 ■ 国際法
- 法社会学 ■ 法哲学 ■ 英米法
- 法政外国語演習

3 完成期

- 環境法 ■ 金融取引法 ■ 社会保障法
- 租税法 ■ 知的財産法 ■ 少年法
- 外国法 ■ 演習 ■ 演習論文

PICK UP

自分の意見を発表し、仲間と話し合う 大学の学びのスタイルを覚えよう

■ **基礎文献講読** 法学・政治学を専門的に学ぶための導入授業です。法学・政治学の入門書や古典を素材として適宜用いて、資料の収集方法・プレゼンテーションの作法・レポート作成の方法・読解力・論理的思考力などを身につけていきます。下記は進め方の一例です。

- ステップ1** 指定された文献の該当範囲を読み込んで授業に参加。報告者による発表をもとにグループで議論をします。
- ステップ2** 報告者による発表や各グループのコメントをもとに、全員が意見・疑問を示しつつ討論し、理解を深めます。
- ステップ3** 講読する文献や討論から浮かび上がった議論や、発展的な議題をいくつか選び、さらなる議論を行います。

当たり前のことに「なぜ？」と問うことで 「法」とは何かが見えてくる

■ **法哲学** 法哲学は、法を哲学的に考察する学問です。哲学するということは問い続けるということです。実定法が前提としていることを問い直すことによって、法とは何か、法を貫いている価値は何かを明らかにします。またこの基本的理解を応用して、現代社会の抱えるさまざまな問題（格差・貧困・生命倫理・環境問題・差別など）を考察していきます。

法律や判例はどう扱われるのか？ 身近な紛争から考えてみよう

■ **法社会学** 法律や判例は社会の中でどのように働いているのだろうか。そもそも法が社会の中で「働く」とはどういうことで、それはどんな要因によって決まるのだろうか。法社会学はこうした問題意識のもとに、身近で起こる紛争を具体例として取り上げて法と社会の関係、裁判と弁護士の役割、そして裁判以外の紛争解決手続きの意義などを考えます。

国際ビジネス法学科

広い視野とリーガル・マインドで、 世界と日本の企業を橋渡しできる人材に。

近年、企業社会におけるグローバル化の進展には目を見張るものがあります。このことは、わが国の企業が言葉も文化も異なる外国企業と取引し、また外国での法的紛争に備える必要があることを意味しています。法律は、どの国においても国内法を基本とします。そのため、国内企業と外国企業との紛争において生ずる問題は、いわば国内企業同士の紛争の応用問題です。国際ビジネス法学科では、法律の観点からこうした紛争の予防や解決に向けた考え方や手続きについて学び、国際的な企業買収や特許にかかわる取引など最先端の企業法務に触れつつ、国際舞台で通用する法知識とセンスを磨いていきます。

身につく力

国際ビジネスの
現場に必要な
言語力

紛争を予防する
問題発見能力

紛争を解決する
問題解決能力

カリキュラムの特徴

法律の基礎から国際ビジネスにかかわる法律問題 まで幅広く学び、実践的な専門知識をも習得

国際ビジネス法学科では、1・2年次に憲法・民法・刑法などの基本法律科目を学んだうえで、3・4年次に商法をはじめとする企業法務科目や国際的な法律問題を扱う応用科目など、多様な専門科目へと進んでいきます。同時に、1年次から少人数の演習科目が展開され、リサーチし、プレゼンテーションし、レポートを書き、法的議論を戦わせる能力を養います。

1 法学と政治学の基本を学ぶとともに、社会や ビジネスのさまざまな場面で生ずる法的 問題に取り組む基礎的な能力を身につける

「法学入門」
「法学基礎演習(Future Skills Project)」
「民法1」「商法1」「演習」など

2 ビジネスの分野で必要となる法的基礎から 専門的知識まで、広くかつ深く学ぶ

「国際ビジネス法総合1」「金融取引法」
「知的財産法」「労働法」「経済法」など

3 国際的な舞台で多様な価値観をもつ人同士が 取引し、紛争解決を図る際に必要な知識と 理解力を身につける

「国際民事手続法」「国際経済法」「外国法」
「オックスフォード・サマープログラム(法学部合同講義)」など
※本プログラムはオックスフォード大学の正規プログラムではありません。

4 講義や演習を通じて習得した知識や能力を 総合し、将来、国際社会で、ビジネスで 活躍するために必要な応用力を磨く

「国際ビジネス法総合2」「キャリア意識の形成」など

国際的な取り組みや外国語による 授業が充実

立教大学法学部では、独自の国際的なプログラムを展開しています。たとえば、「オックスフォード・サマープログラム(法学部合同講義)」は、法学部専門科目として開講されている短期留学プログラムです。また、国際ビジネス法学科では海外留学を強く勧めており、留学先で取得した単位も他学科より広く立教大学の単位として認定されます。英語教育にも力を入れており、「法政外国語演習」などでは、ネイティブ教員による英語の授業も行われています。さらに、国際的な取引に関する実務的、実践的教育も行われており、「国際ビジネス法総合」では、日本企業が海外展開した際に実際に起きた紛争など、生きた素材を用いながら、グローバル・ビジネスに対応できる能力を養っています。

専任教員と担当科目・研究テーマ

浅妻章如 恒久的施設、所得源泉、国外所得免税、タックスヘイヴン
藤澤治奈 民法
長谷川 遼 知的財産法
幡野弘樹 民法、家族法、フランス民法
早川吉尚 国際民事訴訟法、国際私法、仲裁
早川雄一郎 経済法

角 紀代恵
神吉知都子
高橋美加
溜箭将之
東條吉純
Downes, Simon R.

債権流動化、債権譲渡、民法、流動資産の譲渡担保
労働法、社会保障法、イギリス労働法政策
商法、会社法、国際取引法
アメリカ法、イギリス法、民事訴訟法、仲裁、信託法、憲法
国際経済法、経済法
法政外国語演習

知識の幅を広げることで国際問題への考え方が、より明確なものに

国内外のさまざまな地域で、今もなお起きている政治問題や紛争問題。なぜ起きたのか、どのようなプロセスを経て解決に至るのかを深く学びたいと思い、法律と政治の両方の分野が学べる本学科に進学しました。

最も興味深かった授業は「国際政治」です。グローバル化が生んだ現代の国際的な政治問題と紛争について、人権問題も含めて多角的に研究することができました。さらに、授業で学んだことを掘り下げるために、国際政治のゼミにも所属しています。ゼミでは普通の授業では取り扱わないさまざまな文献を読み込むので、多くのインプットをすることで知識の幅が広がり、国際問題に関する自らの考えを以前より明確にできたと感じます。今後は学部で留学制度を利用して、さらにグローバルな視点を身につけつつ、問題を解決する糸口を学んでいきたいと考えています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	英語ライティング	歴史と資料	英語ディスカッション1		世界経済と日本	
2	法学入門		政治学入門	スペイン語圏の文化		英語プレゼンテーション
3	基礎文献講読	スペイン語		社会調査法		
4					スペイン語	
5	グローバル共通教養総論			グローバルイシュー各論		
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			英米法1			
2	歴史学への招待				知的財産法	
3	刑法総論	手続法概論1		国際政治	憲法A	
4		グローバル社会における法と政治	手続法概論2			
5			社会運動論	演習	行政学1	
6						

授業紹介

1 導入期

- 法学入門 ■ 政治学入門
- 基礎文献講読 ■ 法政ゲートウェイ講義
- 憲法 ■ 民法 ■ 刑法

2 形成期

- 商法 ■ 労働法 ■ 租税法
- 知的財産法 ■ 経済法 ■ 国際経済法
- 英米法 ■ 法学基礎演習
- オックスフォード・サマープログラム

3 完成期

- 国際ビジネス法総合 ■ 国際私法
- 国際民事手続法 ■ 環境法
- 金融取引法 ■ 演習
- 法政外国語演習 ■ 演習論文

PICK UP

海外でモノを売るのは大変？ 実際のトラブルを例に解決法を探る

■ **国際ビジネス法総合1** 日本企業が、台湾に製品を輸出する、ドイツの企業と契約を結ぶ、オランダで子会社を設立する、アメリカの裁判所で訴えられる。こうした国際的な取引や紛争の場面では、どのような問題を想定し、どのような法的知識とビジネス・センスをもって、どのように対処すればいいのだろうか。この授業では、世界各地で集めてきた、契約書、裁判手続の書面、判決など、現場の素材を使って授業をします。民法、商法、国際私法、租税法、英米法と専門分野の異なる教員が分担で教えます。

外国人と結婚したら、どちらの国の法律を守るべきか

■ **国際私法** 日本人と外国人が婚姻する場合や、日本と外国の企業が契約を締結する場合、何法に従えばよいのか。国際私法とは、国ごとに法制度が異なる国際社会の状況のもとで、国際的な法律関係をどのような準拠法で規律するかを定める法で、抵触法とも呼ばれています。本授業は、国際取引の実務に携わるゲストスピーカーとの合同講義を織り交ぜながら、わが国の国際私法の基本構造を学びます。

Q & A 国際ビジネス法学科の授業はすべて英語で行われるのですか。

法学部では、英語で学ぶ「演習」や「法学特殊講義」が複数展開され、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語など外国語で行われる「法政外国語演習」も開講されています。「オックスフォード・サマープログラム（法学部合同講

義）」も、英語漬けの4週間です。他にも「英米法」や「外国法」など、外国語に接する講義も多彩に展開しています。ただし、国際ビジネス法学科でも、日本法の科目は基本的に日本語で行われます。

政治学科

政治という人間の営みについて考え、 未来を構想する力を身につける。

なぜ戦争はなくなるのか、なぜ世界には豊かな国と貧しい国があるのか、なぜ多くの人々が望ましいと思う施策が実現されないのか。政治学の出発点は素朴な、しかし切実な疑問の中にあります。政治学科が目指すのは、こうした疑問に対する模範解答を手に入れることではなく、私たちが抱く疑問を社会や世界の中で解いていくための知識と方法を学ぶことにあります。そのために、日本やアジア、欧米など世界の政治の仕組み、歴史や文化的・思想的背景、行政と政策、地方自治、国際政治、環境などを幅広く学習し、その学びを通じて情報を分析する力、問題を考え抜く思考力を身につけます。

身につく力

政治と社会を
深く分析する力

現代社会の多様な
問題を見極める
政治的視座

社会で役立つ
確かな判断力と
問題発見・解決力

カリキュラムの特徴

2年次から多くの専門科目が展開され、 選択の幅が広いカリキュラム

政治学には、現代の新しい情報を分析する能力はもちろん、歴史、哲学など、人間と社会に関する深い思考能力も必要です。そのため政治学科では、2年次から多くの専門科目を配置し、自分の興味や関心に合わせて履修計画を立てることができるカリキュラムを組んでいます。

「政治学入門」と少人数の「基礎文献講読」 「政治学基礎演習」で学習の基礎を築き 講義や演習を通じて法学と政治学を幅広く学ぶ

専門教育科目は科目ごとに習得目標を定め、教育を実践しています。

- 1 法学と政治学の学問体系の基本的な知識を習得する
「憲法1」「民法1」「行政法1、2」「法学入門」「政治学入門」など
- 2 必要な情報を選択して収集し、社会的な現実を理解・説明する
基礎的な技能を習得する
「政治過程論」「国際政治」「行政学1、2」など
- 3 立場や利害、価値観の多様性を理解し、
自らの立場を相対化できる倫理的感覚を身につける
「ヨーロッパ政治論」「アメリカ政治論」「アジア政治論」「日本政治史」など
- 4 知識・技能・倫理的感覚を総合して、自ら表現する能力を育成する
「現代政治理論」「日本政治思想史」「欧州政治思想史」など

TOPICS 『立教大学法学部ラーニング・ガイド』

法学部では、『立教大学法学部ラーニング・ガイド』を独自に作成し、アップデートして新入生に提供しています。法学・政治学を学ぶ学生が、情報検索、プレゼンテーション、レポート作成、ディベートなどに習熟し、「発見探究能力」を身につけられるよう支援する教材です。

専任教員と担当科目・研究テーマ

安藤裕介 欧州政治思想史(近代)
原田 久 官僚制、公務員制度、政策類型
川崎 修 現代政治理論、政治学史
倉田 徹 中国(香港)政治、民主化、アジア政治論

松田宏一郎 日本政治思想史
松浦正孝 日本政治史、外交史、グローバル・ヒストリー
小川有美 ヨーロッパ政治、比較政治、北欧政治
佐々木卓也 アメリカ政治外交、冷戦史、日米関係

孫 斉庸 政治過程論、日本政治、政治資金研究
竹中千春 国際政治、比較政治、南アジア政治、ジェンダー研究

答えのない政治の諸問題に 向き合う力を養う

政治学は、その学問領域が非常に広いことが特徴です。なぜなら、そもそも「政治」というものは、文化・経済・歴史など、さまざまな要因が複合的に影響し合い成立しているからです。それに対応すべく政治学科では幅広い学問領域をカバーしているので、自分が興味をもって学べる領域にきっと出合えるでしょう。私は1年次からヨーロッパ関係の授業を多く履修した中で、特にフランス政治の奥深さに魅了され、4年間最も力を注ぎ学習しました。

少子化や温暖化問題、テロの頻発、戦争危機など、現代社会は非常に不安定な情勢にあるといえます。政治系の演習ゼミでは、こういったさまざまな正解のない課題について、自分とは違った領域に興味や視点をもつ仲間たちと議論を交わします。それによって、現代社会で解決が求められる諸問題について、多面的に理解し考察する力が身についたと感じています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	英語ライティング					
2	平和と人権	民法1	刑法各論	英語ディスカッション2		英語プレゼンテーション2
3	民法1	スペイン語基礎2	スペイン語圏の社会		コミュニティと福祉	
4	憲法1		現代企業法		スペイン語基礎2	
5	政治学基礎演習					
6						

4年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		国際ビジネス総合2		社会保障法	法社会学2	
2		国際ビジネス総合1B	日本外交論	法学特殊講義(金融商品取引法)	外国法(フランス法)	
3					環境法1	
4					比較政治理論	
5				演習(小川ゼミ)		
6						

授業紹介

1 導入期

- 政治学入門 ■ 法学入門
- 法政ゲートウェイ講義
- 基礎文献講読
- 憲法 ■ 民法 ■ 刑法

2 形成期

- 政治学基礎演習 ■ 法学基礎演習
- 現代政治理論 ■ 国際政治
- 行政学 ■ ヨーロッパ政治論
- アメリカ政治論 ■ アジア政治論
- 日本政治史 ■ 日本政治思想史
- 欧州政治思想史 ■ 政治過程論
- 社会運動論 ■ 日本政治論
- 環境政治

3 完成期

- 政治社会学 ■ 比較政治理論
- 地方自治 ■ 比較政治
- 公共政策論 ■ 日本外交論
- 国際政治史 ■ 平和研究
- 演習 ■ 法政外国語演習
- 演習論文

PICK UP

現代の政治の課題について討論し解答力を養う

■ 政治学基礎演習

学生が発表し議論する「演習」の形式を通じ、日本と世界の政治・社会が直面する諸課題を検討し、その理解を深めていきます。例として、現代の若者たちが置かれた社会的な立場を明らかにし、発表やディベートを行います。

ステップ 1

例:倉田徹『香港:中国と向き合う自由都市』(岩波新書)などのテキストを読みます。

ステップ 2

報告チームが、担当箇所を要約した発表を行います。

ステップ 3

コメンテーターが、その論点や疑問点を提起します。

ステップ 4

他の参加者も加わって積極的に討論します。

ステップ 5

関連する新聞記事や論文などから理解を深め、プレゼンテーションやレポートで発表します。

先進国で投票率が低下している理由は？ 身近な問題から現代の政治過程を知る

■ 政治過程論

現代民主主義を理解するために必要な、選挙やメディアについての先端的な分析を学びます。

大きな影響力をもつアメリカと これからどう向き合っていくべきか

■ アメリカ政治論

歴史から現在に至るアメリカ政治の理念、構造、対外関係を理解します。

観光学部

人類の文化的、経済的活動である「観光」を 本質的、多角的に。

現在、世界観光機関(UNWTO)の調べでは、年間12億人以上の人々が、観光目的で国境を越えて旅行しているといわれています。観光に関連する産業は、運輸、宿泊、飲食、娯楽、金融、保険、情報通信などのサービス産業を中心に、農業や水産業、製造業にまで拡がり、観光は21世紀最大の産業とさえいわれてきました。紛争や政情不安などで一時的な変動はあっても、長期的な視点で見れば今後ますます発展を続け、社会に必要とされる産業であり続けていくことでしょう。観光学部は、このように我々の生活に大きな影響力をもつ「観光」について総合的に捉え、探究しようとする学部です。

立教大学観光学部は、観光の役割が高まる社会で活躍する人材を育てることを第一の目標としています。観光の現場で活躍できるだけではなく、観光に関する総合的・体系的な

視点を身につけることによって、社会を力強くリードできる人材を育てます。

そして、観光学部のもうひとつの大きな目標は、観光にまつわるさまざまな社会現象を多面的な視点から捉え、そこに課題を発見し、分析して考察し、その構造を人に伝える能力を学生に身につけてもらうことです。

観光学部には経営学、経済学、社会学、地理学、人類学、文学、言語学、都市計画学、建築学など、多彩な学問分野に精通した教授陣が揃っています。さまざまな分野の講義や演習を通して、観光現象を分析する眼が養われ、習熟していくことでしょう。これは観光関連産業に限らず、どのような道に進んでも現代社会を生きていくための基本的な力になるに違いありません。

〉観光学科

〉交流文化学科

効果的に組み合わせられる知識と理論

多彩な専任教授陣に加え、観光関連企業で活躍する著名な実務家を特任教授に擁し、現場での発見と人文・社会科学を基礎とした分析能力、そして、刻々と変化する現実に関する知識を組み合わせ、理解を図ります。

学生自らが課題を見つけ解決を図ることを指導

教員との議論を通じて課題を見つけ、その解明に取り組む指導は、観光学部の教育の特色であり、実践力が養えます。観光学部では、多彩な教授陣による演習を開講し、積極的に学ぼうとする学生の多様なニーズに応える努力をしています。

海外提携大学とのネットワークを生かしたプログラム

観光学部は世界各地の提携大学との間で相互に協力し合う強固なネットワークを築いています。交換留学や語学留学だけでなく、海外から著名な学者を招いての授業など、国際プログラムが日常的に実施されており、国際感覚を磨くことができる環境です。

現場から学ぶ、リアリティに満ちた教育

早期体験プログラムやインターンシップ、海外フィールドワークなど多様な体験型学習の機会を提供しています。現場での体験から学生自身が問題意識をもち、発展させ、学んでいく手助けを観光学部は積極的に行います。

PICK UP RESEARCH 研究紹介



人々はなぜ、聖地へと旅に出るのだろうか？

現在、日本だけでなく多くの地域で、無宗教を名乗る人が増えています。しかし「宗教的なもの」はさまざまな場所に存在し、人気を集めています。たとえば、聖地巡礼。UNESCOの世界遺産には数多くの聖地が登録されており、信仰の有無に関わらず多くの観光客が訪れます。では、そもそも無宗教と言いながら、なぜ人は聖地を訪れるのでしょうか。

私は文化人類学・民俗学の立場から、沖縄や四国などの聖地をフィールドワークしながら研究しています。現代宗教を理解する上で観光は欠かせない視点です。旅する巡礼者、観光客、地元の人々の語りに耳を傾け、その人たちの経験をできるだけ具体的に理解しようと試んでいます。近年、多くの人が観光をする時代となり、人が移動し楽しむことがあらゆるシーンで可能となりました。観光学部で学ぶ「観光」の範囲は、みなさんの想像を遥かに超える広さとなっているのです。

観光学部 交流文化学科 准教授

門田 岳久

PROFILE

東京大学大学院博士課程修了。博士(学術)。主著に『巡礼ツーリズムの民族誌』(2014年度日本宗教学会賞)。宗教研究以外では、過疎と廃校活用、文化運動と博物館、現代民俗学理論などの研究も行っている。

担当講義

- 交流文化研究2 (文化人類学の方法)
- 観光と宗教
- 早期体験プログラム など



観 光 学 科

観光ビジネスや地域振興のあり方を模索し、 新しい価値を創造・提供する人材を育成。

半世紀以上におよぶ立教の観光教育の歴史を継承する観光学科の教育は、「観光ビジネスの経営」「観光による地域振興」という2つの視点で構成されます。具体的には旅行業やホテル、航空会社などの経営や、観光地づくりに関するプログラムを中心に、新しい観光ビジネスや地域振興のあり方を考えていきます。旅行会社やホテルなど、ビジネスの最前線で活躍する方々の生の声から経営を学ぶ機会や、インターンシップなどの実地教育も充実。観光学科が目指すのは、経営やマーケティング、地域計画や行政など、さまざまな側面から新しい観光の姿を構想し、観光ビジネスを革新する人材、地域づくりをリードする人材の育成です。

身につく力

課題を見つけ、
解決策を導く力

地域づくりの
あり方を考え
政策を立案する力

グローバルな
視野をもち、観光産業を
革新・リードする力

カリキュラムの特徴

より高度な国際化教育を無理なく進める システム化されたプログラム

観光学部では国際化や多文化教育をより進めるため、全学で取り組んでいるプログラムに加え、学部独自のさまざまな国際化教育を実施しており、学生たちは国際的感覚を磨くことができます。また、アジアを中心に留学生を積極的に受け入れており、日本にいながらにして異文化を体験し交流を深めることができます。

早期体験プログラム(1年次)

主に海外フィールドで現地の観光事情や地域の文化を体験的に学ぶ教育プログラムです。地域を熟知した担当教員の指導のもと、タイ、ベトナム、パオ、フランスなどで実施の予定です。

言語と文化現地研修(2~4年次)

夏季休暇中に実施する約2週間の研修プログラムです。地域の言語と文化を、現地でネイティブの教員から学びます。アメリカ、中国、タイ、マレーシアなどの大学で実施の予定です。

実社会への理解を深めるインターンシップ

観光学部には3年次を対象とした正課インターンシップ「観光インターンシップ」と「経団連インターンシップ」があります。これらの授業は、実習の準備学習をする事前研修、夏季休暇中の実習、実習の振り返りと成果のまとめをする事後研修、成果発表会や報告書の作成などを通して、観光ビジネスや地域づくりの現場を知り、実社会への理解を深めキャリアに関する意識を高めることを目標としています。

実業界の「生の声」を通して学ぶ授業

観光学科では、旅行業やホテル等の経営に精通したプロフェッショナルを特任教授・客員教授として迎え、講義や少人数の演習を行っています。また、観光ビジネスや地域づくりの最前線で活躍している方々をゲストスピーカーとして授業に招くなど、観光ビジネスの実際や経営課題に触れることができます。

基礎と専門のバランスがとれた講義

観光教育は実務優先と考えられがちですが、観光学科では経営学やマーケティング、経済学や法律など、観光ビジネスや地域づくりをより深く学ぶための基礎知識を身につけるとともに、さらに観光行動論、観光計画論、観光経済学などの専門性の高い講義を用意しています。

自ら課題を見つけ解決に取り組む演習

教員の指導のもと学生が自ら課題を見つけ、文献研究や統計分析、現地調査を行い、活発なディスカッションをとおして自分なりの解決策を導き出すことで、観光をより深く学び、問題解決能力を養っていきます。

卒業生ネットワークと連携した教育

立教大学はこれまで多くの人材を観光産業に送り出してきました。そうした卒業生が組織する「立教観光クラブ」の協力により、寄付講座やキャリアデザインセミナーなどが展開されます。

専任教員と主な担当科目

東 徹	マーケティング総論、 サービス・マネジメント	庄司貴行	組織と人的資源経営	橋本俊哉	観光行動論、観光感性論
麻生憲一	地域経済学、観光経済学	杜 国慶	都市観光論	羽生冬佳	観光計画論、観光事業論
梅川智也	観光政策・行政論、観光地運営管理論	西川 亮	観光調査・研究法入門、 早期体験プログラム	韓 志昊	観光特論6(英語)
小野良平	環境・景観論、風土と観光	野澤 肇	旅行産業論、旅行業経営実務	★フックス・ピーター・E	観光ビジネス計画論1・2、 ESP(Investment and Finance)1・2
毛谷村英治	観光施設論、施設・空間造形論	野田健太郎	企業情報分析、ITビジネス論		

多様な領域から「観光」を学び、視野を広げる

観光学部の特徴は、学びの広さにあると感じています。「観光」というものについて、経済や経営、法律など幅広い観点から学びを深めていくことが可能です。1年次の必修科目の学びを経て、2年次からは学習の幅がさらに広がります。映画を観て感想を英語で話し合う講義や、外国からみた日本の文化についてディスカッションを行い、多様な考え方に触れることができる講義など、これまでになかった刺激的な経験を得ることができました。

私は以前から観光学のほかに、経営学やマーケティングにも関心があったので、自分の学びたいことを複合的に取り組めるゼミを選択しました。ゼミでは、『日経MJ』に掲載される「ヒット商品番付」をもとに、商品がヒットした背景や要因についてディスカッションを行っています。これから多岐にわたる視野を広げつつ、多角的に学問に励んでいきたいと思っています。

1 年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		ドイツ語基礎1		生涯学習概論	観光調査・研究法入門	
2		早期体験プログラム	観光概論	ドイツ語基礎	英語リーディング & ライティング	
3	英語ディスカッション1		英語プレゼンテーション			
4	経営学		社会学1			
5		現代社会と観光	観光事業論			
6						

2 年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		観光心理学				
2		人権思想の根源		ヘリテージツーリズム論		
3	Japanese Study through English	マーケティング総論	観光施設論	観光地理学		米国欧州観光論*
4	演習	言説分析	認知・行動・身体	人類の進化		
5		米国欧州観光論*	米国欧州観光論*	米国欧州観光論*	米国欧州観光論*	
6						

※集中講義

授業紹介

1 導入期

- 観光調査・研究法入門 ■ 観光概論
- 観光史 ■ 観光事業論
- 早期体験プログラム

2 形成期

- 観光行動論 ■ 観光経済学
- 旅行産業論 ■ 宿泊産業概論
- 言語と文化現地研修 ■ 演習(2年次)

3 完成期

- サービス・マネジメント
- 環境・景観論 ■ 演習(3年次)
- 卒業研究指導

PICK UP

海外に行く日本人、日本に来る外国人、観光の仕方に違いはある？

■ **観光行動論** 人々の心理・行動を理解するうえで必要とされる基礎的な知識を修得し、観光現象やサービス提供場面における心理学的・行動論的な見方を事例に即して学びます。また、ノンバーバル・コミュニケーションやサービスの基礎理論、さらに観光回遊行動の行動特性について理解します。

現場の声から観光・ホスピタリティ産業の最新動向・展望を理解

■ **宿泊産業概論** ホテルの発祥から現在に至るまでの歴史・事業発展過程の実態と、ホテルビジネスの全体像を理解し、ホスピタリティ産業の意味と観光立国における宿泊産業の役割を学びます。講義にはホテル業界経営トップのゲストスピーカーも招へい。生の声を通じて観光産業の最新動向や経営実態に触れることができます。

ダイナミックに変化する旅行産業の実態と課題を学ぶ

■ **旅行産業論** 旅行業の歴史、旅行市場の現状、旅行会社の経営特性などを概観した上で、個人旅行販売、商品造成(海外・国内)、法人営業、インバウンドの実態について、ゲストスピーカーの解説を交えながら学ぶとともに、旅行産業の各分野における課題と将来の展望について理解します。

交流文化学科

地域・文化を結ぶコミュニケーション 能力と理解力をもつ人材を育成。

観光はとても複雑な社会・文化現象です。なかでも現在注目されているのは、観光を通じた人と人との交流と、それがもたらす文化的な影響です。したがってこれからの観光は、産業としての側面ばかりでなく、交流や文化といった側面からも考えることが必要不可欠といえます。交流文化学科では、国際親善や文化的交流など「観光のもつ交流的側面」に着目しながら、観光が地域にもたらす文化的影響を明らかにする「地域研究の方法論」を用いて観光を深く学んでいきます。そのため、海外フィールドワークなど、体験型授業が多いのが特徴です。地域研究をベースに多文化への視点を養い、国際的な人材を育成します。

身につく力

旅の楽しさを伝え、
文化を記述する
発信能力

異文化交流に
ついての専門的な
知識と分析能力

観光分野の
諸問題を解決する
総合的な判断力

カリキュラムの特徴

より高度な国際化教育を無理なく進める システム化されたプログラム

観光学部では国際化や多文化教育をより進めるため、全学で取り組んでいるプログラムに加え、学部独自のさまざまな国際化教育を実施しており、学生たちは国際的感覚を磨くことができます。また、アジアを中心に留学生を積極的に受け入れており、日本にいながらにして異文化を体験し交流を深めることができます。

早期体験プログラム(1年次)

主に海外フィールドで現地の観光事情や地域の文化を体験的に学ぶ教育プログラムです。地域を熟知した担当教員の指導のもと、タイ、ベトナム、パオ、フランスなどで実施の予定です。

言語と文化現地研修(2～4年次)

夏季休暇中に実施する約2週間の研修プログラムです。地域の言語と文化を、現地でネイティブの教員から学びます。アメリカ、中国、タイ、マレーシアなどの大学で実施の予定です。

実社会への理解を深めるインターンシップ

観光学部には3年次を対象とした正課インターンシップ「観光インターンシップ」と「経団連インターンシップ」があります。これらの授業は、実習の準備学習をする事前研修、夏季休暇中の実習、実習の振り返りと成果のまとめをする事後研修、成果発表会や報告書の作成などとおして、観光ビジネスや地域づくりの現場を知り、実社会への理解を深めキャリアに関する意識を高めることを目標としています。

視野を広げる海外フィールドワーク

演習では、海外での現地調査を中心とする活動を行っています。それらの体験はみなさんの視野を広げ、問題意識を高め、リアルな理解の助けになるでしょう。

現場での発見を生かす体験型授業

カリキュラムに組み込まれたエコツーリズム体験、農村観光体験などの実地体験をもとに、現場での発見を生かした教育が行われています。

情報発信力を高める授業

本学科での学習は受け身ではありません。旅の楽しさを伝え、文化を記述する発信能力を高める授業が充実しています。

コミュニケーション能力を向上させる演習

外国語が上達したからといって国際感覚が身についたとはいえません。本学科は少人数の演習科目で発表経験を積むことで、発表を含めたコミュニケーション能力を身につけることができます。

専任教員と主な担当科目

石橋正孝 紀行文学論、文学
大橋健一 交流文化論、観光と文化
越智郁乃 演習(2～4年)A/B
門田岳久 交流文化研究2(文化人類学の方法)、
観光と宗教

葛野浩昭 観光人類学1、エスニックツーリズム論
佐藤大祐 交流文化研究1(地理学の方法)、観光地理学1
千住一 観光史、植民地と観光
高岡文章 交流文化研究3(社会学の方法)、観光社会学2
★鄭玉姫 外国地誌3(東アジア)、国際観光と地域交流

豊田三佳 アジア太平洋観光論、観光とジェンダー
豊田由貴夫 開発と文化、観光人類学2
舩谷鋭 交流文化研究4(交流文学の方法)、交流文学論
松村公明 観光地理学2、外国地誌1(ヨーロッパ)



Student's Voice > 田中 華

2年次 福岡県
西南女学院高等学校

観光学は、 さまざまな学問と繋がっています

観光学部に入学して感じたことは、「観光」は私たちが生きる現代社会にますます浸透しつつあることです。1年次より経済学や心理学、人類学など多分野のさまざまな知識を吸収して、産業としての観光に加えて、人と人との交流や、地域に根ざした文化にも、「観光」が大きくかかわっているということを知りました。

特に印象深かった授業は、「交流文化研究2」です。世界には私たちが非常識と思っていることを常識とし、むしろ慣習として行っている人びとがいます。そのような人びとを前にして、自分たちの思う常識を振りかざすのではなく、フィールドワークをとおして観察し理解しようとする態度を身につけることについて学ぶことができました。以前より航空や鉄道など観光移動における乗りものに興味があったため、現在所属するゼミでは観光交通と地域に関する課題に日々取り組んでいます。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		中国語基礎2			心理学2	セルフエクササイズ
2		交流文化研究1	観光史	中国語基礎2	英語リーディング &ライティング	英語 ディスカッション2
3			英語 プレゼンテーション		生命の科学	
4	日本史2		商法2			
5						
6		GL101				

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		観光心理学			心理学1	
2	観光と文化	心の健康			開発と文化	
3		交流文化研究2	観光施設論	日本地誌		
4	演習(2年)A	言説分析	社会学	植民地と観光		
5						
6						

授業紹介

1 導入期

- 観光調査・研究法入門 ■ 観光概論
- 観光史 ■ 交流文化研究
- 早期体験プログラム

2 形成期

- 観光地理学 ■ 観光人類学
- 観光社会学 ■ 交流文学論
- 言語と文化現地研修 ■ 演習(2年次)

3 完成期

- 観光とジェンダー ■ 言語と社会
- 演習(3年次) ■ 卒業研究指導

PICK UP

さまざまな視点で観光による交流文化を解明

■ **交流文化研究** 国あるいは地域を越えた観光移動がもたらす文化のダイナミズムを、地理学、文化人類学、社会学、文学の方法を用いて解明。多様な視点やアプローチの仕方、表現手法なども学んでいきます。

交流文化研究1(地理学の方法)

地域は自然環境や人間活動などが複雑に関連して成り立っています。さまざまな研究例をとおり、文化伝播や地域形成など地理学の基本概念を理解し研究法を身につけます。

交流文化研究2(文化人類学の方法)

文化人類学の基本的な知識と考え方を学び、文化人類学の主要な目的である「他者の文化を知ることにより自己を省察する視点」を身につけます。

交流文化研究3(社会学の方法)

グローバル化の中の地域社会を越境移動する人々に注目し、その移動を支える活動や施設、場所の記憶や実践をとおして、現在の地域社会を理解します。

交流文化研究4(交流文学の方法)

文化の交流にかかわる文学作品や事象を、講義・講読によって読み解くことで、アカデミックな見方・考え方の基礎となる批評理論(文学理論)を理解します。

TOPICS > 観光学部の研究内容を詳しく紹介する定期刊行物『交流文化』

観光学部では、世界各地で起こっている観光と交流にかかわる現象や、従来からの人類学、社会学、地理学など社会・人文諸科学の研究成果を、社会一般によりわかりやすい形で提供したい

と考え、交流文化学科が設置された2006年4月より定期刊行物『交流文化』を発行しています。『交流文化』は観光学部のホームページで読むことができます。



コミュニティ福祉学部

人間一人ひとりが豊かで幸せな暮らしを 実現できる社会を考える。

21世紀の重要なテーマは、福祉社会の構築です。そのためには、生活者の視点から社会を組み替え、新たなコミュニティを構築することが求められます。新たなコミュニティとは、必ずしも狭い意味での地域性にとらわれない、人と人との結びつきを基本とした複合的、重層的なネットワークとしての開放的コミュニティです。コミュニティ福祉学部は、このような視点から人間福祉に関連する諸学を総合した、新たな福祉学の構築を目指して1998年に開設されました。

社会は絶えず変化し、広がりや深まりをもって私たちに課題を突きつけています。国際社会に目を向けると、頻発する紛争や貧富の差の拡大、そしてグローバル化の中で地域社会の変容が進んでいます。国内では少子・高齢化の進行、青少年犯罪や家族問題の深刻化などの福祉課題が広がり、社

会福祉や社会保障制度、地方自治制度も改革が進んでいます。この複雑化が加速した社会では問題解決のための専門的な知見が求められます。

コミュニティ政策学科は、企業や自治体、NPO等において、リサーチ力・企画力・実行力をもって福祉社会の基盤としてのコミュニティの形成に貢献する人材を養成する学科です。福祉学科は総合学としての社会福祉学を学ぶことにより、ソーシャルワーカーの養成とともに、福祉の専門家に限ることなく社会のあらゆる分野で活躍できる、福祉を理解する人材を養います。スポーツウエルネス学科は「身体」と「運動」をキーワードとして、あらゆる人々が健康で豊かな生活を送れるように働きかけていく学問を学びます。

〉コミュニティ政策学科

〉福祉学科

〉スポーツウエルネス学科

大学の学びの導入を大切に

新入生がスムーズに大学教育に入っていけるよう「基礎演習」で図書館の利用法、コンピュータによる情報検索、討論の作法、レポート・論文作成法、プレゼンテーションなどを学びます。

1年次から少人数教育を実施

全学年を通じて10～20名程度の少人数のゼミナール（演習）での学びを重視し、教室や研究室で、時には合宿も交えて学習を深めていきます。

フィールドからの体験知による理論検証

「フィールドスタディ」「コミュニティスタディ」「社会福祉現場実習」、その他の各種ワークショップなど多彩なフィールド型科目を展開。福祉やコミュニティ、スポーツの現場で起きていることを体験的に学びます。

コミュニティと連携して行う協働プログラム

新座キャンパスと地元自治体との各種の連携・協働プログラムのほか、山形県高畠町においては学部と協定を結び、福祉政策課題の協議会や高校との連携、スポーツプログラムの運営などの協働事業、さらに陸前高田市、気仙沼市、いわき市では東日本大震災復興支援活動を展開するなど、コミュニティとの連携・協働プログラムを通じて福祉コミュニティ構築のための学習を深めます。

PICK UP RESEARCH 研究紹介



アスリート用食事メニューの一例

“ちょうど良い”食と運動で、人生を豊かに

「スポーツをすればカラダが強くなる」という説は広く一般的です。ところが実際は、アスリートが激しい練習など強度の高い運動をすると、代謝のかく乱を起こし、筋肉痛やエネルギー切れなどカラダに負荷がかかります。ここで適切な栄養と休養を摂ればカラダは超回復して強くなりますが、すべてのアスリートが理想の栄養を摂れているとは限りません。そこで私は、「何を・いつ・どのくらい」摂取すべきか、望ましい食行動を促すための支援法を研究しています。そこから、子どもの食育、女性のダイエット、被災地の仮設住宅に住む高齢者の健康づくりなどの研究にも範囲を広げていきました。

アスリートや子ども、女性、高齢者それぞれの「食べる・動く」には、それぞれの「ちょうど良い」ところがあります。せっかく食べるなら美味しく、せっかく動くなら気持ち良く。全ての人のクオリティ・オブ・ライフを追求しています。

コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科 教授

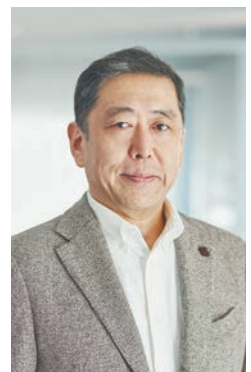
杉浦 克己

PROFILE

食品企業勤務を経て、2008年より現職。2002日韓W杯サッカー日本代表の栄養アドバイザー。現在は日本バレーボール協会栄養班班長。研究テーマは、一般人からアスリートまでの栄養、万能パンの開発など。

担当講義

■運動・スポーツ栄養学
■ウエルネス科学総論
■ダイエットフィットネス など



コミュニティ政策学科

福祉社会を築くための 多角的なアプローチを学ぶ。

コミュニティ政策学科では、コミュニティを基盤として人権を尊重し、①いのちのつながり、②自発的な参加、③居場所を大切に、より良い生活の実現を考えます。グローバル社会においては、貧富の差や難民といった社会問題がますます深刻化しています。それらを解決するためには、地方政府だけではなく、住民組織やNGO、NPO、社会的企業なども加わってのコミュニティづくりが重要です。そこで、講義のほかにも国際NGOやNPOへの訪問、英語による異文化交流、アートプロジェクトの実施、政策フォーラムへの参加、小学校でのボランティア体験などの幅広い活動を通して、多角的なアプローチを習得していきます。

身につく力

コミュニティの
現状を理解し
解決策を考える力

国際的な視野から
社会問題を
分析する力

住民の福利を
向上させる政策を
策定する力

カリキュラムの特徴

3つの教育研究領域を柱とした カリキュラム構造

コミュニティ政策学科の専門科目は、3つの教育研究領域に配置された複数の科目で構成。コミュニティを創造するための効果的政策の開発と、その前提となる人間理解を探究できるように体系化されています。

コミュニティ政策学領域

政策策定、政策実施過程、政策評価の理論やその実際について学ぶとともに、地方自治、地方財政、自治体政策、家族・住宅・環境などにかかわる福祉的生活問題や政策の検討をとおして、公共システム、法制度、政策機能などについて学びます。

コミュニティ人間学領域

公共哲学、コミュニティと宗教、コミュニティと文化、いのちの倫理学、生命倫理政策、福祉心理学、ソーシャルサポート論、家族援助論、余暇生活論などの知見を通じて、価値や人間の心理について学びます。

コミュニティ形成学領域

社会問題解決のために、コミュニティ形成という視点から、まちづくり、コミュニティビジネス、パートナーシップ、市民参加、NPO・NGO、多文化共生、社会開発、国際協力、紛争修復などの実践的活動や、国内外のコミュニティ理論について学びます。

少人数のゼミナール形式で 現場・実地・実践を学ぶプログラム

1年次は「基礎演習」でレポートの書き方やプレゼンテーションなどスタディ・スキルを修得し、4年間の学生生活をとらえてどう学ぶべきかを考えます。2年次からは、教室以外のフィールドや現場での体験学習を行います。

フィールドスタディ(2年次)

社会問題への気づきの視点を学び、ボランティア参加などフィールドでのかかわりをおしてテーマについての理解を深めます。最終的にはグループごとにテーマを掘り下げ、報告書をまとめます。

コミュニティスタディ(3・4年次)

途上国の社会問題、まちづくり、障がい者の就労など、担当教員の指導のもとに自主的に学習課題を設定し、フィールドワークや文献資料の精読などを行い、その成果を発表します。

卒業研究・卒業研究指導(4年次)

日本語による指導のほか、英語による指導・執筆も行っています。

インターンシップ(3・4年次)

国内外の実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めます。

- ・政府系：市役所、特別区、中央省庁の地方支分部局
- ・国際NGO系：海外で生活支援や就業支援を行っているNGOの日本事務所
- ・NPO系：環境教育、高齢者在宅サービス、精神障がい者の仕事起こし
- ・企業系：食品、旅行、教育、不動産、百貨店などの企業
- ・海外系：フロリダ(米)、ロンドン(英)、ベトナムの社会的企業など

社会調査実習(3・4年次)

社会調査の企画から実施、データ分析、報告書作成に至るまでのプロセスを体験的に学習します。社会調査士資格を取得するための必修科目となっています。

専任教員と担当科目

河東 仁 北島健一 木下武徳 空閑厚樹 ★小長井賢真	人間心理の深層、日本の文化と思想 ほか コミュニティビジネス、雇用と福祉 ほか コミュニティ政策学入門、社会政策 ほか いのちの倫理学、持続可能な福祉コミュニティ ほか 逸脱と紛争の修復、司法福祉論 ほか	権 安理 斉藤知洋 阪口 毅 三本松政之 鈴木弥生	公共哲学、コミュニティ平和論 ほか 統計学入門、データ分析法 ほか 社会調査法、質的リサーチ ほか 現代コミュニティ論、社会問題の社会学 ほか 社会開発論、国際福祉論 ほか	外山公美 原田晃樹 藤井敦史 ★山口綾乃	行政学、政策過程論 ほか 自治体政策論、パートナーシップ論 ほか NPO論、ボランティア論 ほか グローバル社会で活躍するための英語、英語で学ぶコミュニティ政策 ほか
--	--	---------------------------------------	--	-------------------------------	--

★印は2019年3月退職予定

体験から得た学びで、 地域をもっと暮らしやすく

本学科では、実際に現地を訪れるフィールドワークや、自治体が開催する政策提言フォーラムなどへの参加の機会が充実しています。講義のテーマは過疎化や高齢化が進んだ地域、ボランティアやNPO、東日本大震災の復興など多岐にわたり学ぶ範囲も広いので、何を重点的に学べば良いか迷うこともありますが、広い視野をもつことで見えてくるものも多いと感じます。私が課外活動で復興支援や防災を生かした地域づくりに積極的に参加しているのも、本学科での学びがこれからの地域づくりを考える上で重要であり、実際に自分自身で体験したいと思ったからです。主体的に学ぶことで、知りたいことがより明確になり、自らの意見や考えをしっかりとつていけるようになりました。

将来は、高齢者やしょうがい者といった枠組みを超えて、誰もが暮らしやすい地域をつくっていきたくと考えています。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	しょうがいと人権		習俗と人間	ドイツ語基礎2	統計学入門	英語ディスカッション2
2	政治とマスコミ	ドイツ語基礎2		社会教育施設論2	政策学の基礎知識	
3						
4			英語ライティング		英語プレゼンテーション2	
5		キャリア形成論2				
6						

2年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				生涯学習概論2	社会教育計画2	
2		Debate	中国語圏の社会	逸脱と紛争の修復		
3	自然と人間の共生	リーダーシップ論				
4		フィールドスタディ	家族心理学の基礎			
5	コミュニティ平和論		エスニシティ論			
6						

授業紹介

1 導入期

- 基礎演習 ■ コミュニティ政策学入門
- 統計学入門 ■ コミュニティ福祉学
- リサーチ方法論1 ■ 政策学の基礎知識

2 形成期

- フィールドスタディ ■ まちづくり論
- コミュニティスタディ ■ 社会問題の社会学 ■ いのちの倫理学
- 福祉制度論

3 完成期

- 卒業研究 ■ ボランティア論
- 社会開発論 ■ 多文化社会学
- 公共哲学 ■ 自治体政策論

PICK UP

途上国で生活する貧困層の幸せを実現するために必要なことは？

■国際NGO論 貧困や紛争の発生要因はどこにあるのでしょうか。子どもの労働はなぜこれほどまでも深刻なのでしょう。また、私たちの生活とどのように結びついているのでしょうか。講義では、国際規模での社会問題に焦点をあて、国際NGOによる草の根レベルでの活動と役割について学びます。

途上国援助、子育て、復興支援など興味のある課題に実践的にチャレンジしよう

■フィールドスタディ 社会問題への気づきの視点を学び、フィールドでのかわりごとをテーマについての理解を深めます。春学期に文献・資料の準備作業を行い、夏季休暇などを使って現場で実践。秋学期には体験したことをレポートにまとめます。

排除型社会における社会的包摂への支援について考える

外国人労働者、結婚移住女性やその家族が抱く困難や、社会生活上の課題を学び、彼らの子どもたちへの補習教室をとし、理解を深めます。

コミュニティビジネスを考える

困難を抱える人々への支援や地域づくりのために、支援者や住民が主体となって立ち上げる事業組織を、訪問も交えながら多面的に学びます。

「コミュニティ政策」とは？奥深さ、面白さを知る第一歩

■コミュニティ政策学入門 まず「コミュニティ政策」とは何かを理解します。そして、健康・福祉・雇用など生活に密着した課題に着目し、ボトムアップの民主的参加によるコミュニティ形成をととして、より良い暮らしの実現を目指す方法を学びます。

福祉学科

人間への深い洞察と思いやりを大切に、 時代に必要な社会福祉を追究。

福祉学科は、総合学としての社会福祉を学ぶ学科です。現代社会では、質の高い福祉の保障と、福祉社会の形成を担える人材が求められています。福祉学科では、福祉を実践する際に必要な知識や能力を、実務経験豊かな教員から座学と実習により体系的に深く学ぶことができます。さらに、福祉の骨格である法律や制度について理解し、社会学や心理学などの専門関連科目も学んでいきます。また、人間福祉に関連する諸学をコミュニティ福祉に位置づけ、幅広い意味での社会福祉を考えます。そして、福祉の専門家であるソーシャルワーカーの養成はもちろん、社会のあらゆる分野で活躍できる人材を養成することを目指します。

身につく力

地域福祉計画や
地域組織化、
社会調査の実践力

支援が必要な人の
社会的な問題を
解決する力

福祉マインドを
もって福祉社会の
構築に寄与する力

カリキュラムの特徴

少人数ゼミ形式で、参加度が高く、 濃密な学びを提供します

「基礎演習」「福祉ワークショップ」「相談援助演習」「現場実習」「卒業研究」と、1年から4年まで、最大でも20人の少人数ゼミ形式で学びを継続します。

- 2年次
福祉ワークショップ、社会福祉援助技術演習1・2、
精神保健福祉援助演習(基礎)など
各種社会福祉施設でのプログラムや、「地域社会」を、あるく・みる・きくなど、クラス単位で福祉現場の実践活動に参加します。
- 3年次以降
福祉現場実習、相談援助演習、インターンシップなど
児童養護施設や病院、精神科病院、福祉事務所など、社会福祉の現場で実習を行います。
- 4年次
卒業研究
各自が設定した課題に対する答えを1年間かけて研究し、4年間の学びを“形”にします。

福祉実践を担う専門家であるソーシャルワーカーの養成が目的

ソーシャルワーカーは、社会福祉を社会に実現させる専門家です。人の生活における問題を解決していきます。そのために必要な知識を修得し専門性を高め、社会との関係を広げ、他者への関心と理解を深めていきます。

フィールド感覚に基づいた、社会福祉を実現するための提案力を磨く

福祉はフィールド(現場)で展開されているという観点から、「基礎演習」で自ら体験を創りだすことから始め、「福祉ワークショップ」ではさまざまな現場での体験をもちます。それらで育った関心に従って「現場実習」の領域を選び180時間の実習を行います。専門教育には、社会福祉の領域で現場経験をもつ者を多く配置し、現場感覚を大切にしながら、理論・知識との融合を図ります。

多彩な専門領域を設定

「福祉ワークショップ」「現場実習」などで、自分が希望する領域で学べるよう選択可能にしています。専門領域は「高齢」「地域」「児童・家庭」「障害」「医療」「更正」「精神保健」に分かれ、その領域の専門家が教員として、座学と実習教育を一体的に学べるようにしています。

カリキュラム体系

社会福祉の基本的な理解と実践の基盤となる
「理論・制度・サービスの理解」を学ぶ科目群

ソーシャルワーカーとして実践を行うための
「援助の方法・技術の理解」を学ぶ科目群

ソーシャルワーカーの業務を体験し知識に還元
するための「演習・実習による理解」を学ぶ科目群

1年次から3年次までこれらを体系的に学ぶことによって、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格取得の受験資格を取得できます。

専任教員と担当科目

飯村史恵 権利擁護と成年後見制度、福祉マネジメント論 ほか
芝田英昭 社会保障論、介護保険論 ほか
杉山明伸 医療福祉論、精神保健援助技術総論 ほか
長倉真寿美 高齢者福祉論、ケアマネジメント論 ほか
西田恵子 地域福祉論1・2 ほか

平野方紹 公的扶助論、現代社会と福祉1・2 ほか
松山 真 ソーシャルワーク論、
医療ソーシャルワーク実践論 ほか
結城俊哉 障害者福祉論、ノーマライゼーション論 ほか
湯澤直美 児童福祉論、家族福祉論、ジェンダー論 ほか

赤畑 淳 精神保健福祉論2 ほか
岡 桃子 家族福祉論 ほか
田中悠美子 福祉ワークショップ ほか
富田文子 就労支援サービス ほか

福祉の学びをとおして多様な考えに触れ、 自分の目標が定まった

本学科は福祉にまつわるさまざまな実習の機会に恵まれているのが魅力だと思います。私は入学後、授業や実習での学びをとおしたくさんの考えに触れていくうちに、自分のやりたいことが明確になってきました。とりわけ、私にとって大きな経験となったのが、現場実習です。直接現場の中で学んだことにより、社会ではさまざまな人や物が互いにに関わり合い福祉社会を支えているということを改めて実感しました。支援の難しさ、それ故のやりがいを経験することができ、より深く福祉について学びたいと思うようにもなりました。

今後は、社会福祉士の資格を取得し、特別区の福祉職員として経験を積み活躍していくことを目標としています。私は福祉の道に進みますが、例えそうでなくても、実習やボランティアなど授業で学んだ経験は、今後の人生のあらゆる場面で役に立つことだと思います。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				中語基礎1	現代社会と福祉1	英語 ディスカッション1
2		中国語基礎1	基礎演習	社会教育施設論	社会福祉援助 技術論1	スポーツスタディ1
3	自然と人間の共生			ソーシャルワーク論	ドイツ語圏の文化	
4	コミュニティ 福祉学入門		英語eラーニング		英語 プレゼンテーション1	
5						
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			児童福祉論			
2		社会福祉援助 技術論2	社会福祉総論	権利擁護と 成年後見制度	地域福祉論1	
3		女性福祉論	福祉ワークショップ	公的扶助論		
4		スポーツジャーナ リズムの現在	音楽と社会	高齢者福祉論		
5	医療福祉論					
6						

授業紹介

1 導入期

- 基礎演習 ■ 社会福祉入門演習
- 現代社会と福祉 ■ ソーシャルワーク論1
- 社会保障総論 ■ 社会福祉援助技術論1
- 家族福祉論 ■ 福祉文化論
- 社会理論と社会システム

2 形成期

- 福祉ワークショップ ■ 児童福祉論
- 公的扶助論 ■ 高齢者福祉論
- 障害者福祉論 ■ 地域福祉論1
- 女性福祉論 ■ 精神医学1
- 医療福祉論

3 完成期

- インターンシップ ■ 相談援助演習
- 実習指導 ■ 社会福祉援助技術現場実習
- 精神保健福祉援助実習
- 卒業研究 ■ 司法福祉論
- 医療ソーシャルワーク実践論

PICK UP

今の社会は生きづらい？ 生活問題から福祉を考察する

■ **現代社会と福祉1** 社会福祉の基盤となる「現代社会」を考察し、その現代社会における社会福祉のあり方や理念を学びます。また、欧米と日本を中心としたこれまでの福祉の歩みや、今日の生活問題を構造的に分析し、これからの社会福祉の課題について理解を深めます。

日本と外国の社会保障を比べてみると？

■ **社会保障総論、社会保障論** 私たちの生活にとって、社会保障は必要不可欠な条件となっています。本授業では、まず社会保障の歴史から労働者・国民の広範な運動が社会保障の発展を支えてきたことを学び、社会保障の理念の変遷をたどってその意義を理解します。さらには社会的排除・運動の課題について学んでいきます。

ユニバーサルデザインとバリアフリーデザインの違いは？

■ **福祉環境論** ユニバーサルデザインを基本に、住宅改修、特別養護老人ホームや障がい者施設における建築的対応、今後の施設運営の方向などを学びます。また、高齢者や障がい者が地域で暮らすことの意味を、住宅や福祉施設と関連づけて、住環境の視点で学習していきます。



Q & A 福祉学科では、どのような資格が取得できますか？

国家資格である「社会福祉士」や「精神保健福祉士」の受験資格を得ることができます。福祉学科の専門科目は、福祉問題、福祉制度、福祉政策、相談援助技術などの教育研究領域を柱として、多数の科目が張りめぐらされています。

指定の科目をすべて履修することにより、国家資格受験資格を得ることができます。

スポーツウエルネス学科

スポーツ文化と人とののかかわりを学び、 ウエルネス社会の構築を探究。

ウエルネスとは、心身の健康だけでなく、価値観や生きがいなども含む多面的な健康観です。高齢化や生活習慣病の蔓延、ストレスによる社会不適応などが顕在化する現代は、まさにウエルネスの向上が求められている社会といえるでしょう。スポーツウエルネス学科は「健康運動」と「スポーツパフォーマンス」の2つの視点から、人々のウエルネスの向上に向けた運動とスポーツのあり方について、医科学、生理・心理学、人文・社会科学など、総合的なアプローチを行い、すべての人が心身ともに楽しく健康に生活できるウエルネス社会の構築を探究し、実現に寄与する人材を育成します。

身につく力

スポーツ文化の
創造に寄与する
理論と方法論

スポーツ環境の
問題点や課題を
見出し解決する力

さまざまな人に
向き合い支援する
福祉マインド

カリキュラムの特徴

2つの教育研究領域で ウエルネスの専門的課題を追究

スポーツウエルネス学科は2つの教育研究領域を設定し、運動やスポーツの支援およびウエルネス社会の構築に向けた、身体運動・処方・援助・コミュニティシステム形成など、専門的な課題について考究します。

健康運動領域

ウエルネス科学系の科目を基礎に置き、身体科学、健康運動支援、アダプテッドスポーツなどについて学び、それらをベースとしたスポーツコミュニティの形成について考究。運動やスポーツをととして、個人個人のウエルネスを向上させるための理論と方法論の構築を目指します。

スポーツパフォーマンス領域

スポーツ科学系の科目を基礎に置き、運動方法学、スポーツコーチング、体力トレーニング理論などについて学び、それらをベースとしたスポーツ文化の生成について考究。すべての人間の適応の可能性を広げ、スポーツパフォーマンスの向上と高度なスポーツ文化の創造に寄与するための理論と方法論の構築を目指します。

卒業後の活躍の場も視野に入れた 海外インターンシップ

キャリア教育の一環として、インターンシップは非常に重要な位置づけにあります。その行き先は、スポーツビジネス業界、行政など多彩で、現在は海外インターンシップとしてフロリダ(ディズニーワールド)、イギリスのNPOなどにも参加しています。将来的にはヨーロッパ各国のサッカー協会など、海外に広く開拓していくことも検討しています。



フロリダ・ディズニーワールドでの研修

専任教員と担当科目

濁川孝志 ウエルネス福祉論、運動方法学演習6(野外活動:キャンプ)ほか
松尾哲矢 スポーツ社会学、ユニバーサルスポーツ援助技術演習 ほか
沼澤秀雄 スポーツコーチ学、運動方法学演習2(陸上競技)ほか
安松幹展 運動生理学、スポーツ科学総論 ほか
佐野信子 ウエルネスプロモーション論、健康運動指導演習 ほか

杉浦克己 運動・スポーツ栄養学、ウエルネス科学総論 ほか
加藤晴康 ウエルネススポーツ医学、循環器検査・救急処置演習 ほか
大石和男 スポーツウエルネス心理学、メンタルマネジメント ほか
石渡貴之 生理学、運動処方・療法、発育・発達・加齢論 ほか
石井秀幸 バイオメカニクス、動作分析法演習 ほか

Student's Voice > 福崎 万依子

3年次 東京都
文化学園大学杉並高等学校

充実した環境の中で、 スポーツにまつわる学びを深める

小学生の時から約13年間バスケットボールを行ってきた私にとって、スポーツは身近でかけがえのないものです。その魅力を多くの人に伝えていきたいと考え、本学科を志望しました。ここには、さまざまな競技経験のある友人や、気さくに接してくださる先生方とともに、自分の学びたい事や挑戦したい事を積極的に行える環境が整っています。生体の機能を学ぶ「生理学」や「栄養学」など、健康の基礎となる授業のほか、「スポーツウエルネス心理学」など多面的な健康観を学べる授業も充実しています。

この学科で過ごしてきた3年間、積極的に何かに取り組むことで新たなコミュニティが生まれるということや、問題に直面した際の答えの導き方など、授業外でも多くのことを学べました。これから社会に出ていく上で、培ったものを生かして邁進していきたいと思っています。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	教職原論			フランス語基礎1	心理学1	英語 ディスカッション1
2		フランス語基礎1	基礎演習	運動方法学演習	解剖学・生物学	
3	スポーツスタディ2		スポーツ ウエルネス学入門		教育心理学	
4	コミュニティ 福祉学入門	スポーツジャーナ リズムの現在	英語ライティング		英語 プレゼンテーション	
5	解剖学・生物学					
6						

3年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			スポーツ コーチング演習		美術と社会	
2	動作分析法演習	ファッションの思想	立教ゼミナール		スポーツビジネス論	
3	専門演習	リハビリテーション論			ウエルネス プロモーション論	
4		障害者スポーツ論			身体人類学	
5						
6						

授業紹介

1 導入期

- スポーツウエルネス学入門
- 基礎演習 ■ 運動方法学演習1・2・9
- ウエルネス福祉論 ■ 運動処方・療法
- 運動生理学

2 形成期

- スポーツウエルネスワークショップ
- スポーツ社会学
- ウエルネススポーツ医学
- 運動・スポーツ栄養学
- スポーツコーチ学
- ストレngths・コンディショニング論

3 完成期

- 専門演習 ■ 卒業研究
- インターンシップ
- スポーツウエルネス心理学
- バイオメカニクス
- ユニバーサルスポーツ援助技術演習
- スポーツマネジメント論
- ウエルネスプロモーション論

PICK UP

トレッキングや星空観察から自然を肌で感じ、問題点を探ろう

■ **運動方法学演習6(キャンプ)** 日本の秘境、新潟県の奥只見を舞台に、湖でのカヌートレッキング、ブナ林や星空の観察、植生およびイヌワシの観察、川での水遊び、野営やキャンプファイヤーなどの活動を通じて、自然を幅広く体感します。そして、日本の自然環境の問題点や、将来の自然環境のあり方について討議を重ね、学習していきます。



歩く、跳ぶなどの動作をハイスピードカメラで撮影すると？

■ **動作分析法演習** スポーツパフォーマンス向上、健康増進などにかかわる身近な身体動作をハイスピードカメラや床反力計、光学式モーションキャプチャシステムなどの機器を用いて計測します。学生が被験者になって計測し、分析・考察することにより、身体動作の仕組みを生体力学的に解釈します。

オリンピック問題など、旬のトピックでジャーナリズムを検証

■ **スポーツジャーナリズム** スポーツとメディアをめぐる歴史的・実践的経験に関する講義から、スポーツジャーナリズムの理解を深めます。また、スポーツ報道における現在の日本のメディア問題や、日本のスポーツの未来、さらに「スポーツとは何か」というテーマについて考察していきます。

TOPICS 『障がい者スポーツのボランティア講習会』を学生が企画・開催

2017年11月30日、12月14日、2018年1月11日の3回にわたり、スポーツウエルネス学科の3年生有志(代表:佐々木綾乃)が企画した講習会が、新座キャンパスの体育館で開催されました。対象は学科の1年次生であり、2020年に開催を控えた東京パラリンピックに向けて、障がい者スポーツにボランティアの視点から興味をもってもらうこと

を目的としました。講師として、車いす陸上競技の元パラリンピアンで本学大学院の修了生である千葉祇暉(ちば・まさあき)氏を迎え、障がい者と障がい者スポーツとを理解し、実際に車椅子バスケットボールを体験しながら、障がい者スポーツの大会等での関わり方や支援ができるかを学ぶ、たいへん良い機会となりました。



現代心理学部

心と身体と映像。

従来の枠に捉われない新しい人間学へ。

心とは何か。これは太古の昔から存在するに違いない問いです。しかし「心理学」という独立した学問領域が成立したのはそれほど遠い昔ではありません。いろいろな見方がありますが、せいぜい100年余り前のことです。近年、心理学は大きく変貌を遂げました。扱う問題も基礎的なものから応用まで、およそ人間の営みのあるところ、あらゆる領域に及んで広がっています。かつてひとつに収束した学問的関心が、今では単一の学問領域として捉えることが困難なほど、多様化し細分化されてきたのです。現代心理学部の心理学科は、さまざまな専門分野の教員を擁して、このような現代の心理学を追究しています。

現代心理学部のもうひとつの学科である映像身体学科は、映像と身体に関する思考や表現を追究する、まったく新

しい教育研究内容をもった学科です。テレビ、映画、演劇、ダンス、身体技法などの芸術・表現分野について、技法と理論のいずれかに偏ることなく、両者を並行して学ぶカリキュラムが用意されています。つまり、表現行為の実際と理論的基礎をとともに追究するのがこの学科の特徴といえるでしょう。心理学科にとつての心理学にあたる既成の学問領域はこの学科にはありません。むしろ映像身体学という、まったく新しい領域を映像身体学科は創成しつつあるのです。

対照的な2つの学科は、しかし「心」というキーワードでつながっています。心理学科は心の仕組みと働きを探究し、映像身体学科は心の表現を探究しています。教育・研究面でも、両学科は緊密な協力関係にあるのです。

心理学科

映像身体学科

時代を見つめる「科学」の眼差し

人間の複雑な心の動きや行動に対する我々の関心は尽きることがありません。本学部では、人間の日常のさまざまな現象を科学的根拠に基づき研究対象として捉え、理解し、その意味を考えていきます。

ユニークな発想から、しなやかな思索を

人間とは何か。心と身体、そして環境の結びつきを多角的に捉えながらこの問いに向き合います。自由で柔軟な思索によって人間の本質を追求する、広範で革新的なカリキュラムが用意されています。

現代を自分自身で「アート」する

映像制作、身体表現、フィールドワークなど、豊富な体験学習をとらして、現代に生きる自身の感性を創造し、表現します。これらの実習により、将来の職業選択につながる基礎的な技能も習得できます。

学部共通の科目群

本学部を構成する心理学科と映像身体学科は、心、身体、環境の相互形成として人間を捉えるという考え方を共有し、互いの密接な連携を図ることを目的として、「現代心理学入門」など学部共通の科目群を用意しています。

〉学部Webサイト: www.rikkyo.ac.jp/undergraduate/cp/

〉デジタルパンフレット: www.rikkyo.ac.jp/admissions/brochure/

PICK UP RESEARCH 研究紹介



ストレスが、脳に与える影響とは？

みなさんは、ストレスを抱えた時に頭の働き方がいつもと違うと感じたことはありませんか。ストレスは心の健康に悪いことが知られていますが、実は物事を認識し、判断や記憶をしたりする認知機能にも影響を及ぼすと考えられています。現在私は「私立大学研究ブランディング事業」の一環として、ストレスが認知機能に与える影響について研究しています。たとえば「1→あ→2→い→3→う…」のように数字と仮名を交互に順番に言うなど、少し複雑で認知機能に負荷がかかる課題の成績と、唾液中のストレス関連物質の量（理学部生命理学科と協力して解析）の関係を調べています。

心理学というとカウンセリング（臨床心理学）のイメージが強いかもしれませんが、実際には私が専門とする認知心理学を含めたくさんの領域があり、人の内面（こころ）の働きについて、基礎から応用研究までカバーする幅の広い学問なのです。

現代心理学部 心理学科 准教授

浅野 倫子

PROFILE

東京大学文学部、大学院人文社会系研究科で認知心理学を学び、玉川大学、慶應義塾大学研究員、立教大学現代心理学部助教を経て現職。博士（心理学）。特に文字に色を感じる「色字共感覚」を国内外の研究者と精力的に研究中。

担当講義

- 心理学実験実習1
- 言語心理学
- 学部統合科目2（認知行動）など



心理学科

現代社会で生じる心の問題を理解し、サポートする能力を養う。

心理学はその背景に哲学や医学、生理学や統計学など、多くの研究領域を含む、複合的で多層的な学問です。心理学科では、実験を中心とした科学的方法で心の法則を探究する「基礎心理学領域」、発達・社会・産業心理学など現実社会の課題を考える「応用心理学領域」、心身の健康促進、心理的援助のあり方を探る「臨床心理学領域」の3つを軸に、現代の人間の心について総合的に学習し、多様な社会環境の中で「人間とは何か」を問い直すことのできる人材の育成を目指します。講義は、心理学界の第一線で活躍する多数の研究者が最新の心理学を展開。この学びは一般企業の企画や広報、人事など多くの分野で生かされます。

身につく力

心理学研究に必要な実験技術と調査の計画・立案力

心理学の歴史や主要な研究領域の知識と英文読解力

社会や地域などの問題解決に心理学を応用する能力

カリキュラムの特徴

心を科学し、心を育て、心の知を探究する。

心理学科の教育目標

心理学科では、学生が次の3つの知識・能力・技能を身につけることを教育目標に、4年間のカリキュラムを編成しています。

- 1 心理学に関する文献を理解するために必要な心理学の歴史、主な研究領域、学説、統計手法に対する基礎知識と英文読解力
- 2 心理学の基礎・応用に関連する研究、あるいは実践活動を遂行するために必要な実験・調査・面接・テストを実施する技術と、研究や調査を計画・立案する能力
- 3 社会、企業、組織、地域、家庭における、さまざまな問題解決に心理学の知識と方法論を応用する能力

早い時期から自発的に専門教育を受けられる入学から卒業後までの学びのステップ

心理学科は1年次から専門科目を受講でき、心理学の幅広い領域から個々の興味やテーマに応じて研究を進められます。教授、講師陣は、各

人の研究計画がスムーズに組めるよう、随時相談に応じ指導します。

ステップ1 早期からの専門教育

- 1年次 心理学全体を学ぶ「概論」と、分析研究に不可欠な「統計法の基礎」を身につけます。数多い専門科目から、自分が関心をもったジャンルを選び学ぶことができます。
- 2年次 英語の文献に親しみ、心理学の研究方法を身につけます。基礎理論を学習し、スキルを鍛えながら自分の関心を絞り込み、研究テーマを決定します。

ステップ2 3年次からはじまる徹底的な少人数教育

- 3年次 研究テーマに応じた演習(ゼミ)を選択し、「教えられる」から「自分で学ぶ」環境へ。学生同士、教授との意見交換も活発になります。
- 4年次 ゼミでの成果をもとに、卒業論文を作成します。

ステップ3 卒業後の進路

一般企業の企画、広報、商品開発、人事や、公務員(心理職)のほか、大学院進学の道もあります。在学中、研究者として将来性を認められた学生は、大学院(心理学専攻、臨床心理学専攻)への内部推薦を受けられます。

TOPICS ころの専門家としての「公認心理師」および「臨床心理士」

公認心理師は、心理学の専門的知識と技術をもって相談や援助を行う、2017年度発足の新しい国家資格です。立教大学心理学科は、この資格制度にいち早く対応しており、2018年度の入学者から、法律で定められた科目を履修することで国家試験受験資格を得ることができます。また、すでに長い

歴史をもつ臨床心理士についても、大学院臨床心理学専攻を修了することにより資格試験を受験できます。なお、心理学科には、大学院臨床心理学専攻への推薦入試制度があります。

専任教員と演習テーマ・研究分野

★堀 耕治 学習心理学、実験的行動分析
小口孝司 社会心理学、産業・組織心理学、観光(社会)心理学
塚本伸一 発達心理学、教育心理学
林 もも子 臨床心理学、精神分析学
都築誉史 認知心理学、認知科学、社会心理学

大石幸二 臨床心理学、障害児(者)心理学、応用行動分析
日高聡太 知覚心理学、実験心理学
松永美希 臨床心理学、認知行動療法、健康心理学
山田哲子 臨床心理学、家族心理学
浅野倫子 認知心理学、実験心理学

安田みどり コミュニティ心理学、臨床心理学
嘉瀬貴祥 健康心理学、社会心理学
橋本和典 臨床心理学、精神分析のシステムズ理論、集団精神療法
川越敏和 実験心理学・認知神経科学

★印は2019年3月退職予定

データを深く考察する力を身につけ、 将来につなげる

本学科での特徴的な授業の1つに、2年次の「実験調査実習」が挙げられると思います。少人数グループで作成する実験計画やさまざまな実験装置の扱い方、グループワークを駆使したデータ収集、実験結果の分析など、心理学実験の基本を学べます。

私がこの学科での学びをとおして成長できたと思うことは、いい意味で「疑い深くなった」ことです。心理学において、得られたデータの信頼性と、その結果の妥当性は非常に重要な関係になることから、データに対してより注意深く観察・考察・分析する意識をもてるようになりました。今後は、心理学で過ごした4年間で身につけた知識を直接社会で生かすことを目標にしています。直接かかわりのない分野へ進んだとしても、心理学で培った観察力や分析力は、実社会において有益な能力だと思うので、そのためにもこの大学生活を実のあるものにしていきたいです。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		知覚心理学	比較認知心理学	スペイン語基礎2		
2	英語ディスカッション2	スペイン語基礎2	英語eラーニング			美学
3		観光学への招待	心理学概説2		英語プレゼンテーション2	
4		哲学	統計法2		脳と心	
5						
6						

3年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		心理学研究法4			犯罪心理学	精神医学
2		人権思想の根			アフォーダンス	栄養の科学
3		知覚と身体	スポーツスタディ3(ゴルフ)		発達心理学	
4		言説分析	心理学演習F1			
5						
6						

授業紹介

1 導入期

- 現代心理学入門
- キャリアと心理学
- 心理学概論1 ■ 心理学統計法1

2 形成期

- 学部統合科目 ■ 心理学概論2
- 心理学統計法2 ■ 心理学実験実習1
- 心理学調査実習1 ■ 心理学文献講読1・2
- 心理学研究法 ■ 知覚心理学
- 学習心理学 ■ 認知心理学
- 発達心理学 ■ 教育心理学
- 社会心理学 ■ 産業心理学
- 臨床心理学

3 完成期

- 心理学演習
- 社会調査士関連科目
- 学部英語教育科目
- 短期海外留学プログラム
- 心理学特講(海外文化研修)
- 卒業論文指導演習 ■ 卒業研究

PICK UP

出来事は、どのように記憶される？ 仲間とともに、実験にチャレンジ

■心理学実験実習1・2 インストラクターの指導のもと、少人数グループに分かれて、短期記憶、心的回転、NIRSによる脳機能計測などの実験を行います。計画から実施、データ処理、報告書の作成まで、具体的な体験をとおして心理学実験を理解します。



自身がコメンテーターとなって日常生活や社会問題に切り込む

■社会心理学 まず基本的な社会心理学の理論を学びます。そして、社会心理学を現実社会のどのような分野に発展させていくことが可能なのかを、職業とのかかわりや対人コミュニケーション、観光行動などをテーマに理解していきます。

Q & A 心理学科ではどんなことを学べるのですか。

心理学というと、心の病をもつ人たちの相談に応じ援助する公認心理師や臨床心理士など、カウンセリングを思い浮かべますが、旅行やスポーツ観戦など一見心理学とは繋がりなさそうなテーマが、現代のストレス社会においてはリフレッシュできる大きな手段となっており、心理学の重要なテーマになっています。たとえば、小口孝司教授が提唱する「メンタルヘルストウリズ

ム」は、観光をとおしてリフレッシュするというもので、旅先の自然と触れ合うことで五感を活性化し、日常生活を違った角度から見つめ直す、そのような“癒やし価値”を意識することで心身の健康に役立つツーリズムのあり方を研究しています。このように、心理学科は幅広い視野・切り口から、専門的実践活動を学んでいます。

映像身体学科

映像と身体をめぐる 新しい思考と表現を探究。

映像身体学は、その名が示すとおり映像と身体を融合的に取り扱うハイブリッドな学問ですが、本学科は映画制作などを職業的に教える専門学校ではありません。生身の身体が、機械的に生産される映像（イメージ）との間で繰り広げられるさまざまな相互作用を、自然や社会、電子メディアなどの環境の中で捉える、21世紀の新しい人間学を目指す場所です。本学科の特徴は、映像表現と身体表現のそれぞれ背後に広がる人間の思考行為と表現行為を、これまでの人文系の学問にはない実践的な方法で解明するところにあります。充実した映像設備のもと、身体と映像を二本柱としたカリキュラムで、現代の人間学を深く掘り下げていきます。

身につく力

変動する社会で
動きの本質を
見極める力

人間の体をめぐる
東西の哲学と
身体技法

知覚と運動に
関する
人間科学的思考

カリキュラムの特徴

「身体」と「映像」の2つを中心テーマに 講義、演習、ワークショップで実践的知性を育てる

映像身体学科では、「身体」と「映像」を、思考・表現・社会といった幅広い切り口で学ぶとともに、生態心理学や認知科学の視点からのアプローチも行います。

身体学

人間の身体は、解剖学的な要素の集まりとしては、決して語ることができません。古今東西の身体の思想と技法・芸術・表現などの学習を通じて、身体の知を統合的な身体学として編み直し、これを身体パフォーマンスと結びつけて新しい人間学を研究します。

映像学

20世紀以降の人間のあり方に映像がもたらしてきた変化は、まだどんな学問によっても十分に解明されていません。現代人のものの見方や感覚に計り知れない影響を与えている映像（映画、テレビ、コンピュータ画像、写真など）の力と、その可能性を追求します。

1・2年次の演習で基礎をかため

3・4年次の2年間で専門的テーマを追う

3・4年次の「専門演習」学習を前提として、1年次の「入門演習1、2」で本学科の基本的な考え方やスキルを身につけ、2年次春学期の「基礎演習」や専門展開科目（一部1年次秋学期から履修可）で実践的な思考力を鍛え、知見を深め、そして身体技能をも高めて自身の問題への関心を明確化していきます。「専門演習」では、同一クラスで継続して専門的テーマを追います。指導教員の専攻分野によって形式や内容はさまざまで、ゼミナール形式の授業で文献調査やフィールドワークをとおして卒業論文を執筆するクラスや、ワークショップ型の授業で映像作品やダンス・演劇などの卒業制作を完成させるクラスもあります。早い時期から幅広い学習を心がけ、自分を発見し、専門演習で焦点の定まった研究ができるよう指導していきます。

第一線で活躍するプロフェッショナルが 指導にあたる、4年間の学びのステップ

身体系と映像系の科目を並行して学び、二系列の関わりを深く理解します。また、1年次から演習科目を配し、学習を積み重ねることで自身の問題への関心を掘り下げます。授業は研究者、著述家、アーティストなど第一線で活躍するプロフェッショナルが担当し、熱心に指導していきます。

ステップ1 映像と身体に詳しくなる（1・2年次）

映像と身体それぞれについて、哲学、社会学、生命科学などの諸成果を取り入れながら学び、並行して「映像制作」「ダンス」「演劇」に関する実際の経験から映像と身体との関係を把握します。

ステップ2 斬新なカリキュラムを学習（2～4年次）

本格的な講義、演習がスタート。プロとして活躍する教授陣の多彩な授業から、学科の中核となるカリキュラムを修めます。4年次には、学習の成果を卒業論文または卒業制作としてまとめていくことができます。

ステップ3 卒業後のイメージ

広告、情報、映像コンテンツに関するクリエイティブ産業、自治体などにおける文化活動のプランナー、健康産業、一般企業も含めた幅広いフィールドを想定しています。表現者・アーティストとして活躍の場を広げていく際にも、映像身体学科で学んだ基礎が必ず役立ちます。

専任教員と演習テーマ・研究分野

江川隆男 西洋近現代哲学、
精神と身体の哲学、身体倫理学
田嶋英明 身体社会学、
ジェンダー／セクシュアリティ理論
加藤千恵 古代中国思想史、道教思想史
松田正隆 身体表現論、演劇、
パフォーマンス研究

大山載吉 映像身体論、映像哲学
中村秀之 映画研究、表象文化論
★佐藤一彦 次世代メディア論と
その制作手法の開発
(4K／8K、電子書籍、
DTP技術など)
万田邦敏 映像表現論、映画

篠崎 誠 映像表現論、映画
香山リカ 臨床精神医学、病跡学
日高 優 映像身体論、写真論
山田達也 撮影照明技術と実践、
映画
相馬千秋 身体表現論、演劇、
アートプロデュース

砂連尾 理 ダンス、身体表現、
演出振付研究
江口正登 パフォーマンス研究、
表象文化論
★山本尚樹 身体運動発達、生態心理学



物事の本質にアプローチして、 自分の表現を形にする

本学科は、人間の本質に根ざした「普遍的な学問を学べる場所」です。バレエやダンスの経験者、演劇や映像を学びたいと考える学生が多く集まり、授業の特殊性から専門学校のようにと言われることもありますが、実際は少し趣が異なります。確かに、「映像」と「身体」を中心としたテーマから、自分で映像を撮って編集したり、重力を感じながら自分の身体を動かしたりするなどの実践的な授業も多いのですが、本学科はその専門性に留まらず、それを越えた普遍的で新しい考え方を知ることができる場所だと思います。私自身、今までの自分にはない考え方や表現方法を知ること、多面的な思考や人間の心と物事の本質を捉えようとする力が身についたと実感します。

今後も新しい考え方を吸収しつつ、自分なりの表現を追求し形にしていきたいです。

1年次「秋」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		中国語基礎2				英語 ディスカッション2
2		映像身体学入門2	英語 プレゼンテーション	中国語基礎2	学部統合科目1	生態心理学
3			現代思想概説	表象文化	英語リーディング &ライティング	映像技術入門
4	スポーツスタディ		入門演習2			
5	文化を生きる					
6						

2年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2	映像身体学特講3				アフォーダンス	
3	基礎演習5			広告論	生態心理学実験	
4		映像身体学特講2	基礎演習9	アートの心理学	学部統合科目2	
5			身体系WS7	映像身体学特講8		
6						

授業紹介

1 導入期

- 映像身体学入門1 ■ 入門演習1
- 現代心理学入門

2 形成期

- 映像身体学入門2 ■ 入門演習2
- 基礎演習 ■ 学部統合科目
- フィルム・スタディーズの基礎
- 養生論の思想
- 身体系・映像系ワークショップ
- 戯曲シナリオ演習
- 身体社会論 ■ 写真映像論
- 身体系・映像系ワークショップ
- 身体系・映像系ワークショップ
- 身体系・映像系ワークショップ

3 完成期

- 専門演習 ■ 現代演劇論
- 映像表現史 ■ 医学身体論
- 映像学文献講読 ■ 身体学文献講読
- 卒業論文・卒業制作指導演習
- 卒業論文・卒業制作

PICK UP

日本を代表する写真家、 木村伊兵衛の写真を読む

■写真映像論

21世紀に生きる私たちの暮らしに、映像は深く、そして広範に浸透しています。実は、写真こそが、19世紀という時代に人類史上初めて出現した、この映像なるもの、つまり、カメラという機械の知覚像なのです。この授業では、映像の起源ともいえる写真の本質を、映像身体学の基礎を踏まえて考察しながら、ドキュメンタリーからファッション、肖像や風景の写真に至るまで、その多様な表現を探り、写真映像の力について考察します。



TOPICS 学生作品「発明家ドンちゃん」がDigiCon6 JAPAN Awardsで、Japan Dizzy Awardを受賞

映像身体学科の今井美月さんが制作されたアニメーション作品『発明家ドンちゃん』が、アジアの11の国と地域から、優れたコンテンツクリエイターを発掘・育成することを目的に開催されている映像フェスティバル「18th

DigiCon6 ASIA」(主催：TBS)のDigiCon6 JAPAN Awardsで、Japan Dizzy Awardを受賞しました。

Global Liberal Arts Program

自ら考え、行動し、世界と共に生きる 「グローバル・リーダー」を育成

立教大学はこれまでリベラルアーツの理念を礎に、真の国際人を育成する教育を進めてきました。「Global Liberal Arts Program (GLAP)」は、この理念をさらに進めた、英語による科目で構成されるグローバル・リーダー育成のための学位コースです。グローバル・リーダーとは、どのような立場や環境にあっても自身のもつ力を発揮し、周囲と協働することができる人材です。豊かな感受性と知性をもち、他者を尊重し寄り添う中で、世界の新たなあり方を見据え、自ら考える能力と人間性を養っていきます。想定される卒業後の進路は国内外の大学院進学、グローバルに活躍する国内外企業、国際NPO・NGOなどです。

身につく力

英語による
コミュニケーション力、
思考力、表現力

世界の人々と
理解し合いながら
協働する力

論理的思考と
主体的に
行動する意識

GLAPの特長

立教伝統の教育を「英語化」。全科目を英語で実施

英語による科目のみで学位の取得が可能です。海外のリベラルアーツ教育を重視している協定校と同じ言語、環境で学ぶための幅広い科目を提供します。立教が培ってきた学びを「英語で学ぶ」プログラムです。

少人数教育

授業は個別指導が行き届く1学年20名程度で行います。特にTutorialは、1クラス最大5名という超少人数の発表形式の演習。講義科目でも、履修者は最大40名程度です。多くの科目において、外国からの留学生と共に学ぶことで、国際的なコミュニケーションスキルも身につきます。

寮生活

留学生との交流、2年次秋学期からの留学準備を目的とし、GLAP生専用寮への入寮が可能です。留学生との共同生活を通して国際感覚を養います。

全員留学。異なる環境でリベラルアーツをより深める

2年次秋学期から3年次春学期の1年間、原則全員がリベラルアーツ教育を重視している協定校へ留学します。立教大学の学費のみで、高額なところでは、年間数百万円の学費を必要とする海外の協定校で学ぶ機会が得られます。また、留学時には奨学金が支給されます。

視野を広げ経験を重ねた上で、深く学ぶ分野を選択

留学後も複数の分野にわたる科目を履修し、広い視野を身につけていきます。同時に自らが特に興味や関心をもった領域について3分野(Humanities, Citizenship, Business)から選択し、より深く学び進め、4年次には卒業論文の執筆に取り組みます。

TOPICS GLAP生のための奨学金があります

立教大学GLAP奨学金〈年額：120万円〉

経済支援を目的とする返還不要の入学前予約型奨学金。若干名に年額120万円を支給します(原則4年間、継続審査有)。

※国際コース選抜入試(GLAP)秋季実施出願者のみ支給対象です。

立教大学GLAP学業奨励奨学金〈年額：20万円〉

学業成績に優れた学生に、学業の奨励を目的として支給する奨学金。2年次以上の各学年2名に年額20万円を支給します。

2018年度開講科目担当教員

中込さやか Tutorial 1・2, Second Year Seminar, Liberal Arts in Higher Education
Study Abroad 1, Global Studies Pre-Seminar
大橋里見 Tutorial 1・2, Second Year Seminar, World History
Study Abroad 1, Global Studies Pre-Seminar
李 美淑 Tutorial 1・2, Citizenship Education, Political Sociology

Nadeau, Randall L.
Simbeni, Alessandro
山田恭平
Knight, Kevin Robert
鄭 秀娟

Tutorial 2, Literature and Society, University Education in the World
Tutorial 1, Globalism and Humanities, Culture and Fine Arts
Tutorial 1・2
International Business
GL111, GL202

岩城奈津
内藤博之
Jhingan, Sanjay
宮越浩子
Pérez, Angel B.
GL111
GL202
Nature of the Earth
Economic Thought
University in Modern Society



Student's Voice > 木村 葵

1年次 スイス スイス公文学園高等部

リーダーシップを高め、世界で活躍したい

私がGLAPを志望した理由は、グローバルリーダーに必要な力を養うための理想的なプログラムが用意されていたからです。入学当初は、常に英語に囲まれた環境の中で戸惑うこともありましたが、約半年の学びを経て、英語を話すことを恐れず、ディスカッションにも積極的に参加できるようになりました。特に英語力と論理的思考力を鍛えることができたのは、「Tutorial」という授業です。毎週学生によるプレゼンテーションがあり、英語の文章を読み込んで理解し、説明の仕方を考えなければならないため、準備に多くの時間を費やします。またGLAPは学生の人数が少ないので全体でとても仲が良いです。留学生とかかわる機会も多いため、多文化理解の大切さを肌で感じることができました。

今後は授業と留学をととして教養と外国語力、さらにはリーダーシップを高め、将来世界で活躍できる人材に近づきたいです。

1年次「春」の時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		上級英語1	Tutorial1			
2	英語 ディスカッション1			上級英語1		
3		World History	Political Sociology	Liberal Arts in Higher Education	フランス語中級1	
4	Liberal Arts in Higher Education	フランス語中級1		World History		
5					Political Sociology	
6						

授業紹介

1 導入期

思考力とその基盤となる知識を修得するため、複数の分野を幅広く学修します。留学生との交流など正課外活動もそれを支援します。

- Tutorial 1・2(学びの技法) ■ Liberal Arts in Higher Education(学びの精神)
- GL111(リーダーシップ教育) ■ 夏季短期集中プログラム科目
- English Liberal Arts(ELA)科目

2 形成期

明確な目標をもち、さまざまな学びや1年間の留学をととして、世界で活躍する力や自己実現するために必要な能力を養います。

- Second Year Seminar ■ GL202(リーダーシップ教育)
- Global Studies Essentials ■ Study Abroad 1・2(1年間の海外留学研修)

主な留学先

[アメリカ] サウス大学、トリニティ・カレッジ、リンフィールド大学、バーモント大学、
 ニューヨーク州立ジェネセオ校、ウィッテンバーグ大学、オーガスタナ大学、ヴァージニア・
 ウェスレヤン大学、ジャンクソンビル大学、ミリケン大学、モラヴィアン大学、
 トリニティ・ユニバーシティ、プレスビテリアン大学、ノーザンアリゾナ大学
 [カナダ] セントトーマス大学 [オランダ] ライデン・ユニバーシティ・カレッジ
 [イタリア] ジョン・カボット大学 [ノルウェー] ヴォルダ・ユニバーシティ・カレッジ
 [ギリシャ] ギリシャ・アメリカン大学 [香港] 嶺南大学 など

3 完成期

各自の興味・関心に合致するフィールドを選び、学びを深めることで、グローバル化する社会を生き抜く力を養います。

- Global Studies Electives (以下の3分野から1分野を選択)
 Humanities … Christianity in Japan, Traditional Arts in Japan など
 Citizenship … Principles of Sociology, International Relations など
 Business … Business and Society, Leadership in Global Organization など
- Final Year Seminar 1・2 ■ Graduation Paper

PICK UP

最大5名の超少人数演習科目

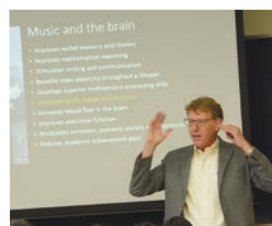
■ Tutorial

学問を大学で学んでいくためのAcademic Skillsを英語で身につけます。文献講読やエッセイ・ライティング、ディスカッションなどを通して、「自分の言葉で表現する力」を養うとともに、他者によるフィードバックを共有し、より論理的な読解力や分析力も向上させていきます。

世界の大学教育

■ University Education in the World

アメリカをはじめ、海外の協定校から立教大学に招へいた教員による夏季休業期間中の集中授業です。グループワークをととして、音楽やスポーツなどさまざまな分野からリベラルアーツを考え、学びます。また、留学生とともに学ぶことで異なる文化や価値観に触れ、世界へ視野が広がります。



上記以外にも多様な科目が展開されています。詳細はシラバス検索をご利用ください。

立教シラバス 🔍

RIKKYO

LIFE

キャンパスカレンダー P.133

図書館 P.134

クラブ・サークル P.136

チャレンジプログラム P.138

チャペル P.139

キャンパスライフ支援 P.140

奨学金・初年度納入金 P.142

CALENDAR

季節ごとに豊かな表情を見せるキャンパス。

桜に彩られた入学式から、イルミネーションが幻想的なクリスマス、
学生生活の締めくくりの卒業礼拝までさまざまなイベントが催されます。



4月 入学式／新入生オリエンテーション
健康診断／履修登録／春学期授業開始

5月 創立記念日[5月5日]

6月 春季人権週間

7月 春学期授業終了／春学期末試験

日韓キャンプ*

韓国の学生とともに農村地帯やソウルを訪れ、
人々の生活、文化や歴史への認識を深めます。

8月 一貫連携教育・立教学院清里環境ボランティアキャンプ*

立教学院各校の小学生から大学生まで清里に集います。

奥中山ワーク・キャンプ*

岩手県の酪農地帯にある知的しょうがい者施設でのワークキャンプ。

林業体験*

岩手県陸前高田市での林業体験

榛名ボランティアキャンプ*

群馬県にある高齢者福祉施設での生活をとおり、
人の命、人生、信仰心に触れるキャンプ。

9月 農業体験*

山形県高島町での有機農業体験

入学式・卒業式(秋季)／履修登録/
秋学期授業開始

10月 St.Paul's Sports Fair [10月24日]

St.Paul's Festival
池袋キャンパス学園祭[11月3日～5日(予定)]

11月 IVY Festa
新座キャンパス学園祭[11月3日・4日(予定)]
秋季人権週間

創立者ウィリアムズ主教記念日[12月2日]
クリスマス週間(メサイア演奏会・キャロリング)

1年で最も立教らしさを感じる季節。
ヒマラヤ杉にイルミネーションが灯されます。

クリスマス・イブ礼拝

12月 秋学期授業終了／秋学期末・学年末試験

2月 入学試験

3月 卒業礼拝／卒業式



入学式



St.Paul's Festival



IVY Festa



クリスマスイルミネーション

* は主にチャレンジプログラム(正課外活動)として展開されているもので、参加は希望者のみとなります。

LIBRARY

学習・教育・研究に大きな役割を果たしている立教大学図書館。
資料の提供のみならず、訪れる人々を刺激し、
豊かな「知」の世界へ誘う場所として、学習形態に応じたバラエティに富んだ
学修スペースや学修支援サービスも整備しています。

point

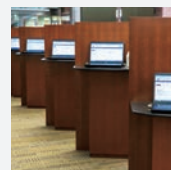
1

学習・研究を支える 充実の資料数

「池袋図書館」「新座図書館」
「新座保存書庫」の3館に、国内外の
幅広い学術資料を所蔵しています。

多種多様な資料を所蔵

国内外で刊行された図書、雑誌、新聞など総計186万冊を超える資料を所蔵しています。池袋、新座キャンパス間の相互取り寄せや貸出も可能です。所蔵している資料はPCやスマートフォンを利用してインターネット検索・予約ができます。データベースや電子ジャーナルなどのオンライン資料も豊富に揃えています。



point

2

学びに集中できる 設備環境

豊富な席数を有し、
多彩な学びに対応した
快適な学習環境を整えています。

多彩な閲覧スペース

学びに集中できる仕切りつきの席やPC設置席など、さまざまなタイプの閲覧席が設けられています。また、リラックスして利用できるソファ席もあります。



AVブース

AVブースでは、BD/DVDやCDなどを視聴できます。それぞれの学部
の特色に合わせた映像資料などを豊富に揃えています。



長時間利用を快適に

館内ではペットボトルなどのキャップつき飲料の持ち込みを認めています。池袋図書館には飲料とパンの自動販売機や、軽食を取れるコーナーも設置しています。



個人ポータルサイトを活用

個人ポータルサイト「MyLibrary」は、自宅や外出先からアクセス可能で、
図書の貸出・予約状況の確認や貸出期間の延長などの手続きができます。



point

3

グループ学習室の充実

グループでの学習・発表を行う
授業科目の増加に対応するため、
専用学習室を設けています。

可動式の机・椅子とPC、大型ディスプレイを備えた「グループ学習室」を池袋に8室、新座に4室設置しています。また、学習だけでなく創造、発信の場として活用できる開放的なグループ学習空間もあります。



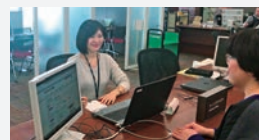
point

4

図書館による学修支援

レポート・論文のアドバイスや
各種講習会など、ソフト面での
学びのサポートを行っています。

大学院学生が「ラーニングアドバイザー」となり、図書館を活用した学習方法やレポート・論文作成についてアドバイスし、学生の「学ぶ力」や「書く力」を育てるサポートを行っています。また、授業・ゼミと連携した「授業内情報検索講習会」等を開催し、学生の情報リテラシー向上を目的とした支援を行っています。



point

5

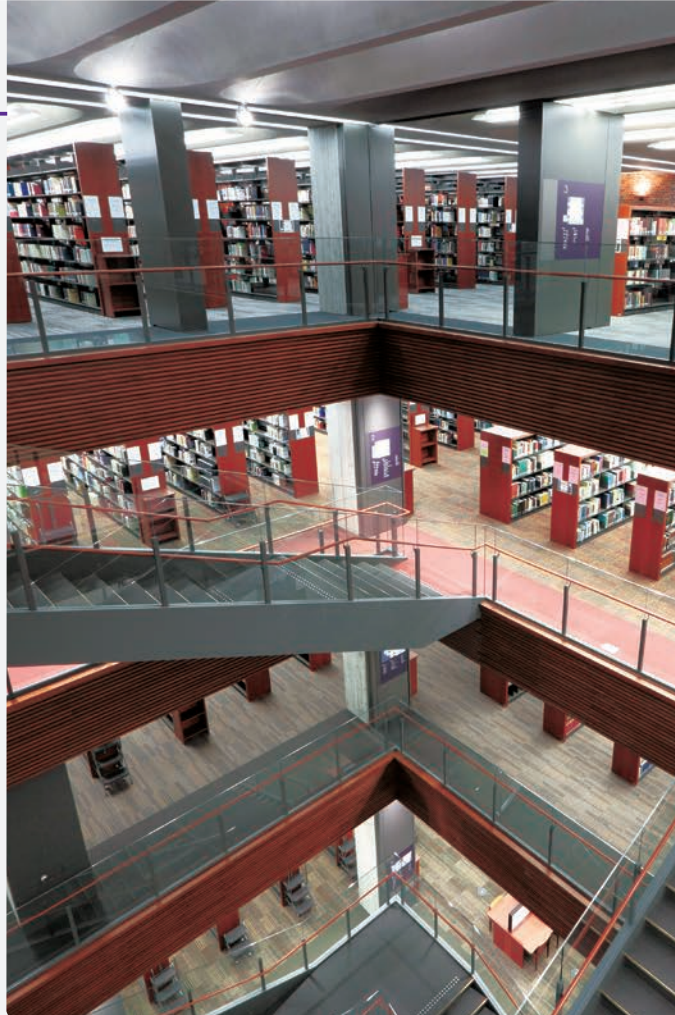
他大学の図書館も 利用可能

研究環境の急激な変化や
高度化する利用者のニーズに応え、
コンソーシアムを形成しています。

図書館サービスを広域化・大規模化するため、8大学による「山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム」を形成しています。協定を結んでいる大学の学生・教職員は、直接訪問して、それぞれの大学の図書館を利用することができます。

コンソーシアム加盟大学

- 青山学院大学
- 国学院大学
- 法政大学
- 明治学院大学
- 学習院大学
- 東洋大学
- 明治大学
- 立教大学



池袋キャンパス

学習スタイルに呼応した現代の自習空間

池袋図書館は、ロイドホール(18号館)の地下2階から3階までの5フロアと12号館の地下2階から1階までの3フロアが一体化した、収蔵可能冊数200万冊、閲覧席数1,530席以上を誇る、国内の大学でも屈指の大規模図書館です。現在約112万冊の蔵書があり、自由に閲覧することができます。

近年注目されているディスカッションや共同作業などのグループでの学習に対応するため、ラーニング・スクウェアやグループ学習室を設けています。また、多彩な閲覧席、飲食可能なテラスやリフレッシュルームなども配し、利用者の長時間利用に配慮した工夫をしています。

書架

自動書庫と貴重書庫以外の資料は、自由に閲覧することができます。自動書庫は指定した資料を短時間で指定したフロアに出納できます。



ラーニング・スクウェア

学生が自由に集まりホワイトボードや映像教材を使いながら、グループ学習をすることのできる空間です。自主ゼミの活動などに利用されています。



充実のPC環境

貸出用ノート型PC300台を含め、約600台を備えています。地下2階を除く館内全域に無線LANが配備され、インターネットを利用することができます。



新座キャンパス

地域連携の役割も果たす総合学習空間

新座図書館は、観光学部・コミュニティ福祉学部・現代心理学部および各研究科が中心となって利用する総合学習・研究図書館で、国連世界観光機関(UNWTO)の寄託図書館機能を担っています。また、新座市民の利用を受け入れており、地域連携の役割も果たしています。

蔵書は約26万冊、閲覧席数は540席以上あり、1階が閲覧フロア、2階がラーニング・コモンズとなっています。館内全域に無線LANを配備し、静粛な閲覧スペースやAVブース、AVルームのほか、グループで話し合いながら学習できるエリアもあり、多様な学習形態に対応した諸設備を整えています。

「しおり」(新座図書館ラーニング・コモンズ)

学習形態に応じた「グループエリア」「グループ学習室」「多目的スタジオ」の3種類のスペースで構成され、グループ学習を中心にさまざまな学習形態に対応しています。



PC環境とAVブース

貸出用ノート型PCを含め、230台以上を備えています。AVブースは個人用を19ブース、2人用を2ブース設け、授業での課題にも十分に対応しています。



立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

江戸川乱歩の旧邸、蔵書、資料を保存

昭和9年より池袋に居を定めた江戸川乱歩は、昭和40年の没年までこの地で過ごしました。2002年に旧乱歩邸と蔵書が立教大学へ帰属することとなり、2006年、大衆文化研究センターが発足しました。乱歩旧蔵の単行本、雑誌は、立教大学図書館のオンライン蔵書目録で検索でき、研究のためであれば事前申込のうえ、閲覧も可能です。

※旧江戸川乱歩邸は、毎週水・金の10時30分～16時に一般公開。応接間や土蔵を見学できます(事前予約は不要)。



CLUB & CIRCLE ACTIVITIES

共通の趣味や目的をもった仲間が集まるクラブ・サークル。池袋と新座、キャンパスの垣根を越えて交流が行われています。運動系や文化系、伝統のあるクラブから新しいことに取り組むサークルまでさまざまです。ここで出会う仲間との経験は、大学生活でしか得られない貴重なものになるでしょう。

林田 景太

観光学部 観光学科
体育会野球部所属
長崎県 島原高等学校



大会で優勝を経験、チームの中で己を鍛える

全国の強豪校から選手が集まる立教大学野球部で自分を磨き、身体的・精神的に強くなりたいと思い入部を決めました。練習がつらくても部員同士で声を掛け合い、日々励んでいます。自分たちで組織をまとめ、運営していくことは大変ですが、多くの学びがあります。どんな組織・チームにも規律はありますが、ここで磨かれた協調性や規律に対する意識は、社会に出て生かしていける素養だと感じます。私は2年次の夏に肩を故障し、投げることができなくなりました。野球人生で初めての出来事だったので戸惑いましたが、先輩が「焦らずゆっくり治せ」と言うてくださったことが励みになり、ケガの期間中でも継続してトレーニングを行うことができました。それが下半身の強化につながり、打撃力の向上に成功。3年次の春季リーグに出場し、

私たちのチームは「2017年春季リーグ戦 優勝」という大きな結果を残すことができました。

文武両道(学業と部活動の両立)はもちろん大変ですが、大学生活は自立する力を養うための大事な期間でもあります。私は朝早く起きて課題を行ったり、授業の空きコマを利用して次の授業に備えるなどの工夫をしていました。今後の目標は、もう1度リーグ戦で優勝し、池袋でパレードをすることです。本年度は副将にも任命されたので、しっかりチームを引っ張り、勝利に向けて頑張っていきたいです。

NEWS

- 2017年東京六大学野球春季リーグ戦 優勝
- 第66回全日本大学野球選手権大会 優勝

富木 歌穂

社会学部 現代文化学科
立教大学オーガニスト・ギルド、
立教大学池袋クリスマス実行委員会所属
東京都 国際高等学校



わたしの成長が、チャペルの音色になる

入学前にオープンキャンパスで立教大学を訪れた際、素敵なキャンパスだと心惹かれたことを覚えています。チャペルがあり、学生キリスト教団体の活動も盛んで、あたたかい雰囲気魅力な大学だと思います。私はパイプオルガンを習っていた経験もあり、「立教大学オーガニスト・ギルド」に入部しました。池袋・新座両キャンパスで行われる礼拝で、パイプオルガンの奏楽奉仕をしている団体です。毎朝池袋キャンパスで行われる始業の祈り、立教大学のサークルや部活の節目に行われる特別礼拝などの奏楽をしています。演奏会とは違い、オルガンの奏楽は、人の祈りを支える大切な役割があります。誰かの支えになりたいと思い奏楽を重ねる中で、礼拝に訪れた方に声をかけて頂けることもあり、やりがいを感じます。

パイプオルガンの面白いところは、同じ曲を弾いても、弾く人や日によってオルガンの鳴り方が違うところです。練習不足や、疲労度合いなども音に出ます。レッスンでは「生き方が音に出ているよ!」と言われ、自分が苦手な部分にも立ち向かうようになりました。そして、本気で取り組んだからこそ、自信をもてることが増えました。オルガン中心の学生生活でしたが、クリスマス実行委員会としても4年間活動していました。イルミネーション点灯式や企画礼拝といったクリスマス行事を代表するプロジェクトに携わるなど、立教大学だからこそ経験できたことが多くあり、充実した毎日でした。

NEWS

- 2018年 英国教会音楽研修実施



体育会

山岳部
アメリカンフットボール部
バドミントン部
野球部
バスケットボール部
ボート部
ボクシング部
応援団
自転車競技部
フェンシング部
陸上競技部
ハンドボール部
体操競技部
ホッケー部
テニス部
空手部
自動車部
馬術部
ラグビー部
スケート部
スキー部
サッカー部
準硬式野球部
ソフトテニス部
相撲部
水泳部
卓球部
バレーボール部
レスリング部
ヨット部
弓道部
柔道部
剣道部
重量挙げ部
合気道部
拳法部
洋弓部
モーターボート・水上スキー部
ゴルフ部
航空部
射撃部
ローラーホッケー部
女子バドミントン部
女子バスケットボール部
女子卓球部
女子バレーボール部
少林寺拳法部
軟式野球部
男子ラクロス部
女子ラクロス部
アイスホッケー部
「立教スポーツ」編集部

学生キリスト教団体

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊
立教学院諸聖徒礼拝堂祭壇奉仕者会アコイト・ギルド

立教大学オーガニスト・ギルド
立教学院諸聖徒礼拝堂日曜学校さゆり会
立教大学G.F.S.
立教大学B.S.A.第8支部
立教学院諸聖徒礼拝堂ハンドベルクワイア
立教ローバース
アジア寺子屋

学生健康保険互助組合

学生保険委員会
献血運動の会

池袋キャンパス登録団体

文化系

■音楽
合唱団アヒル会
軽音楽部
グリークラブ
交響楽団
スペインギタークラブ
ハーモニカ・ソサイエティ
マンドリンクラブ
ビッグバンドクラブ
作詞作曲部OPUS
サウンドハウスALBION
おたまじゃくしの会
OVER ALL MUSIC

R.F.U.
クラブDJ
アメリカ民謡研究会
庶民吹奏楽団
Pianoの会
えどむらさき

■創作・表現

アルバム制作委員会
映画研究会
英語会(E.S.S.)
演劇研究会
文芸思想研究会
華道部
劇団しどろもどろ
劇団テアトルジュヌ
広告研究会
茶道部
サパンス美術クラブ
写真部
書道研究会
服飾デザイン研究会
放送研究会
文藝部
マジック研究会
落語研究会
漫画研究会
児童文学研究会
陶芸部

学園祭研究会
St.Paul's Campus
文芸批評研究会

■学術・研究

囲碁部
化学会
歌舞伎研究会
ジャーナリズム研究会
将棋部
スペイン語会
鉄道研究会
福音キリスト者聖研会
法学研究会
考古学研究会
法志会
学生法律相談室
■その他
ホテル研究会
堀の内セツルメント(立教大学子供会)
立教YMCA
立教大学アイセック
M.E.T.S.
手話サークル テブクロ
R.S.C.C.
IFL国際交流会

スポーツ系

■旅行・アウトドア

釣部
ユースホステルクラブ
旅行研究会
サイクリストツーリングクラブ
理学部山の会
サークル山旅
ハイキングクラブ
逍遙会
探検部
古都散策会
翠嵐会
スキューバメイツ

■テニス

硬式庭球同好会オールホワイツ
ソフトテニス愛好会DASH
理学部テニス会
硬式庭球同好会イル・エ・エル
硬式庭球同好会アイビーウォール
硬式庭球同好会ヘリンボーン
硬式庭球同好会ロングフェロー
硬式庭球同好会ローランギャロ
硬式庭球同好会ラブスマッシュ
硬式庭球同好会パイナップル
BEETLEテニスサークル

■スキー

ペーレンスキークラブ
レッドソックススキークラブ
ダウンヒル基礎スキークラブ

■ゴルフ

イーグルゴルフクラブ
グリーンゴルフクラブ

■その他の球技

FC立教

硬式野球サークルRiyakyu

サッカー愛好会
バスケットボール同好会
バレーボール同好会
卓球同好会
Diavolo S.P.F.C.
硬式ソフトボール部
■その他
舞踏研究会
スポーツ愛好会
合気道会
シーズンスポーツクラブ
乗馬同好会 BORO
チアリーディングクラブBEAMS
MANEUVERS

新座キャンパス登録団体

文化系

SEMBRAR
Etwas
ボランティア・パフォーマンスサークルどいむ・ぼくす
新座キャンパス学園祭 IVY Festa実行委員会
手話サークル Hand Shape
Rikkyo Explorers
JG
Nuggets Of Hospitality
NOA Art Project
新座中国人留学生会
新座イラスト会
シネマトグラフ
Coffret danse ensemble
立教大学劇団志木
新座吹奏楽サークル Harmony Of Rainbow
立教新座写真サークル シャッターズ
サイコロクラブ
Association of Train Studies-Niiza
劇団WARBLER
茶道研究会
新座アニメーション制作委員会
立教大学JAZZ研究会
立教大学ベリーダンスサークル Latees

スポーツ系

屋バス会
HEARTS
Powder Peaks
FEVER NOVA
TAMON'S
Niiza Badminton Assembly
Wering
ボルトガル
RCC.univ
Esperanza



RIKKYO CHALLENGE

立教大学では50を超える多彩なチャレンジプログラム(正課外活動)があります。

4つにカテゴライズされたプログラム群の中には、

学生同士の交流や社会との交流をとおして学ぶものなど、

学生の自主性に応える多様なプログラムを用意しています。



Category

A 立教生になる

立教大学で目的意識をもって、主体的に学生生活を過ごせるようになる。

学生生活に必要な知識を得たり、大学で学ぶ意味を考える場を提供。立教大学の伝統に触れたり、学生生活を楽しむためのプログラム群です。

- チャペルガイダンス
- キャンパスライフオリエンテーション
- 礼拝(日々の祈り)
- E-Learning 情報倫理
- 国際交流行事
- スポーツフェア
- メサイア演奏会



Category

B まなぶ

自分・他者・社会について考え、学生生活や将来に役立つ能力を身につける。

人権、ボランティア、対人関係、キャリアなど多様なテーマについて、講義やワークショップなどさまざまな形式で学ぶプログラム群です。

- 災害救援ボランティア講座
- 実践! バリアフリー講座
- インターンシップサポートプログラム
- ITスキルアップ講習会
- 救急救命講習会
- 日本文化理解講座



Category

C 学生同士で支えあう

学生が学生を支援すること(=ピア・サポート)をとおして総合的・実践的に学ぶ。

学生という同じ立場を生かして下級生、しょうがい学生、留学生などをサポートするプログラム群です。

- しょうがい学生サポートスタッフ
- しょうがい学生支援室講演会
- 学生サポーター(人権・ハラスメント対策センター)
- グローバル企業勉強会学生サポーター
- 国際交流ボランティア



Category

D さまざまな世界を体験する

生きた現場に触れることや、さまざまな他者とかわることをとおして総合的・実践的に学ぶ。

ボランティア、異文化交流、インターンシップなどをとおして、日常とは異なる世界や人々と出会うプログラム群です。

- 奥中山ワーク・キャンプ
- 日韓キャンプ
- 林業体験
- 清里環境ボランティアキャンプ
- 農業体験
- 立教型インターンシップ
- 延世・慶應・立教・復旦リーダーシップフォーラム



農業体験in山形県高島町

化学の視点で農業を体験

理学部 化学科 大塚絵理

9月5日から10日の6日間にかけて、山形県高島町での農業体験に参加しました。参加したきっかけは、専攻している化学の視点で「食」に興味をもっていたからです。農業と化学というと、一見その関連性は薄いようにも思えますが、お世話になった上和田有機米生産組合では、土作りから化学的知見を重視し、強い意志のもと少農薬・無農薬での農業に長年取り組んでいます。

した。農家の方たちは、農薬など農業にかかわるさまざまな化学について勉強されています。

今回の体験を通じて、実験などで普段何気なく使用している化学物質が、日常的に摂取する食べ物に含まれることについて考えるなど、食の大切さについて改めて学びを深めることができました。農業体験に参加した学生全員が、「食」を大切にしようと思ったはずで



CHAPEL

キャンパスにあるチャペル(礼拝堂)は、キリスト教に基づく教育を建学の精神とする立教大学のシンボルです。礼拝やコンサートは、地域の方々にもひらかれており、みなさんに親しまれている場所となっています。



立教学院諸聖徒礼拝堂〔池袋キャンパス〕

モリス館(本館)などと同時期に建てられ、1918年に竣工しました。学生をはじめとする多くの人々に愛され、厳かなたたずまいを見せるチャペルは1999年に東京都歴史的建造物に選定されています。



立教学院聖パウロ礼拝堂〔新座キャンパス〕

建築家アントニン・レーモンド氏により設計され、1963年に完成しました。礼拝堂の隣にたたずむベルタワーは礼拝の時を告げ、正門から東に延びる通りは「鐘の音通り」と名づけられるなど、近隣からも親しまれています。

チャペルの行事



礼拝

チャペルでは、始業の祈りや日曜礼拝、クリスマス礼拝など1年をとおしてさまざまな礼拝が行われています。これらの礼拝にはどなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。



日韓キャンプ

韓国を舞台に9日間にわたって、協定校である聖公会大学の学生とともに働き、学び、過ごします。農作業、勉強会、フィールドトリップなどをおして互いの文化や歴史への認識を深めます。



チャペルコンサート

著名な演奏家や、学生団体のオーガニスト・ギルド、聖歌隊、ハンドベルクワイアなどによる、教会音楽の魅力が楽しめるコンサートが数多く開催されています。

学生のキリスト教活動の拠点となっている チャペル会館

礼拝堂との繋がりを強く感じられるレンガの意匠を取り入れたチャペル会館は、池袋キャンパスの諸聖徒礼拝堂に隣接しています。学生キリスト教団体のための部室や、質の高い音楽を響かせる空間など機能的でありながら格調高い施設となっています。



チャブレン長からのメッセージ

みなさんの祈りの場として

チャブレン長 五十嵐正司

聖書に次の言葉があります。「イエスは『世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた』(ヨハネによる福音書第13章1節)」。印象的な言葉です。生きることは必ずしも楽ではありません。でも辛い人生を生きた津田治子(アララギ派の歌人)は次の短歌を詠みました。「苦しみのきはまるときに 俤せのきはまるらしも かたじけなけれ」。治子はハンセン病を患い、苦しみの極みの中で、愛し抜いてくださるイエスに出会います。立教大学のチャペルは信仰の有るなしにかかわらず、誰にでもひらかれた祈りの場です。チャペルとのかかわりの中でイエスに触れ、豊かな人生を歩んでください。

CAMPUS LIFE SUPPORT

立教大学では、学生一人ひとりが可能な限り自主的に生活設計を立てられるよう、さまざまな支援体制を整備し、安心してキャンパスライフを送れるようにバックアップしていきます。

■ 学生相談所

さまざまな問題・悩みの相談に
応じています。

学生相談所では、対人関係や性格、学業、進路など、学生生活に関するさまざまな悩みについて、豊富な知識をもった職員やカウンセラーが対応します。そのほかに、より良い対人関係、学生生活を築く手がかりになるようなプログラムも開催しています。

新座キャンパスの学生相談所のラウンジ。立教大学の在校生なら誰でも気軽に利用することができます。



■ ボランティアセンター

「したいからする」という
気持ちを応援します。

ボランティアセンターは、学生がボランティア体験をととして学ぶ機会をさまざまな形で提供しています。コーディネーターによる相談だけでなく、全学部対象のボランティア授業も開講。活動が評価され、「ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

学生たちが、地域の子どもを夏休みに大学に招待し、一緒に遊ぶ活動も行っています。



■ 健康・保険

有意義な学生生活を送るには、
健康管理も大切。

学生健康保険互助組合（学生健保）や学生教育研究災害傷害保険、保健室・診療所、健康診断など、学生生活をサポートする体制が整っています。中でも医療費給付などを行う学生健保は他大学の中でも希少な組織で、学生が設立し運営を行っています。

〔健康保険サポート例〕

- 学生健康保険互助組合（医療費給付ほか）
- 学生教育研究災害傷害保険（保険料は大学負担）
- 保健室・診療所
（診療所は学生健保の医療費給付対象）
- 健康診断（年1回実施）

■ しょうがい学生支援

サポートを通じた学生同士
の学びを大切に。

しょうがいのある学生のために、授業の際のノートテイク、移動サポートなど、さまざまな支援を行っています。支援は、サポートスタッフ登録のある約250名の学生が担っています。しょうがいのある人への理解や意識を高め、開かれたキャンパスを目指しています。

サポートを利用する学生とサポートスタッフは、毎学期ミーティングを実施して意見交換をしています。サポートする側・される側の壁を越えて活発に交流しています。



■ 公共施設との パートナーシップ

研究のために利用できる
公共施設があります。

立教大学は東京国立博物館、国立科学博物館、東京都歴史文化財団、国立美術館、古代オリエント博物館の会員であり、学生は学生証提示にて施設を利用できたり割引を受けられます。

※詳細は、www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/others/partnership.html をご覧ください。

〔例〕

- 東京国立博物館キャンパスメンバーズ
〔利用施設〕東京国立博物館
〔主な特典〕総合文化展無料・特別展割引
- 国立科学博物館大学パートナーシップ
〔利用施設〕国立科学博物館・筑波実験植物園・附属自然教育園
〔主な特典〕常設展無料・特別展620円引き など

■ アルバイトの紹介

大学公認の求人情報
提供サイトがあります。

立教大学では、アルバイトを学生が身をもって社会を知り、自己の適性を知る恰好の機会として位置づけています。大学公認の求人情報提供サイト「立教大学学生アルバイト情報ネットワーク

ク（バイトネット）」により、学業に影響が少ない安全なアルバイトをインターネットで紹介しています。パソコン・スマートフォンから24時間365日アクセスでき、アルバイトを探すのに便利です。

■ 緊急時の対応

携帯電話等のメールを
活用した緊急連絡システム。

立教大学では、学生の携帯電話等のメールを利用した「緊急連絡システム」を運用しています。東京都あるいは埼玉県で震度5強以上の大規模地震が発生した場合の安否確認や新型

インフルエンザの流行、台風の接近による全学休講などのお知らせが、大学から学生に送信されます。

一人暮らし支援

初めての一人暮らしでも安心して部屋探しができるようにサポートします。
立教大学専用の学生寮の紹介のほか、不動産会社と提携して部屋の紹介も行っています。

※部屋探しの詳細な情報については、www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/others/dormitories.html もご覧ください。

部屋の紹介

立教大学では、学生のみなさんがより良い物件を探せるよう、2つの不動産会社（㈱ハウスメイトショップ・㈱学生情報センター）と提携して部屋の紹介を行っています。これらの提携会社であれば、家賃の0.5カ月分の仲介手数料（通常は1カ月）で部屋の紹介を受けられるなど、初めて一人暮らしをする新入生にも便利で安心です。

学生寮の紹介

より充実した学生生活を支援するため、立教大学では学生寮を設けています。学生寮には、立教大学の学生専用の専用寮と、他大学の学生も入居する推薦寮があります。推薦寮は寮によって部屋タイプや施設に特徴があるので、あなたに合った部屋を探してください。

専用寮（立教大学国際交流寮）

寮生は立教大学の学生のみ。日本人学生のほかに、交換留学生も暮らすインターナショナルな寮です。専用寮だけに、キャンパスまでのアクセスもスムーズ。設備も充実し、ベッドや机・イスはもちろん、ランドリールーム、冷蔵庫、エアコンまで整っているので経済的にも助かります。



RIR 椎名町

交通

- 西武池袋線「椎名町」駅より徒歩約7分
- 東京メトロ有楽町線・副都心線「要町」駅より徒歩約9分
- 要町駅から志木駅まで東京メトロから東武東上線へ乗り継ぎ約25分（3カ月定期代19,950円）
- 池袋キャンパスまで徒歩約14分

寮費

月額 91,300～99,800円（朝・夕食つき）
※他に入館金・年間管理費・保証金等が必要になります。

※「RIR 椎名町」の入寮時の契約先は、㈱毎日コムネットとなります。詳細については、毎日コムネット東京駅前店（フリーダイヤル0120-994-626）まで。
「RUID 朝霞台」「RUID 志木」の入寮時の契約先は、㈱共立メンテナンスとなります。詳細については、共立メンテナンス学生寮事務局（フリーダイヤル0120-88-1030）まで。



RUID 朝霞台

交通

- 東武東上線「朝霞台」駅・JR武蔵野線「北朝霞」駅より徒歩約1分
- 朝霞台駅から池袋駅まで東武東上線約17分（3カ月定期代11,720円）
- 新座キャンパスまで自転車で約10分

寮費

月額 98,800円（朝・夕食つき）
※他に入館金・年間管理費・保証金等が必要になります。



RUID 志木

交通

- 東武東上線「志木」駅より徒歩約5分
- 志木駅から池袋駅まで約19分（3カ月定期代11,920円）
- 新座キャンパスまで自転車で約10分

推薦寮

立教大学に限らず、他大学の学生も在籍する寮。いろいろな大学の学生と出会い刺激を受けることができます。交流を深めるうちに、視野も人脈も広がることでしょう。自分の通うキャンパスの沿線を選べば通学もスムーズです。

- 男子寮…ドミー下赤塚／ドミーひばりヶ丘
- 女子寮…ドミー志木／ドミー本蓮沼
- 男女寮…ドミー東長崎

※上記の推薦寮は2018年度の例です。推薦寮に入寮時の契約先は、㈱共立メンテナンスとなります。詳細については、共立メンテナンス学生寮事務局（フリーダイヤル0120-88-1030）まで。

一人暮らし学生インタビュー

奨学金制度が充実しており、安心して学びを深められます

経済学部 経済学科 鹿児島県 鶴丸高等学校 増田 翔大

多くの価値観に触れ視野を広げたいという気持ちから、さまざまな人が集まる東京の大学への進学を決意しました。立教大学を志望したのは、学生の主体性を積極的に評価する校風と、充実した奨学金制度によって出身地に関係なく勉学に打ち込める環境が整っている点に魅力を感じたからです。

現在、地方出身者を対象とした立教独自の給付型奨学金「自由の学院奨学金」と、日本学生支援機構奨学金を利用しています。前者は学費に、後者は生活費に充てています。私は鹿児島県出身学生のための県人寮で寮生活をしていますが、

実家を離れ他者と共同生活を送ることで、対人力や自己管理能力が高まりました。奨学金の手続きなども自身で行い、自立を学ぶきっかけになったと感じています。2年次には勉学費を充実させるために「学業奨励奨学金」に申請し、採用していただきました。奨学金授与式では採用者同士の懇談会があり、新たな知見を深めることができました。所属する経済学部では、ゼミ活動に注力し、ディスカッションや企業との共同研究を行っています。将来は大学で培った力を生かし、日本を動かす金融や経済の制度づくりに携われるような仕事に就きたいと考えています。

平均的な月の収入・支出額	
収入	アルバイト収入 55,000円
	日本学生支援機構奨学金 64,000円
	家族などからの援助 0円
	計 119,000円
支出	住居費（光熱費等を含む） 12,000円
	食費 30,000円
	学習資料費 5,000円
	通学交通費 6,000円
	交際費 20,000円
	通信費 6,000円
	服飾費 15,000円
	貯金 25,000円
	計 119,000円



SCHOLARSHIPS ACADEMIC FEES

奨学金

■立教大学学内奨学金

経済支援を目的とする奨学金および学業や学生生活を支援することを目的とする奨学金制度を多数設けています。本学独自の奨学金は全て給与奨学金であり返還不要です。以下に一部をご紹介します。

※下記に記載の制度概要は2018年度実績です。2019年度制度改正の可能性あります。

奨学金制度の詳細については、www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/scholarship/ をご覧ください。

※電話での相談は、立教大学学生部学生厚生課TEL.03-3985-2441までお問い合わせください。

	奨学金名	給与金額	採用人数	対象
入学前予約型奨学金 経済支援(奨学目的)	立教大学自由の学院奨学金	文系学部 年額50万円 理学部 年額70万円 (原則4年間、継続審査有)	500名程度	経済援助が必要な首都圏 ^{*1} 以外の高等学校等出身者(大学入試センター試験利用入試、一般入試の受験者を対象に入学前に採用が決まる)
	立教大学セントポール奨学金	文系学部 年額40万円 理学部 年額60万円 (原則4年間、継続審査有)	250名程度	経済援助が必要な首都圏 ^{*1} の高等学校等出身者(大学入試センター試験利用入試、一般入試の受験者を対象に入学前に採用が決まる)
	立教大学GLAP奨学金	年額120万円 (原則4年間、継続審査有)	若干名	経済援助が必要なグローバル・リベラルアーツ・プログラム(GLAP)の学部学生対象。国際コース選抜入試(GLAP)秋季日程の利用、合格などの条件あり。
経済支援(奨学目的)	立教大学学部給与奨学金	文系学部 年額40万円 理学部 年額60万円	150名程度	経済援助が必要な学部学生 ※給与金額は選考により決定
	立教大学永岡ソナ子奨学金	文系学部 年額40万円 理学部 年額60万円	12名	経済援助が必要な学部学生
	立教大学大柴利信記念奨学金	年額40万円	8名	経済援助が必要な学部学生 (関東地方以外の出身者)
	立教大学ひとり暮らし応援奨学金	年額10万円	75名程度	経済援助が必要な自宅外通学をする学部学生(上記3つの奨学金採用者から採用)
	立教大学緊急給与奨学金	年額30万円	20名程度	家計の急変に伴い、学業継続が困難になった学部学生
留学支援	立教大学グローバル奨学金	年額10万円～40万円	支給基準を満たした者全員	本学が実施する海外留学プログラムへの参加者で経済援助が必要な者 ※給与金額は選考により決定
	立教大学校友会成績優秀者留学支援奨学金	年額10万円	100名	本学が実施する海外留学プログラムへの参加者で成績が特に優秀な学部2年次以上
学業・学生生活 支援(育英目的)	立教大学学業奨励奨学金	年額20万円	65名	勉学意欲、人物ともに優れた学部2年次生以上
	立教大学校友会奨学金	年額50万円	8名以内	将来立教人として有意義な活躍が期待され、かつ学業成績の優秀な学部3年次生
外国人留学生対象 ^{*2}	立教大学「尹東柱国際交流奨学金」	月額5万円	各学部1名	学業成績優秀な韓国国籍の留学生(学部2年次生以上)
	立教大学「外国人留学生成績優秀者奨学金」	月額5万円	10名	成績優秀な外国人留学生(学部学生)
	立教大学「校友会外国人留学生奨学金」	月額5万円	7名	成績優秀で、経済援助が必要な外国人留学生(学部学生)
	立教大学「外国人留学生奨学金」	年額20万円	85名程度	高い勉学意欲を有する外国人留学生(学部学生・大学院生含む)

*1 首都圏…1都3県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)。

*2 上記奨学金以外にも、外国人留学生を対象とした本学独自の奨学金や文部科学省外国人留学生学習奨励費を利用することができます。

詳細は、www.rikkyo.ac.jp/target/foreign/regular/scholarships/ をご覧ください。

■被災地の入学者に対する経済支援制度(入学金返還・学費減免)

被災地の入学者を対象とした入学金返還および学費減免制度を設けています。

※被災地…入学日前日からさかのぼって1年以内に発生した自然災害に係る災害救助法適用地域。

※制度の詳細については、www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/scholarship/aid_undergraduate.html#keizai をご覧ください。

■ 日本学生支援機構奨学金

国の育英奨学金事業を行う日本学生支援機構の奨学金です。無利子の「第一種」と有利子の「第二種」の2種類があり、採用後は卒業まで(最短修業年限内)、月々一定の金額が貸与されます。

立教大学でも2017年度実績で約4,100名の学生が利用している、最もポピュラーな奨学金制度です。

名称	対象	奨学金額*2
第一種 (貸与・無利子)	学部1～4年次生 (ただし、最短修業年限を超えて在籍する者、 日本国籍を有しない者*1は出願不可)	[自宅通学] 月額 <u>20,000円</u> 、30,000円、 <u>40,000円</u> 、54,000円*3から選択 [自宅外通学] 月額 <u>20,000円</u> 、30,000円、 <u>40,000円</u> 、 <u>50,000円</u> 、64,000円*3から選択 (自宅外通学の学生は、54,000円も選択可能)
第二種 (貸与・有利子)		月額 <u>2万円</u> 、3万円、 <u>4万円</u> 、5万円、 <u>6万円</u> 、 <u>7万円</u> 、8万円、 <u>9万円</u> 、10万円、 <u>11万円</u> 、12万円から選択

*1 永住者・特別永住者・定住者・日本人(永住者・特別永住者)の配偶者や子を除く。

*2 2018年度以降入学者は、新たに下線の月額も選択できるようになりました。

*3 日本学生支援機構の奨学金を利用するには、家計審査・成績審査があり、2018年度以降入学者が第一種奨学金の最高月額(54,000円、64,000円)を選択する場合には、一定の家計基準を満たすことが必要です。

■ 立教大学提携教育ローン制度(入学時)

入学手続時納入金の納入に利用するために、立教大学が主な都市銀行と提携した教育ローンです。

銀行系保証会社が保証することにより、入学予定者の保護者または入学予定者本人が無担保で銀行から融資を受けることができます。なお、審査結果によってはご要望に沿えない場合があります。

■ その他の奨学金

民間育英団体または都道府県・市区町村を事業主体とする奨学金が約50種類あります。

募集は大学を通じて行いますので、詳しくは学生厚生課へお問い合わせください。

なお、都道府県・市区町村の奨学金には大学を通さないものもありますので、出身自治体の教育委員会等へお問い合わせください。

■ その他の教育ローン

入学・在学のために必要な諸費用を融資する国の教育ローンもあります。詳細は以下でご確認ください。

日本政策金融公庫 www.jfc.go.jp TEL.0570-008656

初年度納入金

2018年度1年次の入学者の初年度納入金は下表のとおりです。
2019年度初年度納入金に関しては入試要項にてご確認ください。

[単位:円]

学部	入学手続時納入金 (入学金200,000円を含む)	秋学期納入金	初年度納入金合計 (入学金200,000円を含む)
文学部	742,250	542,250	1,284,500
異文化 コミュニケーション学部*1	750,750	540,750	1,291,500
経済学部	738,250	538,250	1,276,500
経営学部*2	753,750	553,750	1,307,500
理学部	970,750 数学科は950,750 生命理学科は990,750	770,750 数学科は750,750 生命理学科は790,750	1,741,500 数学科は1,701,500 生命理学科は1,781,500
社会学部	745,500	545,500	1,291,000
法学部	738,250	538,250	1,276,500
観光学部	738,000	538,000	1,276,000
コミュニティ福祉学部	743,750 スポーツウエルネス 学科は749,750	543,750 スポーツウエルネス 学科は549,750	1,287,500 スポーツウエルネス 学科は1,299,500
現代心理学部	768,250 映像身体学科は 780,750	568,250 映像身体学科は 580,750	1,336,500 映像身体学科は 1,361,500
Global Liberal Arts Program(GLAP)*3	1,101,750	901,750	2,003,500

*1 異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科においては、2年次秋学期に原則全員参加の「海外留学研修」という科目があります。留学先は英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語等の言語圏から選択します。「海外留学研修」履修者は、2年次秋学期の授業料および教育充実費が減額(2018年度計239,000円の減額)されるとともに、立教大学グローバル奨学金申請者で、所定の支給基準を満たした者には、選考の上、最大400,000円が支給されます。なお、留学費用は、以下のとおり留学先によって異なります。

●学部間協定校へ留学する場合
留学先の学費は免除になりますが(私費留学を除く)、滞在費、食費、大学指定の保険加入などで半期の場合200,000～700,000円、1年間の場合は400,000～2,000,000円(派遣先大学により異なる。渡航費は除く。)が別途必要になります。

●パートナー大学へ留学する場合
約4カ月間で実習費1,000,000～3,000,000円(2017年度実績。渡航費を除いた基本プログラム費、宿泊費など。研修先により異なる。為替の変動、留学先大学学費値上げなどで変動あり。)が別途必要になります。なお、実習費の一部(235,000円)は1年次の12月に納入していただく予定です。

*2 経営学部国際経営学科においては、1年次に「Overseas EAP」という原則全員参加の短期海外研修科目があり、実習費550,000～600,000円(2017年度実績)が別途必要になります(航空運賃などの変動により総額が変わることがありますのでご了承ください)。なお、留学プログラム参加者を対象とした奨学金(立教大学グローバル奨学金)があり、「Overseas EAP」履修者は、選考の上、最大200,000円が支給されます。

*3 GLAPにおいては、2年次秋学期から3年次春学期の1年間、原則全員参加の「Study Abroad 1・2」という科目(=海外留学)があり、留学先の学費は免除されますが、渡航費、滞在費等が別途必要になります。なお、留学プログラムの参加者を対象とした奨学金制度(立教大学グローバル奨学金)があり、「Study Abroad 1・2」履修者は選考の上、最大400,000円が支給されます。また、GLAP専用寮への入寮希望者は、寮費54,000円(月額)と入寮時に諸費用(数万円程度)が別途必要となります。

※ 入試制度によらず、入学後の在留資格が「留学」となる私費外国人留学生で、経済的に就学困難な者を対象とし、授業料の減免を実施します。授業料減免の対象者は経済状況の審査を経て決定しますので、希望する者は入学後、所定の手続に則り申請を行ってください。2018年次の減免率は30%(100円未満切捨て)です。GLAPの学生ならびに修業年限を超えて在学する者、休学中・停学中の者等は対象外となります。なお、制度内容および減免率は年度により変更する場合があります。

※ 入学金は入学時のみ徴収します。

キャリア・ 就職支援

大学院 P.145

資格取得支援 P.146

キャリア・就職支援 P.150



大学院

優れた学術研究の推進と人間性豊かな研究者の育成を目指す立教大学大学院。
研究の支援制度や国内外のネットワーク、施設などが充実しており、
研究を深めるために必要な条件や学問の世界を広げられる機会が数多くあります。

池袋キャンパス

キリスト教学研究科

■キリスト教学専攻

「キリスト教」をめぐる事象を多方面から学術的に分析・研究し、多様化する国際社会の根源を見極める能力をもったスペシャリストを育成します。伝統的な学問分野だけでなく、フィールドスタディや教会音楽実技を含む多彩な科目を展開しています。

文学研究科

- 日本文学専攻 ■英米文学専攻 ■ドイツ文学専攻
■フランス文学専攻 ■史学専攻 ■超域文化学専攻
■教育学専攻 ■比較文明学専攻

総合的人格陶冶・人間理解を共通理念とする8つの専攻は「読むこと」をともに深めて高度専門職業人を育てます。全人類の財産である文献や史料を読み解き、また実際に自ら見聞きして、新たな価値を発見するのが人文学の精神です。

異文化コミュニケーション研究科

■異文化コミュニケーション専攻

多文化・多言語が共存する今日の国際社会において、世界の多様な文化の存在を「異質性」として認識し、自然環境をも「他者」としてとらえ、人間との共生を図る対象として考察。持続可能な未来に向けた新たな異文化コミュニケーション学を構築することを目指します。秋入学の導入など、多様な学生のニーズに対応しています。

経済学研究科

■経済学専攻

「理論・歴史」「財政・金融」「国際・政策」「会計・財務」の各分野で多彩な科目を用意し、グローバルに変化する経済現象を学問的に深く分析・考察できる専門家を養成します。また、夜間展開科目の充実を図り、働きながら学ぶことができる「社会人コース」も設置しています。

経営学研究科

■経営学専攻

人、組織、社会というさまざまな視点から新しい経営学を考察。きめ細かな個別指導のもと、新しい時代を切り拓くために必要となる知識・理論を発展させ、グローバルな場面においてリーダーシップを発揮できる研究者および高度専門職業人を育成します。

■国際経営学専攻

グローバルな場面で活躍できる高度専門職業人を育成するために、国際経営分野での専門的知識・能力、グローバルな視野、そして異文化コミュニケーション力の養成を行います。全ての講義・研究指導は英語で展開され、海外の提携大学院の修士号も同時に取得できるダブルディグリーコースも提供します。

理学研究科

■物理学専攻 ■化学専攻 ■数学専攻 ■生命理学専攻

自然科学の目覚ましい発展に対応する高度な研究能力と豊かな学識を養成するため、4専攻と4研究センターで教育・研究を展開しています。次代の科学を担う学生への支援（TA、RA、国内外の学会発表補助など）も充実しています。

池袋キャンパス

社会学研究科

■社会学専攻

人々が生きる現場をふまえながら、現代社会の諸問題について実証的な研究を進め、実践的な提言を行える人材を養成。大学院生と複数の教員が共同して特定の研究課題に取り組み、なんらかのフィールドで計画策定、調査実施、結果分析、報告書の作成を経験する「プロジェクト科目」を導入しています。

法学研究科

■法学政治学専攻

法学・政治学の専門分野を研究します。研究者をめざす《アカデミック・コース》と、法律関係士業、公務員、企業法務部、シンクタンク、NGO・NPO等をめざす人たちのために、リサーチ・ペーパーで修士号がとれる《プロフェッショナル・コース》に分かれています。

新座キャンパス

観光学研究科

■観光学専攻

観光ビジネスやホスピタリティの研究をはじめとして、地域社会における観光の役割や町並み、景観に関する研究、そして、観光を通じた異文化交流や文化現象についての研究まで多様な視点から観光研究に取り組みます。学位取得者は大学教員や研究者あるいは実務家として国内外で活躍しています。

コミュニティ福祉学研究科

■コミュニティ福祉学専攻

「いのちの尊厳のために」を基本理念として、一人ひとりの個性や可能性を尊重し合うコミュニティの創成・活性化を視野に入れた、人間を大切にする福祉社会の構築を目指す研究教育者ならびに高度な専門性を有した職業人を育成します。

現代心理学研究科

■心理学専攻 ■臨床心理学専攻 ■映像身体学専攻

基礎、応用の両面が総合的に展開される心理学専攻、臨床の理論と実践を体得する臨床心理学専攻、〈身体性〉と〈機械映像〉の働きを同時に追究する映像身体学専攻の3つからなり、いずれの専攻においても、学識豊かな研究者及び高度専門職業人を育成します。

池袋キャンパス
独立研究科

ビジネスデザイン研究科

■ビジネスデザイン専攻(MBA/DBA:昼夜開講・社会人対応)

本研究科の社会的使命は、ビジネスをデザインする創造的人材の育成です。ビジネスをはじめて学ぶ人から実務に就く経営者、コンサルタントや会計・税務等の専門家に至るまで、多様な知識と経験が融合する学び舎です。

21世紀社会デザイン研究科

■比較組織ネットワーク学専攻(昼夜開講・社会人対応充実)

NPO/NGOなどサードセクターのマネジメントや政府行政・企業との関わり、ソーシャルビジネス、CSRなど企業と社会との新しい関係を、生き方・働き方やリスクガバナンスとの関連で最前線のソーシャルデザインの実践知として学びます。

資格取得支援

在学中あるいは卒業後のキャリアアップ支援として各種資格に対応したプログラムを設けています。

「教職課程」をはじめとする『学校・社会教育講座』のほか、『立教キャリアアップセミナー』では、

外部専門機関と提携して公務員講座などを学内開催し、

各種資格取得や国家試験の合格を目指す学生および校友を支援しています。

学校・社会教育講座

■ 教職課程 逸見敏郎教授／森田満夫教授／奈須恵子教授／大野 久教授／下地秀樹教授／青木猛正特任准教授

各学部・学科の卒業単位とは別に教職課程を並行して履修することにより、各学部・学科の専門領域に関連した教科の中学校・高等学校の教員免許状を取得できます（学科により取得できる免許教科は決められています。下表参照）。教職課程を履修する学生にとっては、教育実習などを経験することによって、人間の成長・発達について深く洞察する機会が得られます。学部卒業後や大学院修了後、直ちに専任教員になることは必ずしも容易ではありません。しかし、非常勤講師などを経て専任教員となる熱意をもった先輩たちが数多くいます。立教の自由な校風の下で学び、この課程を終えた先輩教師たちは、それぞれの学校現場で高い評価を得ています。

〔参考〕教員免許状の種類（2018年度までの認定免許教科）

※教員免許法改正により再課程認定申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、2019年度入学者が取得できる免許状は変更になる可能性があります。

学部	学科・専修		免許教科		
			小学校(1種)	中学校(1種)	高等学校(1種)
文学部	キリスト教学科		—	社会・宗教	地理歴史・公民・宗教
	文学科	英米文学専修	—	英語	英語
		ドイツ文学専修	—	ドイツ語	ドイツ語
		フランス文学専修	—	フランス語	フランス語
		日本文学専修	—	国語	国語
		文芸・思想専修	—	国語	国語
	史学科		—	社会	地理歴史・公民
	教育学科	教育学専攻課程	—	社会	公民
		初等教育専攻課程	小学校	—	—
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科		—	英語	英語
経済学部	経済学科		—	社会	地理歴史・公民・商業
	経済政策学科		—	社会	地理歴史・公民・商業
	会計ファイナンス学科		—	社会	公民・商業
経営学部	経営学科		—	—	—
	国際経営学科		—	—	—
理学部	数学科		—	数学	数学・情報
	物理学科		—	理科	理科
	化学科		—	理科	理科
	生命理学科		—	理科	理科
社会学部	社会学科		—	社会	公民
	現代文化学科		—	社会	公民
	メディア社会学科		—	社会	公民
法学部	法学科		—	社会	地理歴史・公民
	国際ビジネス法学科		—	社会	地理歴史・公民
	政治学科		—	社会	地理歴史・公民
観光学部	観光学科		—	社会	地理歴史
	交流文化学科		—	社会	地理歴史
コミュニティ福祉学部	コミュニティ政策学科		—	社会	公民
	福祉学科		—	社会	公民・福祉
	スポーツウエルネス学科		—	保健体育	保健体育
現代心理学部	心理学科		—	—	—
	映像身体学科		—	—	—
Global Liberal Arts Program (GLAP)			—	—	—

・1種免許状の取得は学部卒業が条件となります。

・本学では、小学校の教員免許状は教育学科初等教育専攻に在籍する学生だけが取得できます。

・中学校・高等学校の教員免許状および各種資格については、最短修業年限(4年間)で取得できることを保証しているものではありません。

学芸員課程 川口幸也 教授

学芸員課程は、学芸員(博物館や美術館、水族館、動物園、植物園などで、資料の収集、保管、展示および調査研究などを行う専門職員)の資格を取得するためのもので、学外での実習などにも力を入れています。就職先は必ずしも多くはないのが現状ですが、本学学芸員課程に対する評価は高く、多数の資格取得者を輩出しています。授業は池袋キャンパスのみで開講。

司書課程 中村百合子 教授 / エレン・ハモンド 特任教授

司書課程は、「図書館司書」と「学校図書館司書教諭」の2つのコースにわかれています。「図書館司書」コースは、公共図書館や大学図書館などの専門職員希望者を対象にし、司書の資格が取得できます。「学校図書館司書教諭」コースは、小・中・高等学校の司書教諭を目指す人を対象にしています。司書教諭の資格取得のためには、教職課程を併修する必要があります。授業は池袋キャンパスのみで開講。

社会教育主事課程 高井正 特任准教授

都道府県や市区町村教育委員会などでの青少年・成人・高齢者向けの学級・講座の企画・実践または公民館や青年教育施設での指導・助言を行うのが社会教育主事です。本課程では生涯学習の時代にふさわしい視野をもった人材の育成を目指します。

その他の資格取得

公認会計士^①・税理士^②

企業の会計監査を行う公認会計士は、受験資格は特になく、誰でも受験することが可能です。また、税金の申告などの代行業務や税務相談を行う税理士は、大学で所定単位数を修得すれば大学3年次以上から受験することができます。経済学部会計ファイナンス学科および大学院経済学研究科ではこれらを目指す学生の受け入れを積極的に行います。

社会福祉士・精神保健福祉士^③

■コミュニティ福祉学部 福祉学科

さまざまな生活問題に関する相談に応じ、指導・助言、その他の援助を行う社会福祉士。精神しょうがい者の福祉や社会復帰のための相談援助を行う精神保健福祉士。コミュニティ福祉学部福祉学科では、これらの資格取得のための国家試験受験資格に必要な全科目を開講しています。

公認心理師^④

■現代心理学部 心理学科(2018年度以降入学者対象)

心理学の専門知識と技術をもって相談や援助を行う、日本初の心理職の国家資格です。資格取得者は心の健康に関する専門家として、医療・保健・教育・福祉・司法犯罪・産業労働分野での活躍が期待されます。学部卒業後一定の実務経験・指定大学院修了により受験資格を得られます。

臨床心理士^⑤

■現代心理学研究科臨床心理学専攻(大学院)

臨床心理士は精神的に悩む人たちの相談を受け、解決へ導くと同時に、心の健康をコンサルティングする心の専門家です。この資格試験を受験するには、日本臨床心理士資格認定協会の指定を受けた大学院修士課程(博士課程前期課程)の修了が必須です。本学の大学院現代心理学研究科臨床心理学専攻は、第1種指定大学院の認定を受けており、特定科目の単位を修得することで実務経験を经ずに受験資格を得られます。

社会調査士^⑥

■経済学部 全学科 ■経営学部 全学科 ■社会学部 全学科
■観光学部 交流文化学科 ■コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科
■現代心理学部 心理学科

社会調査士は、社会調査の知識や技術を用いて世論や市場動向、社会事象などをとらえる能力と社会調査に必要な知識を有する人に対して、一般社団法人社会調査協会が認定するものです。「取得見込み」の認定により、就職活動に活用することもできます。

障がい者スポーツ指導員^⑦

■コミュニティ福祉学部 全学科

しょうがいを抱えた人が体を鍛えたり、スポーツを楽しんだりするのをサポートおよび指導を行う(公財)日本障がい者スポーツ協会公認の資格です。

レクリエーション・インストラクター^⑧

■コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科

さまざまなレクリエーションの方法を紹介し、楽しい遊び方を指導することで、多くの人にレクリエーションの楽しさを体験してもらい、心と体をリフレッシュしてもらうことを目的とする(公財)日本レクリエーション協会公認の資格です。

健康運動指導士^⑨

■コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科

運動不足による肥満、糖尿病、高血圧、動脈硬化、心臓病などの生活習慣病を予防し、健康水準を保持・増進することを目的とした、個人に適した運動メニューの作成・指導ができる(公財)健康・体力づくり事業財団公認の資格です。

旅行業務取扱管理者^⑩

旅行会社の各営業所で業務上の管理監督の任務にあたります。旅行会社は各営業所ごとに1名以上の旅行業務取扱管理者が必要です。本学の観光研究所では、総合・国内旅行業務取扱管理者試験のための公開講座「旅行業講座」を開講しています。

日本語教員^⑪

■異文化コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学科

日本語教員になるために、特定の免許・資格はありませんが、文部科学省の定めるガイドラインを満たしていることが望ましいとされています。異文化コミュニケーション学部では、それに適う日本語教員養成プログラムを設置しています。このプログラムは「日本語を母語としない人々に対して日本語を教える教員になるために必要な特別の教育を行うもの」で、このプログラムを履修して所定の授業科目および単位を修得した者には、「日本語教員養成プログラム修了証」が発行されます。

- ① 特定の科目を修得し、申請により得られる資格
- ② 特定科目の単位を修得することで、受験資格を得られる資格
- ③ 特定の大学院を修了することなどによって、受験資格を得られる資格
- ④ 開講されている科目が資格の内容と関連している例

資格取得支援

立教キャリアアップセミナー

立教大学では正規のカリキュラムとは別に、本学在學生と卒業生を対象に、大学内教室等を使用して、語学学校や各種資格学校と提携したキャリア形成支援のための有料講座を開講しています。

- merit 1** 学内開講なので移動時間をかけずに学べます
(夜間を主に、一部昼間や土曜午後に開講)。
- merit 2** 合格実績の高い専門学校の講師陣とテキストをフル活用できます。
- merit 3** 通常の学外講座より割安な費用で受講できます。

語学関連

- 毎日学べる英会話講座
(下記参照)
- マンツーマンSkype英会話
- TOEIC® L&R試験対策講座
- TOEIC® L&R夏季集中講座
- TOEIC® L&R e-learning講座
- TOEFL® iBT試験対策講座
- IELTS™ 試験対策講座

就職支援関連

- Webプログラマー養成講座
- 立教マスコミ講座(下記参照)
- キャビンクルー・グランドスタッフ対策講座
- 立教就活講座
- SPI&玉手箱Web模試
- 就活直前対策セミナー
- 自己分析・適職診断テスト

公務員・資格試験関連

- 公務員試験対策講座(国家一般職・地方上級コース)
- 公務員試験対策講座(教養科目・市役所コース)
- 外務専門職入門講座
- 公認会計士入門講座
- 気象予報士試験対策講座
- 行政書士試験対策講座
- 宅地建物取引士試験対策講座
- 知的財産管理技能検定3級試験対策講座

- 社会福祉士試験対策講座
- 日商簿記3・2級試験対策講座
- FP技能士3級試験対策講座
- 秘書技能検定2・準1級試験対策講座
- 色彩検定3・2級試験対策講座
- MOS試験対策講座
(Wordコース・Excelコース)

PICK UP

毎日学べる英会話講座

(池袋クラス・新座クラス)

授業の空き時間に、学内で1日40分ネイティブ講師と月曜から金曜まで受講できる本講座は、発話量を重視する独自のカリキュラムで、日常の様々な場面で役立つ実用的なコミュニケーション力を養います。リーディング&ディスカッションのレッスンを通じて、短時間に素早く英文の大意をつかむ練習も行いますので、就職や留学の対策としてもお勧めです。

立教マスコミ講座

毎年多くの学生が受講している本講座は、①マスコミ業界の正しい理解 ②マスコミエントリーシート・作文対策 ③マスコミ面接対策、以上3点を主たる目的とし、自己分析、自己PR作成、文章力養成を綿密に行います。CM制作や番組制作、新聞制作、キャッチコピー制作を実際に疑似体験し、楽しみながら基礎から高度な内容まで具体的かつ実践的に学べ、多くのマスコミ志望者とともに切磋琢磨していくことができます。

[お問い合わせ] 立教キャリアアップセミナー事務局 TEL:03-3985-3506 Webサイト: www.st-pauls plaza.com/seminar/

公務員試験対策講座

「全体の奉仕者」といわれる公務員は、市民や社会の利益に直結した仕事を通じて、確かなやりがいを実感できます。一人ひとりの志に合わせ、仕事の可能性は無限に広がります。

①国家一般職・地方上級コース

本講座は、出題科目の多い公務員試験の合格を目指し、多くの学生が苦手とする数的処理、マクロ経済学・ミクロ経済学に重点を置き、合格に必要な知識を徹底的に学習していきます。また、最新の情報提供と時期に応じた学習進度の確認などをテーマに、定期的にホームルームを実施します。面接対策については、模擬面接を行い志望動機やさまざまな質問に対する対応の実践を積んでいきます。

②教養科目・市役所コース

本講座は、全ての公務員試験で出題される教養試験対策の講座です。数的処理、文章理解、人文科学、自然科学、時事対策、社会科学の科目を中心に、択一試験対策だけでなく、論文試験対策・面接試験対策も行います。

立教セカンドステージ大学

50歳以上のシニア層向けに、人文的教養の修得を目指す1年間の通学プログラムです。「セカンドステージの生き方を自らデザインする」というコンセプトのもと、立教大学の専任教員や著名人の講義、フィールドワークやゼミナールなど多彩な科目を揃えています。4月開講。

2018年度開講科目

エイジング社会の教養科目群

- 古典和歌のレトリック
- 歴史の中の学校教育
- 聖書と私
- 古典として読む旧約聖書
- 東洋思想からの問い
- 新約聖書のイエス伝承に見る信仰と経験
- 人類の来た道のりを測る
- 現代美術に親しむ
- ミュージアムを超えて
- 歌が照らす人と社会
- 地域創生を史的に考える
- テレビ経験の社会史
- ジャーナリズム・マスメディア・ネットメディアと憲法21条
- グローバル社会とメディアの使命

学問の世界(必修)

ゼミナール・修了論文(必修)

コミュニティデザインとビジネス科目群

- コミュニティの課題発見とメディア表現
- ソーシャルビジネスの理論と実務
- 環境保全とコミュニティ形成
- サステナブルコミュニティの思想と実践
- 食文化と地域活性化
- アジアの生活と文化とNGOへの視座
- マイクロクレジットにおける自立支援
- 暮らしに役立つ経済と金融
- 人間学としての経済思想
- 世界・日本経済図説を読む
- シニアの資産運用と生活設計
- 修了生が語るアクティブシニアの生き方
- シニアが輝くライフスタイル
- 持続可能な社会と地域づくり

セカンドステージ設計科目群

- アドラー心理学を実践に生かす
- 俗世間と認識論
- 心の変革
- 「だまし」と「ウソ」の心理学
- 社会老年学
- 最後まで自分らしく
- セカンドステージと市民生活
- セカンドステージの住まいづくり
- 健康長寿とアンチエイジング
- 現在(いま)を生きるための健生学
- 食と健康の教養学
- 障害者とノーマライゼーション
- 高齢者の生活と介護保険
- セカンドステージを楽しむ詩心・気心

※科目は予定であり、開講時に変更となる可能性があります。

[お問い合わせ・資料請求] 立教セカンドステージ大学事務局 TEL:03-3985-4672 FAX:03-5960-6460 E-mail: rssc@ml.rikkyo.ac.jp

学習量の多い公認会計士試験を、学業といかに両立するか

経済学部 会計ファイナンス学科 公認会計士 東京都 日出高等学校 長谷川 慶一郎

大学入学前に日商簿記検定3級と同検定2級を取得し、より会計の学びを深めていきたいと考えていました。また、人生で1度しかない大学生活を充実させるためにも大きな挑戦がしたいと思い、在学中の公認会計士資格取得も決意していました。しかし、公認会計士試験は科目と学習量が多く、学習期間も長期です。私は体育会水泳部にも所属しており、当初は試験勉強と大学の学業の両立に不安を感じていました。その点、立教大学の会計ファイナンス学科のシステムは優れたものだと感じました。アカウンティング・ファイナンス・マネジメントを総合的に学習できる学科であり、これら3分野は相互に関連性があるので、意識しながら学習を進めることで、会計の知識や理解をより深められました。さらに、公認会計士試験を考慮した授業が多数用意されており、試験科目と同じ内容の科目を履修することで無理なく単位を修得できます。大学の授業で学んだ知識や理解を試験勉強に生かせるため、公認会計士の試験勉強と大学の講義の両立を目指していた私にとって、集中できる快適な環境でした。

その結果、学業では「学業奨励奨学金」をいただき、部活動では日本学生選手権水泳競技大会に出場することができました。ゼミの教授や仲間、体育会本部総監督など、立教大学で多くの人と出会い支えられ、さまざまな挑戦ができたことは大きな自信となり、人生の糧となりました。今後は、一立教人としての誇りをもった専門性の高い公認会計士へと成長していきたいです。



同じ夢を持つ仲間たちと、先生方の支えで頑張れました

文学部 教育学科 小学校教諭1種免許状 東京都 香蘭女学校 鷺見 響



小学校時代の恩師との出会いがきっかけとなり、小学校教員を志望していました。教育学科では、小学校教諭1種免許状の取得はもちろん、哲学や社会学・歴史などの観点からも教育について幅広い知見を養うことができたため入学を決めました。1・2年次には教育学の基礎を学ぶとともに、社会学や心理学などの諸理論から教育現象を読み解く目を養いました。3年次になり初等教育専攻課程に進むと、教材研究や模擬授業といったより専門的・実践的な学びになります。同じ夢を持つ仲間同士で苦手な部分を補完し合ったり、模擬授業に向けた準備に取り組んだ時間はとても楽しく、毎日が充実していました。4年次になると教員採用試験に向けた勉強が本格化しましたが、それを乗り越えることができたのも、初等教育専攻で共に学んだ仲間が存在があったからだと感じています。

そして忘れてはならないのが、先生方や学校・社会教育講座の方々の存在です。提出した学習指導案や模擬授業に、毎回丁寧にコメントをくださったり、介護等体験や教育実習に必要な手続きをしてくださったり、たくさんの支えがあったおかげで、安心して夢に向けての歩みを進めることができました。高め合える友人や真剣に指導してくれる先生方と出会えたことが、大学4年間の財産です。卒業後は、憧れだった小学校教員になります。子どもたち一人ひとりの良さを見出し、個性を伸ばせる教員になりたいと思っています。

キャリア・就職支援

自身の特長を生かし、将来どうなりたいのか考えるのがキャリア・就職活動の第一歩です。

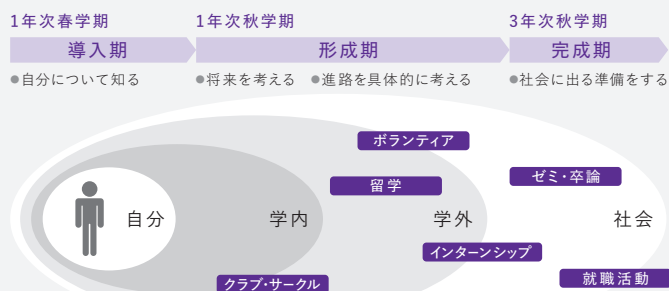
就職という“点”だけでなく、その後のキャリアまで見通した“線”で支援していきます。

※キャリア・就職支援の情報は、本学Webサイト www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/career/about.html からご覧いただけます。

point

1 4年間を通じたキャリア支援

立教大学は、キャリアを「仕事・職業を含めた、自立した個としての自分らしい人生のあり方」と捉えており、就職=ゴールとは考えていません。学生が卒業後の人生において、自らの意思によって将来を見据え、主体的に考えながら、自分でキャリアを切り開いていく力が大切だと考えています。その力は、学生が過ごしてきた学生生活での学びや経験を基盤にして築かれるものです。そのため、1年次から参加できるプログラムをキャリアセンターや各学部が多数展開し、学生が多くの経験や多様な価値観に触れ、「学ぶ力」「考える力」を身につけられるキャリア支援を行っています。



立教大学のキャリア支援

point

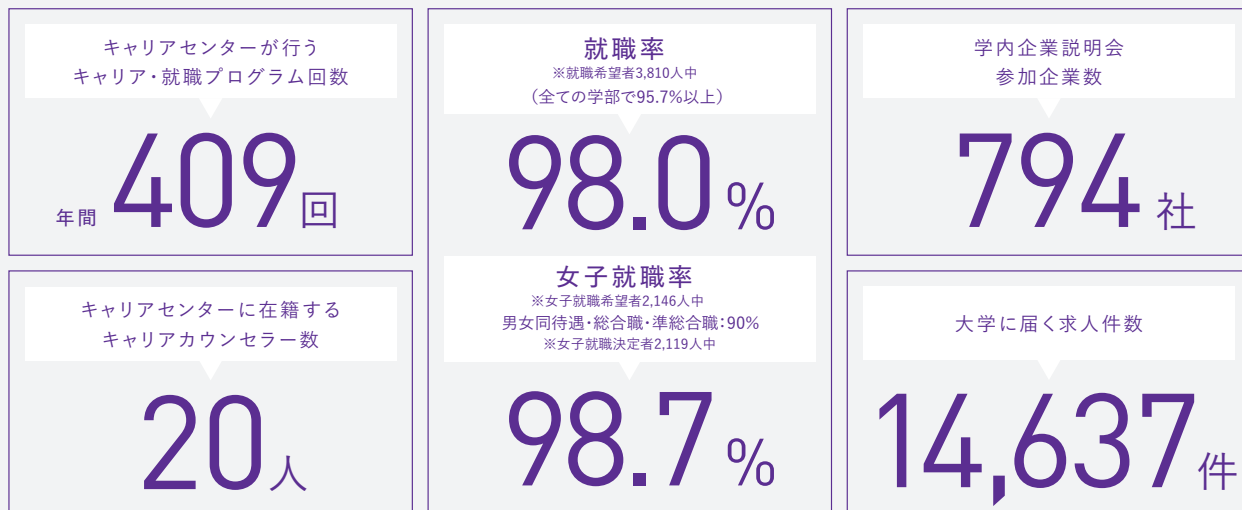
2 立教生の高い就職実績と手厚い就職支援

社会では、自ら考え行動できる主体性や、他者とのコミュニケーション能力が問われます。

また、就職活動では、大学でいかに学び、どのような経験をしてきたかを相手に「伝える」力が求められます。

立教大学では、就職ガイダンスや各種就職活動準備講座等、就職活動に必要なポイントを押さえた

さまざまな就職支援プログラムを行っています。学生一人ひとりと向き合いながら、それぞれに適した進路へと導くことが、結果的に立教の総合的な「就職力」となり、高い就職実績に結びついています。



(2017年3月卒業生対象実績)

キャリアセンターからのメッセージ

高いポテンシャルを開花させる

立教大学には、各学部が提供するカリキュラムのほかに、キャリアセンターが実施する多彩なキャリア支援プログラムがあります。各種プログラムには、多くのOB・OGがさまざまな形でかわり、学生目線に立った温かい指導を行っています。

就職は人生のゴールではありません。将来

キャリアセンター部長(経営学部教授) 佐々木 宏

自分はどうのような職業に就き、社会に貢献していきたいのか。自身に問いかけ、意識的に日々を積み重ねていく中で「自ら考え、行動する力」が培われていきます。就職実績には、そうした成果が如実に現れており、それが立教生のポテンシャルの高さを自ずと示していると思います。



point

3 キャリアセンターと学部のダブルサポート

立教大学では、各種プログラムの開催やガイドブック配布など年次に応じた段階的支援を行うキャリアセンターの支援と、学部の専門性を生かした学部独自の支援の両軸で、学生のキャリア・就職活動をサポートしています。興味のある分野や未来社会で担いたい役割など、将来夢見る自分の姿を実際の現場へと繋げる、実践的なノウハウがあります。

キャリアセンターの支援

キャリアセンターでは、就職ガイダンスや各種プログラム開催のほか、就職活動に関する情報・資料の公開、キャリア・就職についての個人相談など、数多くのサポートを行っています。これらは就職活動準備をしている3・4年次生だけでなく、1・2年次から利用できます。



学部の支援

10学部それぞれが学部の特徴を生かし、正課および正課外において多様なキャリア支援を行っています。学部の学びとつながるインターンシップや、学部独自のガイダンスや業界研究、OB・OGとの交流会、ワークショッププログラムなど、1年次から4年次まで参加できるプログラムを開催しています。

■ 個人相談

学年を問わずキャリア・就職に関する相談を受け付けています。学生生活の過ごし方や就職活動など、不安や質問がある時は気軽に利用してください。キャリアカウンセリングに熟練した相談員がアドバイスします。



キャリアセンター個人相談ブース
(池袋キャンパス)

■ 各種ガイダンス

インターンシップガイダンスや就職ガイダンスをはじめ、公務員や教員志望者など対象者別のガイダンスを開催しています。

■ 就職活動準備講座

就職活動で必要となる、自己分析、企業研究、面接やグループディスカッションなどの実践講座を開催しています。

■ 便利で使える就職活動ツール

就職活動では情報収集が欠かせません。キャリアセンターや図書館では、立教就職Navi(下記参照)のほか、キャリア・就職に関する書籍を揃えています。日本経済新聞をはじめ経済雑誌も閲覧することができます。また、3年次のキャリア・就職ガイダンスで就職活動の流れやポイントがわかる実用書「立教就職ガイド」を配布しています。



キャリアセンター資料閲覧コーナー
(新座キャンパス)

■ 立教就職Navi

立教就職NaviをはじめとしたWebサイト上のコンテンツを多く提供しています。これらのほとんどは学内だけでなく自宅からもアクセスでき、学年を問わず、次のようなさまざまなコンテンツを利用することができます。

コンテンツ／一例

- ・企業から立教大学に届いた求人票
- ・先輩の就職活動の体験談
- ・キャリアセンターが提供するプログラムの動画
- ・企業などで働くOB・OGの連絡先(学内でのみ閲覧可)

■ 正課キャリア関連科目

立教大学では、社会人として求められる基本的な能力や態度が備わるよう、さまざまな成長発達支援を行っています。その1つとして、正課キャリア関連科目を開講しています。各学部の専門科目の中にさまざまなキャリア関連科目が開講され、初年次から自らの進路を考えるきっかけとなっています。

2017年度に開講された正課関連科目／一例

共通科目「キャリアデザイン」「国連ユースボランティア」
文学部「人文学とキャリア形成」「インターンシップ」
異文化コミュニケーション学部「インターンシップ」
経済学部「課題解決演習」「インターンシップ」
経営学部「Global Internship」
理学部「理学とキャリア」
社会学部「ジェンダーとキャリア」「インターンシップ」
法学部「キャリア形成のための自覚的検討とコミュニケーションスキルの学び」
観光学部「経団連インターンシップ」「観光インターンシップ」
コミュニティ福祉学部「キャリア形成論」「インターンシップ」
現代心理学部「キャリアと心理学」

■ 正課外プログラム

学部の特性に応じたキャリア支援・就職支援を行うために、学部キャリアサポーターを配置して学部独自の支援を展開しています。キャリアサポーターは、各学部の教員やキャリアセンターと連携しながら、学部におけるキャリア教育の推進や国内外のインターンシップの実施など、学部独自のキャリア支援プログラムを開催しています。

2017年度に開催されたプログラム／一例

文学部
「OB・OG座談会」卒業生との交流の場。学科・専修ごとに企画
異文化コミュニケーション学部
「異文化コミュニケーションとキャリアデザイン」学部シンポジウム開催
経済学部
「ENERGIZE」協働して成果を出す力を養成する連続ワークショップ
経営学部
「就活スタート講座」「企業研究講座」
理学部
「理学部生のためのキャリアデザインガイダンス」
社会学部
「社会学部キャリア支援プログラム」卒業生による、各業界についての座談会企画
法学部
「JOBカフェ」各業界で活躍されている方による座談会企画
観光学部
「キャリアセミナー」観光に関わる業界の最新事情の紹介、卒業生との交流
(主催:立教観光クラブ)
コミュニティ福祉学部
「Career Terrace」仕事の魅力や働き方、就職活動の進め方を学ぶ
現代心理学部
「社会人と話すカフェ」社会人からリアルな話を聞く

キャリア・就職支援

■…キャリア支援プログラム

■…就職支援プログラム

☒…体験・交流するプログラム

☒…情報・知識を得るプログラム

1・2 年次

自分自身の生き方・将来について考え行動する時期

3 年次

- 新入生対象学部
ウェルカムアワー
ウェルカムキャンプ
- キャリア・就職相談(常時)
- 個人相談(常時)
- ☒スタディツアー

- ☒公務員ガイダンス
- ☒シゴト研究会 公務員編
- ☒公務員合格者体験談
- ☒教職ガイダンス

- ☒社会を知る講座
社会動向・業界構造編
- ☒社会を知る講座
仕事内容・働き方編
- ☒社会を知る講座
プロジェクトストーリー編
- ☒男女共生支援プログラム

- ☒留学と就職ガイダンス
- ☒エントリーシート入門
- ☒面接入門
- ☒グループディスカッション入門
- ☒立教型インターンシップ



スタディツアー



グループディスカッション入門講座

キャリア支援プログラム(1～4年次対象)

広く将来や働くことについて知り、自分自身の大学生活・人生について考えることを目的としたプログラムです。

■スタディツアー(1・2年次対象)

このプログラムでは、実際に企業を訪問して、職場見学や社員の方々と懇談したり、ビジネスワークを体験する中から、会社や仕事、社会人の思考などについての理解を深めることができます。

2017年度訪問企業

JKホールディングス、花王、マクロミル、キュービー、
オービックビジネスコンサルタント、ディスコ、三井住友銀行、オリックス、
西村あさひ法律事務所、野村不動産、日産自動車、日本政策金融公庫

■立教型インターンシップ

企業や官公庁などで就業体験をするプログラムです。インターンシップの参加は進路を考えるためにはもちろんのこと、就職活動の疑似体験としても有効です。「実際に仕事を体験し、社会人に出会うことで働くことをイメージする」「業界・企業を知ることによって、社会や経済の仕組みを理解する」などの学びと気づきなどが期待できます。自分で実習先を探し、企業に直接応募するケースが一般的ですが、本学には独自の立教型インターンシップがあり、2017年度は夏季休業期間中に1～2週間程度、53社、4自治体、6団体に138名の学生が参加しました。

■社会を知る講座

専門家による社会動向や業界構造の解説に始まり、企業の実務担当者をしてのパネルディスカッション、エネルギーや水ビジネスなどのキーワードから巨大プロジェクトをさまざまな切り口で解説する講義など、社会やビジネスがどのようにして成り立っているのかを学べる支援講座です。

■業界研究セミナー

業界を代表する企業の人事採用担当者を講師としてお招きします。各業界がどのようなビジネスを通じて利益を生み出しているのか、その業界ではどんな仕事ができるのかなど、業界について幅広く理解するきっかけとなるセミナーです。

業界一例

食品、IT・情報通信、銀行、自動車、商社、繊維・ファッション、電機、旅行・ホテル、マスコミ

■学内OB・OG訪問会

多数のOB・OGを招き、学内で訪問会を行います。対話と質疑応答から、仕事内容、働きがいなど、社会に出て働くことへの理解を深めます。

■企業研究講座

社会にある幅広い業界、さまざまな企業の中から自分の行きたい業界や企業を見つけられるよう情報の集め方や読み解き方、また、企業比較のポイントなどについて学びます。

■公務員プログラム

公務員を目指す学生のために、「公務員ガイダンス」をはじめ、「公務員合格者体験談」「シゴト研究会 公務員編」など、公務員試験の特性に応じた内容を展開しています。

■留学と就職ガイダンス

留学する前の学生を対象に、就職活動に際し、留学前にできること、留学中にできること、帰国後に留意することについて、大切なポイントを伝えます。

就職支援プログラム(3・4年次対象)

就職活動に必要なポイントを就職活動の流れに沿って提供しています。

■就職ガイダンス(第1回～第3回)

就職支援プログラムの柱となるプログラムで、「就活前にできることを知る」「今後のスケジュールを知る」「業界・企業研究の目的を理解する」「自分の課題を知って行動する」など、毎回就職活動の主要なテーマを取り上げ、基本的なポイントを伝えます。

■グローバル企業勉強会

総合商社やグローバル企業の総合職を本気で目指す学生のための勉強会です。各社OB・OGとの懇談会や模擬面接会などを実施。参加者は、総合商社をはじめ、業界を問わず多数の企業から内定を得ています。

■学内合同企業説明会

採用情報の公開にあわせて多数の企業の採用担当者をお招きし、学内にいながら企業情報・採用情報を収集できます。参加企業数は約794社(2017年3月卒対象)と多く、知名度や勤務条件だけではなく、自分の価値観に近い企業を発見できます。

■U・Iターン就職支援

卒業後に東京近県以外の地域で就職を希望する学生に対し、U・Iターン就職相談会や個別相談、各都道府県主催の就職支援情報のメール配信等を行っています。また、8つの自治体(札幌市、山形県、福島県、栃木県、長野県、福井県、福岡県、熊本県)と就職支援協定を締結し、各県と連携しながら支援を行っています。

進路・将来に向かって具体的に準備し、行動する時期

4 年次

卒業

●就職活動スタート

●内々定

●内定

●就職

- 〇キャリア・就職ガイダンス
(3年次5月)
- 〇業界研究セミナー
- 〇外国人留学生就職ガイダンス
- 〇しょうがいのある学生対象
就職ガイダンス
- 〇学内OB・OG訪問会
- 〇グローバル企業勉強会
- 〇シゴト研究会
- 〇外国人留学生就職相談会
- 〇U・Iターン就職相談会



グローバル企業勉強会
「内定者による相談会」

- 〇理系向け就職ガイダンス
- 〇理系向け内定者懇談会
- 〇理系向けシゴト研究会
- 〇理系向け合同企業説明会

- 〇就職ガイダンス
(3年次10月～4年次7月)
- 〇エントリーシート対策
- 〇企業研究をはじめよう
- 〇企業研究のポイント
- 〇グループディスカッション体験
- 〇グループディスカッション実践
- 〇面接体験
- 〇面接実践
- 〇学内合同企業説明会
- 〇マスコミ業界セミナー
- 〇マスコミ志願者向け作文添削講座
- 〇OB・OGによる模擬面接会

- キャリア・就職相談(常時)
- 個人相談(常時)
- 〇模擬面接(常時)



就職ガイダンス

内定者メッセージ

就職で大事なのは自分に嘘をつかないこと、
今後は人々と向き合うマーケットに

齋藤 雄太

株式会社博報堂 内定

文学部 文学科 英米文学専修 東京都 上野高等学校

興味のあるマスコミを中心に対策を始めようと思い、3年次9月からは、学内で開かれていた「立教マスコミ講座」に参加。さらに10月からは、翌年2月末まで掛けて、広告業界を中心に約10社のインターンシップに参加しました。その間、立教のキャリアサポートを大いに活用しました。一つは、「グローバル企業勉強会」。グローバル企業内定者から、具体的に説明をして頂けたので、計画的に準備を進めることができました。もう一つが、「グループディスカッション実践講座」です。グループディスカッションは多くの企業が取り入れており、司会・タイムキーパーなど役割が与えられることも多いので何度も利用し、個別に細かくフィードバックを頂けて参考になりました。

就職活動をするうえで「語学力を生かしたい」、「新しいものを作りたい」という軸があり、広告業界で海外に強い企業が良いという結論に至りました。その思いを曲げずに活動をしていき、結果として第一志望の企業から内定を頂くことができました。今後の目標は、世の中の空気を读めるマーケットに成長することです。時代や技術が変わっても、生活者の視点に立った魅力あるサービスを提供していきたいと考えています。



齋藤さんの就職活動 ※採用までのスケジュールは、変更になる場合があります。

3 年次

4 年次

9月	10月	11月	12月	1月	3月	5月	6月上旬	6月中旬
	グローバル企業勉強会 「ライバルに差をつける 行動計画」	企業分析講座 社会を知る講座 シゴト研究会	マスコミ志望者向け 作文添削講座	グループ ディスカッション 実践講座	学内合同 企業説明会	面接実践講座	面接開始	内々定
立教マスコミ講座								
インターンシップ								
グローバル企業内定者による勉強会								

社会で活躍する卒業生たち

メディア、メーカー、商社など、卒業生が活躍している現場は多種多様。
立教大学の学び、教授や仲間とのネットワークを生かし、次のステップで輝いています。

積極的に
海外を渡り歩いて
得た学びが、
仕事の原動力に

江花 松樹

2017年 株式会社フジテレビジョンに就職
コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科 卒業



受験期には、将来の夢や学びたい学問がはっきりと定まっていなかった
ので、全学共通科目や他学部履修など、幅広い学びを通じて好きな分野を
模索できる立教大学を志望しました。入学後は「自分の見たことのないも
のをこの目で見たい」というモチベーションで海外を歴訪し、結果として学
生時代に五大陸31カ国を旅しました。3年次には学部間交換留学制度で
ニュージーランドへ。この留学には厳しい選考基準があり、自分の自信に
もなりました。海外体験では、中東で日本のテレビ番組を、現地の方たち
が目を輝かせて見ていた光景が強く印象に残っています。自分の目で見

た感動を、映像を通じて世界中の人たちと共有する。そんなコンテンツを
自分でも手掛けたいと志し、フジテレビに入社しました。

現在は編成局で視聴率分析などの業務に携わっています。自分の担務が
テレビに映る映像にも影響すると考えると、責任とともにやりがいを感じます。
テレビ業界は大きな変革期を迎えていますが、そのぶん若手にもチャンスが
あり、さまざまな試みができると思っています。将来的にはプロデューサーと
して、海外でも受け入れられる良質なドラマを手掛けたいです。学生時代に
感動した体験を、今度は発信側となって届けるべく邁進する日々です。



やるしかない環境を
用意することで、
自分の可能性を広げていく

鎌田 彩里

2016年 日産自動車株式会社に就職
理学部 化学科 卒業

在学中は化学科での学びのほかに、英語サークル(E.S.S.)の活動に力
を注いでいました。英語はそれほど得意ではありませんでしたが、不自由なく
話せるようになりたいと、英語漬けの環境に4年間身を置き、語学力を磨く
日々でした。就職活動では、学部の特性を熟知した「学部キャリアサポーター」
を頼りに、個別相談を受けていました。立教は学部ごとの就職支援も手厚く、
日産に出会ったのもキャリアセンターが実施する理学部向けの企業説明会
です。いくつかの業界を検討中でしたが、立教出身のリクルーターから説明
を聞くうちに自動車業界に興味湧き、本気で志望するようになりました。

現在は、自動車のシートを設計する部署で働いています。人命にかか
わるものなので、安全性には徹底してこだわっています。シートの部品や
機能をフランスのルノー社と共有化する取り組みも行っており、ルノーの
社員と英語で会議をする際は、立教で培った語学力や知識が生かされて
いると感じます。法規や文化の異なる国と協働するのは苦労もありますが、
互いの良さを生かした時の達成感など、この環境に身を投じたからこそ
得られる喜びがあります。学生時代に英語に取り組んだように、やるしか
ない環境に飛び込むことで、国をまたいで活躍できるようになりたいです。

卒業生とのネットワーク

■ Rikkyo Career Link

Facebookアプリを活用した「Rikkyo Career Link」は、キャリアをテーマに立教生がOB・OGとの交流を図る立教独自のネットワークです。仕事内容や働きがいなど、社会に出て働くことへの理解を深めることが期待されます。

■ 卒業生名簿検索PC

キャリアセンターにある専用パソコンから、卒業生の就職情報や連絡先を知ることができます。業種や企業名で検索できるのでOB・OG訪問の際に役立ち、直接話を聞く機会を得ることができます。

■ グローバル企業勉強会

詳しくは、P.152

■ 学内OB・OG訪問会

詳しくは、P.152



海運を通じて、
世界中の人や
国とつながる

加藤 友理

2014年 日本郵船株式会社に就職
異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科 卒業

立教は学びの選択肢が豊富で、学びたいことを学べる環境が整っています。私は学生時代、英語やスペイン語など語学の修得に加え、f-Campusを利用して早稲田大学の文化人類学の講義を受講したり、学部の海外プログラムでワシントン大学に留学するなど貪欲に学びを追求しました。学生生活で得た「あなたの常識は世界の常識ではない」という考え方は、今の仕事にも生きる土台となっています。海外とかかわる仕事がしたいと考え就職活動を進めていた中、学部向けのグローバル企業説明会で、それまでなじみの薄かった海運業という業種や、業界最大手である日本郵船の「世界を舞台に

グローバルなスタッフ達と協働して、貨物を安全確実に輸送する」という仕事内容を知り、「ここで自分の能力を発揮したい」と強く思い入社を決めました。

現在は中国や欧州エリアに鉄鉱石や石炭を運ぶ船の運航オペレーターを担当しています。世界中の人々と仕事をするのが当たり前の環境で、世界情勢やその土地の文化・慣習を考慮しながら業務を進める大変さがありますが、同時にやりがいもあります。今後はさらに仕事の幅を広げ、運航以外の業務や海外オフィスに勤務することなども視野に入れて経験を積む毎日です。

考え抜き、
自らの足で稼ぐ日々、
ロジックとパッションの
大切さを知る

水野 毅

2013年 三菱商事株式会社に就職
経営学部 国際経営学科 卒業



起業や経営学への興味を軸に大学選びをし、BLPなど先進的なカリキュラムが魅力で立教大学に入学しました。在学中は「ランチバック®」の立教オリジナル味の企画開発や、テーマパーク事業を展開する企業と連携した新規ビジネス提案など、さまざまな体験をしました。就職活動を始めてからは志望する企業を迷っていた時期もありましたが、そんな時、立教大学卒業生のネットワークは有意義でした。学生から見ると、業務内容がわかりにくい業界もありましたので、第一線で働くOBから話を聞いて具体的なイメージが湧いたことを覚えています。立教大学のビジネスプログラムを

通じて企画を立て実行する楽しさを体感していたので、最終的に、手と足を動かせる商社が自分に合っていると思うに至り、三菱商事に入社しました。

現在は、ごまの輸入業務をしています。三菱商事は日本のマーケットで高いシェアを占めており、担当商品を売場で見かけると嬉しさがこみあげます。アフリカや南米への出張が多く、1日以上かけて車で栽培地まで移動するなど、まさにタフさが求められます。また、お客様によっては価格のロジックだけでは交渉が成立しないこともあり、人間関係の構築が大切です。気持ちの面でのタフさも要求されるビジネスの奥深さを感じながら、奮闘する日々です。

学部業種別就職状況 2017年3月卒業生実績



主な就職先一覧

農業・林業・水産・鉱業・建設

極洋／ニチレイフレッシュ／国際石油開発帝石／日鉄鉱業／清水建設／大成建設／大林組／竹中工務店／日揮／新日鉄住金エンジニアリング／住友電設／三機工業／LIXIL／関電工／きんでん／高砂熱学工業／長谷工コーポレーション／積水ハウス／住友林業／三井ホーム 等

製造

日産自動車／本田技研工業／三菱自動車工業／川崎重工業／SUBARU／ヤマハ発動機／豊田自動織機／デンソー／トヨタ車体／カルソニックカンセイ／ジャトコ／KYB／日立製作所／三菱電機／富士電機／ソニー／パナソニック／キヤノン／富士通／日本電気／京セラ／オムロン／沖電気工業／アルプス電気／セイコーエプソン／TDK／キーエンス／東京エレクトロン／SMK／スタンレー電気／小糸製作所／マプチモーター／オリエンタルモーター／日本アイ・ピー・エム／日本ヒューレット・パッカード／日本航空電子工業／ヒロセ電機／栗田工業／日本精工／三菱重工業機械システム／住友重機械工業／NTN／富士ゼロックス／サトーホールディングス／カシオ計算機／セガ／CKD／オリンパス／島津製作所／トプコン／タムロン／キリン／サントリーホールディングス／アサヒビール／サッポロビール／キユーピー／ミツカングループ本社／ハウス食品／ロッテ／日本ハム／雪印メグミルク／日清オイリオグループ／J-オイルミルズ／日清製粉グループ本社／日本製粉／森永製菓／日本たばこ産業／数島製パン／資生堂／花王／ライオン／コーセー／カネボウ化粧品／武田薬品工業／アステラス製薬／第一三共／大日本住友製薬／田辺三菱製薬／大塚製薬／Meiji Seika ファルマ／塩野義製薬／ノバルティスファーマ／ユニ・チャーム／ジョンソン・エンド・ジョンソン／三菱ケミカルホールディングス／旭化成／富士フィルム／日本ペイントホールディングス／昭和電工／JNC／カネカ／高砂香料工業／JXTGエネルギー／積水化学工業／新日鉄住金／神戸製鋼所／古河電気工業／日立金属／住友金属鉱山／伊藤忠丸紅鉄鋼／ブリヂストン／横浜ゴム／TOTO／日本碍子／住友大阪セメント／東レ／帝人／日清紡ホールディングス／コクヨ／岡村製作所／バラウントベッド／クリナップ／大王製紙／レンゴー／リンテック／アイシン精機／東洋製罐／日本発条／パナダイ／パイロットコーポレーション 等

卸・小売

三菱商事／三井物産／伊藤忠商事／住友商事／丸紅／豊田通商／JFE商事／日鉄住金物産／阪和興業／メタルワン／三井物産スチール／伊藤忠メタルズ／三菱食品／日本アクセス／伊藤忠食品／日本水産／岩谷産業／稲畑産業／第一実業／キャノンメディカルシステムズ／日立ハイテク／ロジーズ／マクニカ／矢崎総業／日本紙パルプ商事／ユアサ商事／日本出版販売／JALUX／全日空商事／美津濃／デサント／リコージャパン／花王カスタマーマーケティング／富士通マーケティング／YKKAP／大塚商会／三越伊勢丹／高島屋／そごう・西武／丸井グループ／ユニクロ／イオンテール／セブン-イレブン／ジャパン／日本生活協同組合連合会／ニトリ／ビームス／LVMH モエ ヘネシー・レイ・ヴィトン・ジャパン 等

金融・保険

日本銀行／日本政策投資銀行／農林中央金庫／日本政策金融公庫／日本取引所グループ／三菱UFJ銀行／三井住友銀行／みずほフィナンシャルグループ／りそなグループ／ゆうちょ銀行／三菱UFJ信託銀行／三井住友信託銀行／日本マスタートラスト信託銀行／日本トラスティ・サービス信託銀行／資産管理サービス信託銀行／横浜銀行／千葉銀行／常陽銀行／群馬銀行／静岡銀行／山梨中央銀行／北海道銀行／七十七銀行／第四銀行／北陸銀行／広島銀行／伊予銀行／福岡銀行／琉球銀行／野村證券／大和証券／SMBC日興証券／みずほ証券／東京海上日動火災保険／三井住友海上火災保険／損害保険ジャパン日本興亜／あいおいニッセイ同和損害保険／日本生命保険／明治安田生命保険／第一生命保険／住友生命保険／かんば生命保険／信金中央金庫／商工組合中央金庫／城南信用金庫／城北信用金庫／横浜信用金庫／埼玉信用金庫／全国労働者共済生活協同組合連合会／ジェシービー／三菱UFJニコス／三井住友カード／クレディセゾン／オリエントコーポレーション／三井住友ファイナンス&リース／三菱UFJリース／NTTファイナンス／興銀リース 等

運輸・通信

東日本旅客鉄道／西日本旅客鉄道／九州旅客鉄道／東京地下鉄／東京急行電鉄／西武鉄道／小田急電鉄／京王電鉄／京成電鉄／富士急行／東日本高速道路／中日本高速道路／西日本鉄道／日本航空／全日本空輸／日本貨物航空／スイスインターナショナル エアラインズ／ジャルセールス／ANAセールス／JALスカイ／ANAエアポートサービス／成田国際空港／東日本電信電話／西日本電信電話／KDDI／NTTドコモ／ソフトバンク／NTTコミュニケーションズ／ジュビターテレコム／日本郵便／日本通運／ヤマト運輸／郵船ロジスティクス／近鉄エクスプレス／阪急阪神エクスプレス／日立物流／ディー・エイチ・エル・ジャパン／三菱倉庫／住友倉庫 等

不動産・電気・ガス

野村不動産／森ビル／東急不動産／ヒューリック／エヌ・ティ・ティ都市開発／三井不動産レジデンシャル／三菱地所レジデンス／東京建物／伊藤忠都市開発／新日鉄興和不動産／イオンモール／バルコ／ルミネ／ANAファシリティーズ／東京瓦斯／京葉瓦斯／北海道瓦斯／四国電力／ENEOSグループ 等

放送・広告・新聞・出版

日本放送協会／フジテレビジョン／TBSテレビ／北海道テレビ放送／静岡第一テレビ／中京テレビ放送／テレビ信州／関西テレビ放送／中国放送／テレビ西日本／電通／博報堂／アサツーディ・ケイ／東急エージェンシー／大広／読売広告社／サイバー・コミュニケーションズ／朝日新聞社／読売新聞東京本社／毎日新聞社／報知新聞社／西日本新聞社／信濃毎日新聞／講談社／小学館／リクルートホールディングス／JTBパブリッシング／松竹／東映／イマジカ・ロボットホールディングス／東北新社／AOI Pro.／アミューズ／バンダイビジュアル／大日本印刷／凸版印刷／共同印刷／トッパン・フォームズ 等

情報

日本マイクロソフト／ヤフー／楽天／LINE／リクルートライフスタイル／サイバーエージェント／ぐるなび／QUICK／日本総合研究所／エヌ・ティ・ティ・データ／SCSK／日立システムズ／日立ソリューションズ／NECネットエスアイ／富士通エフ・アイ・ピー／伊藤忠テクノソリューションズ／TIS／新日鉄住金ソリューションズ／三菱UFJインフォメーションテクノロジ／京セラコミュニケーションシステム／東京海上日動システムズ／JALインフォテック／鉄道情報システム／ジェイアール東日本情報システム／トレンドマイクロ／オービックビジネスコンサルタント／ワークスアプリケーションズ／マクロミル／インテージ／帝国データバンク／ビデオリサーチ／Sky 等

サービス

アクセントチュア／アビームコンサルティング／PwCコンサルティング／デロイトトーマツ コンサルティング／新日本有限責任監査法人／有限責任監査法人トーマツ／有限責任あずさ監査法人／PwCあらた監査法人／大和総研グループ／みずほ総合研究所／矢野経済研究所／西村あさひ法律事務所／森・濱田松本法律事務所／長島・大野・常松法律事務所／JTBコーポレートセールス／JTBワールドパッケージ／ジェイティービービジネスストラベルソリューションズ／JTBグローバルマーケティング&トラベル／阪急交通社／クラブツーリズム／ジェイアール東海ツアーズ／オリエンタルランド／東京ドーム／帝国ホテル／ニューオータニ／ホテルオークラ東京／星リゾート／リクルートキャリア／リクルートマネジメントソリューションズ／電通デジタル／パソナ／ナムコ／小学館集英社プロダクション／日本赤十字社／IMSグループ／上尾中央医科グループ／筑波大学附属病院／済生会横浜市東部病院／八王子市社会福祉協議会／水戸市社会福祉協議会／ベネッセスタイルケア／日本貿易振興機構／国際観光振興機構／鉄道建設・運輸施設整備支援機構／都市再生機構／国際交流基金／日本年金機構／日本証券業協会／全国銀行協会／全国健康保険協会／日本中央競馬会／日本自動車連盟／日本弁護士連合会 等

教育

東京都教員／神奈川県教員／埼玉県教員／千葉県教員／茨城県教員／北海道教員／山口県教員／横浜市教員／東京大学／東京医科歯科大学／中央大学／青山学院／東京理科大学／学習院／北里研究所／聖マリアンナ医科大学／立教学院／青山学院横浜英和中学高等学校／九州学院中学高等学校／創志学園／郁文館夢学園／帝京中学校・高等学校／ベネッセコーポレーション／河合塾／四谷大塚／ヤマハ音楽振興会 等

公務員

国家公務員総合職／国家公務員一般職／国税専門官／財務専門官／労働基準監督官／法務省専門職員／裁判所事務官一般職／東京都庁／各道府県庁／東京都特別区／各市・町・村役所／警視庁／各県警察本部 等

入試案内

入学試験制度一覧	P.159
2019年度入試日程	P.160
入試Q&A / 入試概要	P.162
2018年度入試結果	P.187

立教大学 入学者受入れの方針

立教大学は、「立教大学の使命」「教育の理念」「教育の目的」に賛同し、正課教育および正課外教育において積極的に学ぶ意志があり、学士課程を4年間で修了するために必要な資質・能力を有する学生を求めています。多様な学生を迎え、互いの学び合いを促すことをめざして、一般入試（個別学部・全学部）、大学入試センター試験利用入試、指定校推薦入学、関係校推薦入学、自由選抜入試、国際コース選抜入試、アスリート選抜入試、帰国生入試、外国人留学生入試、社会人入試といった様々な入試種別を用意しています。

立教大学の使命 キリスト教に基づいて人格を陶冶し、文化の進展に寄与する。

教育の理念 大学の学士課程においては、建学の精神である「Pro Deo et Patria（神と国のために）」に基づき、「普遍的なる真理を探究し（Pro Deo）」、「私たちの世界、社会、隣人のために（Pro Patria）」働くことのできる「専門性に立つ教養人」を育成する。

教育の目的 「専門性に立つ教養人」を育成するために、以下のような4つの目的を掲げ、これらを統合した教育を実践する。

知識

専攻する学問領域の「知」の体系を批判的な検証をふまえたうえで理解し、専攻分野以外の学問領域に関して幅広い知識を習得することが可能な教育。

技能

「知」を検証・獲得・活用するために必要な具体的なスキルを習得することが可能な教育。とくに、学習および生活の場面において、ICTツール、日本語を含めた3つの言語なども使い、調べ、考え、まとめ、発表し、議論することができるようになるための教育。

態度

地球および地域社会の一市民として、高い公共性と倫理性を持ち、異なる文化・ジェンダー・しょうがい等に対して自らに内在している偏見に気づいて修正しつつ、異なる価値観を持った人々と協働してプロジェクトを遂行できるようになる教育。

体験

インターンシップ、キャリア教育、ボランティア活動、クラブ・サークル活動、正課外教育プログラム、といった様々な学習体験・社会体験ができる学習機会の提供。

各学部の入学者受入れの方針は、www.rikkyo.ac.jp/about/disclosure/educational_policy/ をご覧ください。

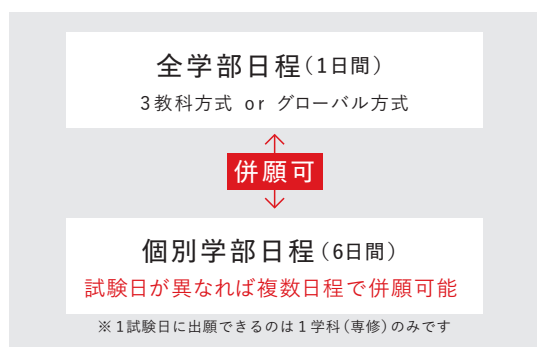
入学試験制度一覧

一般入試

▶ P.163

全学部

本学のキャンパスにおいて独自試験を課す入試です。全ての学部学科から1つの学科(専修)を選んで出願する「全学部日程」、学科ごとに試験日が異なる「個別学部日程」があります。試験日が異なれば併願をすることができます。

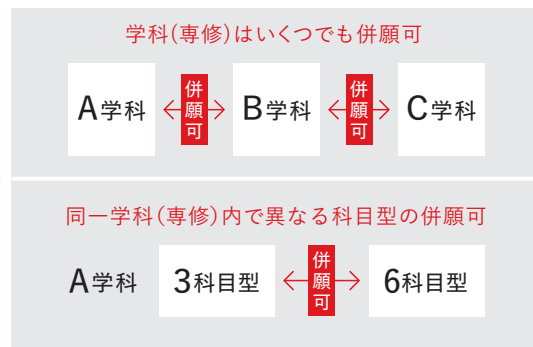


大学入試センター試験利用入試

▶ P.166

全学部

大学入試センター試験の成績で合否判定する入試です。本学独自の試験は課しません。全ての学部学科(専修)、科目型を併願することができます。指定科目数以上の科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。



※「英語外部試験利用制度」を利用できます。

特別入試

自由選抜入試

▶ P.172

全学部(社会学部を除く)

志望する学部に関連した高い能力をもつ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性をもつ者で、本学ならびに各学部の教育目的を理解し、そこで学びたいという熱意のある学生を受け入れることを目的とした入試です。

国際コース選抜入試

▶ P.181

異文化コミュニケーション学部・社会学部・GLAP

グローバル社会に貢献できる人材を育成するコースや、英語のみで卒業要件単位を修得できるコース等での学修を希望する者を選抜する入試です。

アスリート選抜入試

▶ P.184

全学部

スポーツ競技の実績が優秀であるだけでなく、人格的にも優れ学業に対する高い意欲をもつ者を選抜する入試です。

帰国生入試

▶ P.185

経営学部

外国において、外国の学校教育のもとで学び得た、能力や個性をさらに豊かに開花させたいと考える、帰国生のための入試です。

外国人留学生入試

▶ P.185

全学部

国際交流の一環として、交換留学制度とは別に、本学での教育を希望する外国人留学生のための入試です。

指定校推薦入学

▶ P.186

全学部・GLAP

社会人入試

▶ P.186

コミュニティ福祉学部・現代心理学部

3年次編入学試験

▶ P.186

文学部・法学部・コミュニティ福祉学部

2019年度入試の主な変更点

- GTEC4技能検定版* および TEAP CBT のスコアを利用できるようになります(一部の入試種別・学部を除く)。*検定実施を指します。
- 特別入試の出願資格に定める英語条項を証明する書類に有効期限を設定します。

- その他、以下の入試種別で変更があります。
【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】【自由選抜入試】
【国際コース選抜入試】【帰国生入試】【外国人留学生入試】
【指定校推薦入学】【社会人入試】

詳細は、本学 Web サイト メニュー>入試情報>学部入試の情報>入試の主な変更点 をご覧ください。

2019年度入試日程

詳細は必ず入試要項で確認してください。

※出願書類の送付は、日本国内から出願する場合は締切日消印有効、日本国外から出願する場合は締切日必着です。

一般入試

全学部日程 ▶ P.163-164

個別学部日程 ▶ P.165

	全学部日程		個別学部日程				
	全学部 (3教科方式・ グローバル方式 とも共通)	[異文化コミュニケーション学部] [経済学部] 経済政策学科 [法学部]	[理学部]	[文学部]	[経営学部] [観光学部] 交流文化学科 [コミュニティ福祉学部] コミュニティ政策学科 [現代心理学部] 心理学科	[経済学部] 経済学科 会計ファイナンス学科 [観光学部] 観光学科 [コミュニティ福祉学部] スポーツウェルネス学科	[社会学部] [コミュニティ福祉学部] 福祉学科 [現代心理学部] 映像身体学科
出願期間	<div>Web出願</div> 2019年1月7日(月)～1月24日(木) 書類送付締切日: 1月24日(木)						
試験日	2月6日(水)	2月8日(金)	2月9日(土)	2月11日(月)	2月12日(火)	2月13日(水)	2月14日(木)
第1回合格者発表日	2月20日(水)	2月21日(木)			2月22日(金)		
第1次入学手続締切日 (第1回合格者)	2月27日(水)	2月28日(木)			3月1日(金)		
第2次入学手続締切日 (第1回合格者)	3月13日(水)						
第2回合格者発表日		3月8日(金)			3月9日(土)		
入学手続締切日 (第2回合格者)		3月13日(水)					
第3回合格者発表日		3月15日(金)					
入学手続締切日 (第3回合格者)		3月22日(金)					
第4回合格者発表日		3月26日(火)					
入学手続締切日 (第4回合格者)		3月28日(木)					

入学手続について

第1回合格者……………第1次入学手続：第1次入学手続締切日までに「入学申込金」を納入し、「入学手続書類」を本学に提出して完了します。

第2次入学手続：第2次入学手続締切日までに「学費その他の納入金」を納入して完了します。

第2～4回合格者*…………入学手続締切日までに「入学金を含む学費その他の納入金」を納入し、「入学手続書類」を本学に提出して完了します。

*個別学部日程の第2回、第3回および第4回合格者発表は、入学手続者の欠員を補うもので、必ずしも合格者を発表するとは限りません。

大学入試センター試験利用入試

▶ P.166-171

	全学部
出願期間	<div>Web出願</div> 2019年1月7日(月)～1月18日(金) 書類送付締切日：1月18日(金)
合格者発表日	2月19日(火)
第1次入学手続締切日	2月27日(水)
第2次入学手続締切日	3月13日(水)

※本学独自の個別学力試験は課しません。

【一般入試および大学入試センター試験利用入試について】

- 入試要項について……………11月上旬よりWebサイトにダウンロードしてください(無料)。
- 出願について……………Web出願となります。受験票は郵送しません。
- 合否判定について……………1.高等学校の調査書は合否判定には用いられません。出願資格を確認したあと、入学後の成績調査等に活用します。
2.総点(各科目の得点の合計)によって合否を判定します*。
3.一般入試の選択受験科目は偏差値式を用いるため、受験科目による有利・不利はありません。

*科目ごとの基準点は設けていません。ただし、英語資格・検定試験を活用した制度では、英語技能ごとの最低スコアが設定されているものがあります。

特別入試

自由選抜入試

▶ P.172-180

	全学部（社会学部*1を除く）
出願期間	[Web出願] 2018年9月25日（火）～10月1日（月） 書類送付締切日:10月3日（水）
第1次選考（書類選考） 合格者発表日	10月29日（月）*2
第2次選考日	11月17日（土）・11月18日（日）*3
合格者発表日	12月3日（月）
第1次入学手続締切日	12月11日（火）
第2次入学手続期間	2019年1月29日（火）～2月7日（木）

*1. 社会学部は募集しません。
*2. 文学部の選考は、筆記試験・面接試験のみで実施します。書類選考は実施しません。
*3. 異文化コミュニケーション学部〈方式B〉のみ11月18日（日）に実施します。

帰国生入試

▶ P.185

	経営学部
出願期間	[Web出願] 2018年9月25日（火）～10月10日（水） 書類送付締切日:10月15日（月）
選考日	11月17日（土）・11月18日（日）*
合格者発表日	12月3日（月）
第1次入学手続締切日	12月11日（火）
第2次入学手続期間	2019年1月29日（火）～2月7日（木）

*筆記試験の成績により面接試験対象者を選考し、11月18日（日）に面接試験を行います。

国際コース選抜入試

▶ P.181-183

	異文化コミュニケーション学部・社会学部・ GLAP（秋季実施）
出願期間	[Web出願] 2018年9月25日（火）～10月1日（月） 書類送付締切日:10月3日（水）
第1次選考（書類選考） 合格者発表日	10月29日（月）
第2次選考日	社会学部:11月17日（土） 異文化コミュニケーション学部・GLAP:11月18日（日）
合格者発表日	12月3日（月）*
第1次入学手続締切日	12月11日（火）
第2次入学手続期間	2019年1月29日（火）～2月7日（木）

	GLAP（春季実施）
出願期間	[Web出願] 2019年1月7日（月）～1月11日（金） 書類送付締切日:1月16日（水）
第1次選考（書類選考） 合格者発表日	2月1日（金）
第2次選考日	2月22日（金）
合格者発表日	3月8日（金）
入学手続期間	3月8日（金）～3月13日（水）

*GLAP（秋季実施）は、入学手続状況により第2回合格者発表を行う場合があります。

外国人留学生入試（筆記試験および面接による募集制度）

▶ P.185

	異文化コミュニケーション学部・ コミュニティ福祉学部
出願期間	[Web出願] 2018年9月25日（火）～10月10日（水） 書類送付締切日:10月15日（月）
選考日	11月17日（土）
合格者発表日	12月3日（月）
入学手続期間	2019年1月29日（火）～2月7日（木）

外国人留学生入試（書類選考による募集制度）

▶ P.186

	全学部
出願期間	[Web出願] 2018年11月1日（木）～11月16日（金） 書類送付締切日:11月21日（水）
合格者発表日	2019年1月28日（月）
入学手続期間	2019年1月29日（火）～2月7日（木）

アスリート選抜入試

▶ P.184

	全学部
出願期間	2018年8月20日（月）～23日（木）
第1次選考（書類選考） 合格者発表日	9月6日（木）
第2次選考日	9月14日（金）
合格者発表日	9月25日（火）
第1次入学手続締切日	10月3日（水）
第2次入学手続期間	2019年1月29日（火）～2月7日（木）

社会人入試

▶ P.186

	コミュニティ福祉学部・現代心理学部
出願期間	[Web出願] 2018年9月25日（火）～10月10日（水） 書類送付締切日:10月15日（月）
選考日	11月17日（土）
合格者発表日	12月3日（月）
第1次入学手続締切日	12月11日（火）
第2次入学手続期間	2019年1月29日（火）～2月7日（木）

【特別入試について】

- 入試要項について……………アスリート選抜入試は6月上旬、その他の特別入試は秋季実施のものは7月上旬、春季実施のものは11月上旬よりWebサイトにダウンロードしてください（無料）。
- 出願について……………アスリート選抜入試以外はWeb出願となります。Web出願では受験票は郵送しません。

入試 Q & A

Q. 一般入試や大学入試センター試験利用入試で、英語外部試験の成績を使えますか？

A. 全ての学部で英語資格・検定試験を活用した制度を導入しています。
 なお、一般入試と大学入試センター試験利用入試では、活用方法が異なります。

一般入試 全学部日程〈グローバル方式〉

「外国語(英語)」の試験が免除されます

英語資格・検定試験のスコア・級

スコア・級提出で
英語免除

(例)
英語
世界史
国語

英語以外の2教科の試験成績で合否判定

- 全学部日程〈グローバル方式〉で利用できます。
- 学部・学科ごとに指定された英語資格・検定試験の合格級およびスコア基準を満たすことにより、本学独自の「外国語(英語)」試験が免除されます。試験日に受験する英語以外の2教科の成績で合否判定を行います。
- 合格級およびスコアの点数は合否には影響しません。
- 3教科方式とは別に募集人員を設けています。

※合格級およびスコア基準についてはP.164を確認してください。

大学入試センター試験利用入試

「外国語(英語)」の得点に換算されます

英語資格・検定試験の換算得点

大学入試センター試験の英語得点

点数の高いほうを合否判定に使用

- 外国語教科で『英語』を選択する場合のみ、「英語外部試験利用制度」を利用できます。
- 英語資格・検定試験のスコアに応じて、本学が定めた換算表に基づいて1点単位で換算得点を付与し、「大学入試センター試験の英語得点」と「英語資格・検定試験の換算得点」のどちらか点数の高いほうを合否判定に使用します。

※スコア基準についてはP.166を確認してください。

Q. 大学入試センター試験利用入試では、何科目必要ですか？

A. 3科目型、4科目型、6科目型があり、学科・専修によって必要科目数や科目の選択方法が異なります。
 2019年度入試より、国公立大学と併願しやすい「6科目型」を全学部で導入*します。 *文学部文学科ドイツ文学専修を除く

3科目で受験できる学部	4科目で受験できる学部・学科(専修)	6科目で受験できる学部
理学部を除く9学部	文学部文学科ドイツ文学専修 理学部	全学部 (文学部文学科ドイツ文学専修を除く)

※必要科目および必要科目数についてはP.166～を確認してください。

Q. 異文化コミュニケーション学部の自由選抜入試に新たに導入される〈方式B〉とは何ですか？

A. 5年間で大学院修士までの学位を取得できる「5年一貫プログラム」志望者を選抜する方式です。
 本プログラムには4つのコースがあり、コースによって出願資格が異なります。

5年一貫プログラムにおける4つのコース	
■プロの通訳者、翻訳者を目指す「通訳翻訳専門コース」	■国内外の高等教育機関の日本語教員を目指す「日本語教育専門コース」
■中学、高校の英語教員を目指す「英語教育専門コース」	■国際協力NGO、国際機関などの職員を目指す「国際協力専門コース」

Q. 入試要項や願書の取り寄せは必要ですか？

A. 本学では紙の願書や入試要項はありません。入試要項は、Webサイトからダウンロードしてください。
 出願は、アスリート選抜入試以外の全ての入試でWeb出願となります。

Web出願のフロー



全学部日程

- ・グローバル方式は「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を評価する英語資格・検定試験を活用します。
本学独自の英語の試験はなく、英語以外の2教科の筆記試験により合否判定を行います。出願には本学の定める英語資格・検定試験を受験し、所定のスコア・級を取得する必要があります。
- ・3教科方式とグローバル方式の入試問題は、共通の問題を使用します。
- ・個別学部日程と併願をすることはできませんが、全学部日程の各方式内および各方式間で複数学部学科（文学科は専修単位）の併願をすることはできません。
- ・理学部入学後の授業は、化学科および生命理学科においても「数学Ⅲ」の履修を前提として行います。

3教科方式(募集人員・試験科目・試験時間・配点)

学部	学科・専修	募集人員(約)	試験科目		試験時間	配点
文学部	キリスト教学科	5名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	文学科	20名	地理歴史	日本史B、世界史Bのうちから1科目選択	60分	100
	・英米文学専修	8名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	・ドイツ文学専修	6名				
	・フランス文学専修	16名				
異文化コミュニケーション学部	・日本文学専修	13名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	・文芸・思想専修	20名				
	史学科	10名				
	教育学科	5名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	異文化コミュニケーション学科	5名	地理歴史	日本史B、世界史Bのうちから1科目選択	60分	100
経済学部	経済学科	40名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	経済政策学科	20名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150
	会計ファイナンス学科	20名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	100
経営学部	経営学科	20名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	国際経営学科	15名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	100
			地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	100
理学部	数学科	7名	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	75分	150
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	100
	物理学科	7名	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	75分	150
			理科	物理(物理基礎、物理)	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	100
	化学科	5名	理科	化学(化学基礎、化学)	75分	150
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	100
	生命理学科	7名	理科	化学(化学基礎、化学)、生物(生物基礎、生物)のうちから1科目選択	75分	150
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	100
社会学部	社会学科	17名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	100
	現代文化学科	17名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	メディア社会学科	17名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
			地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
法学部	法学科	35名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	国際ビジネス法学科	10名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	政治学科	10名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
観光学部	観光学科	15名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	交流文化学科	10名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
			地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
福祉学部	コミュニティ政策学科	20名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	福祉学科	20名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	スポーツウエルネス学科	10名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150
			地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
現代心理学部	心理学科	17名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
	映像身体学科	23名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150
			地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150

一般入試

全学部日程

グローバル方式(募集人員・試験科目・試験時間・配点)

【英語資格・検定試験の条件について】

活用する英語資格・検定試験とスコア

学部・学科	技能別基準点	英検	GTEC 4技能検定版	GTEC CBT	IELTS	TEAP (R/L+W+S)	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R+S&W
異文化コミュニケーション学部 経営学部 国際経営学科	なし	準1級以上* ¹	1,190点以上	1,160点以上	5.5以上	334点以上	600点以上	72点以上	合計1,095点以上 (Pテスト不可)
経営学部 経営学科 現代心理学部	なし	・2級(英語4技能に限る)* ² ・準1級以上* ¹	960点以上	880点以上	4.0以上	226点以上	420点以上	42点以上	合計790点以上 (Pテスト不可)
上記以外の学部	あり (下表)	・2級(英語4技能に限る)* ² ・準1級以上* ¹	960点以上	880点以上	4.0以上	226点以上	420点以上	42点以上	合計790点以上 (Pテスト不可)

各技能の最低スコア(文学部、経済学部、理学部、社会学部、法学部、観光学部、コミュニティ福祉学部のみ)

	Reading	Listening	Writing	Speaking
英検(CSE2.0)	473	497	448	372
GTEC4技能検定版	215	215	215	215
GTEC CBT	186	186	186	186
IELTS	3.5	3.5	3.0	3.0
TEAP (R/L+W+S)	50	50	50	50
TEAP CBT	77	85	60	63
TOEFL iBT	8	7	7	7
TOEIC L&R+S&W	250	250	100	100

▶出願時点で取得資格証明書の原本が必要です。

▶英語資格・検定試験のスコアおよび合格級は出願資格としてのみ使用します。スコアおよび合格級は合否には影響しません。また、英語資格・検定試験の種別による有利・不利はありません。

▶異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。

▶2017年2月1日以降に受験し取得したスコア・級が有効となります。

*1. 2016年1月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。

*2. 2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。

学部	学科・専修	募集人員(約)	試験科目		試験時間	配点
文学部	キリスト教学科 文学科	2名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	◆英米文学専修	3名				
	◆ドイツ文学専修	3名				
	◆フランス文学専修	3名				
	◆日本文学専修	3名	地理歴史	日本史B、世界史Bのうちから1科目選択	60分	100
	◆文芸・思想専修	2名				
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	10名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
			地理歴史	日本史B、世界史Bのうちから1科目選択	60分	100
経済学部	経済学科	10名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150
	経済政策学科	6名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	会計ファイナンス学科	6名				
経営学部	経営学科	33名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	100
	国際経営学科	30名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
理学部	数学科	*	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	75分	150
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	60分	100
	物理学科	*	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	75分	150
			理科	物理(物理基礎、物理)	60分	100
	化学科	*	理科	化学(化学基礎、化学)	75分	150
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	60分	100
生命理学科		*	理科	化学(化学基礎、化学)、生物(生物基礎、生物)のうちから1科目選択	75分	150
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	60分	100
社会学部	社会学科	5名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	100
	現代文化学科	5名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	メディア社会学科	5名				
法学部	法学科	3名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	国際ビジネス法学科	6名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	政治学科	3名				
観光学部	観光学科	5名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	交流文化学科	5名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
コミュニティ福祉学部	コミュニティ政策学科	3名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
	福祉学科	3名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	スポーツウエルネス学科	3名				
現代心理学部	心理学科	3名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150
	映像身体学科	3名	地理歴史、公民、数学	日本史B、世界史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100

*理学部は学部で5名の募集となります。

個別学部日程(募集人員・試験科目・試験時間・配点)

- 全学部日程(3教科方式またはグローバル方式)と併願することができます。
- 個別学部日程内でも、試験日が異なれば複数学部学科を併願することができます。ただし、1 試験日に出願できるのは1 学科(専修)のみです。

学部	学科・専修	募集人員(約)	試験科目		試験時間	配点
文学部	キリスト教学科	22名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	文学科	62名	地理歴史	日本史B、世界史Bのうちから1科目選択	60分	100 (史学科のみ200)
	•英米文学専修	36名				
	•ドイツ文学専修	36名	国語	国語総合、現代文B、古典B	75分	200
	•フランス文学専修	52名				
	•日本文学専修	42名				
異文化コミュニケーション学部	史学科	71名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	教育学科	50名				
	異文化コミュニケーション学科	60名				
経済学部	経済学科	134名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
	経済政策学科	69名	地理歴史、数学	日本史B、世界史B、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	会計ファイナンス学科	69名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150
経営学部	経営学科	80名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
	国際経営学科	38名	地理歴史、数学	日本史B、世界史B、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	100
理学部	数学科	35名	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	90分	150
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	60分	100
			理科	物理(物理基礎、物理)、化学(化学基礎、化学)、生物(生物基礎、生物)のうちから1科目選択	75分	100
	物理学科	38名	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	75分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	60分	100
			理科	物理(物理基礎、物理)	90分	150
	化学科	42名	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	75分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	60分	100
			理科	化学(化学基礎、化学)	90分	150
	生命理学科	40名	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	75分	100
			外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	60分	100
			理科	物理(物理基礎、物理)、化学(化学基礎、化学)、生物(生物基礎、生物)のうちから1科目選択	90分	150
社会学部	社会学科	80名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
	現代文化学科	80名	地理歴史、数学	日本史B、世界史B、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	メディア社会学科	80名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	100
法学部	法学科	145名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	国際ビジネス法学科	45名	地理歴史、数学	日本史B、世界史B、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	政治学科	45名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
観光学部	観光学科	103名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	交流文化学科	87名	地理歴史、数学	日本史B、世界史B、地理B、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
福祉学部	コミュニティ政策学科	68名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	200
	福祉学科	63名	地理歴史、数学	日本史B、世界史B、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
	スポーツウエルネス学科	36名	国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	200
現代心理学部	心理学科	43名	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	75分	150
	映像身体学科	56名	地理歴史、数学	日本史B、世界史B、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列、ベクトル])のうちから1科目選択	60分	100
			国語	国語総合(漢文を除く)、現代文B、古典B(漢文を除く)	75分	150

- 大学入試センター試験利用入試の受験番号は、Web出願システムより通知します。
- 指定科目数以上の科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。
- 『英語』リスニング試験の得点を全学部学科(専修)で利用します。ただし、『英語』リスニング受験者の得点は250点満点を0.8倍し、外国語他科目と同じ200点満点に得点調整を行います。
- 『英語』科目を選択した場合は、『英語外部試験利用制度』を利用できます。

【英語外部試験利用制度について】

試験教科「外国語」

- ▶ 英語外部試験利用制度を利用する場合、大学入試センター試験の外国語教科は『英語』科目の選択を必須とします。
- ▶ 他の言語科目(『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』)を選択した場合、本制度を利用することはできません。

英語資格・検定試験のスコア換算

- ▶ 英語資格・検定試験のスコアに応じて、本学の定めた換算表に基づき1点単位での換算得点を付与します。なお、スコア換算の参考値は、本学Webサイトおよび入試要項で確認してください。

合否判定方法

- ▶ 大学入試センター試験の英語得点と換算得点の、いずれか高得点のほうを合否判定に採用します。

利用できる英語資格・検定試験および各技能の最低スコア

	Reading	Listening	Writing	Speaking
英検(CSE2.0)*	514	541	489	407
GTEC4技能検定版	228	228	228	228
GTEC CBT	205	205	205	205
IELTS	4.0	4.0	3.5	3.5
TEAP(R/L+W+S)	56	56	56	56
TEAP CBT	90	100	70	75
TOEFL iBT	11	10	9	9

- ▶ 出願時点で取得資格証明書の原本が必要です。
- ▶ 異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。
- ▶ 2017年1月1日以降に受験し取得したスコアが有効となります。
- *2016年1月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。

文学部

学科・専修	募集人員(約)	試験科目		配点
3科目型 キリスト教学科 文学科 ・ドイツ文学専修 ・フランス文学専修 ・日本文学専修 ・文芸・思想専修 史学科 教育学科	4名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
	4名	国語	『国語』	200
	4名	右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
	10名		数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』
	3名		理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)
4科目型 文学科 ・ドイツ文学専修	3名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』	200
		右記の3教科のうちから2科目選択*3	地理歴史、公民*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
			数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)
6科目型 キリスト教学科 文学科 ・フランス文学専修 ・日本文学専修 ・文芸・思想専修 教育学科	3名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』	200
	5名	右記の3教科のうちから4科目選択*3	地理歴史、公民*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
	5名		数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』
	3名		理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)
6科目型 史学科	12名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』	200
		地理歴史、公民*3*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のうちから1科目選択	200*2
		右記の3教科のうちから3科目選択*3	地理歴史、公民*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
			数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)

文学部

学科・専修	募集人員(約)	試験科目		配点
3科目型 文学科 ◆英米文学専修	25名	外国語	『英語』*1	400*2
		国語	『国語』	200
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民 『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	200*2
		理科*5	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』 『物理』『化学』『生物』『地学』または『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 (基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	
6科目型 文学科 ◆英米文学専修	7名	外国語	『英語』*1	200*2
		国語	『国語』	200
		地理歴史、公民*3*4	『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』のうちから1科目選択	100
		右記の3教科のうちから3科目選択*3	地理歴史、公民*4 『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	各100
		数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』	
		理科*5	『物理』『化学』『生物』『地学』または『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 (基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

異文化コミュニケーション学部

学科	募集人員(約)	試験科目		配点
3科目型 異文化コミュニケーション学科	4名	外国語	『英語』*1	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章、古文)	200*2
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民 『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理、政治・経済』	100
		理科*5	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』 『物理』『化学』『生物』『地学』または『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 (基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	
6科目型 異文化コミュニケーション学科	4名	外国語	『英語』*1	200*2
		国語	『国語』	200
		地理歴史、公民*3*4	『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』のうちから1科目選択	100
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
		理科*3*5	『物理』『化学』『生物』『地学』のうちから1科目選択または『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』のうちから2科目選択(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	100
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民*4 『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	100
		数学	『数学Ⅱ・数学B』	
		理科*5	『物理』『化学』『生物』『地学』または『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 (基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

*1. 『英語』科目を選択した場合は、「英語外部試験利用制度」を利用できます。詳細はP.166をご覧ください。

*2. 大学入試センター試験の満点を上記配点に換算します。

*3. 指定科目数以上の科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

*4. 「公民」教科を2科目受験した場合でも、合否判定に用いることができる「公民」教科は1科目までとします。

*5. 理科の「基礎を付した科目」(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)を受験した場合は、「基礎を付した科目」2科目の得点の合計を1科目分の得点として合否判定に使用します。

大学入試センター試験利用入試

経済学部

学科	募集人員(約)	試験科目			配点
3科目型 経済学科 経済政策学科 会計ファイナンス学科	15名 10名 10名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150*2
		国語		『国語』(近代以降の文章、古文)	150
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100
			数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』 ただし、『簿記・会計』『情報関係基礎』は、高等学校(中等教育学校後期課程含む)で履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を修了した者(見込み含む)に限る。	
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	
6科目型 経済学科 経済政策学科 会計ファイナンス学科	30名 15名 15名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語		『国語』	200
		地理歴史、公民*3		「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のうちから1科目選択	100
		数学*3	『数学Ⅰ・数学A』		100
			『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』のうちから1科目選択 ただし、『簿記・会計』『情報関係基礎』は、高等学校(中等教育学校後期課程含む)で履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を修了した者(見込み含む)に限る。		100
		理科*3*5	「物理」「化学」「生物」「地学」のうちから1科目選択または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから2科目選択(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)		100

経営学部

学科	募集人員(約)	試験科目		配点	
3科目型 経営学科 国際経営学科	15名 10名	外国語		『英語』*1	200*2
		国語		『国語』(近代以降の文章)	100
		右記の2教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	100
			数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』	
6科目型 経営学科 国際経営学科	5名 5名	外国語		『英語』*1	200*2
		国語		『国語』(近代以降の文章)	100
		地理歴史、公民*3*4		『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』のうちから1科目選択	100
		数学		『数学Ⅰ・数学A』	100
		右記の3教科のうちから2教科2科目選択*3	地理歴史、公民*4	『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	各100
			数学	『数学Ⅱ・数学B』	
			理科*5	『物理』『化学』『生物』『地学』または『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

理学部

学科	募集人員(約)	試験科目		配点
4科目型 数学科	3名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科*3	「物理」「化学」「生物」のうちから1科目選択	200*2
6科目型 数学科	3名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章)	200*2
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科	「物理」「化学」「生物」のうちから2科目選択	各100
4科目型 物理学科	5名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科*3	「物理」「化学」「生物」「地学」のうちから1科目選択	200*2
6科目型 物理学科	8名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章)	200*2
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科	「物理」	100
			「化学」「生物」「地学」のうちから1科目選択	100
4科目型 化学科	5名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科	「化学」	200*2
6科目型 化学科	5名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章)	100
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科	「化学」	200*2
			「物理」「生物」「地学」のうちから1科目選択	100
4科目型 生命理学科	5名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科*3	「物理」「化学」「生物」のうちから1科目選択	200*2
6科目型 生命理学科	5名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章)	200*2
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
			『数学Ⅱ・数学B』	100
		理科	「物理」「化学」「生物」のうちから2科目選択	各100

▶理学部入学後の授業は、「数学Ⅲ」の履修を前提として行います。また、物理学科では、入学後「物理基礎」「物理」の内容を理解していることを前提とする授業があり、化学科では、入学後「化学基礎」「化学」の内容を理解していることを前提とする授業があります。

*1.『英語』科目を選択した場合は、「英語外部試験利用制度」を利用できます。詳細はP.166をご覧ください。

*2. 大学入試センター試験の満点を上記配点に換算します。

*3. 指定科目数以上の科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

*4. 「公民」教科を2科目受験した場合でも、合否判定に用いることができる「公民」教科は1科目までとします。

*5. 理科の「基礎を付した科目」(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)を受験した場合は、「基礎を付した科目」2科目の得点の合計を1科目分の得点として合否判定に使用します。

大学入試センター試験利用入試

社会学部

学科	募集人員(約)	試験科目			配点
3科目型 社会学科 現代文化学科 メディア社会学科	14名 14名 14名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150*2
		国語		『国語』(近代以降の文章、古文)	100*2
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』	100
			数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』	
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	
6科目型 社会学科 現代文化学科 メディア社会学科	10名 10名 10名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語		『国語』	200
		地理歴史、公民*3		「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』のうちから1科目選択	100
		数学		『数学Ⅰ・数学A』	100
		理科*3*5		「物理」「化学」「生物」「地学」のうちから1科目選択または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから2科目選択(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	100
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』	100
			数学	『数学Ⅱ・数学B』	
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

法学部

学科	募集人員(約)	試験科目			配点
3科目型 法学科 国際ビジネス法学科 政治学科	20名 5名 5名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150*2
		国語		『国語』(近代以降の文章、古文)	150
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』	100
			数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』	
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	
6科目型 法学科 国際ビジネス法学科 政治学科	12名 4名 4名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語		『国語』(近代以降の文章、古文)	200*2
		地理歴史、公民*3*4		「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』のうちから1科目選択	100
		数学		『数学Ⅰ・数学A』	100
		理科*3*5		「物理」「化学」「生物」「地学」のうちから1科目選択または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから2科目選択(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	100
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』	100
			数学	『数学Ⅱ・数学B』	
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

観光学部

学科	募集人員(約)	試験科目			配点
3科目型 観光学科 交流文化学科	10名 10名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語		『国語』(近代以降の文章、古文)	200*2
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理、政治・経済」	100
			数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』	
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	
6科目型 観光学科 交流文化学科	10名 10名	外国語		『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語		『国語』(近代以降の文章、古文)	200*2
		地理歴史、公民*3*4		「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のうちから1科目選択	100
		数学		『数学Ⅰ・数学A』	100
		右記の3教科のうちから2教科2科目選択*3	地理歴史、公民*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	各100
			数学	『数学Ⅱ・数学B』	
			理科*5	「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

コミュニティ福祉学部

学科	募集人員(約)	試験科目		配点
3科目型 コミュニティ政策学科 福祉学科 スポーツウェルネス学科	15名 15名 10名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150*2
		国語	『国語』(近代以降の文章)	100
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	100
			数学	
			理科*5	
6科目型 コミュニティ政策学科 福祉学科 スポーツウェルネス学科	5名 5名 5名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章)	100
		地理歴史、公民*3*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のうちから1科目選択	100
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
		理科*3*5	「物理」「化学」「生物」「地学」のうちから2科目選択(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	100
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民*4	100
			数学	
			理科*5	
			「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

現代心理学部

学科	募集人員(約)	試験科目		配点
3科目型 心理学科	16名	外国語	『英語』*1	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章)	150*2
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	100
			理科*5	
6科目型 心理学科	7名	外国語	『英語』*1	200*2
		国語	『国語』	200
		地理歴史、公民*3	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のうちから1科目選択	100
		数学*3	『数学Ⅰ・数学A』	100
		理科*3*5	『数学Ⅱ・数学B』『情報関係基礎』のうちから1科目選択 ただし、『情報関係基礎』は、高等学校(中等教育学校後期課程含む)で履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を修了した者(見込み含む)に限る。	100
			「物理」「化学」「生物」「地学」のうちから1科目選択または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから2科目選択(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	100
3科目型 映像身体学科	20名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』(近代以降の文章、古文)	150
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民	100
			理科*5	
6科目型 映像身体学科	11名	外国語	『英語』*1『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200*2
		国語	『国語』	200
		地理歴史、公民*3*4	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のうちから1科目選択	100
		数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
		理科*3*5	「物理」「化学」「生物」「地学」のうちから1科目選択または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから2科目選択(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	100
		右記の3教科のうちから1科目選択*3	地理歴史、公民*4	100
			数学	
			理科*5	
			「物理」「化学」「生物」「地学」または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」(基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなす)	

*1. 『英語』科目を選択した場合は、「英語外部試験利用制度」を利用できます。詳細はP.166をご覧ください。

*2. 大学入試センター試験の満点を上記配点に換算します。

*3. 指定科目数以上の科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

*4. 「公民」教科を2科目受験した場合でも、合否判定に用いることができる「公民」教科は1科目までとします。

*5. 理科の「基礎を付した科目」(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)を受験した場合は、「基礎を付した科目」2科目の得点の合計を1科目分の得点として合否判定に使用します。

自由選抜入試

2019年度入試日程はP.161をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

自由選抜入試は、志望する学部に関連した高い能力をもつ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性をもつ者で、
本学ならびに各学部の教育目的を理解し、そこで学びたいという熱意のある学生を受け入れることを目的としています。
立教大学で自分のもつ能力や個性をさらに豊かに開花させたいと考える人たちの、積極的な出願を歓迎します。

出願資格種別	文学部 ^{*4}	異文化 コミュニ ケーション 学部	経済学部 ^{*4}	経営学部	理学部	法学部	観光学部	コミュニティ 福祉学部	現代心理 学部
スポーツ活動における優秀な実績 ^{*1}				○	○	○		○	
文化・芸術活動(音楽、放送、演劇、美術、 文学、書道、弁論など)における優秀な実績				○	○	○		○	○
外国語運用能力・外国語資格	○ ^{*2}	○	○	○	○	○	○	○	○
国際バカロレア資格				○					
海外における異文化体験を持つ者				*3	○	○	○	○	○
課外活動の分野における指導的役割・ めざましい実績				○					○
ボランティア活動、校外活動での指導的役割・ めざましい実績				○				○	○
専攻分野の学業に役立つと思われる優れた実績				○	○		○		○
専攻分野に関連する将来構想や 具体的なプランを有する者							○		
専攻分野に関連する学科、関連科目を 一定以上修得している者					○				
学部入学時から大学院進学を目指す者		○ ^{*4}							
その他の実績等	上記の区分にとられない出願資格もありますので、詳細は各学部の出願資格で確認してください。								

- ▶英語資格・検定試験のスコア・級の提出が必須となります(文学部を除く)。スコア基準の詳細は各学部の出願資格を確認してください。
▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願資格の有無について、事前に立教大学入学センター(TEL.03-3985-2660)にお問い合わせください。
▶「自由選抜入試」内での複数学部・学科・専修の併願はできません。
*1. 競技実績によっては、「アスリート選抜入試」も出願可能な場合があります。詳細はP.184をご覧ください。
*2. 筆記試験はドイツ語総合・フランス語総合のうちから1科目選択となります。
*3. 帰国生入試を実施しています。詳細はP.185をご覧ください。
*4. 既卒者も出願できます。

文学部

募集人員	出願資格
キリスト教学科 文学部 ・英米文学専修 ・ドイツ文学専修 ・フランス文学専修 ・日本文学専修 ・文芸・思想専修 史学科 教育学科 各学科・専修とも若干名	次の1・2の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2019年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2019年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 2. 本学文学部(キリスト教学科、史学科、教育学科、文学部各専修)での勉学に強い意欲を持つ者。 【文学部：出願条件 1(c)の詳細内容について】 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で 文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2019年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で 文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣の指定した者。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および 2019年3月31日までに合格見込みの者。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、 2019年3月31日までに満18歳に達するもの。
選考方法	

文学部は出願書類による第1次選考は行いません。
・外国語総合：ドイツ語総合・フランス語総合のうちから1科目選択。
ドイツ語・フランス語の語学力(読解・文法・語彙)を測る問題とともに、ドイツ語・フランス語の読解力と日本語による論理的構成力・表現力を測る総合問題を課します。
・面接試験

【出願書類】入学志願票／調査書^{*1}／志望理由書

*1. 高等学校卒業者は、出身学校長が証明し厳封されたもの。高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、
「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。

異文化コミュニケーション学部

募集人員	出願資格
<p>異文化コミュニケーション学部 〈方式A〉 10名程度 〈方式B〉 5名程度</p>	<p>方式A</p> <p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学異文化コミュニケーション学部での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 実用英語技能検定(英検)(英語4技能に限る)、GTEC CBT、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL(iTPテスト不可)、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{※1}(iPテスト不可)または国連英検を受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については次のとおり。</p> <p>① 準1級以上:2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>② 2級:2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>③ 準2級・3級:一次試験・二次試験ともに2017年6月以降に実施されたものに限る。</p> <p>4. 次の(a)～(f)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 実用英語技能検定(英検)準1級以上、GTEC CBTスコア1,140点以上、IELTS 5.5以上、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア327点以上、TEAP CBTスコア600点以上、TOEFL iBTスコア70点以上、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{※1}(iPテスト不可)を受験しスコア合計1,070点以上のいずれかを取得している者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>(b) ドイツ語技能検定3級以上を取得している者、またはゲーテ・インスティテュートZDもしくはB1以上に合格している者。</p> <p>(c) 実用フランス語技能検定試験準2級以上、DELTA A2以上、TCF 350点以上のいずれかを取得している者。</p> <p>(d) スペイン語技能検定3級以上を取得している者、またはDELE B1以上に合格している者。</p> <p>(e) 中国語検定試験3級以上に合格している者、または漢語水平考試(HSK)4級210点以上、5級6級180点以上を取得している者。</p> <p>(f) ハングル能力検定試験3級以上、または韓国語能力試験3級以上を取得している者。</p> <p>【異文化コミュニケーション学部:〈方式A〉出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限り)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p> <p>方式B</p> <p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2017年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学異文化コミュニケーション学部・研究科での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の資格Ⅰ～Ⅳのいずれかに該当する者。</p> <p>【資格Ⅰ】通訳翻訳専門コース</p> <p>IELTS 6.0以上、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア363点以上、TEAP CBTスコア671点以上、TOEFL iBTスコア80点以上のいずれかを取得している者。</p> <p>【資格Ⅱ】英語教育専門コース</p> <p>IELTS 5.5以上、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア327点以上、TEAP CBTスコア600点以上、TOEFL iBTスコア70点以上のいずれかを取得している者。</p> <p>【資格Ⅲ】日本語教育専門コース</p> <p>IELTS 5.0以上、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア291点以上、TEAP CBTスコア529点以上、TOEFL iBTスコア60点以上のいずれかを取得している者。</p> <p>【資格Ⅳ】国際協力専門コース</p> <p>IELTS 5.0以上、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア291点以上、TEAP CBTスコア529点以上、TOEFL iBTスコア60点以上のいずれかを取得している者。</p> <p>※ いずれのコースも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。</p> <p>【異文化コミュニケーション学部:〈方式B〉出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2017年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限り)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2017年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2017年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2017年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2017年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>〈方式A〉・小論文:社会・文化・言語・教育などをめぐる課題文が与えられ、読解力・論理的構成力・表現力などを総合的に評価します。</p> <p>・面接試験</p> <p>〈方式B〉・面接試験</p>

【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書^{※1}／活動報告書／証明書類の原本

※1.高等学校卒業者は、出身学校長が証明し厳封されたもの。

▶5年一貫プログラムを志望する者は〈方式B〉で選抜します。制度概要についてはP.162をご覧ください。

▶〈方式B〉では、本入試が実施される前年度中(2019年度入試においては2017年4月から2018年3月まで)の卒業に限り、高等学校等卒業者(既卒者)も出願が可能です。

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

経済学部

募集人員	出願資格
<p>経済学科 経済政策学科 会計ファイナンス学科</p> <p>経済学部全体で 20名程度</p>	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2019年3月卒業見込みの者。</p> <p>(b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2019年3月修了見込みの者。</p> <p>(c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 本学経済学部(経済学科、会計ファイナンス学科、経済政策学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) Cambridge English(ケンブリッジ英検)PET 140点以上の成績を取得している者。</p> <p>(b) 実用英語技能検定(英検)2級以上を取得している者(英語4技能に限る)。</p> <p>(c) GTEC 4技能検定版スコア960点以上の成績を取得している者。</p> <p>(d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。</p> <p>(e) IELTS 4.0以上の成績を取得している者。</p> <p>(f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア226点以上の成績を取得している者。</p> <p>(g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。</p> <p>(h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。</p> <p>(i) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W[※]を受験し、スコア合計790点以上の成績を取得している者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については次のとおり。</p> <p>① 準1級以上:2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>② 2級:2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>【経済学部:出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者。</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2019年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。</p> <p>(7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合科目:主に現代の政治や経済に関する知識や関心、基礎的な数学的分析能力を問います。 面接試験
<p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書^{*1}／証明書類の原本</p> <p>^{*1} 1. 高等学校卒業者は、出身学校長が証明し厳封されたもの。高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。</p>	

経営学部

募集人員	出願資格
<p>経営学科 国際経営学科 経営学部 全体で 〈方式A〉 資格Ⅰ 10名程度 資格Ⅱ 10名程度 資格Ⅲ 20名程度 〈方式B〉 各学科とも 若干名</p>	<p>方式A 次の1～3の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。 (b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。 2. 本学経営学部(経営学科、国際経営学科)での勉学に強い意欲を持つ者。 3. 経営学科においては、次の資格Ⅰ～Ⅲのいずれかに該当する者。 国際経営学科においては、次の資格Ⅲに該当する者。 〔資格Ⅰ〕次の(a)・(b)の条件をすべて満たす者。 (a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野において、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めた者。団体競技の場合には、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めたチームで、レギュラーまたはそれに相当する選手として活躍した者もしくは主将など指導的役割を果たした者。 (b) Cambridge English(ケンブリッジ英検)、実用英語技能検定(英検)、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{注)}(IPテスト可)のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。 ※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。 ※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 〔資格Ⅱ〕次の(a)～(d)のいずれかに該当し、かつ(e)に該当する者。 (a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、ディベートなど)における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者。 (b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程のその他の課外活動の分野において指導的役割を果たし、かつ、めざましい実績を挙げた者。 (c) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、ボランティア活動、校外活動の団体において指導的役割を果たし、かつ、めざましい実績を挙げた者。 (d) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、日商(日本商工会議所)簿記1級を取得済みで、校内の活動において指導的な役割を果たした者。 (e) Cambridge English(ケンブリッジ英検)、実用英語技能検定(英検)、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{注)}(IPテスト可)のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。 ※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。 ※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 〔資格Ⅲ〕次の(a)～(j)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。 (a) Cambridge English(ケンブリッジ英検) First(FCE) 160点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検) 準1級以上を取得している者。 (c) GTEC 4技能検定版スコア1,190点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS 5.5以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) スコア334点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{注)}(IPテスト不可)を受験し、スコア合計1,095点以上の成績を取得している者。 (j) 英語に関連する全国大会、国際大会等(例 英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、模擬国連大会、英語エッセイコンテスト、SGH研究発表大会)で極めて優秀な成績を収めた者。 ※ (a)～(i)については「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。 ※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 〔経営学部・出願条件1(b)の詳細内容について〕 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。 (2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限り)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。 (4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 (5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。 ※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。 方式B 次の1～3の条件をすべて満たす者。 1. 日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を受けている者(永住外国人等出入国管理及び難民認定法の別表第二に掲げる者)。 2. 国際バカロレア事務局から、2017年4月1日から2019年3月31日までに国際バカロレア資格(IB Diploma)を授与された者もしくは授与される見込みの者で、2019年4月1日までに18歳に達するもの(2001年4月1日以前に生まれたもの)。 3. 次の(a)～(j)のいずれかに該当する者。 (a) Cambridge English(ケンブリッジ英検) PET140点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検) 2級以上を取得している者(英語4技能に限る)。 (c) GTEC 4技能検定版スコア960点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS 4.0以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) スコア226点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{注)}を受験し、スコア合計790点以上の成績を取得している者。 (j) 英語に関連する全国大会、国際大会等(例 英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、模擬国連大会、英語エッセイコンテスト、SGH研究発表大会)で極めて優秀な成績を収めた者。 ※ (a)～(i)については「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。 ※ 英検については次のとおり。 ① 準1級以上:2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 ② 2級:2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p>
選考方法	
<p>第1次選考 出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考 〈方式A〉資格Ⅰ・Ⅱ 〈方式A〉資格Ⅲ・〈方式B〉 ・面接試験 ・小論文:論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・知的素養などを評価します。 ・面接試験</p>
【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類の原本	

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

理学部

募集人員	出願資格
数学科 3名程度 物理学科 2名程度 化学科 3名程度 生命理学科 2名程度	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学理学部(数学科、物理学科、化学科、生命理学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bおよび当該学科の下記の指定科目を履修している者。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる[※]。</p> <p>※理数数学特論を履修していない場合は、出願前に問い合わせください。</p> <p>4. Cambridge English(ケンブリッジ英検)、実用英語技能検定(英検)、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{※1}(IPテスト可)のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>5. 次のA・Bのいずれかに該当する者。</p> <p>A. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論など)における都道府県レベル以上の大会・コンクールなどで上位に入賞した者。</p> <p>(b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者。</p> <p>(c) 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了した者(2019年3月までに修了する見込みの者を含む)。</p> <p>※ ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。</p> <p>B. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 日本数学オリンピックの予選に合格した者など、専攻分野の学業に役立つと思われる優れた実績を有する者。</p> <p>(b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程第3学年第1学期までの学習成績において、当該学科の指定科目を履修し、それらの評定平均値が4.5以上の者。</p> <p>各学科の指定科目：</p> <p>○ 数学科の指定科目は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bとする。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。</p> <p>○ 物理学科の指定科目は、物理基礎、物理とする。理数物理履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。</p> <p>○ 化学科の指定科目は、化学基礎、化学とする。理数化学履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。</p> <p>○ 生命理学科の指定科目は、化学基礎、化学、生物基礎、生物のうちの3科目とする。理数化学、理数生物履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。</p> <p>【理学部：出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含めない。</p> <p>※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
第1次選考 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ・小論文：主に科学の基礎を内容とし、論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・科学的素養などを評価します。 ・面接試験
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書 ^{※1} ／証明書類の原本 ※1. 資格A(a)・(b)、B(a)で出願する者のみ	

法学部

募集人員	出願資格
法学科 国際ビジネス法学科 政治学科 法学部全体で8名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学法学部(法学科、政治学科、国際ビジネス法学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. Cambridge English(ケンブリッジ英検)、実用英語技能検定(英検)、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{注)}(IPテスト可)のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>4. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、学術・文化・芸術の分野で高い評価を得た者(音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論などにおける都道府県レベル以上の大会・コンクールで上位に入賞した者など)。団体での活動の場合は、高い評価を得ることに中心的役割を果たした者。</p> <p>(b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者。</p> <p>(c) 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了し(2019年3月までに修了する見込みの者を含む)、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。</p> <p>※ ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。</p> <p>【法学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含めない。</p> <p>※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
第1次選考 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ・面接試験
【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類の原本	

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

観光学部

募集人員	出願資格
観光学科 5名程度 交流文化学科 5名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学観光学部(観光学科、交流文化学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. Cambridge English(ケンブリッジ英検)、実用英語技能検定(英検)、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W[※](IPテスト可)のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>4. 次の資格Ⅰ～Ⅳのいずれかに該当する者。</p> <p>[資格Ⅰ] 観光関連産業の経営と観光による地域活性化のいずれかに関して、明確な問題意識または将来構想を持ち、それを解決または実現する強い意欲を持つ者。</p> <p>[資格Ⅱ] 観光関連産業の後継者で、その経営を通じて社会に貢献する強い意欲と、経営に関する具体的なプランを有する者。</p> <p>[資格Ⅲ] 国際間や都市・農村間などの文化交流に積極的に参加した実績と、その実績を通じて観光事業、観光による文化交流に貢献する強い意欲を持つ者。</p> <p>[資格Ⅳ] 学校教育における12年以上の課程のうち、通算して3学年以上の課程を日本国外において修了し、かつ、その海外体験を通じて観光事業、文化交流に貢献する強い意欲を持つ者。</p> <p>【観光学部：出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限り)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p> <p>※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>出願書類をもとに書類選考 (課題作文)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格Ⅰ志願者課題：観光関連産業の経営と観光による地域活性化のいずれかに関して、明確な問題意識または将来構想を持つに至った経緯・理由と、それを解決または実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 資格Ⅱ志願者課題：観光関連産業の経営を継承しようとした意欲した経緯・理由と、観光関連産業の経営を通じて社会に貢献しようという意欲を説明し、その意欲をどのように実現しようと考えているのか、その具体的な構想と課題を3,000字程度の文章にまとめてください。なお、継承しようとする企業・組織の名称と概要を課題作文中に明記してください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 資格Ⅲ志願者課題：文化交流に積極的に参加した実績と、その実績が観光事業もしくは観光による文化交流に貢献したいという意欲に結びついた理由を説明し、その意欲を実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 資格Ⅳ志願者課題：海外体験が観光事業もしくは文化交流に貢献したいという意欲に結びついた理由を説明し、その意欲を実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 	<p>第2次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構成力・分析力・文章表現力・基礎的学問知識などを総合的に評価します。 面接試験
【出願書類】入学志願票/課題作文/調査書/証明書類の原本	

コミュニティ福祉学部

募集人員	出願資格
コミュニティ政策学科 15名程度 福祉学科 15名程度 スポーツウエルネス学科 15名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学コミュニティ福祉学部(福祉学科、コミュニティ政策学科、スポーツウエルネス学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 実用英語技能検定(英検)、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{※1}(IPテスト可)のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>4. 次の資格Ⅰ～Ⅴのいずれかに該当する者。</p> <p>[資格Ⅰ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者。</p> <p>[資格Ⅱ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論など)における都道府県レベル以上の大会・コンクールなどで上位に入賞した者。</p> <p>[資格Ⅲ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程(海外を含む)在学中に、継続的・主体的なボランティア活動、校内・校外活動あるいは海外活動をし、かつ、その活動においてめざましい実績を挙げた者。</p> <p>※ 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程の授業として行われた活動は対象としない。</p> <p>[資格Ⅳ] 特別支援学校高等部(在籍3年以上)を卒業する者で、校内・校外活動において継続的・主体的なボランティア活動、障害者スポーツ大会、生徒会等で特筆すべき活動を行ったもの。</p> <p>[資格Ⅴ] 次の(a)～(d)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。</p> <p>(a) 実用英語技能検定(英検)準1級以上を取得している者。</p> <p>(b) TOEFL iBTスコア70点以上の成績を取得している者。</p> <p>(c) TOEIC L&Rスコア700点以上(IPテストを含む)の成績を取得している者。</p> <p>(d) 英語に関連する全国大会、国際大会等(例:英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、英語エッセイコンテスト)で極めて優秀な成績を収めた者。</p> <p>※ (a)～(c)については「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>【コミュニティ福祉学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p> <p>※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
第1次選考 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ・面接試験
【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類の原本	

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

現代心理学部

募集人員	出願資格
心理学科 10名程度 映像身体学科 20名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学現代心理学部(心理学科、映像身体学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. Cambridge English(ケンブリッジ英検)、実用英語技能検定(英検)、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)、IELTS、TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W[※](IPテスト可)のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>4. 心理学科においては、次の資格Ⅰ～Ⅴのいずれかに該当する者。</p> <p>映像身体学科においては、次の資格Ⅰ～Ⅳのいずれかに該当する者。</p> <p>〔資格Ⅰ〕専攻分野の学業に役立つと思われる優れた能力・実績・経験を有する者。</p> <p>〔資格Ⅱ〕高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、校外活動、ボランティア活動、課外活動等において指導的な役割を果たした者、またはめざましい実績を挙げた者。</p> <p>〔資格Ⅲ〕高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、弁論など)における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者。映像身体学科においては、とくに映像・ダンス・演劇、その他映像身体学科に関連する「芸術・文化」活動において高いレベルの実績を挙げた者。</p> <p>〔資格Ⅳ〕外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了し(2019年3月までに修了する見込みの者を含む)、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。</p> <p>※ ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。</p> <p>〔資格Ⅴ〕次の(a)～(h)いずれかの成績を取得している者。</p> <p>(a) 実用英語技能検定(英検)2級以上を取得している者(英語4技能に限る)。</p> <p>(b) GTEC 4技能検定版スコア1,190点以上の成績を取得している者。</p> <p>(c) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。</p> <p>(d) IELTS 5.5以上の成績を取得している者。</p> <p>(e) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア334点以上の成績を取得している者。</p> <p>(f) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。</p> <p>(g) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。</p> <p>(h) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W[※]を受験し、スコア合計1,095点以上の成績を取得している者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については次のとおり。</p> <p>① 準1級以上:2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>② 2級:2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>【現代心理学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含めない。</p> <p>※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
第1次選考 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ・面接試験
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類の原本	

異文化コミュニケーション学部 × Dual Language Pathway

学部の専門科目を全て英語で修得し、これからのグローバル社会に貢献できる人材を育てるコースです。

コース履修者には欧米の大学で授業を受けられる水準の英語能力を求めます。

本コースにより卒業する学生には、コースの修了証明書を授与します。

募集人員	出願資格
異文化 コミュニケーション学科 15名程度	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> 2018年4月から2019年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者。 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。 本学異文化コミュニケーション学部におけるDual Language Pathwayでの勉学に強い意欲を持つ者。 次の(a)～(f)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> GTEC CBTスコア1,255点以上の成績を取得している者。 IELTS 6.0以上の成績を取得している者。 TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) スコア363点以上の成績を取得している者。 TEAP CBTスコア671点以上の成績を取得している者。 TOEFL iBT スコア80点以上の成績を取得している者。 TOEIC L&RおよびTOEIC S&W[※] (IPテスト不可)を受験し、スコア合計1,170点以上の成績を取得している者。 <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。</p> <p>【異文化コミュニケーション学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 <p>※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>出願書類をもとに書類選考 (小論文の課題)</p> <p>・異文化を理解するということはどういうことかについて述べ、さらにそれがどのように社会貢献につながるかについて、4,000字以上5,000字以内で論じてください(小論文にはタイトル、サブタイトルを必ずつけること)。小論文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p>	<p>第2次選考</p> <p>・面接試験:異文化コミュニケーションに関する30分の英語による講義を聴講後、面接を実施します。</p>
【出願書類】入学志願票／小論文／調査書／証明書類の原本	
<p>▶自由選抜入試と併願することができます。ただし、自由選抜入試異文化コミュニケーション学部〈方式B〉とは併願できません。</p> <p>▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願資格の有無について、事前に立教大学入学センター(TEL.03-3985-2660)にお問い合わせください。</p>	

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

国際コース選抜入試

社会学部 × 国際社会コース

グローバルな視点から日本と海外の社会と文化を理解し、地球社会で活躍する人材を育てるという

社会学部の国際化目標を先駆的に追求することを目的としたコースです。

学部英語科目を軸に3学科の専門科目を学生の関心に沿って横断的に履修できます。

募集人員	出願資格
社会学科 5名程度 現代文化学科 5名程度 メディア社会学科 5名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 <ul style="list-style-type: none"> (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2019年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2019年3月修了見込みの者。 (c) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。 高等学校を卒業している者は高等学校の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(a)に該当しない者については、評定平均値の条件は設けない。 本学社会学部(社会学科、現代文化学科、メディア社会学科)において国際社会コースの履修を強く希望する者。 次の(a)～(h)のいずれかに該当する者。 <ul style="list-style-type: none"> (a) 実用英語技能検定(英検)準1級以上を取得している者。 (b) GTEC 4技能検定版スコア1,050点以上の成績を取得している者。 (c) GTEC CBTスコア990点以上の成績を取得している者。 (d) IELTS 5.0以上の成績を取得している者。 (e) TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) スコア270点以上の成績を取得している者。 (f) TEAP CBTスコア490点以上の成績を取得している者。 (g) TOEFL iBTスコア54点以上の成績を取得している者。 (h) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^(注)を受験し、スコア合計900点以上の成績を取得している者。 <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。 ※ 英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>【社会学部：出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限り)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者 および2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」には、専修学校の高等課程を修了した者、高等学校卒業程度認定試験に合格した者は含まない。
選考方法	
第1次選考 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 <ul style="list-style-type: none"> 小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構成力・文章表現力・知的素養・独創的発想などを総合的に評価します。 面接試験

【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書^{*1}／証明書類の原本

※1. 高等学校卒業者は、出身学校長が証明し厳封されたもの。

▶自由選抜入試と併願することはできません。ただし、自由選抜入試異文化コミュニケーション学部〈方式B〉に限り併願が可能です。

▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願資格の有無について、事前に立教大学入学センター(TEL.03-3985-2660)にお問い合わせください。

Global Liberal Arts Program (GLAP)

立教大学がこれまで培ってきた「リベラルアーツ」の理念と国際性を養う教育を少人数で行い、英語による科目のみで学位が取得できる、既存の10学部から独立したプログラムです。英語によるコミュニケーション、思考力、表現力など、卒業後に広く世界で活躍できる力を身につけます。

募集人員	出願資格
<p>GLAP</p> <p>秋季実施：12名程度</p> <p>春季実施：若干名</p>	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2019年3月卒業見込みの者。</p> <p>(b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2019年3月修了見込みの者。</p> <p>(c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. グローバル・リベラルアーツ・プログラムでの勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) Cambridge English (ケンブリッジ英検) First (FCE) グレードC合格以上の成績を取得している者。</p> <p>(b) 実用英語技能検定(英検) 準1級以上を取得している者。</p> <p>(c) GTEC 4技能検定版スコア1,190点以上の成績を取得している者。</p> <p>(d) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。</p> <p>(e) IELTS 5.5以上の成績を取得している者。</p> <p>(f) TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) スコア334点以上の成績を取得している者。</p> <p>(g) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。</p> <p>(h) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。</p> <p>(i) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^{※1} (IPテスト不可) を受験し、スコア合計1,095点以上の成績を取得している者。</p> <p>※ 秋季実施…いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>英検については、2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>※ 春季実施…いずれも「2017年2月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>英検については、2016年1月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。</p> <p>【グローバル・リベラルアーツ・プログラム：出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者。</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2019年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。</p> <p>(7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 小論文：英語による小論文を実施します。与えられた英文を読み、そのテーマについて書かれた小論文から、読解力・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 面接試験

【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書^{※1}／証明書類の原本

※1. 高等学校卒業者は、出身学校長が証明し厳封されたもの。高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。

- ▶ 秋季実施と春季実施の2回実施します。詳細はP.161を確認してください。
- ▶ 秋季実施で不合格となった受験者が春季実施へ再出願することも可能です。
- ▶ 「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願資格の有無について、事前に立教大学入学センター(TEL.03-3985-2660)にお問い合わせください。

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

アスリート選抜入試

2019年度入試日程はP.161をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

「アスリート選抜入試」は、立教大学の建学の精神に基づいて、知性・感性・身体バランスが取れた、幅広い視野と総合的な判断力を備えた人材の育成を目的としています。スポーツ競技の実績が優秀であるだけでなく、人格的にも優れ学業に対する高い意欲をもつ者を選抜し、立教大学体育会各部をリードするとともに立教大学生の模範と成り得る学生を育てたい、と考えています。

募集競技種目 ※各競技種目の第1次選考合格者数は原則5名までとします。

山岳	フェンシング	ラグビー	卓球	合気道
アメリカンフットボール	陸上競技	スケート（フィギュア、スピード）	バレーボール	日本拳法
バドミントン	ハンドボール	スキー	レスリング	洋弓
硬式野球	体操競技（新体操を含む）	サッカー	ヨット	ゴルフ
バスケットボール	ホッケー	準硬式野球（軟式野球を含む）	弓道	射撃
ボート	テニス	ソフトテニス	柔道	少林寺拳法
ボクシング	空手道	相撲	剣道	ラクロス
自転車競技	馬術	水泳競技	ウエイトリフティング	アイスホッケー

全学部

募集人員	出願資格
全学部 全学部とも若干名	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 本学への入学を強く希望し、入学後、学業と体育会でのスポーツ活動とを両立させる強い意欲を持つ者。</p> <p>2. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2018年4月から2019年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ）を卒業する者で、高等学校第2学年末までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。 ※ 文学部文学科英米文学専修、経営学部国際経営学科、異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科を志望する者は、(a)の条件に加え、高等学校第2学年末までの英語科目の修得単位数合計が11単位以上の者。 ※ 理学部各学科を志望する者は、(a)の条件に加え、各学科が指定する下記の科目のうち、高等学校第2学年末までに履修した科目の評定平均値が、当該学科の定める評定平均値以上の者。</p> <p>① 数学科：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bを指定科目とする。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる※。履修した科目の評定平均値が4.2以上の者。 ※ 理数数学特論を履修していない場合は、出願前に問い合わせてください。</p> <p>② 物理学科：物理基礎、物理を指定科目とする。理数物理履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 履修した科目の評定平均値が4.0以上の者。</p> <p>③ 化学科：化学基礎、化学を指定科目とする。理数化学履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 履修した科目の評定平均値が4.0以上の者。</p> <p>④ 生命理学科：化学基礎、化学、生物基礎、生物を指定科目とする。理数化学、理数生物履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 履修した科目の評定平均値が4.0以上の者。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>3. 募集競技種目において、高等学校等上記出願条件2に該当する教育課程在学中の競技実績が次の(a)～(d)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) オリンピック、世界選手権、IF（インターナショナル・フェデレーション）主催の国際大会、およびこれらに相当する国際大会に出場した者。</p> <p>(b) 全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民体育大会、およびこれらに相当する全国大会において、16位以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、16位以上の成績を収めたチームで、正選手として出場した者。</p> <p>(c) 各地域のブロック大会において、8位以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、8位以上の成績を収めたチームで、正選手として出場した者。 ※ 各地域のブロック大会とは、北海道（ただし、都道府県大会と同等の大会は除く）、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州などの地区大会を指す。</p> <p>(d) その他、上記(a)～(c)と同等以上の実績を、公式競技記録等により証明できる者。</p> <p>【出願条件2(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限り）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けたものに置かれる12年の課程を2018年4月から2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>(5) その他、本学において、2018年4月から2019年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2019年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p>
選考方法	
第1次選考 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ・小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構成力・文章表現力・知的素養・独創的発想などを総合的に評価します。 ・面接試験

【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／競技実績証明書および証明資料

- ▶ 理学部入学後の授業は、「数学Ⅲ」の履修を前提として行います。
- ▶ 上記に該当しない競技実績についても、自由選抜入試で出願できる場合があります。詳細はP.172をご覧ください。

帰国生入試

2019年度入試日程はP.161をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

外国において外国の学校教育制度のもとで学び、異文化体験をとおして身につけたさまざまな能力や個性を大学生活の中でさらに豊かに開花させたいと考える帰国生のための入学試験制度です。

経営学部

募集人員	出願資格
経営学部 若干名	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を受けている者（永住外国人等出入国管理及び難民認定法の別表第二に掲げる者）。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を2018年4月から2019年3月までに修了する者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了する者を含む）。 3. 次の(a)・(b)のいずれかを満たす者。 <ol style="list-style-type: none"> (a) 外国において、外国の学校教育制度に基づく中学校・高等学校（7学年以上に相当する課程）で、継続して3学年以上の課程を修了した者（2019年3月までに修了する見込みの者を含む）。 (b) 外国において、外国の学校教育制度に基づく小学校・中学校・高等学校で、通算して5学年以上の課程を修了した者（2019年3月までに修了する見込みの者を含む）。 <p>※ ここでいう「外国の学校教育制度に基づく小学校・中学校・高等学校」には、在外教育施設は含まない。</p> 4. 日本の学校教育制度に基づく高等学校（中等教育学校後期課程を含む）および日本において外国の学校教育制度に基づく高等学校（10学年以上に相当する課程）での修了学年数が2学年以内の者。 5. 次の(a)～(i)のいずれかを満たす者。 <ol style="list-style-type: none"> (a) Cambridge English (ケンブリッジ英検) PET140点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定（英検）2級以上を取得している者（英語4技能に限る）。 (c) GTEC 4技能検定版スコア960点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS 4.0以上の成績を取得している者。 (f) TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) スコア226点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^(注)（IPテスト不可）を受験し、スコア合計790点以上の成績を取得している者。 <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 準1級以上：2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 ② 2級：2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。
選考方法	
<p>・小論文：高等学校の特定の科目や志望学部の専門性に偏らない内容とし、論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・知的素養などが評価されます。</p> <p>・面接試験 ※筆記試験（小論文）の成績により面接試験対象者を選考します。</p>	
【出願書類】入学志願票／志望理由書／高等学校全期間の成績証明書（調査書）／卒業証明書または卒業見込証明書／在籍期間証明書（出願資格を満たすために必要な修了学年数が成績証明書等で確認できない場合のみ）／証明書類の原本	

外国人留学生入試（筆記試験および面接による募集制度）

2019年度入試日程はP.161をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

国際交流の一環として、交換留学制度とは別に、本学での教育を希望する外国人留学生のための入学試験制度です。「筆記試験および面接による募集制度」と「書類選考による募集制度」を行っています。授業は日本語で行うため、十分な日本語能力が必要です。なお、立教大学には、留学生別科、研究生、研修生と呼ばれるような正規学生になるための準備教育を行う制度はありません。

異文化コミュニケーション学部・コミュニティ福祉学部

募集人員	出願資格
異文化 コミュニケーション学部 7名程度 コミュニティ福祉学部 若干名	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2019年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2019年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. 異文化コミュニケーション学部については次の資格Ⅰ、コミュニティ福祉学部については次の資格Ⅱに該当する者。 <p>[資格Ⅰ] IELTS、TOEFL（ITP不可）、またはTOEIC L&RおよびTOEIC S&W^(注)（IPテスト不可）を受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。</p> <p>[資格Ⅱ] 実用英語技能検定（英検）（英語4技能に限る）、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、IELTS、TEAP（Reading/Listening+Writing+Speaking）、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W^(注)（IPテスト可）のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。</p> <p>※ 英検については次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 準1級以上：2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 ② 2級：2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 ③ 準2級・3級：一次試験・二次試験ともに2017年6月以降に実施されたものに限る。
選考方法	
<p>・日本語 ・面接試験</p>	
【出願書類】入学志願票／志望理由書／高等学校の成績証明書／高等学校の卒業証明書または卒業見込証明書／住民票／パスポートの写し／証明書類の原本	

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方（4技能）のスコアを提出する必要があります。

外国人留学生入試（書類選考による募集制度）

異文化コミュニケーション学部を除く9学部

募集人員		出願資格
文学部	18名程度	次の1～5の条件をすべて満たす者。 ただし、文学部は次の1～4の条件をすべて満たす者。 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2019年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2019年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. 独立行政法人日本学生支援機構および国外関係機関が実施する「日本留学試験」を受験した者。 5. Cambridge English（ケンブリッジ英検）、実用英語技能検定（英検）（英語4技能に限る）、GTEC 4技能検定版、GTEC CBT、IELTS、TEAP（Reading/Listening+Writing+Speaking）、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&RおよびTOEIC S&W ^{注1} （IPテスト不可）のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。 ※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア・級」が有効。 ※ 英検については次のとおり。 ① 準1級以上：2015年10月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 ② 2級：2016年6月以降に実施された一次試験を合格した一次試験免除者を含む。 ③ 準2級・3級：一次試験・二次試験ともに2017年6月以降に実施されたものに限る。 【日本留学試験に関する注意事項】（②・③は全学共通） ① 科目は右表の通りとする。 ② 出題言語は英語、日本語いずれの選択も可とする。 ③ 成績は直前に実施された試験の4回分（2017年6月、2017年11月、2018年6月、2018年11月実施分）までを有効とする。 複数回受験した場合は、いずれか1回を選択し、その受験番号を申告すること。
経済学部	14名程度	
経営学部	6名程度	
理学部	6名程度	
社会学部	10名程度	
法学部	12名程度	
観光学部	8名程度	
コミュニティ福祉学部	8名程度	
現代心理学部	6名程度	
		[文学部]日本語、総合科目 [経済学部]日本語、総合科目、数学（コース1） [経営学部]日本語、総合科目、数学（コース1） [理学部] 数学科日本語、理科（物理、化学、生物のうちから2科目選択）、数学（コース2） 物理学部日本語、理科（物理を必須とし、その他、化学、生物のうちから1科目選択）、数学（コース2） 化学部日本語、理科（化学を必須とし、その他、物理、生物のうちから1科目選択）、数学（コース2） 生命理学科日本語、理科（物理、化学、生物のうちから2科目選択）、数学（コース2） [社会学部]日本語、総合科目 [法学部]日本語、総合科目、数学（コース1） [観光学部]日本語、総合科目 [コミュニティ福祉学部]日本語、総合科目 [現代心理学部] 心理学科日本語、総合科目、数学（コース1） 映像身体学科日本語、総合科目
選考方法		
〈書類選考〉提出された書類に基づき、学業成績、志望理由、日本留学試験の成績、英語の成績（文学部を除く）などを総合的に評価します。		
【出願書類】入学志願票／志望理由書／高等学校の成績証明書／高等学校の卒業証明書または卒業見込証明書／「日本留学試験」の成績通知書の写しまたは受験票の写し／住民票／パスポートの写し／証明書類の原本（文学部を除く）		

注）TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方（4技能）のスコアを提出する必要があります。

異文化コミュニケーション学部

募集人員		出願資格
異文化コミュニケーション学部	5名程度	次の1～5の条件をすべて満たす者。 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2019年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2019年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. 日本語能力試験N3以上を取得している者。 5. IELTS 6.0以上またはTOEFL iBTスコア80点以上を取得している者。 ※ いずれも「2016年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。
選考方法		
〈書類選考〉提出された書類に基づき、学業成績、志望理由、日本語能力、英語の成績などを総合的に評価します。		
【出願書類】入学志願票／志望理由書／高等学校の成績証明書／高等学校の卒業証明書または卒業見込証明書／住民票／パスポートの写し／証明書類の原本		

指定校推薦入学

全学部・コースで実施します。指定校には7月上旬に入学要項を送付します。詳細は在籍校で確認してください。

社会人入試

大学で学ぶ意欲をもつ社会人を、一般入試とは別の入学試験によって受け入れる制度です。コミュニティ福祉学部、現代心理学部で実施します。入学は学部1年次、授業は昼間に行われ、他の学生と同じ条件の下で所定の課程を修めることになります。

【募集人員】各学部とも若干名 【選考方法】小論文・面接試験 ※現代心理学部は面接試験のみ
 ※出願時に英語資格・検定試験のスコア・級の提出が必須となります。詳細は入試要項で確認してください。

3年次編入学試験

4年制大学において2年次以上を修了した者、または短期大学、高等専門学校卒業生などを対象とした本学の3年次に編入学する制度です。実施学部等詳細については、本学Webサイト入試情報ページ（www.rikkyo.ac.jp/admissions/undergraduate/transfer/）の「編入学試験・学内転部（転科）試験」をご覧ください。

2018年度入試結果

一般入試（全学部日程）

		3教科方式											グローバル方式										
学部	学科・専修	募集人員 (約)	志願者数			受験者数			合格者数			実質 倍率	募集人員 (約)	志願者数			受験者数			合格者数			実質 倍率
			男	女	計	男	女	計	男	女	計			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
文	キリスト教	5	27	52	79	27	49	76	2	7	9	8.4	2	7	20	27	7	20	27	0	3	3	9.0
	英米文学	20	66	196	262	64	188	252	11	29	40	6.3	3	25	60	85	25	59	84	2	8	10	8.4
	ドイツ文学	8	41	90	131	40	89	129	3	12	15	8.6	3	9	39	48	9	38	47	1	6	7	6.7
	フランス文学	8	47	165	212	45	157	202	5	14	19	10.6	3	15	68	83	15	67	82	1	8	9	9.1
	日本文学	16	68	158	226	66	154	220	13	23	36	6.1	3	9	54	63	9	54	63	2	8	10	6.3
	文芸・思想	13	62	144	206	59	139	198	6	37	43	4.6	2	17	49	66	16	49	65	3	4	7	9.3
	史	20	161	166	327	157	159	316	32	23	55	5.7	10	44	84	128	44	84	128	5	15	20	6.4
	教育	10	104	142	246	99	135	234	15	17	32	7.3	3	17	49	66	16	47	63	1	6	7	9.0
異文化 コミュニケーション	小計	100	576	1,113	1,689	557	1,070	1,627	87	162	249	6.5	29	143	423	566	141	418	559	15	58	73	7.7
	異文化コミュニケーション	5	48	167	215	45	164	209	2	15	17	12.3	10	24	54	78	23	52	75	6	7	13	5.8
経済	小計	5	48	167	215	45	164	209	2	15	17	12.3	10	24	54	78	23	52	75	6	7	13	5.8
	経済	40	469	118	587	456	115	571	92	15	107	5.3	10	49	29	78	47	26	73	11	3	14	5.2
	経済政策	20	117	62	179	115	62	177	22	13	35	5.1	6	39	26	65	38	25	63	8	3	11	5.7
	会計ファイナンス	20	80	72	152	79	65	144	23	19	42	3.4	6	26	34	60	26	32	58	4	7	11	5.3
	小計	80	666	252	918	650	242	892	137	47	184	4.8	22	114	89	203	111	83	194	23	13	36	5.4
経営	経営	20	250	153	403	241	150	391	23	17	40	9.8	33	213	201	414	210	195	405	16	21	37	10.9
	国際経営	15	86	62	148	84	59	143	11	5	16	8.9	30	87	105	192	85	104	189	14	16	30	6.3
	小計	35	336	215	551	325	209	534	34	22	56	9.5	63	300	306	606	295	299	594	30	37	67	8.9
理	数	7	158	34	192	151	34	185	20	9	29	6.4	5	33	23	56	32	22	54	4	3	7	7.7
	物理	7	171	36	207	160	34	194	25	4	29	6.7		25	15	40	24	15	39	4	1	5	7.8
	化	5	96	56	152	90	54	144	9	11	20	7.2		24	23	47	23	21	44	4	4	8	5.5
	生命理	7	86	74	160	80	67	147	15	14	29	5.1		17	29	46	17	28	45	4	4	8	5.6
	小計	26	511	200	711	481	189	670	69	38	107	6.3	5	99	90	189	96	86	182	16	12	28	6.5
社会	社会	17	255	250	505	249	241	490	48	44	92	5.3	5	45	85	130	43	83	126	6	8	14	9.0
	現代文化	17	107	179	286	104	177	281	27	31	58	4.8	5	31	74	105	30	73	103	5	6	11	9.4
	メディア社会	17	117	226	343	116	220	336	16	32	48	7.0	5	30	129	159	30	126	156	2	17	19	8.2
	小計	51	479	655	1,134	469	638	1,107	91	107	198	5.6	15	106	288	394	103	282	385	13	31	44	8.8
法	法	35	279	161	440	261	153	414	57	35	92	4.5	3	37	35	72	36	34	70	6	5	11	6.4
	国際ビジネス法	10	54	50	104	51	50	101	11	12	23	4.4	6	27	36	63	26	36	62	2	6	8	7.8
	政治	10	64	31	95	61	29	90	17	7	24	3.8	3	14	14	28	14	14	28	1	3	4	7.0
	小計	55	397	242	639	373	232	605	85	54	139	4.4	12	78	85	163	76	84	160	9	14	23	7.0
観光	観光	15	135	199	334	133	197	330	17	24	41	8.0	5	27	63	90	27	63	90	4	2	6	15.0
	交流文化	10	61	158	219	60	155	215	7	20	27	8.0	5	11	56	67	11	55	66	0	8	8	8.3
コミュニティ 福祉	小計	25	196	357	553	193	352	545	24	44	68	8.0	10	38	119	157	38	118	156	4	10	14	11.1
	コミュニティ政策	20	88	116	204	87	110	197	12	28	40	4.9	3	10	32	42	10	29	39	0	4	4	9.8
	福祉	20	134	221	355	126	216	342	22	28	50	6.8	3	26	77	103	25	76	101	0	6	6	16.8
	スポーツウエルネス	10	159	97	256	156	94	250	14	14	28	8.9	3	17	15	32	17	14	31	1	2	3	10.3
現代心理	小計	50	381	434	815	369	420	789	48	70	118	6.7	9	53	124	177	52	119	171	1	12	13	13.2
	心理	17	120	181	301	112	171	283	12	22	34	8.3	3	26	46	72	25	46	71	2	3	5	14.2
	映像身体	23	92	221	313	89	217	306	17	35	52	5.9	3	23	47	70	23	46	69	1	5	6	11.5
	小計	40	212	402	614	201	388	589	29	57	86	6.8	6	49	93	142	48	92	140	3	8	11	12.7
総 計		467	3,802	4,037	7,839	3,663	3,904	7,567	606	616	1,222	6.2	181	1,004	1,671	2,675	983	1,633	2,616	120	202	322	8.1

一般入試（個別学部日程）

学部	学科・専修	募集人員 (約)	志願者数			受験者数			第1回発表合格者数			第2回発表合格者数			第3・4回発表合格者数			合格者総数			実質 倍率	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
文	キリスト教	23	59	130	189	57	122	179	5	18	23	0	0	0	2	2	4	7	20	27	6.6	
	文学科	英米文学	64	292	708	1,000	276	671	947	29	111	140	5	22	27	8	12	20	42	145	187	5.1
		ドイツ文学	36	90	247	337	85	235	320	12	54	66	0	0	0	0	0	0	12	54	66	4.8
		フランス文学	36	151	483	634	141	457	598	15	46	61	2	13	15	1	17	18	18	76	94	6.4
		日本文学	53	231	555	786	220	537	757	20	65	85	2	8	10	3	17	20	25	90	115	6.6
	文芸・思想	文芸・思想	43	183	414	597	174	395	569	23	79	102	0	0	0	0	0	0	23	79	102	5.6
		史	73	589	517	1,106	558	497	1,055	73	107	180	2	2	4	9	3	12	84	112	196	5.4
		教育	52	373	563	936	360	536	896	52	83	135	2	0	2	0	0	0	54	83	137	6.5
		小計	380	1,968	3,617	5,585	1,871	3,450	5,321	229	563	792	13	45	58	23	51	74	265	659	924	5.8
	異文化 コミュニケーション	60	416	894	1,310	405	876	1,281	39	81	120	0	0	0	0	0	0	39	81	120	10.7	
経済	小計	60	416	894	1,310	405	876	1,281	39	81	120	0	0	0	0	0	0	39	81	120	10.7	
	経済	144	2,038	694	2,732	1,931	664	2,595	194	57	251	49	15	64	20	10	30	263	82	345	7.5	
	経済政策	74	941	410	1,351	910	395	1,305	103	35	138	29	8	37	0	0	0	132	43	175	7.5	
	会計ファイナンス	74	392	287	679	385	279	664	64	44	108	2	1	3	0	0	0	66	45	111	6.0	
	小計	292	3,371	1,391	4,762	3,226	1,338	4,564	361	136	497	80	24	104	20	10	30	461	170	631	7.2	
経営	経営	80	1,489	852	2,341	1,408	808	2,216	60	29	89	11	4	15	18	9	27	89	42	131	16.9	
	国際経営	38	292	237	529	279	222	501	19	19	38	0	0	0	7	3	10	26	22	48	10.4	
	小計	118	1,781	1,089	2,870	1,687	1,030	2,717	79	48	127	11	4	15	25	12	37	115	64	179	15.2	
	数	35	351	108	459	333	99	432	72	13	85	0	0	0	6	6	12	78	19	97	4.5	
理	物理	40	565	125	690	515	115	630	132	28	160	10	1	11	31	3	34	173	32	205	3.1	
	化	42	438	234	672	410	206	616	80	40	120	4	2	6	21	9	30	105	51	156	3.9	
	生命理	40	290	276	566	277	256	533	64	83	147	0	0	0	5	3	8	69	86	155	3.4	
	小計	157	1,644	743	2,387	1,535	676	2,211	348	164	512	14	3	17	63	21	84	425	188	613	3.6	
社会	社会	80	1,058	916	1,974	986	855	1,841	81	72	153	0	0	0	0	0	0	81	72	153	12.0	
	現代文化	80	523	929	1,452	492	883	1,375	52	70	122	0	0	0	0	0	0	52	70	122	11.3	
	メディア社会	80	626	947	1,573	595	899	1,494	41	72	113	0	0	0	0	0	0	41	72	113	13.2	
	小計	240	2,207	2,792	4,999	2,073	2,637	4,710	174	214	388	0	0	0	0	0	0	174	214	388	12.1	
法	法	145	1,760	1,171	2,931	1,698	1,125	2,823	284	202	486	84	58	142	31	17	48	399	277	676	4.2	
	国際ビジネス法	45	245	262	507	238	256	494	32	50	82	14	8	22	14	16	30	60	74	134	3.7	
	政治	45	342	254	596	329	244	573	83	59	142	2	1	3	5	10	15	90	70	160	3.6	
	小計	235	2,347	1,687	4,034	2,265	1,625	3,890	399	311	710	100	67	167	50	43	93	549	421	970	4.0	
観光	観光	103	703	1,148	1,851	676	1,108	1,784	80	109	189	9	14	23	3	1	4	92	124	216	8.3	
	交流文化	87	433	966	1,399	409	935	1,344	57	99	156	9	17	26	3	11	14	69	127	196	6.9	
	小計	190	1,136	2,114	3,250	1,085	2,043	3,128	137	208	345	18	31	49	6	12	18	161	251	412	7.6	
	コミュニティ政策	68	364	457	821	344	442	786	41	59	100	0	0	0	0	0	0	41	59	100	7.9	
コミュニティ 福祉	福祉	63	349	625	974	322	595	917	40	82	122	0	0	0	0	0	0	40	82	122	7.5	
	スポーツウエルネス	36	453	265	718	434	255	689	26	20	46	1	2	3	0	0	0	27	22	49	14.1	
	小計	167	1,166	1,347	2,513	1,100	1,292	2,392	107	161	268	1	2	3	0	0	0	108	163	271	8.8	
	心理	43	375	621	996	342	566	908	20	50	70	0	0	0	0	0	0	20	50	70	13.0	
現代心理	映像身体	56	299	612	911	269	580	849	29	59	88	5	6	11	0	0	0	34	65	99	8.6	
	小計	99	674	1,233	1,907	611	1,146	1,757	49	109	158	5	6	11	0	0	0	54	115	169	10.4	
総 計		1,938	16,710	16,907	33,617	15,858	16,113	31,971	1,922	1,995	3,917	242	182	424	187	149	336	2,351	2,326	4,677	6.8	

2018年度入試結果

大学入試センター試験利用入試

学部	学科・専修	募集人員 (約)	志願者数			合格者数			実質 倍率	
			男	女	計	男	女	計		
文	3教科型	キリスト教	4	47	95	142	9	13	22	6.5
		英米文学	25	306	848	1,154	65	178	243	4.7
		ドイツ文学	4	96	204	300	15	25	40	7.5
		フランス文学	4	195	564	759	16	58	74	10.3
		日本文学	10	160	400	560	30	90	120	4.7
		文芸・思想	3	105	231	336	11	39	50	6.7
	4教科型	史	10	257	315	572	46	86	132	4.3
		教育	3	144	244	388	20	20	40	9.7
		小計	63	1,310	2,901	4,211	212	509	721	5.8
		キリスト教	2	26	24	50	7	10	17	2.9
		英米文学	5	61	130	191	18	39	57	3.4
		ドイツ文学	3	27	42	69	12	19	31	2.2
	異文化 コミュニケーション	フランス文学	3	18	61	79	6	19	25	3.2
		日本文学	4	30	87	117	12	35	47	2.5
		文芸・思想	2	29	57	86	11	19	30	2.9
		史	10	132	110	242	60	61	121	2.0
		教育	4	142	169	311	31	51	82	3.8
		小計	33	465	680	1,145	157	253	410	2.8
経済	3教科型	異文化 コミュニケーション	5	172	417	589	9	26	35	16.8
		小計	5	172	417	589	9	26	35	16.8
		異文化 コミュニケーション	3	51	139	190	7	12	19	10.0
	4教科型	小計	3	51	139	190	7	12	19	10.0
		経済	20	1,693	605	2,298	102	66	168	13.7
		経済政策	12	283	130	413	37	26	63	6.6
経営	3教科型	会計ファイナンス	12	186	118	304	35	25	60	5.1
		小計	44	2,162	853	3,015	174	117	291	10.4
		経済	15	345	151	496	59	46	105	4.7
	4教科型	経済政策	8	54	25	79	10	8	18	4.4
		会計ファイナンス	8	42	46	88	8	7	15	5.9
		小計	31	441	222	663	77	61	138	4.8
理	3教科型	経営	15	1,220	549	1,769	27	42	69	25.6
		国際経営	10	429	269	698	18	20	38	18.4
		小計	25	1,649	818	2,467	45	62	107	23.1
	4教科型	経営	5	202	100	302	10	10	20	15.1
		国際経営	5	54	39	93	1	11	12	7.8
		小計	10	256	139	395	11	21	32	12.3
社会	3教科型	数	3	278	69	347	51	9	60	5.8
		物理	5	389	87	476	78	14	92	5.2
		化	5	347	179	526	72	28	100	5.3
	4教科型	生命理	5	226	217	443	52	41	93	4.8
		小計	18	1,240	552	1,792	253	92	345	5.2
		数	3	140	60	200	39	14	53	3.8
法	3教科型	物理	5	312	95	407	88	32	120	3.4
		化	5	106	88	194	39	31	70	2.8
		生命理	5	129	201	330	41	77	118	2.8
	4教科型	小計	18	687	444	1,131	207	154	361	3.1
		社会	14	408	485	893	42	75	117	7.6
		現代文化	14	139	298	437	27	55	82	5.3
観光	3教科型	メディア社会	14	356	606	962	34	73	107	9.0
		小計	42	903	1,389	2,292	103	203	306	7.5
		社会	10	161	201	362	50	75	125	2.9
	4教科型	現代文化	10	30	65	95	11	27	38	2.5
		メディア社会	10	118	141	259	17	36	53	4.9
		小計	30	309	407	716	78	138	216	3.3
コミュニティ 福祉	3教科型	法	20	697	536	1,233	81	106	187	6.6
		国際ビジネス法	5	93	121	214	10	22	32	6.7
		政治	5	177	127	304	24	26	50	6.1
	4教科型	小計	30	967	784	1,751	115	154	269	6.5
		法	12	292	215	507	77	75	152	3.3
		国際ビジネス法	4	93	85	178	19	17	36	4.9
現代心理	3教科型	政治	4	55	46	101	13	21	34	3.0
		小計	20	440	346	786	109	113	222	3.5
		観光	10	368	525	893	25	43	68	13.1
	4教科型	交流文化	10	301	788	1,089	19	40	59	18.5
		小計	20	669	1,313	1,982	44	83	127	15.6
		観光	10	55	82	137	14	27	41	3.3
現代心理	3教科型	交流文化	10	45	136	181	3	24	27	6.7
		小計	20	100	218	318	17	51	68	4.7
		コミュニティ政策	15	541	473	1,014	47	56	103	9.8
	4教科型	福祉	15	225	303	528	34	52	86	6.1
		スポーツウエルネス	10	263	140	403	36	21	57	7.1
		小計	40	1,029	916	1,945	117	129	246	7.9
現代心理	3教科型	コミュニティ政策	5	52	55	107	3	11	14	7.6
		福祉	5	18	48	66	4	18	22	3.0
		スポーツウエルネス	5	125	64	189	25	7	32	5.9
	4教科型	小計	15	195	167	362	32	36	68	5.3
		心理	16	288	426	714	20	45	65	11.0
		映像身体	20	254	529	783	16	59	75	10.4
現代心理	3教科型	小計	36	542	955	1,497	36	104	140	10.7
		心理	7	88	126	214	21	29	50	4.3
		映像身体	11	64	137	201	14	46	60	3.4
	4教科型	小計	18	152	263	415	35	75	110	3.8
		総 計	521	13,739	13,923	27,662	1,838	2,393	4,231	6.5

※2019年度入試より、「3教科型」「4教科型」から「3科目型」「4科目型」「6科目型」に変更となります。

自由選抜入試

学部	学科・専修	志願者数			書類選考合格者数			合格者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
文	キリスト教	0	0	0	—	—	—	0	0	0
	英米文学	0	1	1	—	—	—	0	1	1
	ドイツ文学	4	6	10	—	—	—	1	3	4
	フランス文学	3	9	12	—	—	—	0	4	4
	日本文学	0	1	1	—	—	—	0	0	0
	文芸・思想	0	2	2	—	—	—	0	0	0
	史	0	0	0	—	—	—	0	0	0
	教育	0	1	1	—	—	—	0	0	0
異文化 コミュニ ケーション	小計	7	20	27	—	—	—	1	8	9
	異文化 コミュニケーション	31	112	143	11	60	71	4	33	37
	小計	31	112	143	11	60	71	4	33	37
経済	経済	23	27	50	10	11	21	6	5	11
	経済政策	27	37	64	5	16	21	0	7	7
	会計・ファイナンス	7	11	18	4	6	10	1	3	4
	小計	57	75	132	19	33	52	7	15	22
経営	資格Ⅰ 経営	12	17	29	9	17	26	5	11	16
	資格Ⅱ 経営	15	33	48	1	12	13	0	12	12
	資格Ⅲ 経営	7	10	17	6	8	14	2	5	7
	資格Ⅳ 国際経営	16	40	56	16	40	56	5	22	27
	方式A 経営	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	方式B 国際経営	0	2	2	0	1	1	0	0	0
	小計	50	102	152	32	78	110	12	50	62
理	数	4	3	7	4	3	7	0	1	1
	物理	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	化	3	1	4	1	1	2	1	1	2
	生命理	1	6	7	0	6	6	0	4	4
	小計	9	10	19	6	10	16	2	6	8
	法	4	11	15	0	5	5	0	1	1
	国際ビジネス法	7	8	15	3	3	6	3	1	4
法	政治	4	9	13	3	3	6	2	2	4
	小計	15	28	43	6	11	17	5	4	9
	観光	15	30	45	1	7	8	1	5	6
	交流文化	4	30	34	1	6	7	1	5	6
	小計	19	60	79	2	13	15	2	10	12
コミュニティ 福祉	コミュニティ政策	22	51	73	6	21	27	4	11	15
	福祉	8	26	34	3	17	20	1	12	13
	スポーツウエルネス	33	41	74	7	13	20	4	8	12
現代心理	小計	63	118	181	16	51	67	9	31	40
	心理	17	72	89	3	27	30	1	8	9
	映像身体	16	105	121	0	36	36	0	30	30
	小計	33	177	210	3	63	66	1	38	39
	総 計	284	702	986	95	319	414	43	195	238

国際コース選抜入試

学部・学科・コース		志願者数			書類選考合格者数			合格者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
異文化 コミュニ ケーション	異文化 コミュニケーション	13	47	60	7	34	41	7	26	33
	小計	13	47	60	7	34	41	7	26	33
	社会	4	22	26	2	10	12	2	8	10
	現代文化	7	29	36	1	13	14	0	6	6
	メディア社会	3	13	16	2	8	10	0	4	4
社会	小計	14	64	78	5	31	36	2	18	20
	GLAP (秋季実施)	41	78	119	12	43	55	3	21	24
	GLAP (春季実施)	15	29	44	9	14	23	4	2	6
	小計	56	107	163	21	57	78	7	23	30
総 計		83	218	301	33	122	155	16	67	83

アスリート選抜入試

学部	学科・専修	志願者数			第一次選考合格者数			合格者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
文	キリスト教				0	1	1	0	1	1
	英米文学				0	1	1	0	1	1
	ドイツ文学				0	1	1	0	1	1
	フランス文学				0	0	0	0	0	0
	日本文学				0	2	2	0	2	2
	文芸・思想				2	0	2	0	0	0
	史				1	3	4	1	3	4
	教育				0	3	3	0	3	3
	小計				3	11	14	1	11	12
	異文化コミュニケーション				2	1	3	1	1	2
経済	小計				2	1	3	1	1	2
	経済				5	0	5	2	0	2
	経済政策				2	2	4	1	2	3
	会計ファイナンス				1	2	3	0	2	2
	小計				8	4	12	3	4	7
経営	経営				6	0	6	6	0	6
	国際経営				0	0	0	0	0	0
	小計				6	0	6	6	0	6
理	数				2	0	2	0	0	0
	物理				0	0	0	0	0	0
	化				1	1	2	1	0	1
	生命理				1	0	1	0	0	0
	小計				4	1	5	1	0	1
社会	社会				1	2	3	1	2	3
	現代文化				0	2	2	0	2	2
	メディア社会				1	1	2	1	1	2
	小計				2	5	7	2	5	7
法	法				4	1	5	3	1	4
	国際ビジネス法				1	2	3	2	1	3
	政治				2	1	3	1	2	3
	小計				7	4	11	6	4	10
観光	観光				1	3	4	0	3	3
	交流文化				2	0	2	2	0	2
	小計				3	3	6	2	3	5
コミュニティ福祉	コミュニティ政策				2	1	3	2	1	3
	福祉				1	2	3	0	2	2
	スポーツウエルネス				5	1	6	4	1	5
	小計				8	4	12	6	4	10
現代心理	心理				2	1	3	2	1	3
	映像身体				1	2	3	1	2	3
	小計				3	3	6	3	3	6
総 計		113	86	199	46	36	82	31	35	66

帰国生入試

学部	学科	志願者数			合格者数		
		男	女	計	男	女	計
経営	経営	17	13	30	1	3	4
	国際経営	26	11	37	2	2	4
	小計	43	24	67	3	5	8
総 計		43	24	67	3	5	8

外国人留学生入試（書類選考による募集制度）

学部	学科・専修	志願者数			合格者数		
		男	女	計	男	女	計
文	キリスト教	5	3	8	2	1	3
	英米文学	8	7	15	1	1	2
	ドイツ文学	2	1	3	1	1	2
	フランス文学	0	1	1	0	1	1
	日本文学	35	36	71	10	6	16
	文芸・思想	15	10	25	1	0	1
	史	51	19	70	8	3	11
	教育	17	20	37	3	3	6
	小計	133	97	230	26	16	42
	異文化コミュニケーション	7	15	22	3	9	12
経済	小計	7	15	22	3	9	12
	経済	99	51	150	26	10	36
	経済政策	20	14	34	4	1	5
	会計ファイナンス	18	10	28	2	3	5
	小計	137	75	212	32	14	46
経営	経営	20	13	33	2	1	3
	国際経営	12	10	22	0	1	1
	小計	32	23	55	2	2	4
理	数	10	3	13	2	0	2
	物理	20	4	24	2	2	4
	化	15	7	22	1	3	4
	生命理	13	14	27	3	0	3
	小計	58	28	86	8	5	13
社会	社会	49	33	82	1	3	4
	現代文化	17	22	39	2	1	3
	メディア社会	36	54	90	5	2	7
	小計	102	109	211	8	6	14
法	法	28	17	45	15	10	25
	国際ビジネス法	12	6	18	3	1	4
	政治	15	4	19	7	1	8
	小計	55	27	82	25	12	37
観光	観光	29	29	58	3	3	6
	交流文化	7	6	13	1	0	1
	小計	36	35	71	4	3	7
コミュニティ福祉	コミュニティ政策	4	0	4	2	0	2
	福祉	11	9	20	7	0	7
	スポーツウエルネス	11	2	13	2	0	2
	小計	26	11	37	11	0	11
現代心理	心理	25	27	52	2	1	3
	映像身体	10	21	31	1	3	4
	小計	35	48	83	3	4	7
総 計		621	468	1,089	122	71	193

外国人留学生入試（筆記試験および面接による募集制度）

学部	学科	志願者数			合格者数		
		男	女	計	男	女	計
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	17	28	45	2	10	12
	小計	17	28	45	2	10	12
	コミュニティ政策	1	0	1	0	0	0
コミュニティ福祉	福祉	2	1	3	0	0	0
	スポーツウエルネス	1	0	1	0	0	0
	小計	4	1	5	0	0	0
	小計	21	29	50	2	10	12

社会人入試（学部1年次）

学部	学科	志願者数			合格者数		
		男	女	計	男	女	計
コミュニティ福祉	コミュニティ政策	0	1	1	0	1	1
	福祉	0	0	0	0	0	0
	スポーツウエルネス	0	0	0	0	0	0
	小計	0	1	1	0	1	1
現代心理	心理	3	2	5	0	1	1
	映像身体	0	0	0	0	0	0
	小計	3	2	5	0	1	1
総 計		3	3	6	0	2	2

大学基本情報

■教員数

学部	学科・専修	教授 特任教授	准教授 特任准教授	講師 教育講師 法務講師 兼任講師	助教	チャブレン カウンセラー
チャブレン		—	—	—	—	4
文	キリスト教	7	2	—	—	—
	文学科	英米文学	8	2	—	2
		ドイツ文学	4	—	—	3
		フランス文学	5	—	—	1
		日本文学	7	1	—	1
		文芸・思想	5	2	—	—
	史学科	世界史学	4	2	—	—
		日本史学	5	1	—	—
		超域文化学	5	—	—	—
	教育	9	3	—	—	—
	小計	59	13	267*	7	—
異文化 コミュニケーション	異文化 コミュニケーション	27	10	—	6	—
	小計	27	10	44*	6	—
経済	経済	9	7	—	3	—
	経済政策	8	4	—	2	—
	会計ファイナンス	8	3	—	3	—
	小計	25	14	87*	8	—
経営	経営	11	3	—	2	—
	国際経営	8	6	1	3	—
	小計	19	9	80*	5	—
理	数	10	3	—	1	—
	物理	9	5	—	5	—
	化	12	1	—	5	—
	生命理	8	5	—	4	—
	小計	39	14	110*	17*	—
社会	社会	9	2	—	2	—
	現代文化	4	5	—	3	—
	メディア社会	8	3	—	2	—
	小計	21	10	139*	7	—
法	法	10	5	—	2	—
	国際ビジネス法	9	3	—	—	—
	政治	9	3	—	3	—
	小計	28	11	62*	5	—
観光	観光	12	—	—	1	—
	交流文化	8	3	—	2	—
	小計	20	3	81*	3	—
コミュニティ 福祉	コミュニティ政策	10	—	—	4	—
	福祉	7	2	—	5	—
	スポーツウエルネス	7	3	—	2	—
	小計	24	5	106*	11	—
現代心理	心理	7	5	—	2	1
	映像身体	10	4	—	2	—
	小計	17	9	89*	4	1
GLAP		1	2	1	—	—
文学研究科		1	—	—	—	—
経済学研究科		4	—	—	—	—
ビジネスデザイン研究科		12	1	26	1	—
21世紀社会デザイン研究科		3	2	28	1	—
異文化コミュニケーション研究科		—	3	11	—	—
法務研究科		15	—	28	—	—
キリスト教教学研究科		2	—	7	—	—
全学共通カリキュラム運営センター		—	—	453	—	—
ランゲージ・センター		—	—	43	—	—
英語ディスカッション教育センター		—	—	4	—	—
学校・社会教育講座		9	1	71	—	—
ラテンアメリカ研究所		—	—	6	—	—
日本語教育センター		—	—	16	—	—
立教セカンドステージ大学		—	—	16	—	—
社会情報教育研究センター		—	—	—	5	—
総 計		326	107	1,775	80	5

*特定の学科（専修）に属さない者も含む。 2017年11月1日現在

■学部学生在籍者数

学部	学科・専修	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
文	キリスト教	11	36	17	35	10	37	13	43	51	151	202
	文学科 英米文学	34	119	42	99	41	123	65	138	182	479	661
	文学科 ドイツ文学	22	56	22	54	13	62	26	85	83	257	340
	文学科 フランス文学	12	67	15	62	9	77	20	69	56	275	331
	文学科 日本文学	29	84	30	87	27	87	27	101	113	359	472
	文学科 文芸・思想	28	61	25	57	26	73	41	66	120	257	377
	史	79	124	74	134	94	129	117	133	364	520	884
	教育学科 教育学専攻課程	44	66	60	69	42	38	26	42	172	215	387
	教育学科 初等教育専攻課程	—	—	—	—	15	18	19	24	34	42	76
	小計	259	613	285	597	277	644	354	701	1,175	2,555	3,730
	異文化 コミュニケーション	51	101	46	96	40	108	46	114	183	419	602
	小計	51	101	46	96	40	108	46	114	183	419	602
経済	経済	233	94	230	110	211	117	287	136	961	457	1,418
	経済政策	105	69	93	72	105	73	142	75	445	289	734
	会計ファイナンス	91	74	96	74	105	77	141	76	433	301	734
	小計	429	237	419	256	421	267	570	287	1,839	1,047	2,886
経営	経営	116	108	142	116	124	105	139	120	521	449	970
	国際経営	59	79	78	87	72	84	78	103	287	353	640
	小計	175	187	220	203	196	189	217	223	808	802	1,610
理	数	52	12	61	15	49	15	60	17	222	59	281
	物理	63	13	67	17	63	13	85	13	278	56	334
	化	40	35	57	29	46	27	49	30	192	121	313
	生命理	30	40	30	28	44	29	43	29	147	126	273
	小計	185	100	215	89	202	84	237	89	839	362	1,201
社会	社会	85	96	86	81	86	85	118	94	375	356	731
	現代文化	81	88	62	110	72	97	82	125	297	420	717
	メディア社会	71	93	75	101	71	98	110	109	327	401	728
	小計	237	277	223	292	229	280	310	328	999	1,177	2,176
法	法	200	150	194	158	207	167	292	169	893	644	1,537
	国際ビジネス法	52	61	51	57	53	78	75	89	231	285	516
	政治	52	51	62	51	65	67	79	62	258	231	489
	小計	304	262	307	266	325	312	446	320	1,382	1,160	2,542
観光	観光	85	107	78	109	67	129	95	153	325	498	823
	交流文化	55	119	48	156	48	118	66	165	217	558	775
	小計	140	226	126	265	115	247	161	318	542	1,056	1,598
コミュニティ 福祉	コミュニティ政策	52	96	66	88	53	101	84	98	255	383	638
	福祉	50	102	41	107	47	104	65	108	203	421	624
	スポーツウエルネス	65	42	77	36	82	35	78	46	302	159	461
	小計	167	240	184	231	182	240	227	252	760	963	1,723
現代心理	心理	43	99	33	110	40	97	65	106	181	412	593
	映像身体	42	126	56	125	47	119	77	138	222	508	730
	小計	85	225	89	235	87	216	142	244	403	920	1,323
GLAP	GLAP	6	13	7	15	—	—	—	—	13	28	41
	小計	6	13	7	15	—	—	—	—	13	28	41
総 計		2,038	2,481	2,121	2,545	2,074	2,587	2,710	2,876	8,943	10,489	19,432

2018年4月1日現在

■大学院生在籍者数

研究科	専攻	前期		後期		合計		
		男	女	男	女	男	女	計
キリスト教学	キリスト教学	3	6	12	5	15	11	26
	小計	3	6	12	5	15	11	26
文学	日本文学	11	15	14	15	25	30	55
	英米文学	5	7	1	9	6	16	22
	ドイツ文学	2	3	3	2	5	5	10
	フランス文学	3	4	3	2	6	6	12
	史学	8	11	4	3	12	14	26
	超域文化学	2	4	—	1	2	5	7
	教育学	10	9	5	2	15	11	26
	比較文明学	6	4	3	2	9	6	15
	小計	47	57	33	36	80	93	173
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	5	20	5	17	10	37	47
	小計	5	20	5	17	10	37	47
経済学	経済学	46	21	9	3	55	24	79
	小計	46	21	9	3	55	24	79
経営学	経営学	6	15	4	3	10	18	28
	国際経営学	32	25	—	—	32	25	57
	小計	38	40	4	3	42	43	85
理学	物理学	31	5	11	2	42	7	49
	化学	46	12	4	—	50	12	62
	数学	5	1	2	—	7	1	8
	生命理学	15	16	—	—	15	16	31
	小計	97	34	17	2	114	36	150
社会学	社会	11	17	4	11	15	28	43
	小計	11	17	4	11	15	28	43
法学	法学政治学	10	7	9	—	19	7	26
	小計	10	7	9	—	19	7	26
観光学	観光学	6	12	6	6	12	18	30
	小計	6	12	6	6	12	18	30
コミュニティ福祉学	コミュニティ福祉学	14	10	19	9	33	19	52
	小計	14	10	19	9	33	19	52
現代心理学	心理学	1	6	1	3	2	9	11
	臨床心理学	7	20	2	1	9	21	30
	映像身体学	7	8	7	1	14	9	23
	小計	15	34	10	5	25	39	64
ビジネスデザイン	ビジネスデザイン	134	113	10	11	144	124	268
	小計	134	113	10	11	144	124	268
21世紀社会デザイン	比較組織ネットワーク学	47	61	9	7	56	68	124
	小計	47	61	9	7	56	68	124
法務	法務専攻(3年標準型)	—	—	11	8	11	8	19
	法務専攻(2年短縮型)	—	—	7	4	7	4	11
	小計	—	—	18	12	18	12	30
総計		473	432	165	127	638	559	1,197

2018年4月1日現在

■外国人留学生数(所属別内訳)

学部・研究科	正規課程学生			特別外国人学生*			小計			合計
	学部	前期	後期	学部	前期	後期	学部	前期	後期	
文	68	15	10	14	7	1	82	22	11	115
異文化コミュニケーション	54	15	2	28	2	—	82	17	2	101
経済	55	10	1	7	2	—	62	12	1	75
経営	42	60	2	51	14	—	93	74	2	169
理	20	1	—	1	3	—	21	4	0	25
社会	38	10	—	10	2	—	48	12	0	60
法	31	2	2	4	4	1	35	6	3	44
観光	27	6	7	20	1	—	47	7	7	61
コミュニティ福祉	17	2	5	2	—	—	19	2	5	26
現代心理	27	3	1	3	—	—	30	3	1	34
キリスト教学	—	1	2	—	—	—	—	1	2	3
ビジネスデザイン	—	126	1	—	—	—	—	126	1	127
21世紀社会デザイン	—	19	2	—	—	—	—	19	2	21
GLAP	2	—	—	—	—	—	2	—	—	2
小計	381	270	35	140	35	2	521	305	37	863
総計		686			177			863		

*特別外国人学生は在留資格「留学」以外も含む。

2017年10月20日現在

■外国人留学生数(国籍別内訳)

国・地域	正規課程学生			特別外国人学生*1			小計			合計
	学部	前期	後期	学部	前期	後期	学部	前期	後期	
アイスランド	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
アイルランド	—	—	—	2	1	—	2	1	—	3
アメリカ	—	2	—	18	—	1	18	2	1	21
イギリス	—	—	—	6	—	—	6	—	—	6
イタリア	—	—	—	—	2	—	—	2	—	2
インドネシア	—	10	1	2	—	—	2	10	1	13
エジプト	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
オーストラリア	—	—	—	8	—	—	8	—	—	8
オランダ	—	—	—	8	1	—	8	1	—	9
カナダ	1	1	—	8	—	—	9	1	—	10
韓国	172	3	14	11	—	—	183	3	14	200
ギリシャ	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
キルギス	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1
ケニア	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1
サウジアラビア	—	2	—	—	—	—	—	2	—	2
サントメ・プリンシペ	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
ザンビア	—	2	—	—	—	—	—	2	—	2
シンガポール	—	—	—	2	—	—	2	—	—	2
スイス	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
スウェーデン	1	1	—	5	1	—	6	2	—	8
スペイン	1	—	—	6	—	—	7	—	—	7
スロバキア	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
スロベニア	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
タイ	1	3	1	2	—	—	3	3	1	7
台湾	8	8	3	7	3	—	15	11	3	29
タンザニア	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
チェコ	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
中国	179	209	15	13	8	1	192	217	16	425
中国(香港)	4	3	—	2	—	—	6	3	—	9
デンマーク	—	1	—	9	1	—	9	2	—	11
ドイツ	1	3	—	3	7	—	4	10	—	14
ネパール	—	4	—	—	—	—	—	4	—	4
ノルウェー	—	—	—	2	—	—	2	—	—	2
ハンガリー	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
フィジー	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1
フィンランド	—	—	—	2	3	—	2	3	—	5
ブラジル	1	—	—	—	1	—	1	1	—	2
フランス	—	3	—	7	4	—	7	7	—	14
ブルガリア	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
ブルネイ	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
ベトナム	5	—	—	2	—	—	7	—	—	7
ベナン	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
ペルー	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1
ベルギー	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
ポーランド	—	1	—	—	1	—	—	2	—	2
ボツワナ	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1
ポルトガル	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1
マレーシア	5	—	—	3	—	—	8	—	—	8
南アフリカ	—	2	—	—	—	—	—	2	—	2
モロッコ	—	4	—	—	—	—	—	4	—	4
日本*2	—	—	—	5	—	—	5	—	—	5
小計	381	270	35	140	35	2	521	305	37	863
総計		686			177			863		

*1.特別外国人学生は在留資格「留学」以外も含む。

2017年10月20日現在

*2.海外の大学に在籍し、日本国籍を有している留学生。

池袋キャンパス

文学部
異文化コミュニケーション学部
経済学部
経営学部
理学部
社会学部
法学部
Global Liberal Arts Program



自由見学モデルコース

正門の正面に建つ本館（モリス館）からスタートし、チャペルや食堂など主要な施設を効率よく見学できるコースです。キャンパス内を歩くだけでも、大学の空気を感じることができます。

- | | | |
|--|---|------------------------------------|
| 1 ● 本館(1号館／モリス館) | 13 ● 13号館(理学部棟) | 24 ● チャペル(立教学院諸聖徒礼拝堂) |
| 2 2号館 | 14 ● 14号館 | 25 ● チャペル会館 |
| 3 3号館(★入学センター) | 15 ● マキムホール(15号館)
(国際センター、日本語教育センター、祈りの部屋、
グローバル教育センター、グローバルラウンジ) | 26 ミッチェル館 |
| 4 ● 4号館(理学部棟) | 16 ● 16号館 | 27 セントポールズ会館
(日比谷松本楼セントポールズ会館店) |
| 5 ● 5号館(ボランティアセンター、学生部、
レストラン・アイビー) | 17 17号館 | 28 ライフスナイダー館 |
| 6 ● 6号館(キャリアセンター) | 18 ● ロイドホール(18号館)
(池袋図書館) | 29 ● ウィリアムズホール(カフェテリア山小屋) |
| 7 ● 7号館 | 19 タッカーホール(教務事務センター) | 30 ● セントボールプラザ(書籍・文具店、コンビニ) |
| 8 ● 8号館(PC教室、メディアセンター) | 20 ● ● メーザーライブラリー記念館
(立教学院展示館、メーザー・ラーニング・commons) | 31 ● 太刀川記念館 |
| 9 ● 9号館(軽食堂コモンルーム、
立教セカンドステージ大学事務室) | 21 学生相談所 | 32 鈴懸の径 |
| 10 10号館 | 22 ● 診療所・保健室棟 | 33 ● 旧江戸川乱歩邸(水・金曜日のみ一般公開) |
| 11 ● 11号館 | 23 ● 第一食堂 | 34 ● 学院事務棟(広報室) |
| 12 ● 12号館(しょうがい学生支援室、
TULLY'S COFFEE) | | 35 ● 学院事務棟アネックス |
| | | 36 ● ボール・ラッシュ・アスレティックセンター |
| | | 37 ● 事業会館アネックス |

★入学センター

●は一般の方も館内見学可能な施設です。(このマークのついている建物以外は、建物の外から見学するようにしてください)

●は多目的トイレのある建物です。休日は29 ウィリアムズホール 1 階のトイレをご利用ください。※キャンパス内の配置は、2018 年 4 月現在の情報です。

- | | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|
| <p>1 本館
(1号館／モリス館)</p>  | <p>18 ロイドホール
(池袋図書館)</p>  | <p>20 立教学院展示館</p>  | <p>23 第一食堂</p>  | <p>24 チャペル
(立教学院諸聖徒礼拝堂)</p>  | <p>26 ポール・ラッシュ・アスレティックセンター</p>  |
|---|---|--|---|--|---|

1918年に米国聖公会宣教師アーサー・ラザフォード・モリス氏の寄付によって建てられたため「モリス館」とも呼ばれています。

池袋図書館と研究施設からなります。図書館は、収蔵可能冊数200万冊を誇り、国内屈指の大規模図書館です。

貴重資料の展示をとおして、
立教の歴史と伝統、教育と研
究をわかりやすく学ぶことが
できます。

1918年建造の伝統的なレンガ造りの外観をもち、高い天井に黒い木の梁と漆喰壁が映える美しい建物です。

東京都の歴史的建造物の指定を受けていて、卒業生や立教関係者の結婚式も行っています。

地上5階・地下2階で、施設内には50mプール、テニスコート、アリーナ、トレーニングルームを完備しています。

館内見学OK

館内見学OK

館内見学OK

新座キャンパス

観光学部
コミュニティ福祉学部
現代心理学部



自由見学モデルコース

正門からすぐのチャペルからスタートし、食堂やスタジオ棟など各施設をめぐるコースです。緑あふれる開放的なキャンパスの雰囲気を感じてください。

- 1 ● 1号館 (キャリアセンター、情報ラウンジ、書籍・文具店、コンビニ)
- 2 ● 2号館
- 3 3号館
- 4 ● 4号館 (学生食堂「こかげ」、コモンルーム、SUBWAY)
- 5 ● 5号館 (研究棟)
- 6 ● 6号館 (研究棟、ロフト1・2、人権・ハラスメント対策センター)
- 7 ● 7号館 (見学受付、教務事務センター、学生部、しょうがい学生支援室、国際センター、学校・社会教育講座事務室、ボランティアセンター)
- 8 ● 8号館 (PC教室、メディアセンター、グローバルラウンジ)
- 9 実験棟
- 10 スタジオ棟
- 11 ● 体育館
- 12 ● 新座図書館 (6号館1・2F)
- 13 ● 新座保存書庫 (心理教育相談所)
- 14 ● Forest (学生食堂)

- 15 ● 保健室
- 16 ● 学生相談所
- 17 ● チャペル (立教学院聖パウロ礼拝堂)
- 18 ペルタワ、● チャペル会館
- 19 ● ユリの木ホール
- 20 弓道場
- 21 野球部合宿所
- 22 野球部グラウンド
- 23 テニスコート
- 24 多目的グラウンド
- 25 多目的コート
- 26 ● セントポールズ・アクアティックセンター
- 27 ● 太刀川記念交流会館
- 28 室内練習場

- 29 セントポールズ・フィールド
- 30 ● フィールドハウス

どちらのキャンパスも利用可!

大学公式アプリをスマートフォンにインストールすると迷わず見学することができます。

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

立教 アプリ

● は一般の方も館内見学可能な施設です。(このマークのついている建物以外は、建物の外から見学するようにしてください)
● は多目的トイレのある建物です。※キャンパス内の配置は、2018年4月現在の情報です。

1 1号館



正門からの並木道を抜けた正面に位置するシンボリックな建物で、キャリアセンターなどがあります。

館内見学OK

14 Forest

(学生食堂)



オープンエアのテラスも設置しており、豊富なメニューで学生たちの食生活を支えます。

館内見学OK

17 チャペル

(立教学院聖パウロ礼拝堂)



祭壇正面には大きな十字架がかかり、パイプオルガンが荘厳な音色を奏でます。

館内見学OK

19 ユリの木ホール

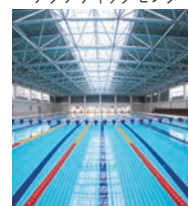


クラブ・サークルの部室が集まる課外活動施設。スタジオ、音楽練習室、アトリエ、和室、共有ラウンジなどがあります。

館内見学OK

立教学院の体育・スポーツの拠点

26 セントポールズ・アクアティックセンター



日本水泳連盟より、競泳用の国内基準プールとして公認されている室内温水プールです。

29 セントポールズ・フィールド



跳躍場、投擲場、ラグビー・アメフト兼用インフィールドなどを備えた陸上競技場です。

立教大学に行こう

キャンパスは、4年間の学びを支える大事な場所。
実際に目にする事で、大学のイメージが膨らみます。

思い立ったらすぐ行こう！実は近い立教大学。

🚶 東京駅から20分 🚶 大宮駅から25分
🚶 横浜駅から40分 ✈ 羽田空港から60分

※池袋キャンパスがある池袋駅までの所要時間の目安です。

キャンパスに入れる4つのルート



大学の開門時間内であれば予約不要で自由見学ができます。池袋キャンパスのみ、キャンパスツアーを授業期間中の指定日に実施します。ツアーをご希望の方は事前に予約を。



大学紹介ビデオ上映やキャンパスツアー等を行う形式、自由見学形式があります。団体での見学の場合は、2週間前までに各キャンパスの窓口連絡先までご連絡ください。先着順の受付です。



毎年11月上旬、池袋キャンパスではSt.Paul's Festival (セントポールズフェスティバル)、新座キャンパスではIVY Festa (アイビーフェスタ)という名称で、学園祭が開催されています。



毎年夏季に行われるオープンキャンパスでは、入学後の自分をシミュレーションしながら、学ぶ楽しさを知ってもらうためのさまざまなプログラムを用意しています。



キャンパスの見どころツアー

個人見学
団体見学
オープンキャンパス

池袋キャンパスは歴史ある本館(1号館/モリス館)やチャペル、第一食堂、鈴懸の径など、新座キャンパスはチャペルや図書館、スタジオ棟などをめぐります。



学食でごはん

個人見学
団体見学
学園祭
オープンキャンパス

ハリーポッターの世界に出てきそうな池袋キャンパスの第一食堂、オープンテラスもある新座キャンパスのForest、ともにいちばん人気はカツ丼！日替わりメニューも充実。



留学について質問できる

個人見学

国際センターでは、立教大学で用意している多様な留学・海外研修制度について、期間や費用など、気になるご質問に随時お答えしています。



体験授業が受けられる

オープンキャンパス

大学の授業時間は90分ですが、オープンキャンパスでは受験生にわかりやすい内容を45分で講義します。関心のある方はぜひ受講して学部選びに役立ててください。



入試や大学、なんでも相談できる

個人見学
団体見学
オープンキャンパス

入試や学部・学科のこと、学生生活、就職、留学、立教が行っている学生支援のことなど、職員が皆さまのご質問にお答えします。



現役の立教生と話せる

団体見学
学園祭
オープンキャンパス

どんな学生生活を送っているのか、立教大学の在校生に直接聞くことができます。授業やゼミ、クラブ活動、アルバイトのことなど先輩がなんでもお答えします！

大学見学、キャンパスツアーについての詳細 www.rikkyo.ac.jp/admissions/visit/tours/

【問い合わせ先】立教大学入学センター TEL:03-3985-2660

オープンキャンパスの日程プログラム(予定)

池袋キャンパス (事前予約制)

- 2018年8月1日(水) 9:40~16:10 5学部日程
(文・異文化コミュニケーション・現代心理・理学部・GLAP)
- 2018年8月2日(木) 9:40~16:10 4学部日程
(経済・経営・コミュニティ福祉・理学部)
- 2018年8月3日(金) 9:40~16:10 4学部日程
(社会・法・観光・理学部)

新座キャンパス

- 2018年8月23日(木) 9:40~16:10
 - 2018年8月24日(金) 9:40~16:10
- ※両日とも3学部日程(観光・コミュニティ福祉・現代心理)

行けない人は、学外進学相談会へ！

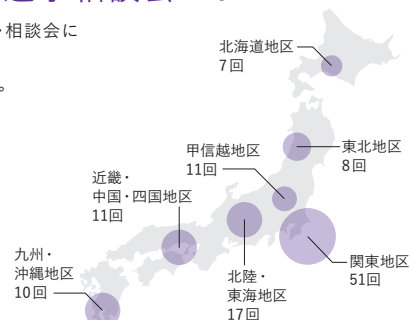
立教大学は全国各地の大学説明会・相談会に参加しています。皆さまのご質問に大学のスタッフが直接お答えします。

2017年度実績

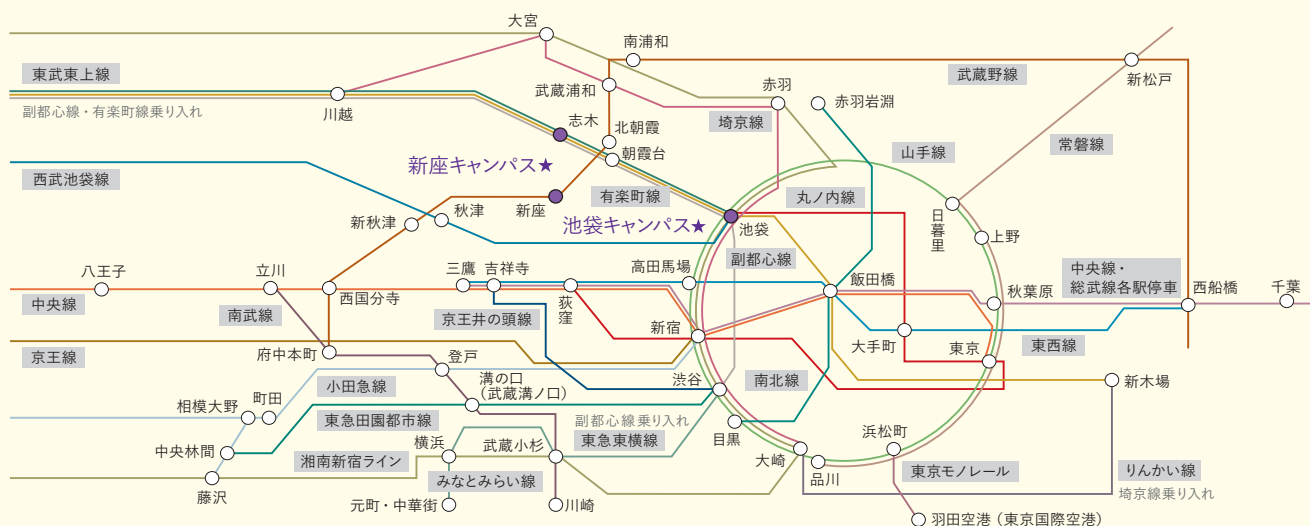
年間 **115** 回
全国 **91** カ所

詳しくはWebサイトをご覧ください。

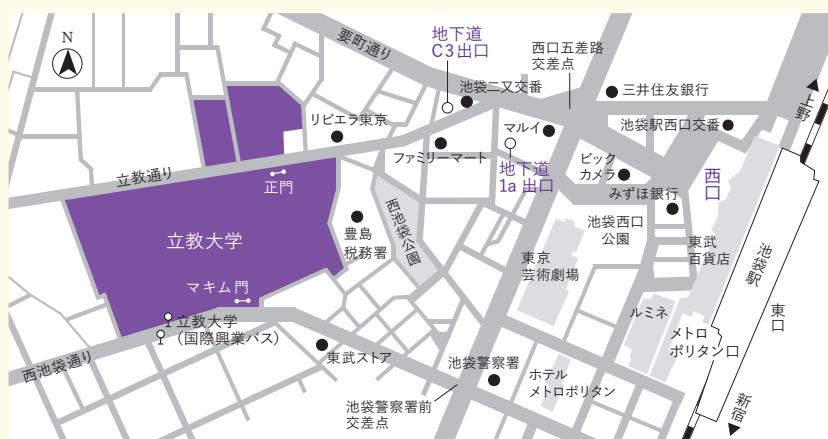
立教大学 学外進学相談会 検索



交通案内



■池袋キャンパス



文学部／異文化コミュニケーション学部／経済学部／
経営学部／理学部／社会学部／法学部／
Global Liberal Arts Program
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

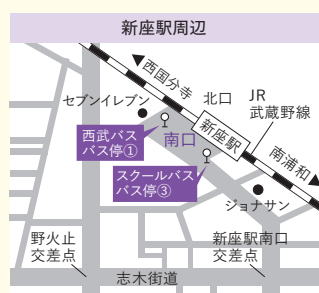
[池袋駅]
● JR 各線
● 東武東上線
● 西武池袋線
● 東京メトロ丸ノ内線／有楽町線／副都心線
西口より徒歩約7分

■新座キャンパス

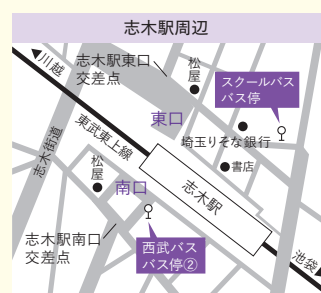


観光学部／コミュニティ福祉学部／現代心理学部
〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

※無料スクールバスの詳細は、
www.rikkyo.ac.jp/access/schoolbus/ をご覧ください。



[新座駅]
● JR 武蔵野線 南口より
・徒歩 正門まで約25分
・スクールバス 約10分
・西武バス 約10分
(志木駅南口行「北野入口経由」
「立教前」下車)



[志木駅]
● 東武東上線 (東京メトロ有楽町線／
副都心線相互乗り入れ) 南口より
・徒歩 正門まで約15分
・スクールバス 東口より約10分
(運行時間12:40～18:30)
・西武バス 南口より約10分 (清瀬駅
北口行／所沢駅東口行「立教前」下車)

お問い合わせ先

立教大学入学センター TEL：03-3985-2660 FAX：03-3985-2944 Webサイト：www.rikkyo.ac.jp

※ TOEICおよびTOEFLはエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けましたその承認を得たものではありません。
※ 「TOEIC® Listening and Reading Test」について、本冊子では「TOEIC L&R」と表記します。「TOEIC® Speaking and Writing Tests」について、本冊子では「TOEIC S&W」と表記します。
※ 「TOEFL iBT®」について、本冊子では「TOEFL iBT」と表記します。「TOEFL Junior® Comprehensive」について、本冊子では「TOEFL Junior Comprehensive」と表記します。

